

水泳

N. S. R.
機 關 雜 誌

NO.
50-51

日本水上競技聯盟

日本水上競技聯盟

機 關 雜 誌

水 泳

昭 和 十 二 年

第五十一—五十一號倍號

目 次

全日本選手權水上競技大會

- 競泳を見る……………齋藤巍洋……(3)
- 競泳記録……………(5)
- 飛込を語る……………原秀夫……(15)

日本水球代表軍第一次合同練習報告書

- (含全日本選手權水球記録並練習日記)……若山瀧美……(23)

クラス選手第二回銓衡決定發表……………(40)

選手強化合同練習結果報告

- 静岡……………(44)
- 広島……………(47)
- 福岡……………(52)

全國師範學校選手權水上競技大會に就いて

- 井坂行男……(54)

米國選手歡迎地方大會記録……………(56)

外國關係日誌……………清水康男……(62)

第一回東京横濱對抗女子水上競技大會…市口房子……(73)

第十一回國際オリンピック日本代表軍報告書(I)

- 報告會……………(76)

- 女子水上選手と飯田氏の感想問答録……………(91)

濱名灣横斷遠泳大會報告書……………(101)

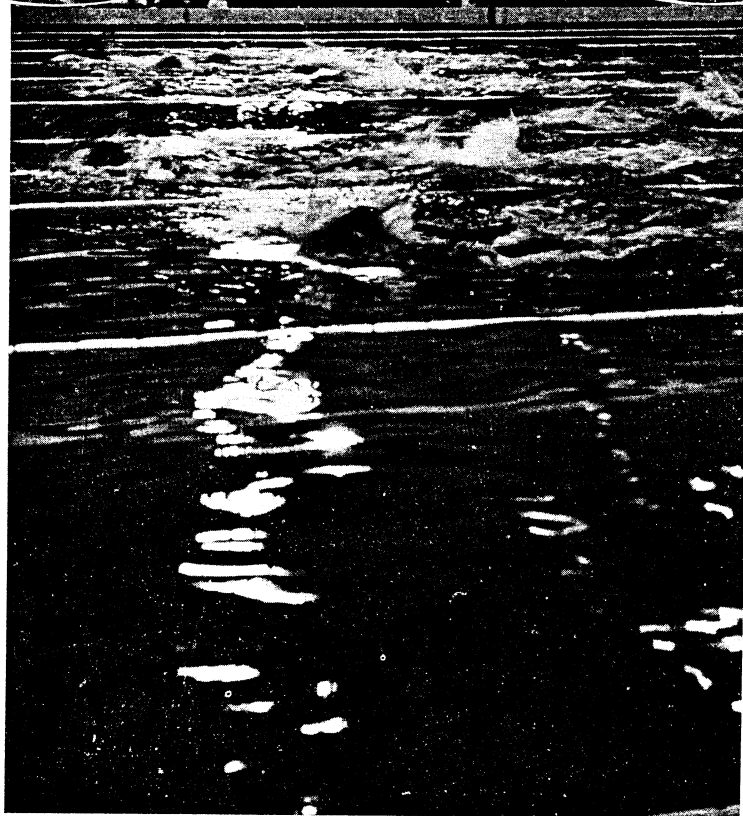
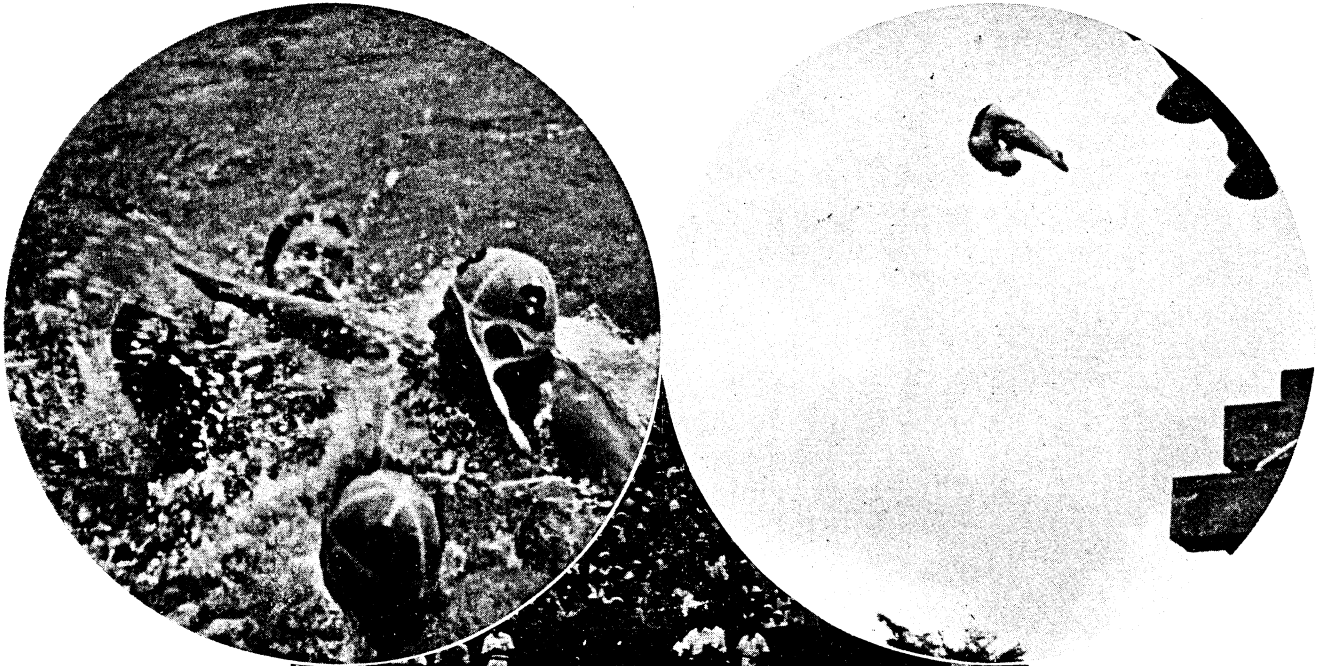
本年度水泳指導者講習會概況……………渡邊延……(102)

聯盟日誌……………(104)

後記……………(104)

昭和 12 年

全日本選手権水上競技大會



8月14.15.16日 神宮プール

日本選手権水上競技大會競泳を見る

齋 藤 巍 洋

八月十四日から三日間、神宮プールで舉行された日本選手権大會は、低調を傳へられてゐた昨今のわが水泳界としては豫期以上の成果を収めた。

世界の競泳界に特異性を持つてゐる、背泳のキーフアー、平泳のヒギンス、中距離のメデイカ等をこの大會に招聘して何物かを學び度いと計畫してこの大會に参加せしめたのであつた。キーフアーについては勝敗は初めから問題にはしてゐなかつたが、その泳ぎ方、練習法等について十分教へられる所があつた。

◇キーフアーターンについては從來餘り難かしく解釋してゐたが、實際に觀るとウエーがやつてゐる方法と違つて實に簡単に出來るといふことが、はつきり解剖された。この方法は從來ゆつくり折り返し面で腰を曲げてゐたのを大急ぎでやり、手でオーバーフローを握らず、腹の力を充分利かせて機敏にやればよいのである。この簡単な折り返し法は、伯林大會でわが清川君が、五〇米までうまくキーフアーにくつついて行つたかと思ふと、折り返しで水を開けられ、また本大會でも五〇米をキーフアーが31秒8、兒島君が32秒0僅か0.2秒の差で追つかけてゐたのが折り返しで水を開けられてしまつた。こんな簡単な折り返し法をどうして今迄に研究して置かなかつたか不思議になる位のものだ。

現今各選手の使つてゐる背泳の折り返し法は、私達が一九二六年濠洲遠征の際に既に使用してゐたものだ。その後二、三の新技術が考案されたが、影をひそめ、未だに一九二六年型を踏襲してゐるのだ。これでは折り返しで一米も離されるのも無理ではない。

幸ひ今回で新技巧を修めることが出來、兒島君などが、既に物にして秋のインターカレッヂ大會には立派に役立つてゐる。

キーフアーの泳ぎは自分の個性をよく生かした、天才的フォームだ、吉田君などがキーフアーの様に腕のキヤッチを外側で速く搔ける様にと、強い脚、強い腕とを持つて随分長い間研究して來た。しかしキーフアーの様に調和のとれた泳ぎが未だに發見出來ないでいつも苦しんでゐる。

キーフアーのコーチ、ブラウニングがキーフアーの泳ぎのコツをクラブメンバーに、随分熱心に教

へた。また米國選手中にはこれを眞似するものが、澤山居るが、いづれも成功してゐないといつてゐる。これは泳ぎの調和は個人に備はつたものだ。従つてなかなかフォームを根本的に變へることは難かしい。新井君、寺田君、田口君、遊佐君、杉浦君、牧野君等のわが一流選手のフォームを觀て見給へ、皆んなはつきりした違つた泳ぎ方をしてゐる。

新井君に牧野君の泳ぎ方をせよと云つた所で出來ないのと同様、背泳の泳ぎ方でも個人の持つてゐる調和をそのまま生かし、缺點を補強して、泳ぎを完成して行く様な練習法を課せれば、それで良いのだと思ふ。そして練習法の研究によつて選手を充分大成し得るといふことに益々自信を得た。

吉田、兒島兩君とも百米の前半を確實に31秒臺で行くことの練習はそう至難ではない、従つて、1分7秒位は樂に出、またキーフアーの域を狙ふことも六ヶ敷い問題ではない。

この大會では吉田、兒島兩君以外の選手達は、いづれも五〇米の前半が自分の五〇米フラットの記録よりも悪かつたが、これは脚力を使はずに腕の馬力だけで泳いでゐるからだ。

これは平常のスタートダツシュの練習の目的は何處にあるか解らないで、唯目茶苦茶に練習をやつてゐるためだ。スタートダツシュ、スプリントの練習等すべて自分の滑り出しの要領で堅實にやつて置かなければならない。

◇蛙泳對バタフライの對戦は期待されてゐたが、ヒギンスが旅行の勞れのため、練習が出來ず、脚力に威力なく、十分身體を浮かせ得ないで、最も得意とする百米で山田君の和製バタフライに封じられ、また二百米に於てもやつと入選する慘めさであつた。

ヒギンスの今回の成績で、米國のバタフライの將來を評することが出來ないが、我が國に於ても百米では山田君を始め、伊藤、山田君など旺んに練習を始めて來たのは愉快だ。されど日本水上界の基礎は脚力によつて形成されて來たのだから、バタフライを行ふにしても、腕力のみでなく脚力を充分利かせた泳ぎを作るべきだ。脚力を利かせないで、腕力だけでは腕力のある、歐米人に齒が立たないのも當然だ。また、これでは二百米もバタフライでふつ飛ば

すことが出来ない。結局虻蜂とらずに終つてしまふことになるから警戒が必要だ。

一方葉室君がのんびりした練習、試合前に満洲に遠征、四平街あたりで汽車の轉覆に會ひ、負傷などしてゐたにかゝらず、2分40秒4の長水路に於ける世界最高記録を作り、五〇米35秒、百米1分16秒、一五〇米1分59秒0.、といふ理想的なペースで泳ぎ、蛙泳ぎのペース完成へと一步を進めてくれた。

私は葉室君のこの時の泳ぎを觀て特に感じたことは軽い試合前の練習にかゝらず、この好記録を得たことだ。元氣一杯に泳ぐ、これでなければ闘へない。このコツが、必勝の秘訣だ。中等大會を始め本大會の選手達の泳ぎを觀ると練習過度のために過勞してゐる選手が多かつた。皮膚に張り切つた生気がない、眼が「うるんでゐる」これではいくら泳いでも好結果が得られない。キーファーのコーチの話をも聞いて見たが、キーファーが一度水にうまく乗れる様になると餘り長い距離を泳がないで、常に水に乗る練習だけをやつてゐる。そしてフォームを失はない程度の練習を行ひ、體力養成と英氣を養ふことに留意してゐるといつてゐたが、この試合前の練習法について葉室君のこの度の健闘は我が水泳界に一エポックを興へてくれたものといへよう、米國のローズ嬢などの泳ぎは感心すべきではないが、元氣一杯に泳いでゐる、この邊の所を各コーチとも研究すべきだと思ふ。

◇短距離で遊佐(日大)、田口(立教)君などの活躍が見られなかつたが、新井(立教)杉浦(早大)君などには見るべきものがあつた。

新井君の58秒4の優勝記録はそのペースと共によかつた、27秒0——27秒4の前半の記録は、デッドスタートに入つたばかりの本年度としては上出来だつた。未だ各選手ともデッドスタートの新規約には慣れてゐない。五分の四秒位は從來のクウィックスタートに比較するとハンデイキャップがあるから、27秒0で前半を泳ぐことは可成りの努力だ。また二百米でも2分13秒2で優勝してゐる。

レースの仕方に二つの方法がある。前半力をセーブしてやるのと最初からぶつ飛ばしてゴールに流れ込むのだ。兩者とも記録上には大した差がないが最近の試合で殆んど成功してゐるのは後者の方だ。即ち前半からぶつ飛ばしてゴールまで驀進する戦法だ。そして誰しもこの戦法を良いとして來たが、仲々出来ない。二百米のレースを觀ると新井君が前半百米を1分0秒臺で泳いでゐるのに杉浦君が1分3秒臺である。後半追つかけて2分13秒8にま

で追ひ詰めた。記録的には0.6秒の差であつたが、前半水を開けてリードした新井君に勝味が當然ある。こんなに飛び出して前半のペースに餘裕を作ることを再三試みてこそ確固たるスプリンターとしての自信が出來て來るのだ、新井君にして前半1分3秒臺で泳ぎ2分13秒臺で入ることは容易だらうがこれでは短距離陣の躍進が望めない。

杉浦君はスプリントがありながらいつも、この消極的戦法で泳いで失敗してゐる。そして豫選から少しも前半のペースを作つて置くことに努力しない様だ。これでは自分の實力が十分に發揮出来ない。

四〇〇米のレースを見てもさうだ、二〇〇米では2分19秒臺のメデイカがトップを切つて日本選手達は惡戦苦闘してゐる。メデイカはいつもの策戦と違へ二〇〇米からトップに出たのは練習不足で自信が無かつたために、背水の陣を敷いて逃げ込む戦法に出たのだつた。しかし前半相手を離し切れず逃げ込み得ず遂に牧野君のラストスパートにしてやられてしまつた。牧野君がよく試合を投げずに遂に榮冠を獲得した老巧振りには感心させられたが、他の諸豪、新人連が、前半の飛び出しが少しもなく、ペースを攪亂するものが出なかつたことがまことに心細い。杉浦君あたりにこの策が出來ようかと期待してゐたのであつたが、早く前半2分15秒臺で飛び出す選手が出て來なければ四〇〇米を4分40秒を割ることの期待が持てない。

四百米では4分50秒8の牧野正藏君の優勝に終つたが、一、五〇〇米ではメデイカ、寺田等が振はなかつたが、新人高橋(慶應)、田中(早大)、などが活躍をほしきまゝにした。19分37秒8高橋(慶應)、19分50秒6田中(早大)、などは立派なものだ。こんな記録を簡単に出せる國は諸外國では一寸見當らない。オリンピック伯林大會前の全米最終豫選のナムバーワン、フラナガンが19分38秒8であつた。それ程19分臺で一、五〇〇米を泳ぐことは六ヶ敷しい。それを新進高橋、田中君などが寺田、メデイカ等の強豪連を軽くあしらひ、また第三位の本田君も20分を割る好記録を得たことは、オリンピック準備第一年としての大きい收穫の一つとして數へることが出來よう。

寺田君、鶴藤君などの人氣者が本大會で振はなかつた、寺田君には脚力の練習、調和を得る様なペースの練習が足りなかつたために、滑り出しが少しもなかつた。また鶴藤君はフォームの調和を全然忘れた様な泳ぎをして慘めであつたが、兩選手とも素質を十分持つてゐるのだから一度順調に水に乗り初めれば、また好記録、快ニュースが我が水泳界を賑は

すことだらう。

女子選手の活躍について

記録的に見て取り立て、云つてよいのは、一〇〇米背泳に於ける伊藤さとし嬢(中泉高女)の1分26秒2であるが、これとても一九二八年度の横田操嬢の1分25秒1の記録には及ばない。また他の種目に於ては百米では1分16秒臺で宅間嬢(羽衣高女)梅村嬢(椋山女學)が一、二位を占め、四〇〇米では6分0秒6三鬼嬢(土肥高女)、6分1秒8三浦嬢(横濱高女)、であつたが、いづれも自由形陣は低調だつた。

また平泳陣も二〇〇米では壺井嬢(日體)が3分16秒に止まり、前畑嬢に較ぶべくもない。

しかし各選手の泳ぎ振りを見ると却々見るべきものがあつた。古田嬢が一〇〇米で落選したり、スプリントの必要な二〇〇米に却つて古田嬢が2分52秒6で優勝したりしてゐる。2分52秒6といへば理想とする四〇〇米のラップよりもよくない記録だが、各選手とも技倆が伯仲して來た。しかしまだレースに對する練習の仕方の研究が足りないといふ感じがした。

私は今更地方のコーチ行脚に廻り、隨分地方の選手の練習を觀る機會を得たが、唯泳いでゐるだけで計畫的にやつてゐる所が少なかつた様だつた。

泳ぎに強くなるためには十分な闘志がなければいけない。勿論フォーム、ペースを作ることの必要はいふまでもないが、闘志がなければいかに泳ぎがよくつても勝てない。ロールス嬢の泳ぎを觀ても理解出来ることと思ふが、ロールス嬢は必ずしも上背のある方ではない。しかし泳ぎに張り切つた所がある。キビキビ泳いで日本記録を苦もなく破つてゐる。この闘志を養成するには唯泳いでゐるだけでは駄目だ。毎日の練習量に餘裕を持たせて、常に體力養成に留意すること、練習には常に計畫的に眞剣になつてやること、基礎練習に力を入れること、などに注意してやれば、練習の仕方は少々異つてゐても十分な効果が收められる。練習量、練習法は如何に理想的であつても、選手に實際にやる氣がなければ到底成功が收められない。しかし女子水泳界の本年度の練習では選手がまことに熱心に泳いでゐる。これまでに見ない位の熱意と希望とに燃えてゐた様だつたが、その割りに選手達に覇氣の缺けてゐたのは矢張り、練習法について各指導者達の一考をうながしたい。

競 泳 記 録

計時公式報告

1. 各人の所要時間は特に示さざる限り公式である。
3. 途中時間は特に示さざる限り非公式である。
3. クラスの関係上 300, 500, 1000 米の如き途中時間を割愛して各人の所要時間測定に力を用ゐた。
4. 競技場に於ける通告は時間の都合上入賞又は入選者のみに限られたるが本報告には未發表のものも一括して發表する。當日通告せられざるものにて公式時間としての資格を有してゐる。

第一日 八月十四日

男子 100 米自由形豫選

- | | | | | |
|----|----|------|------|--------|
| A. | 1. | 新井茂雄 | 立大 | 58.8 |
| | 2. | 須永安治 | 日大工業 | 1:04.0 |

- | | | | | |
|----|-------|-------|--------|--------|
| 3. | 中村岩太郎 | 日大 | 1:04.8 | |
| 4. | 荒井茂 | 關學 | 1:09.4 | |
| B. | 1. | 片岡寅次郎 | 稻泳會 | 1:00.2 |
| | 2. | 鶴岡榮 | 立大 | 1:02.0 |
| | 3. | 佐々木猛 | 日大 | 1:02.6 |
| | 4. | 杉田芳郎 | 日大 | 1:03.6 |
| | 5. | 吉田靖 | 日大 | 1:08.0 |
| | 6. | 大久保直一 | 中京商 | |
| C. | 1. | 阪上清太郎 | 稻泳會 | 1:04.2 |
| | 2. | 高尾龍實 | 臺北一中俱 | 1:05.0 |
| | 3. | 大崎定兼 | 立大 | 1:07.2 |
| | 4. | 森田正真 | 日大 | 1:07.6 |

男子 50 米背泳豫選

- | | | | | |
|----|----|------|-----|------|
| A. | 1. | 吉田喜一 | 稻泳會 | 31.8 |
| | 2. | 鷺谷光明 | 宮城工 | 34.0 |
| | 3. | 平賀孟 | 立大 | 34.2 |
| | 4. | 谷口辰三 | 稻泳會 | 34.6 |

	5.	關 淳 一	大多喜中		3.	伊 藤 三 郎	明 大	1:17.8	
	6.	赤 塚 秀 夫	稻 泳 會		4.	大 林 嗣 生	稻 泳 會	1:20.0	
B.	1.	キ ー フ ア ー	米國(日國新)	30.4	5.	田 口 實	日 大	1:20.6	
	2.	阪 本 响 一	立 大	33.0	6.	加 藤 倭 夫	立 大	1:21.4	
	3.	立 石 辰 男	櫻 泳 會	34.8	B.	1.	小 池 禮 三	靜浦游泳	1:14.0
	4.	内 館 洋	稻 泳 會	34.8	2.	野 田 務	明 大	1:18.2	
	5.	倉 上 義 雄	立 大	35.2	3.	大 浦 誠 一 郎	立 大	1:19.4	
	6.	上 川 内 洋 六	神奈川工	36.4	4.	寺 田 武 實	稻 泳 會	1:19.6	
	7.	北 島 秀 三 郎	關 學	38.0	5.	林 田 陸 夫	日 大	1:20.0	
C.	1.	兒 島 泰 彦	三 田 水	31.2	6.	葉 室 貞 男	日 大	1:24.2	
	2.	門 屋 桂	立 大	33.2	7.	河 野 宗 次 郎	明治商業	1:26.6	
	3.	杉 浦 光 信	東 齒	33.6	C.	1.	葉 室 鐵 夫	日 大	1:14.2
	4.	山 本 恭 之 介	稻 泳 會	34.6	2.	山 田 弘	稻 泳 會	1:17.2	
	5.	本 間 竹 志	文 理 大	34.6	3.	川 原 眞 純	松 本 商	1:19.2	
	6.	藤 堂 友 生	法 大	35.6	4.	山 口 正 保	明 大	1:19.8	

男子 100 米平泳豫選

A.	1.	ヒ ギ ン ス	米 國	1:16.0
	2.	長 久 俊 三	三 田 水	1:16.2
	7.	三 輪 春 雄	稻 泳 會	1:24.0
	8.	二 宮 章	橫濱高商	1:25.2

女子 400 米自由形豫選

A.	1.	三 浦 ハ ナ	橫濱高女	{ 38.8, 5:16.6,	1:20.8, 6:02.0.	2:08.2,	2:53.6,	3:42.0,	4:27.8,
	2.	三 鬼 百 合 子	土肥高女	{ 37.4, 5:20.6,	1:21.0, 6:07.2.	2:08.0,	2:54.6,	3:43.8,	4:32.0,
	3.	立 松 品 子	椛山女園	{ 39.8, 5:30.4,	1:24.4, 6:18.6.	2:13.2,	—,	3:01.4,	4:40.6,
	4.	林 敏 子	京二條女	6:47.8.					
	5.	坂 口 ヨ シ	中泉高女	6:51.6.					
B.	1.	秋 山 幸 子	久留米女	{ —,	1:21.0, 6:16.8.	2:51.4,	—,	—,	4:37.6,
	2.	岸 田 靜 枝	京府二女	{ 38.2, 5:41.8,	1:23.2, 6:26.2.	2:13.6,	3:03.4,	3:54.0,	4:45.2,
	3.	村 岡 雪 華	關西女水	{ 38.0, 5:27.8,	1:21.0, 6:34.6.	2:07.6,	—,	3:47.2,	4:37.6,
	4.	藤 田 ア サ	中泉高女						
	5.	岩 橋 佐 和 子	椛山女園						
	6.	矢 田 巴	橫濱高女						

男子 400 米自由形豫選

A.	1.	鵜 藤 俊 平	立 大	5:00.8	6.	河 野 善 次	關 學	5:34.0	
	2.	メ デ イ カ	米 國	5:04.4	C.	1.	杉 浦 重 雄	稻 泳 會	5:05.4
	3.	田 中 英 作	稻 泳 會	5:06.4	2.	宮 本 茂	多度津中	5:05.8	
	4.	天 野 富 勝	八幡製鐵	5:12.6	3.	市 野 重 治	立 大	5:16.2	
	5.	壺 田 重 三	稻 泳 會	5:16.4	4.	戸 木 譽 四 郎	銚 子 商	5:39.6	
	6.	西 田 三 郎	關 學	5:29.0	5.	橫 山 稔 之	中 大	5:40.8	
B.	1.	寺 田 登	三 田 水	4:59.6	D.	1.	高 橋 弘	三 田 水	4:59.2
	2.	本 間 俊 夫	立 大	5:04.2	2.	牧 野 正 藏	稻 泳 會	5:00.8	
	3.	河 野 隼	明 大	5:14.0	3.	渡 邊 龍 治	靜浦游泳	5:11.6	
	4.	木 佐 森 駿 雄	稻 泳 會	5:22.8	4.	栗 原 徹	日 大	5:13.8	
					5.	篠 崎 正 也	稻 泳 會	5:15.6	

6.	宗野忠男	横濱高商	5:25.6
女子 50 米背泳選			
A.	1. 伊藤サトシ	中泉高女	39.8
	2. 宮井良子	京府一女	41.6
	3. 北畑文枝	椛山女園	42.2
	4. 吉田文代	千代田女	45.4
	5. 森 菊也	平塚女	46.2
	6. ステルウエル	横濱水協	46.6
B.	1. 曾田昌子	宮島女	40.2
	2. 北島静子	椛山女園	42.0
	3. 大橋ユカ	京都二女	42.2
	4. 佐々木和子	平塚高女	42.2
	5. 小田アイ子	筑紫高女	43.0
	6. 山根歌路	京四條女	43.4
	7. 畝川澄江	土肥高女	44.4
C.	1. 泉百合子	京府二女	40.8
	2. 山本ウタ	愛知淑徳	41.0
	3. 廣瀬ヒデ子	京府六女	43.6
	4. 鳥居久子	神田高女	46.2
	5. 大瀧キミ枝	麴町高女	47.0
男子 100 米自由形準決勝			
A.	1. 新井茂雄	立大	58.4
	2. 鶴岡 榮	立大	1:02.2
	3. 杉田芳郎	中京商	1:03.0
	4. 阪上清太郎	稻泳會	1:04.6
	5. 高尾龍實	臺北一中俱	1:05.0
	6. 森田正真	日大	1:08.6
B.	1. 片岡寅次郎	稻泳會	1:00.8
	2. 佐々木 猛	日大	1:01.0
	3. 須永安治	日大工	1:04.6
	4. 中村岩太郎	日大	—
	5. 大崎定兼	立大	1:06.4
男子 50 米背泳準決勝			
A.	1. キーフアー	米國(日國新)	30.0
	2. 吉田喜一	稻泳會	31.8
	3. 門屋 桂	立大	33.2
	4. 鷺谷光明	宮城工	34.2
	5. 谷口辰三	稻泳會	34.4
	6. 立石辰男	櫻泳會	35.0
B.	1. 兒島泰彦	三田水	31.4
	2. 阪本响一	立大	33.0
	3. 杉浦光信	東齒	33.6
	4. 山本恭之介	稻泳會	33.8
	5. 平賀 猛	立大	34.8
	6. 内館 洋	稻泳會	35.4
女子 100 米平泳選			
A.	1. 後藤光子	愛知淑徳	1:34.2

2.	梶岡宏江	土肥高女	1:35.6
3.	中山絹子	徳島高女	1:36.6
4.	東 トヨ	京府一女	1:37.4
5.	吉田壽子	横高女	1:38.0
6.	増山ユキ	平塚女	1:44.2
7.	薄井静代	二條俱	1:50.8
8.	青島ヤス	中泉高女	2:00.0
B.	1. 壺井宇乃子	女子體專	1:31.2
	2. 村田ミチ子	羽衣女出	1:38.0
	3. 飯澤須賀子	中京高女	1:38:0
	4. 榎マサノ	土肥高女	1:40.0
	5. 山野 壽	島田高女	1:43.2
	6. 齋藤房江	二葉俱	1:45.0
	7. 平野文子	横濱高女	1:49.2
	8. 岩崎二三江	二葉俱	1:55.0
C.	1. 南里千瑳子	神戸二女	1:31.6
	2. 原日出子	女子體專	1:35.2
	3. 山下ヨシ枝	京二條女	1:39.6
	4. 榊原住代	久留米女	1:40.6
	5. 渡邊スミ子	筑紫女	1:43.0
	6. 二宮慶子	神田女	1:53.6
	7. 伊藤義子	中泉高女	1:59.0
男子 100 米平泳準決勝			
A.	1. 小池禮三	靜浦游泳	1:15.2
	2. 野田 務	明大	1:16.8
	3. 山田 弘	稻泳會	1:16.8
	4. ヒギンズ	米國	1:17.2
	5. 大浦誠一郎	立大	1:19.0
	6. 大林嗣生	稻泳會	1:20.2
B.	1. 葉室鐵夫	日大	1:15.0
	2. 伊藤三郎	明大	1:16.0
	3. 長久俊三	三田水	1:17.4
	4. 山口正保	明大	1:19.0
	5. 川原真純	松本高	1:19.6
	6. 寺田武實	稻泳會	1:20.0
女子 100 米自由形選			
A.	1. ロールス	米國(日國新)	1:10.6
	2. 鈴木美代子	愛知淑徳	1:19.0
	3. 立松京子	椛山女	1:21.6
	4. 山田道子	二葉俱	1:28.6
	5. 佐々木信子	平塚女	1:29.6
	6. 大瀧かほる	中泉女	1:30.6
B.	1. 梅村米江	椛山女	1:16.2
	2. 古田ツネ子	中泉高女	1:18.4
	3. 秋山幸子	久留米女	1:19.2
	4. 天野貴子	土肥高女	1:20.6
	5. 福島フサ	島田高女	1:23:0

	6.	山田映子	京府一女	1:24.8		3.	谷口美代子	京二條女	1:20.0
	7.	光永和子	常盤松女	1:27.0		4.	奥野峰子	藤枝高女	1:25.8
C.	1.	宅間美惠	羽衣高女	1:16.6		5.	岩橋佐和子	椴山女	1:27.0
	2.	飯島富子	東府六女	1:19.0		6.	鈴木富美	二葉俱	1:30.6

男子 400 米自由形準決勝

A.	1.	高橋弘	三田水	{ 31.2, 4:17.0,	1:06.6, 4:54.6.	1:42.0,	2:20.0,	2:59.0,	3:38.0,
	2.	鵜藤俊平	立大	{ 32.8, —,	1:08.2, 4:56.4.	1:46.4,	2:24.6,	3:03.4,	3:42.8,
	3.	メデイカ	米國	{ 32.2, 4:20.2,	1:07.6, 4:56.6.	1:45.2,	2:21.8,	3:01.2,	3:39.4,
	4.	田中英作	稻泳會	{ 32.4, 4:20.0,	1:07.4, 4:59.0.	1:45.0,	2:22.6,	3:03.2,	3:40.2,
	5.	本間俊夫	立大	{ —, 4:26.8,	1:06.4, 5:09.0.	1:45.0,	2:24.6,	3:05.0,	3:46.6,
	6.	河野隼	明大	{ 33.8, 4:30.6,	1:11.2, 5:11.0.	1:44.4,	2:29.6,	3:10.0,	3:50.4,
B.	1.	牧野正藏	稻泳會	{ 37.8, 4:19.2,	1:08.4, 4:55.2.	1:45.6,	2:23.4,	3:01.8,	3:40.0,
	2.	杉浦重雄	稻泳會	{ 31.0, 4:16.4,	1:06.0, 4:55.4.	1:42.2,	2:19.4,	2:58.0,	3:36.8,
	3.	寺田登	三田水	{ 32.0, 4:22.6,	1:08.2, 5:00.4.	1:45.1,	2:25.4,	3:04.0,	3:42.8,
	4.	宮本茂	多度津中	{ 31.0, 4:26.2,	1:07.2, 5:07.2.	1:44.6,	2:22.4,	3:05.2,	3:45.6,
	5.	市野重治	立大	{ 33.6, 4:34.8,	1:10.2, 5:17.0.	1:49.2,	2:28.6,	3:10.0,	3:51.4,
	6.	渡邊龍治	靜浦游泳	{ 32.4, 4:36.2,	1:10.0, 5:20.2.	1:48.2,	2:28.8,	3:11.6,	3:50.4,

第二日 八月十五日

男子 100 米背泳豫選

A.	1.	キーファ	米國	33.4,	1:09.0
	2.	阪本响一	立大	34.2,	1:12.8
	3.	谷口利弘	日大	34.8,	1:14.4
	4.	内館洋	稻泳會	35.8,	1:16.0
	5.	立石辰男	日大	36.8,	1:16.8
	6.	關淳一	大多喜中	—,	1:24.4
B.	1.	兒島泰彦	三田水	32.6,	1:09.4
	2.	山本恭之介	稻泳會	35.2,	1:14.0
	3.	平賀猛	立大	35.2,	1:16.2
	4.	本間竹志	文理大	37.2,	1:17.2
	5.	倉上義雄	立大	37.2,	1:17.4
	6.	谷口辰三	稻泳會	—,	1:21.4
C.	1.	吉田喜一	稻泳會	33.0,	1:10.0
	2.	鷺谷光明	宮城工	36.2,	1:13.4
	3.	門屋桂	立大	34.4,	1:14.0
	4.	長谷繁	大阪貿易	—,	1:21.4

女子 100 米自由形決勝

1.	ロールス	米國(日國新)	33.2,	1:09.8
----	------	---------	-------	--------

2.	宅間美恵子	羽衣女	—,	1:16.0
3.	梅村米江	椋山女	35.6,	1:16.4
4.	谷口美代子	京二條女	36.6,	1:17.0
5.	古田ツネ子	中泉高女	35.2,	1:18.0
6.	鈴木美代子	愛知淑徳	37.2,	1:18.6
7.	飯島富子	東府六女	—,	1:20.6
8.	秋山幸子	久留米女	36.2,	1:21.0
9.	立松京子	椋山女	—,	1:21.2

男子 100 米自由形決勝

1.	新井茂雄	立大	27.2,	58.4
2.	片岡寅次郎	稻泳會	28.2,	1:00.0
3.	佐々木猛	日大	27.8,	1:00.8
4.	鶴岡榮	立大	29.4,	1:02.0
5.	杉田芳郎	中京商	—,	1:04.2
7.	須永安治	日大工	30.4,	1:05.0

男子 200 米平泳豫選

A. 1.	野田務	明大	38.0,	1:22.0,	2:04.8,	2:48.4.
2.	長久俊三	三田水	38.4,	1:21.4,	2:06.0,	2:50.0.
3.	ヒギンズ	米國	37.0,	1:20.6,	2:05.8,	2:50.4.
4.	寺田武實	稻泳會	39.2,	1:21.8,	2:07.4,	2:52.2.
5.	田口實	日大	—,	1:21:8,	—,	2:59.4.
6.	葉室貞男	日大	39.4,	1:25.0,	2:13.6,	3:01.6.
7.	上山茂雄	立大	40.4,	1:26.2,	2:19.0,	3:02.4.
B. 1.	小池禮三	靜浦游泳	37.6,	1:18.0,	2:01.6,	2:45.4.
2.	伊藤三郎	明大	38.6,	1:23.8,	2:08.0,	2:53.2.
3.	林田睦夫	日大	40.2,	1:24.2,	2:10.4,	2:54.2.
4.	田畑三郎	京都二商	40.2,	1:24.4,	—,	2:55.0.
5.	加藤倭夫	立大	—,	1:24.4,	—,	2:55.4.
6.	大林嗣生	稻泳會	38.8,	1:25.6,	2:19.6,	3:05.8.
7.	山本俊雄	關學	—,	—,	—,	3:19.8.
C. 1.	葉室鐵夫	日大	35.4,	1:18.6,	2:03.8,	2:46.0.
2.	大浦誠一郎	立大	38.6,	1:22.4,	2:07.0,	2:51.2.
3.	山口正保	明大	39.4,	1:24.6,	2:08.8,	2:54.4.
4.	三輪春雄	稻泳會	40.4,	1:24.4,	2:10.4,	2:56.6.
5.	高林勇	三田水	—,	1:26.0,	—,	3:02.4.

男子 400 米自由形決勝

1.	牧野正藏	稻泳會	{ 31.6, 4:15.2,	1:06.6, 4:50.8.	1:48.2,	2:20.8,	2:59.0,	3:37.2,
2.	メデイカ	米國	{ 30.4, 4:14.6,	1:06.0, 4:51.0.	1:43.0,	2:19.8,	—,	3:35.6,
3.	杉浦重雄	稻泳會	{ 30.4, 4:14.4,	1:05.8, 4:51.6.	1:43.0,	2:20.2,	2:58.6,	3:36.0,
4.	高橋弘	三田水	{ —, —,	1:06.0, 4:53.0.	—,	2:20.4,	—,	3:37.0,
5.	寺田登	三田水	{ 30.8, 4:17.4,	1:05.8, 4:58.0.	1:42.2,	2:20.4,	2:58.8,	3:38.2,

6. 鵜藤俊平 立大 { 32.6, 1:08.2, 1:46.2, 2:24.0, 3:03.8, 3:43.4,
 { 4:23.0, 5:02.2.

女子 50 米背泳決勝

1. 伊藤さとし 中泉女 40.0
 2. 曾田昌子 廣島高女 40.6
 3. 泉百合子 京府二女 41.0
 4. 山本ウタ 愛知淑徳 41.0
 5. 宮井良子 東府一女 41.8
 6. 北畑文枝 梶山女 41.8
 7. 北島静子 梶山女 42.2

8. 大橋ユカ 京二條女 42.8

男子 50 米背泳決勝

1. キーフアー 米國(日國新) 30.4
 2. 兒島泰彦 三田水 31.6
 3. 吉田喜一 稻泳會 31.6
 4. 阪本响一 立大 32.8
 5. 門屋桂 立大 33.0
 6. 杉浦光信 東齒 33.6

女子 400 米自由形決勝

1. 三鬼百合子 土肥女 1:24.0, 2:56.4, 4:30.2, **6:00.6.**
 2. 三浦ハナ 横濱高女 1:22.4, 2:54.8, 4:29.8, **6:01.8.**
 3. 秋山幸子 久留米女 1:20.6, 2:53.6, 4:29.0, **6:08.6.**
 4. 立松品子 梶山女 1:25.6, 3:02.0, 4:40.6, **6:20.4.**
 5. 岸田静枝 京府二女 1:23.6, 3:03.0, 4:44.2, **6:22.4.**
 6. 村岡雪華 關西女水 1:27.4, 3:03.8, 4:34.4, **6:36.2.**

男子 200 米自由形豫選

A. 1. 片岡寅次郎 稻泳會 2:25.2
 2. 佐々木猛 日大 2:26.2
 3. 木佐森駿雄 稻泳會 2:32.0
 B. 1. 新井茂雄 立大 2:14.4
 2. 杉田芳郎 中京商 2:28.6

3. 中村岩太郎 日大 2:30.2
 4. 横山定三 中大 2:36.2
 C. 1. 杉浦重雄 稻泳會 2:25.6
 2. 宮本茂 多度津中 2:28.0
 3. 壺田重三 稻泳會 2:29.0
 4. 市野重治 立大 2:29.6

女子 100 米平泳決勝

1. 南里千瑳子 神戸二女 42.6 **1:31.0**
 2. 壺井宇乃子 女子體專 43.0 **1:31.4**
 3. 梶岡宏江 土肥女 45.4 **1:35.8**
 4. 中山絹子 徳島高女 — **1:35.8**
 5. 後藤光子 愛知淑徳 — **1:36.0**
 6. 原日出子 女子體專 — **1:37.0**
 7. 村田三千子 羽衣女出 45.2 **1:38.4**
 8. 飯澤須賀子 中泉高女 — **1:39.4**
 9. 山下ヨシ枝 京二條女 — **1:39.6**

男子 1500 米自由形豫選

1. 天野富勝 八幡製鐵 { 1:12.6, 2:34.0, 3:55.0, 5:17.0, 6:39.2, 8:01.0,
 { 9:23.0, 10:45.6, 12:08.0, 13:30.0, 14:52.6, 16:15.2,
 { 17:38.6, 19:02.6, 20:23.2.
 2. 渡邊龍治 靜浦游泳 { —, —, —, —, —, —,
 { —, —, 21:10.4, —, —, —,
 { —, —, —, —, —, —.
 3. 中村節彦 大阪商業 { 1:11.2, 2:33.0, 3:56.8, 5:22.6, 6:48.4, 8:14.4,
 { 9:41.0, 11:08.2, 12:34.6, 14:02.4, 15:29.6, 16:59.0,
 { 18:29.0, 19:58.0, 21:21.8.
 4. 篠崎正也 稻泳會 { 1:16.4, 2:35.6, 3:58.8, 5:22.8, 6:49.6, 8:16.8,
 { 9:43.4, 11:11.6, 12:40.0, 14:08.8, 15:40.0, 17:10.4,
 { 18:41.2, 20:09.8, 21:38.0.

B. 1.	本間俊夫	立大	{ 1:12.6, 9:16.0, 17:30.0,	2:32.4, 10:37.4, 18:51.4,	3:53.0, 11:59.4, 20:09.0.	5:15.4, 13:21.6,	6:35.8, 14:44.2,	7:56.2, 16:07.4,
2.	寺田登	三田水	{ 1:11.6, 9:21.2, 17:31.6,	2:30.8, 10:43.2, 18:54.4,	3:52.0, 12:04.6, 20:13.2.	5:14.6, 13:25.8,	6:37.2, 14:47.4,	7:59.4, 16:09.0,
3.	田中英作	稻泳會	{ 1:12.4, 9:22.4, 17:31.2,	2:32.2, 10:44.2, 18:54.2,	3:53.8, 12:05.6, 20:14.0.	5:15.4, 13:26.8,	6:37.4, 14:48.0,	8:01.2, 16:09.8,
4.	河野隼	明大	{ 1:14.0, 9:27.0, 17:44.0,	2:34.6, 10:49.4, 19:08.0,	3:56.8, 12:11.8, 20:29.0.	5:18.6, 13:34.6,	6:41.8, 14:57.2,	8:04.6, 16:20.4,
5.	栗原徹	日大	{ 1:13.0, 9:33.6, 18:08.4,	2:32.6, 10:59.4, 19:34.8,	3:55.2, 12:24.0, 20:57.2.	5:20.0, 13:51.4,	6:44.6, 15:17.2,	8:09.2, 16:43.0,
C. 1.	高橋弘	三田水	{ 1:11.0, 9:12.6, 17:20.2,	2:28.4, 10:33.4, 18:42.4,	3:49.0, 11:55.4, 19:58.4,	5:09.6, 13:16.6,	6:29.4, 14:38.0,	7:50.4, 16:59.4,
2.	本田惣一郎	立大	{ 1:10.4, 9:12.0, 17:19.8,	2:28.2, 10:33.4, 18:42.4,	3:49.0, 11:55.6, 20:00.6.	5:08.2, 13:16.4,	6:29.2, 14:38.0,	7:50.8, 16:59.4,
3.	メデイカ	米國	{ 1:13.0, 9:29.6, 17:55.2,	2:34.8, 10:54.0, 19:21.0,	3:56.8, 12:18.4, 20:49.6.	5:19.4, 13:42.0,	6:42.8, 15:06.8,	8:06.0, 16:31.2,
4.	越戸優一	盛岡中	{ 1:12.0, 9:40.4, 18:27.6,	2:34.0, 11:07.0, 19:54.0,	3:56.4, 12:35.6, 21:21.0.	5:20.6, 14:03.0,	6:47.0, 15:31.0,	8:14.0, 16:58.0,
5.	關新太郎	湊商	{ 1:16.0, 10:00.2, 19:04.4,	2:41.2, 11:29.8, 20:36.4,	4:07.6, 13:00.0, 21:59.0.	5:35.0, 14:30.6,	7:02.2, 16:00.8,	8:31.4, 17:32.2,

男子 100 米平泳決勝

1.	小池禮三	靜浦游泳	34.6,	1:13.6
2.	葉室鐵夫	日大	—,	1:13.6
3.	伊藤三郎	明大	34.4,	1:16.0
4.	山田弘	稻泳會	—,	1:16.6
5.	野田務	明大	—,	1:16.8
6.	長久俊三	三田水	—,	1:17.0

第三日 八月十六日

男子 200 米自由形準決勝

A. 1.	新井茂雄	立大	29.6,	1:02.4,	1:38.8,	2:14.2.
2.	片岡寅次郎	稻泳會	30.2,	1:05.2,	1:41.8,	2:19.6.
3.	宮本茂	多度津中	31.0,	1:06.2,	—,	2:19.8.
4.	壺田重三	稻泳會	—,	1:07.0,	—,	2:24.4.
5.	中村岩太郎	日大	—,	1:07.4,	—,	2:28.8.
6.	横山禎三	中大	—,	1:08.8,	—,	2:37.6.
B. 1.	杉浦重雄	稻泳會	30.2,	1:03.8,	1:43.0,	2:19.8.
2.	佐々木猛	日大	—,	1:08.8,	—,	2:22.6.
3.	市野重治	立大	—,	1:08.4,	—,	2:23.4.
4.	杉田芳郎	中京商	—,	1:08.4,	—,	2:23.8.
5.	木佐森駿雄	稻泳會	32.0,	1:08.4,	1:47.0,	2:27.2.

女子 200 米平泳豫選

A. 1.	壺井宇乃子	女子體專	44.8,	1:34.6,	2:26.8,	3:16.6.
-------	-------	------	-------	---------	---------	----------------

	2.	後藤光子	愛知淑徳	—,	1:40.2,	—,	3:24.8.
	3.	梶岡宏江	土肥女	—,	1:39.6,	—,	3:26.0.
	4.	原日出子	女子體專	—,	1:39.6,	—,	3:27.0.
	5.	山野壽	島田女	—,	1:45.4,	—,	3:45.4.
	6.	増山ユキ	平塚女	—,	1:47.4,	—,	3:47.6.
	7.	薄井靜代	二葉俱	—,	—,	—,	3:58.2.
B.	1.	村田ミチ子	羽衣女出	46.0,	1:38.4,	—,	3:27.8.
	2.	榎マサノ	土肥女	—,	1:41.2,	—,	3:29.8.
	3.	東トヨ	京府一女	—,	1:40.2,	—,	3:31.2.
	4.	山下ヨシ枝	京二條女	—,	—,	—,	3:38.6.
	5.	齋藤房江	日泳會	—,	1:43.6,	—,	3:40.6.
	6.	平野文子	横濱高女	—,	1:48.0,	—,	3:45.4.
	7.	岩崎二三江	二葉俱	—,	1:54.4,	—,	4:02.4.
C.	1.	南里千瑳子	神戸二女	—,	1:35.6,	—,	3:19.6.
	2.	吉田壽子	横濱高女	—,	1:38.0,	—,	3:22.4.
	3.	中山絹子	徳島女	—,	1:39.4,	—,	3:27.8.
	4.	飯澤須賀子	中泉女	—,	1:42.0,	—,	3:28.4.
	5.	渡邊スミ子	筑紫高女	—,	1:43.8,	—,	3:38.4.
	6.	榊原住代	久留米女	—,	1:41.4,	—,	3:42.2.

男子 100 米背泳準決勝

A.	1.	キーフアー	米國	31.8, (正式)	1:07.4
	2.	兒島泰彦	三田水	—,	1:10.4
	3.	鷺谷光明	宮城工業	—,	1:12.4
	4.	山本恭之介	稻泳會	34.6,	1:13.8
	5.	内館洋	稻泳會	—,	1:16.4
B.	1.	吉田喜一	稻泳會	—,	1:10.0
	2.	阪本响一	立大	33.8,	1:11.6
	3.	谷口利弘	日大	36.8,	1:14.0
	4.	門屋桂	立大	35.8,	1:14.0
	5.	平賀猛	立大	—,	1:16.0
	6.	長谷繁	大阪貿易	—,	1:21.4

女子 200 米自由形準決勝

A.	1.	宅間美惠	羽衣高女	1:21.6,	2:54.4
	2.	梅村米江	椚山女	—,	2:54.6
	3.	鈴木美代子	愛知淑徳	1:24.8,	2:56.4
	4.	藤田アサ	中泉高女	—,	3:05.0
	5.	飯島富子	東府六女	1:24.8,	3:05.2
	6.	立松京子	椚山女	1:26.8,	3:05.8
	7.	鳥居久子	神田高女	1:34.0,	3:22.2
B.	1.	古田ツネ子	中泉高女	1:20.6,	2:54.6
	2.	谷口美代子	京二條女	1:21.8,	2:55.4
	3.	三鬼百合子	土肥高女	1:26.2,	2:56.0
	4.	村岡雪華	關西女俱	1:21.8,	2:59.4
	5.	立松品子	椚山女	1:24.4,	3:00.0
	6.	須藤光代	横濱水協	—,	3:12.0

7.	山田映子	京府一女	1:31.8,	3:15.2
C. 1.	三浦ハナ	横濱高女	1:22.6,	2:55.4
2.	天野貴子	土肥女	1:24.0,	2:56.4
3.	岸田静江	京府二女	1:24.5,	3:05.0
4.	光永初子	常盤松女	1:26.4,	3:07.6
5.	坂口ヨシ	中泉女	1:23.4,	3:10.4

男子 200 米平泳準決勝

A. 1.	野田務	明大	—, 1:20.6,	2:47.2
2.	小池禮三	静浦游泳	—, 1:20.4,	2:49.4
3.	ヒギンズ	米國	—, 1:21.4,	2:50.4
4.	林田睦夫	日大	—, 1:21.4,	2:51.6
5.	山口正保	明大	—, 1:20.4,	2:52.0
6.	三輪春雄	稻泳會	—, 1:24.8,	2:58.2
B. 1.	葉室鐵夫	日大	36.0, 1:19.4,	2:45.6
2.	伊藤三郎	明大	36.8, 1:19.2,	2:48.8
3.	長久俊三	三田水	—, 1:20.6,	2:50.2
4.	大浦誠一郎	立大	—, 1:22.4,	2:52.0
5.	寺田武實	稻泳會	—, 1:21.8,	2:51.8
6.	田畑三郎	京都二商	—, 1:23.2,	2:57.2

女子 100 米背泳豫選

A. 1.	宮井良子	京府一女	1:30.4	4. 畝川澄江	土肥女	1:35.6
2.	小田アイ子	筑紫高女	1:31.6	5. ステルウエル	横濱水協	1:39.8
3.	泉百合子	京府二女	1:31.8	6. 森菊代	平塚女	1:41.4
4.	佐々木和子	平塚女	1:33.2	7. 大瀧キミ枝	麴町高小	1:46.4
5.	大橋ユカ	京都二條	1:34.4	C. 1. ロールス	米國	1:28.4
B. 1.	伊藤サトシ	中泉女	1:26.6	2. 山本ウタ	愛知淑徳	1:30.0
2.	曾田昌子	宏島高女	1:31.6	3. 北島静子	椋山女	1:31.8
3.	北畑文枝	椋山女	1:34.8	4. 山根歌路	京四條女	1:37.8
				5. 吉田文代	千代田女	1:40.0

男子 200 米自由形決勝

1.	新井茂雄	立大	29.4,	1:02.0,	1:38.6,	2:13.2.
2.	杉浦重雄	稻泳會	30.4,	1:03.4,	1:39.2,	2:13.8.
3.	宮本茂	多度津中	—,	—,	—,	2:19.2.
4.	片岡寅次郎	稻泳會	30.0,	1:05.0,	1:41.0,	2:19.2.
5.	佐々木猛	日大	30.6,	1:05.2,	1:43.0,	2:22.6.
6.	市野重治	立大	—,	1:06.4,	—,	2:23.4.

女子 200 米平泳決勝

1.	壺井宇乃子	女子體專	43.8,	1:32.8,	2:24.6,	3:16.0.
2.	南里千瑳子	神戸二女	44.8,	1:34.8,	2:28.2,	3:18.4.
3.	後藤光子	愛知淑徳	—,	1:36.4,	—,	3:22.2.
4.	吉田壽子	横濱高女	—,	—,	—,	3:24.6.
5.	中山絹子	徳島高女	—,	1:39.0,	—,	3:28.4.
6.	村田ミチ子	羽衣女出	—,	1:40.2,	—,	3:28.8.
7.	梶岡宏江	土肥女	47.0,	1:39.0,	—,	3:28.8.
8.	東トヨ	京府一女	42.2,	—,	—,	3:34.6.
9.	榎マサノ	土肥女	49.0,	1:44.0,	2:40.0,	3:35.6.

男子 100 米背泳決勝

1.	キ ー フ ア ー	米 國	31.8,	1:07.0, (日國新)
2.	吉 田 喜 一	稻 泳 會	33.0,	1:09.4,
3.	兒 島 泰 彦	三 田 水	32.0,	1:09.6,
4.	阪 本 响 一	立 大	—,	1:11.4,
5.	鷺 谷 光 明	宮 城 工 業	—,	1:12.2,
5.	谷 口 利 弘	日 大	—,	1:13.6,

女子 200 米自由形決勝

1.	古 田 ツ ネ 子	中 泉 女	37.2,	1:20.6,	2:05.8,	2:52.6,
2.	宅 間 美 惠	羽 衣 女	39.0,	1:20.8,	2:07.4,	2:52.8,
3.	三 浦 ハ ナ	横 濱 女	39.2,	1:23.0,	—,	2:53.4,
4.	梅 村 米 江	梶 山 女	—,	1:23.6,	—,	2:53.8,
5.	三 鬼 百 合 子	土 肥 女	39.4,	1:23.2,	2:10.4,	2:54.4,
6.	鈴 木 美 代 子	愛 知 淑 德	—,	1:23.0,	—,	2:54.6,
7.	谷 口 美 代 子	京 二 條 女	—,	—,	—,	2:55.4,
8.	天 野 貴 子	土 肥 女	—,	1:24.8,	—,	2:58.2,
9.	岸 田 静 江	京 府 二 女	39.0,	1:27.0,	—,	3:09.8,

男子 200 米平泳決勝

1.	葉 室 鐵 夫	日 大	35.8,	1:16.0,	1:59.0,	2:40.4, (日世長記)
2.	小 池 禮 三	静 浦 游 泳	36.8,	1:18.2,	2:02.0,	2:44.4,
3.	野 田 務 明	明 大	37.2,	1:19.6,	2:02.8,	2:45.2,
4.	伊 藤 三 郎	明 大	37.0,	1:20.9,	2:04.6,	2:49.0,
5.	長 久 俊 三	三 田 水	—,	1:21.4,	—,	2:51.0,
6.	ヒ ギ ン ス	米 國	37.2,	1:21.8,	2:05.8,	2:52.6,

女子 100 米背泳決勝

1.	ロ ー ル ス	米 國	40.0,	1:24.2, (日國新)
2.	伊 藤 サ ト シ	中 泉 女	41.8,	1:26.2,
3.	山 本 ウ タ	愛 知 淑 德	42.0,	1:29.0,
4.	北 島 静 子	梶 山 女	—,	1:30.8,
5.	宮 井 良 子	京 府 一 女	—,	1:30.8,
6.	小 田 ア イ 子	筑 紫 女	—,	1:31.6,
7.	曾 田 昌 子	廣 島 女	—,	1:31.6,
8.	北 畑 文 枝	梶 山 女	44.0,	(1:34.2,)

男子 1500 米決勝

1. 高橋弘 (三田水)	2. 田中英作 (稻泳會)	3. 本田惣一郎 (立大)	4. 天野富勝 (八幡製鐵)	5. 本間俊夫 (立大)	6. 寺田登 (三田水)	7. メデイカ (米國)	8. 渡邊龍治 (静浦游泳)	9. 中村節彦 (大阪商業)
1:08.6	1:11.0	1:09.6	1:12.4	1:11.2	1:10.2	1:11.8	1:16.2	1:12.6
2:24.0	2:28.2	2:25.6	2:31.6	2:28.8	2:27.0	2:31.6	2:28.8	2:34.6
3:41.2	3:46.6	3:44.4	3:52.8	3:48.4	3:45.0	3:53.6	3:48.6	4:01.4
5:00.4	5:05.4	5:04.8	5:13.0	5:09.0	5:05.8	5:15.4	5:11.2	5:26.6
6:19.8	6:25.0	6:25.2	6:35.2	6:29.0	6:26.8	6:38.4	6:35.6	6:52.0
7:40.2	7:44.0	7:46.4	7:56.6	7:49.2	7:50.0	8:03.8	8:01.6	8:19.0
9:00.6	9:04.4	6:07.2	9:18.6	9:11.0	9:12.8	9:27.8	9:32.0	9:44.0
10:20.6	10:24.4	10:28.2	10:40.2	10:33.6	10:37.0	10:52.8	11:00.8	11:10.2
11:41.8	11:44.6	11:49.4	12:01.6	11:57.0	12:01.6	12:17.8	12:30.0	12:37.2
13:02.4	13:04.6	13:11.0	13:23.6	13:21.8	13:26.8	13:44.2	13:58.6	14:02.8
14:23.2	14:25.6	14:33.0	14:45.0	14:47.0	14:52.0	15:10.2	15:22.6	15:25.8
15:42.0	15:47.2	15:54.4	16:06.4	16:13.0	16:14.2	16:36.4	16:47.4	16:55.4
17:01.8	17:08.6	17:16.0	17:29.6	17:38.4	17:42.6	18:02.6	18:13.2	18:23.2
18:22.0	18:31.2	18:38.2	18:51.4	19:03.2	19:05.8	19:33.0	19:43.3	19:50.8
19:37.8	19:50.6	19:58.2	20:10.0	20:25.4	20:26.6	20:59.6	21:10.4	21:11.4

全日本水上競技選手権飛込を語る

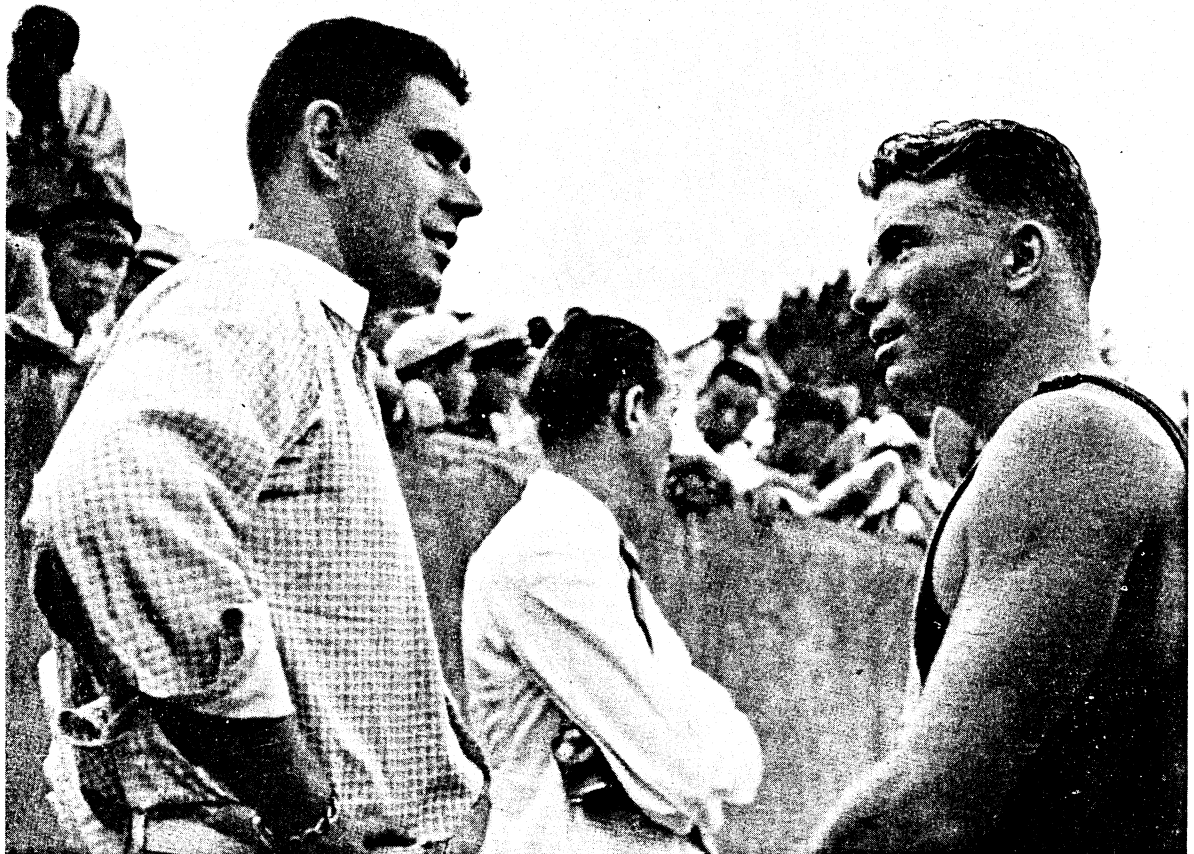
原 秀 夫

来るべき東京オリンピックに向つて、日本飛込陣強化第一年目の事業として米國の二選手を招聘しての日本選手権飛込競技は、我が飛込界の異常な躍進により特に日米對抗的の雰囲気さえ織り込んで華々しい大成功裡に戦ひの幕を閉じた。

然し女子選手は兎も角として此の大會のみを以て今年の日本飛込界を語るのは未だ當を得て居ないと思ふ。むしろ選手達が、此の結果により或は米國選手より興へられた何物かをつかんだ後の秋のインタ

今回招聘した、ルート、ロールスの二人が必ずしも現在の米國男女飛込界の第一人者とは云へない事は勿論である、が然し伯林オリンピックの各種目の優勝者であるデゲナー、ウエーン、ポイントンヒルのプロ轉向が報道され、然も其後の米國室内飛込競技の結果から考へて見て此の二人が矢張り現在米國アマチュア飛込界の第一流の選手であり、同時に世界第一流の選手であることは疑ひない、先づ男子のルードについて考へて見ると。

試合前のルート選手



ーカレッヂ戦こそ今から刮目して期待されるものであり、今年度の總決算はむしろ此の後に譲るのが適當と思はれる。

唯此の大會の結果をまとめて見て、この大會により、今回來朝せし米國選手からどんなものを得たかを女子選手を中心として考へて見たいと思ふ。

ルートとロールス

我々が、ルートに最も期待したものは、伯林オリンピック當時のどちらかと云へば未だ未完成だつた彼の飛込がその後の熱心な練習で如何んな風に變化してゐるか、先進者スミス、デゲナー等に見られなかつた何かがありはしないかと云ふ事であつた。

處がロールズは兎も角として、少くともルートについては我々の右の期待は或る程度まで外れてしま

つた。寧ろ、却つて、逆に彼の飛込から伯林當時に見られた彼獨特の雄大な迫力が失はれてしまつた様にさへ感じられた。

我々の期待がこの様に外れたにも拘らず我々は反對に眞に思ひがけない。而も非常に重大なものを彼から得る事が出來た。

デゲナー

先年またデゲナー及び、それ以前に來たスミスも既に其の當時の日本の飛込界にとつては、あまりにも懸け離れすぎた技倆の持ち主ではなかつたらうか、と云ふのは彼等が日本に來朝した時には、既に眞の飛込の基礎練習と云ふものを卒業し、更に本當の、自由な、美事な飛込を飛び盡した後であつたものと思はれる。それ故彼等が日本で見せて呉れた飛込と、練習振りは、もう既に本來の飛込や、練習振りから離れて、(或は一步上つたと云へるかも知れない)それは飛込競技會に於て飛ぶ飛込であり、如何にすれば競技會に良い成績を示しうるかの練習に外ならなかつたものと思はれる。今此處に先年來朝したデゲナーの助走、踏切を回顧しやう、彼の助走、踏切は眞に靜かで美しかつた。且ゴツゴツしたところ、或は特に強すぎる様な缺點は何處にも見られなかつた。

ところがそれ以前ロサンゼルスに遠征した島崎コーチ・生江・石田君等にその批評を聞いて見ると、ロサンゼルス大會の時の彼の飛込はもつと數段の氣高さがあつて元氣だつたと云つてゐた。それは恐らくはその當時の彼の助走が、もつと小さきみでスピードがあり、そして其の踏切にも、もつと力一杯の處があつたものと看做してよい。従つてロサンゼルス當時の彼の飛込は多少の失敗はあつたにしても、彼の最も得意とする種目などは日本で示してくれたものより、もつと數段美しく美事であつたに違ひない。

それがライリー・スミスのプロ轉向によつてデゲナーが米國の第一人者になるに及んだ、次の伯林オリンピックに於て優勝する爲めには、先づ彼の特徴を生かすよりも、失敗を少くせんと彼のコーチ、ピンクストーンがあのようなスムーズな助走の第一歩から、入水し終るまで、少しの缺點もない飛込にして行つたものと思はれる。

勿論以上のことは彼の歸米後我々一同が話し合つた事だつたのであるが、その當時は丁度我が日本の飛込界は伯林大會を目睫に控へての時ではあり、我々の最大の望みは先づ先の事よりも如何にして伯林

で、一本の日章旗を上げるかであつた爲に、後に残つた留守の連中にも恐らくは充分に彼の飛込技術を批判しえず且、擱めなかつたのだらうと思はれる。故に知らず知らずの間にデゲナーの見せたものをそのまま眞の飛込として取り入れそれを眞似してしまつたのではなからうか。

ルート批判

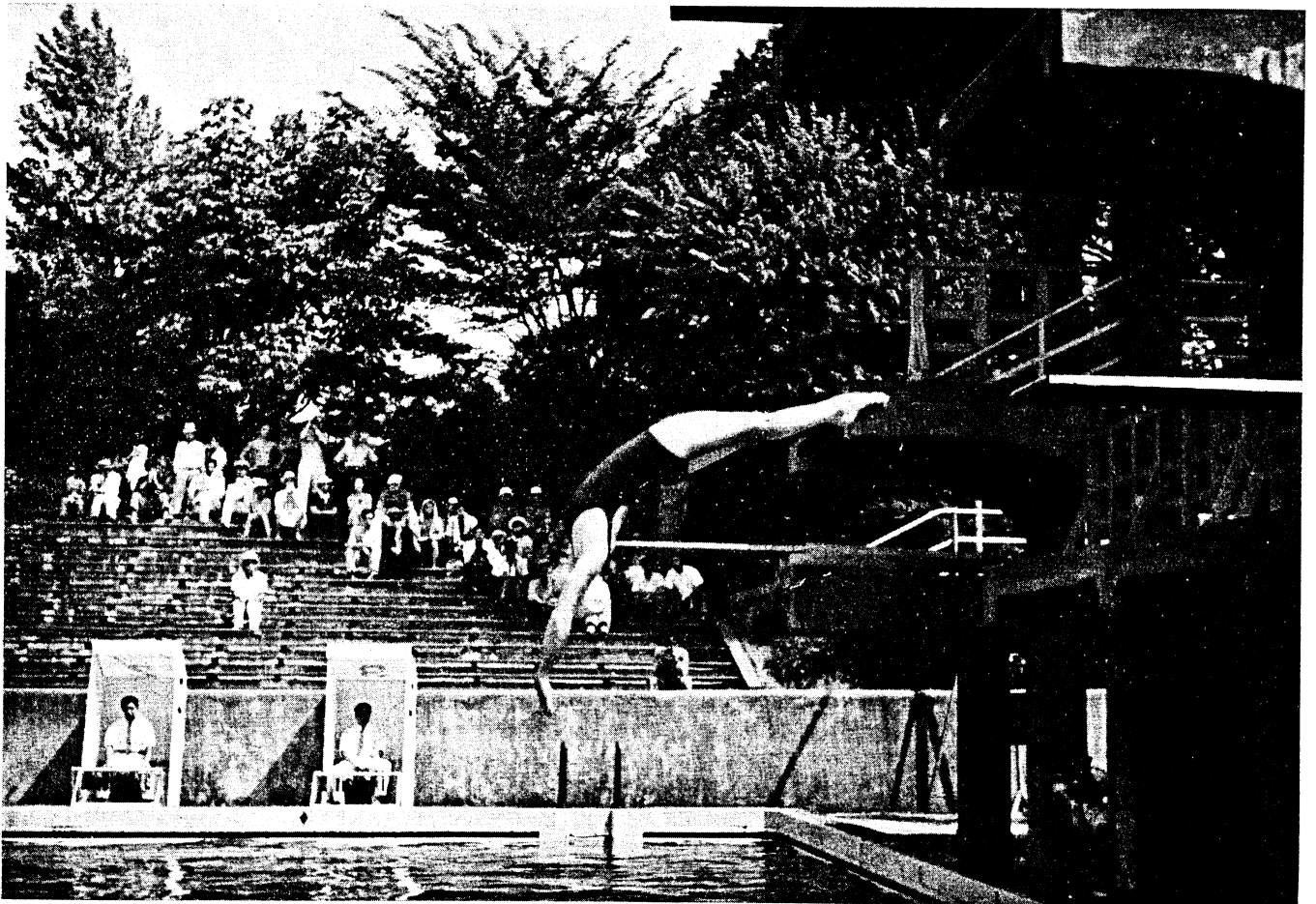
處が今年のルートの飛込はどうだつたらうか。板の末端に何氣なく立つて、極めて無雜作にチョコチョコと歩いて行く助走、極めて平然と、思ひ切り踏み切る彼の踏切、そして身體を板まかせにして何のくつたくもなく飛び出しては水に落ち込んで行く。それ故彼の飛込はデゲナー、スミスの様に何時でも必ず正確に水に入りはしなかつた、その上競技の時には失敗したものさへあつた。むしろその點では我が柴原の方が數段正確だつた様である。にも拘らずそれを見た我等にはどう感ぜられたらうか。少くとも其處には我が柴原より數段伸び伸びとした良さが充分感ぜられ、飛込全體としては矢張り柴原よりも一段優れてゐた様に様へたのは恐らく自分獨りではあるまい。勿論彼の飛板飛込は未だ未完成なものに違ひない。然し彼は決して先を慌てゝは居ない様だ。彼はあくまで自由な樂な、助走、踏切によつて飛び、入水角度の爲に空中で無理なテクニクを決して使はうとしない。やがては其等が絶えざる練習によつてひとりで、幾つ飛んでも殆んど狂ひのない様になるに違ひない。そして恐らく彼はそれを待つて、其の後に幾多彼の先輩がやつた様な細い點の整備に移つて行くのではなからうか。

ロールス批判

次にロールスについて考へて見よう。

ロールスは既に色々で紹介された様に、ルート等とは違つて現在アマチュア女子飛板飛込の世界一とは萬人の認めるところであらう。

従つて今度の選手權大會の折見せた彼女の飛込もあらゆる點について眞に見事で、以て範とするに足るものと信ずる。従つて今は昔玉川プール華かなりし頃來朝したミーニー嬢以來女子飛込選手の絶えて久しく來朝しなかつた事から考へて眞の女子飛込の良さが何處にあるかを日本の連中に、一般の人々にも見せたいと云ふ、聊か漠然としてはゐるが、甚だ大きな期待も彼女については可成り充分成功したと思つてゐる。今後女子の飛込選手が練習を始める場合にも、ロールスの様に飛べと云つても殆んど間違ひではあるまい。その上彼女は、又彼女が女子競技



女子飛板飛込決勝に於ける米國ロールズ嬢のフォーム

者としての殆んど理想的と思はれる氣持、少くとも日本の女子選手には見られない様な競技に對する強い氣持を持つてゐる事を示してくれた。

それは過日アサヒ・スポーツだつたかに書いて見たことなので詳細は略したいが、あの美事な飛込が實は彼女の天才から生れたのではなくて、苦しい練習によつて——恐らくはこの練習をやつてゐる間に競技に臨んだ場合の彼女の普段とは全く違つた、物凄いばかりの強氣が養成されたのだらう——始めて出來上つたものであることを一言して置くに止める。

彼女の飛込そのものについては、見られた通りで多言は要すまいと思はれるが、殆んど全部腰から下、殊に足首の物凄いスナツプの強さによつて出來てゐる様に思へた。従つて空中或は入水時の彼女の足の伸びの見事さは、實は彼女が殊更美しく見せ様と思つて無理に伸してゐるのではない。それどころか彼女の女の伸びにして若し途中で多少でもあの伸びでも緩んだとせんか足のみで飛んでゐる彼女の飛込は即座に崩れて水に落ちてしまふに違ひない。

然しそれだからと云つてこれが悪いと云ふのでは毛頭ない。むしろ、之れが本當の飛び方であり、飛

び込みであつて到頭日本の連中が踏切を忘れて、唯空中でいたづらにロールズの様子に足を伸ばさうとするのは反つて甚だ無理千萬な事なので、若しそれを無理にやれば、その爲に、飛込全體の平衡が失はれる結果になる事明白なのである。

唯一つロールズ嬢について、我々の最も残念だつた事は、再三再四の懇請にも拘らず、彼女が高飛込に出場しなかつた事である。日本の女子高飛込は伯林大會の結果でも知られてゐる様に、日本飛込界の中でも最も世界に充實した種目であり、それ故世界一に正確な日本の審判の前で當時の接戦振りを今一度再現させ、あはよくば之に打ち勝つてやらうと、大いに期待してゐただけに何とも眞に残念なことであつた。

收 穫

さて結局以上の結果をまとめて見ると、今後日本の飛込選手（水聯 A、B、C の三クラスの中に入るべき技倆のもの）の最も注意すべき處は次の様な諸點にあるのではあるまいか。

1. 助走

歩數・距離等をもつと自由にして、體重が水の流

れる様に滑らかに前に移動する様にする事。その爲には従來の各人の助走は、一步一步の歩幅が大股すぎるのではあるまいか。もつと助走距離を短くして歩幅をせばめるのも良し、又従來の距離のままで歩數を増すのも良からう。

2. 踏切

競技會用の特別の練習でない限りもつと思ひきつて踏み切る方が良い。然しそれは必ず腰から下でなされるべきで、同時に體に、足に、入れた力で踏切るのでなしに、敏捷な膝の、足首の動きで踏む様に。

3. 空中

身體を板まかせにして腰から下を締め、極めて大膽に飛び出し、決して空中で入水角度の事を氣にせぬ様にする事、そしてむしろ一つ一つの飛込がどん

べきである。

勿論以上の方法は競技會を或る程度除外視しての練習法であるので、競技に向つての練習ならば之等の上に更に、競技用の練習を加へねばならぬ事は云ふ迄もあるまい。

扱て次に今度の選手權大會の各種目について圖表を中心、その経過、結果を考へて見ると、

女子高飛込

ロールズ嬢の不出場により、國際的の雰囲気はなかつたが、一位と六位との差が八點二五と云ふ結果のみによつても充分窺ひ知る事が出来る様に、内容の極めて充實した興味ある戦ひであつた。殊に大澤政代が飛板の非常な進歩と共に、従來比較的不得意

女子高飛込

飛込順	姓名 所属	規定飛				順位 所属 姓名
		1	2	3	4	
6	田中 (無)	8.14	16.93	26.79	36.15	S.S.D 大澤政
2	林 (無)	7.92	16.56	25.33	32.61	美 大澤礼
5	大澤礼 (美津濃)	7.81	16.29	22.58	31.42	関西女 横山
3	大澤政 (三省堂)	6.93	15.58	22.44	30.61	無 山東
1	横山 (関西女)	6.60	12.90	22.42	29.08	無 田中
4	山東 (無)	5.94	12.12	22.06	27.90	無 林

な角度に落ちるかを試して見る位の心懸けで。

4. 入水

これはあくまで競技種目の練習から離れて容易い種目によつて出来れば一米で練習した方が良くと思ふ。然し日本の飛込の最大の缺點が此の入水及び入水前の身體の伸びにある事は明白なのであるから、他の練習よりより一層此の練習をやる事を心懸ける

だつた高飛込にも又異常な躍進を見せ、前回の覇者大澤禮子と接戦し、五米のフアンシイ二種目となつては飛板の豊富な經驗を生かして優勝した。二位大澤禮子は今年始め飛板に進出したために高飛込に多少練習不足は免れず、殊に前述の如く五米の二種目は充分ならず従つて敗れたが、彼女の飛板の二位と合せ考へる時、之又非常なる躍進を見せたものと云

ふべく、過ぐる伯林オリンピック當時よりの姉妹のこの奮闘努力振りは斯界の爲め眞に感謝に堪えぬ次第である。

三位以下は表の示す様に文字通り、大接戦で第三の種目迄稀少の差ではあつたが五位六位に居た山東横山の二人が最後の後飛に美事なフォームを見せて前者は四位、後者は三位に躍進し、後者の最も不得意な田中林の二嬢は、前半のリードを守り切れず僅少の差を以て五位六位となつた。

三位横山は其の美事な身體と共に、フォームには殆んど難なく、正に國際的と思はれるが、反面入水

男子高飛込

ルートの不調と柴原の奮闘により、此の競技の際には最も日米對抗的氣分を横溢させ觀衆を大いに緊張させた競技であつたが、その内容は飛板に比べて可成り低く、オリンピック第二位のルートも僅かに前宙返り二回半に見事な飛込を見せて漸くその面目を維持した様な始末であつた。

柴原は此の日も大童になつて奮闘し、規定四種目ではルートを四・一二點も離し乍ら得意の二回半に

男子高飛込

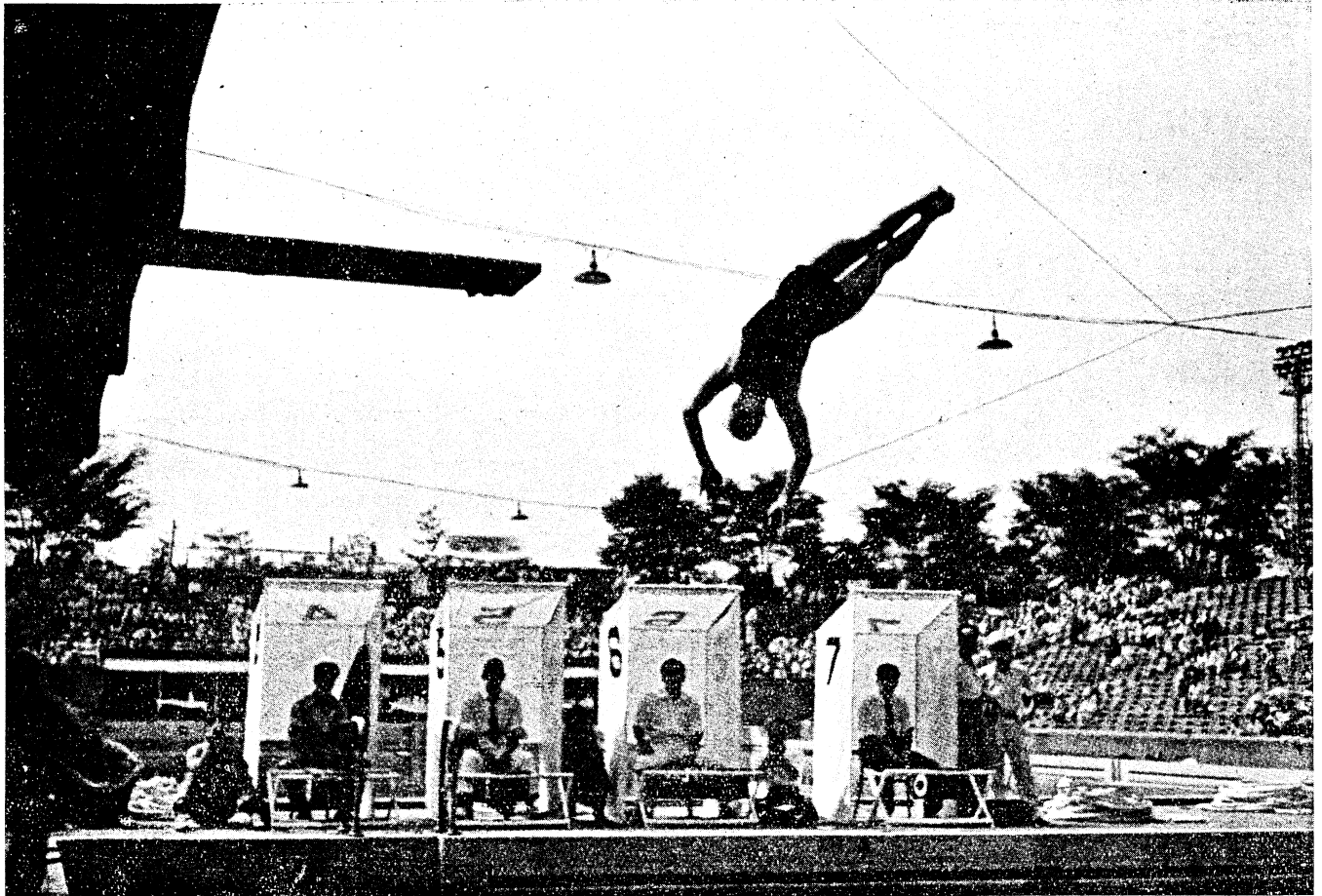
飛込順	姓名 所属	規定飛				選擇飛				順位 所属 姓名
		1	2	3	4	1	2	3	4	
5	柴原 (日大)	○ 9.00	○ 24.77	○ 39.02	○ 50.12	○ 63.60	○ 79.22	○ 94.40	○ 109.36	米 ルート
7	ルート (米國)	○ 8.76	○ 24.34	○ 34.60	○ 46.00	○ 62.00	○ 78.94	○ 92.74	○ 104.24	日大 柴原
4	小柳 (稻泳會)	○ 8.40	○ 23.60	○ 33.05	○ 40.25	○ 51.61	○ 65.24	○ 81.74	○ 95.82	稻泳會 小柳
16	末次 (フロッグ倶 楽部 稻泳會)	○ 8.16	○ 22.03	○ 28.54	○ 38.14	○ 50.72	○ 59.21	○ 70.41	○ 79.41	稻泳會 瓶子
8	永井 (明大)	○ 6.00	○ 18.04	○ 26.78	○ 36.68	○ 49.22	○ 58.58	○ 68.08	○ 75.22	フロッグ 倶楽部 末次
			○ 17.40	○ 23.48	○ 30.98	○ 45.06	○ 55.14	○ 66.16	○ 73.20	明大 永井

極めて悪く、今後此の點への精進を積めば、その將來の大成は充分期待できる。

山東田中の二嬢は、昨年来より登場した新人で、共にその奮闘振りは絶讃に値するが、未だ日淺い彼女等が、之れを機會に、先を慌てずもう一度元に戻つての猛練習を大いに期待する次第である。ヴェテラン林の六位は眞に氣の毒だつた。然し競技數日前より從來の聊か競技者らしからぬ氣持を捨て、更生振りは斯界の爲に眞に喜ばしく、今此處では細評を捨て、その將來に期待をかけやう。

意外な失敗をし、更に或は優勝をさへ決するかと思はれた、最後の後二回宙返りにも評點五點と云ふ致命的な失敗をして、精神的な弱さを、感ぜしめたのは同人の前半の善闘と思ひ合はせて誠に残念なことであつた。勿論未だ年若い彼に多くを望むのはむしろ酷にすぎる嫌ひがないでもないが今一段の奮闘を日本の爲に切望する。

三位小柳も此の日は、前日の疲勞か比較的の不調で規定飛第三に、評點二・六點と云ふ致命的な失敗をし、その後の奮闘よく三位とはなつたが全八種目を



女子飛板飛込に於ける大澤禮子嬢

通じて見てその中に二點六差が見られる事は國際的選手にあるまじき事と云ふべく洋々たる將來を期する君だけに、敢へて三省せられん事を望む。

四位は飛板の經驗と美事な身體が物を云つて瓶子（早大）の占める處となつたが飛板の項にも述べた様に一位との差三〇點は何としても淋しく、兩種への猛烈な精進、努力により見事日本の No. 3. を贏ち得るに至つたその勞を多とすると共に、來るべきインターカレッジの奮闘を期する。

男子飛板飛込

出場者十六人と云ふ未曾有の盛況振りを見せたので不得止聯盟規約により規定飛五種目により、ベスト七人を選び、この七人により残りの選擇飛が飛ばれ決勝が行はれた。

最初よりルート柴原の共に極めて好調で接戦を續けたが概して規定飛は終始ルート僅かに秀れ、選擇飛に移るや第一第二第三と柴原は猛然之れを追ひかけて、一時點差を三・二八點に迄つめ、あはやと思はせたが、後の二種目に到るや、ルート流石に強く

殊に最後の一回捻りから前宙返り一回半には殆んど完璧の出來を見せて二〇點〇一と云ふ當日の最高點を出して見事日本選手權を獲得した。柴原は惜しくも二位とはなつたが此の月の奮闘振りは眞に目覺くこの競技により同人の飛込は今や完全に世界的のレベルに達してゐる事が立證された。然し彼の技とても完璧に至るまでには勿論未だ程遠い。否むしろ此の程度までは誰でも行けると云ひ切れるかも知れない。

今後の一步前進こそ文字通り難嶮に違ひない。それ故今後の彼に望むものは技術の練習と共に大選手としての精神的方面の修練を今一層怠らぬ様、其の努力を謝すると共に敢へて苦言を呈する次第である。

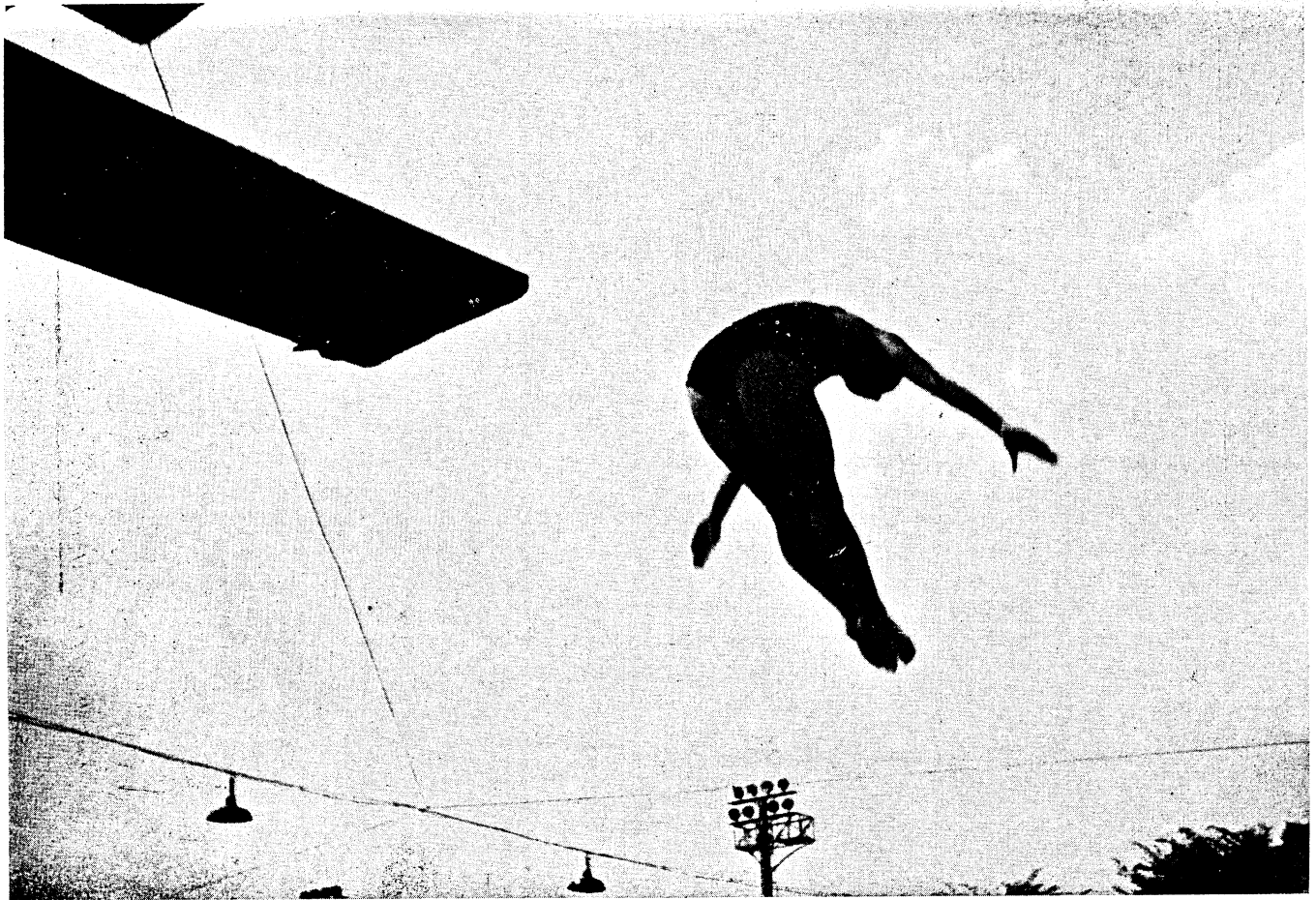
三位の小柳の奮闘振りも目覺しかつた。殊に規定飛では終りの二種目に見事な飛込を見せて一時柴原をリードする躍進振りを見せた。選擇飛第二の後宙返り一回半に致命的失敗をしたので其後の奮闘にも拘らずルートとは約十七點餘りの開きとなつてしまつたが來るべき東京オリムピックに於ける同人の飛

男子飛板飛込

飛込順	姓名 所屬	規定飛					選擇飛					順位 所屬 姓名
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
6	ルート (米國)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	米 ルート
3 15	柴原 (日大) 小柳 (稲泳會)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	日大 柴原
13	杉原 (慶大)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	稲泳會 小柳
16	瓶子 (稲泳會)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	稲泳會 瓶子
7	加茂 (稲泳會)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	稲泳會 加茂
												慶大 杉原

女子飛板飛込

飛込順	姓名 所屬	規定飛					選擇飛			順位 所屬 姓名
		1	2	3	4	5	1	2	3	
6	ローズ (米國)	○	○	○	○	○	○	○	○	米 ローズ
3	大澤政 (三省堂)	○	○	○	○	○	○	○	○	SSD 大澤政
7	大澤礼 (美津濃)	○	○	○	○	○	○	○	○	美 大澤礼
1	田中 (無)	○	○	○	○	○	○	○	○	関西女 横山
5	林 (無)	○	○	○	○	○	○	○	○	無 田中
4	横山 (関西女)	○	○	○	○	○	○	○	○	無 林



女子飛板飛込決勝に於ける大澤政代嬢

込が今から楽しまれてならないのは一人自分のみではあるまい。助走、空中の動き、等に未だ多少のギョチなさが残つて居り飛込全體として相當難がある様であるが、好漢の益々今後の奮闘を祈るものである。

四位以下は圖の通り眞に接戦であり、殊に瓶子(早大)は高飛込にも奮闘四位となつて居るが、三位小柳との差三〇點は聊か淋しく矢張り五位加茂六位杉原等と共に、如何にしても練習不足と云ふ感じがありありと見える。勿論その目標が秋のインターカレッジに主として向けられてゐる連中と思はれるので細かい批評は次の機會に譲るが今一層の猛練習を衷心より願ふ次第である。

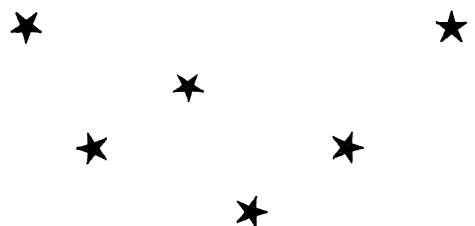
女子飛板飛込

世界一のロールスは流石に終始強く大澤姉妹の必死の奮闘も到底之れに及ばず二位大澤政代との點差十六點一七を以て日本選手權を獲得した。

殊に規定飛第三の走前逆飛(伸型)選擇第一の後

踏切前飛半回捻り、等の得意の種目はその美事な身體と相俟つて眞に美しく審判も觀衆も思はず感嘆の拍手を惜しまなかつた。然し、同時に日本の女子選手も全般的に、非常な躍進を見せ、オリンピック選手大澤姉妹は勿論、關西の横山新進田中選手等はその將來が楽しまれてならない。

總じて未だ腰から下の強さ伸びが不充分であり入水にも難がある様であるが、今回のロールス嬢の飛込はその何れの部分を採り入れても、以つて日本選手の範とするに足ると思はれるので、彼女よりの印象を強く深く頭の中に残して、今後共奮闘される事を望む。



日本水球代表軍

第一次合宿練習報告書

(若山瀧美記)

練習方法

スピード、出足、シュート、パス

日本水球代表軍の練習は、その目的が国際試合にあるのであるから外国チームを対照とする。練習方法は昨年伯林大會遠征に於ける経験により彼我の力量を比較し、更に三年後對戦せる場合を假定して考へ、三年後の大會のための第一歩としての練習方法を採つた。

昨年の伯林大會遠征の経験より彼我の力を比較してみるに、

先づ第一に我が代表と優秀なる外国チームとの攻撃力を比較してみると、その基礎技術に於て我々の優つてゐたのはスピードでそれに伴ふドリブルに於ても一日の長ありと考へられる。

シュート及びパスのテクニクに於ては格段の相異があり、我々の理想とする所を目前に見せられた如き感じを與へられた。これは少年時代からボールを握つて十數年の経験を持つ彼等に比すれば我々のシュート、パスは初心者程度のもので體格の相異から來る壓迫のため我々にとつて一層巧みに見られたのかも知れないが、ボールを掴める彼等に對して、手先の器用さを自負する日本人が極度にその器用さを發揮しても、同等迄行けば幸ひとすべきではあるまいか。

スピードがあり而かもそれを活かすことが出来なかつたのは出足に格段の相異がある如く考へられるが、それは判斷力の鈍さと攻撃法に缺陷があつたためスピードを活かすことが出来なかつたので出足のものから云へば先づ同等と云つて差支へない。

又、キープについては攻撃法にキープの必要を認めなかつたため我々は無視してゐた。

攻撃力の基礎技術比較は以上の如くである。が我々の行つた攻撃を考へてみるに我々は彼等の防禦力に就いて大變な錯誤を犯してゐた。チーム中最も老

練者を配すと云はれるキーパーを持ち、それを信頼しての防禦法を行ふ彼等に對して我々は日本チームに對すると同様な攻撃を行つた。その結果バックは敵フォワードに壓迫されてよいパスが送れず、パスを受ければ何んとか處置出来るフローティングを持たないフォワードは敵ゴールラインとハーフラインの間に位置し、味方ボールとなるやバックの力を過信して直ちに突込んでパスを受けんとして、敵バックの好餌となること多く、又突込みがコーナ目指すこと多くパスを受けてもシュートする機會なく更にフォワード間のショートパス非常に悪く或は敵バックに奪はれ或は無理なシュートをしてキーパーの好餌となるが多かつた。

ロサンゼルス大會に於て得た速攻(逆襲)はその出足及びスピードを利したドリブルによつて絶好のチャンスをつかんだが、ゴール前に味方フォワードが固まつてゐること多く、突込むことも出来ず、又固まつた三人が動いて道を開けばシュートして得點の可能性ある範圍外に出てしまひ折角ノーマークでドリブルして出て來た味方にマークをチェンジされる結果となり、結局ボールを奪はれそれを豫想し或は我バックのドリブルに引き離された敵フォワードにボールが渡り逆に敵にチャンスと與へる結果に終ることが多かつた。

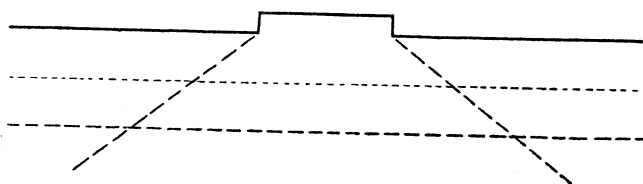
次に防禦力を検討してみるに彼我の基礎技術を比較してみれば、我々はポジションによつて行ふマークの仕方に缺陷があり、特にフォワードはマークの觀念乏しく又判斷の鈍さにもよることであるがフォワードのターン鈍く攻防の判斷を誤つてマークを脱すこと多く、ロサンゼルス大會で逆襲に際するバックのスタートを會得しながらそれを防禦するフォワードのターンを忘れマークを脱したのは片手落であつたと云はねばならない。タックルは體重の軽い我々にとつて不利であり、威力ある敵フローティング、

フオワードに適切、正確なパスが送られた場合は手の下しやうのない場合が多かつた。シュート技術のおくれてゐること、並行して我キーパーの技術は最もおくれな技術の一つであつた。

防禦力の基礎技術比較は以上の如くであるが、我々の防禦の缺陷は攻撃の缺陷から來たもの（例へば速攻が失敗した場合を考慮に入れず攻撃のみに集中し、敵防禦力からすれば無駄なポジションにゐるため敵はマークの必要を認めず逆襲された場合逆に敵にノーマークを與へた如き）もあつたが、大きな缺點としては攻防轉換の判断が鈍く、又フローティング・フオワードを中心とする敵攻撃力に対する防禦力に錯誤を犯してゐたことが擧げられる。技術的に體格的に威力を持つフローティング・フオワードに敵をしてよいパスを送らすことはキーパー及びフローティング・フオワードのマークに取つて殆んど責任が持てないと云つてよい位ひであつた。更に防禦法として敵に飛び出された際のマークのチェンヂに缺點を持つてゐたことは否まれぬ。

以上の検討により我々は次の如き結果を引き出すことが出来る。

1. 攻撃法を作るに當つて先づ第一に敵キーパーに對してシュートして得點の可能性ある範囲を知る必要がある。その範囲は廣い程都合がよいのは勿論であるが、外國チームのキーパーに對して少く共四米線とゴールポストを中心としてゴールラインに四十五度の角度の線以内では得點可能の力を養成しなければならぬし、又その可能性は充分にある。



得點可能の範囲を以上の如く見る時、シュートするものがその範囲内に三人以上止ることは各マークがついてゐることを考へると、シュートする者へのパスは日本チームの實力を以てしては殆んど不可能に近い正確さを必要とし、又三人の動く範囲は非常に限定され體格的に不利をスピードを以て補はんとする日本チームにとつて不利となる。

2. 日本チームは益々スピードを活かす必要がある。

3. スピードを活かすためには攻撃に於ては、敵を惹きつけて後方に位置し、突込んで敵を離し、パスを得る必要がある。そのためには益々スピードの養成を計り出足を伴はせそれによいパスを送ることを考へなければならぬ。

4. 敵キーパーを突破するためにはキーパーの判断を錯亂せしめる攻撃法を用ひる必要がある。

5. 最も我々の長所發揮の可能性ある攻撃は速攻である。

6. 速攻は逆襲のチャンスに敵に與へる危険があるから之れの豫防を考へる必要がある。

7. フローティング・フオワードの必要を認める。

8. フローティング・フオワードは適當なる防禦法により後方に歸へる必要はなくなる。

9. シュートは日本チーム最大の缺點であつて餘程の努力を拂はなければならない。又よいシュートをなさしめるためにはよきキーパーを必要とする。

10. パスはシュートと共に大きな缺點となつた。シュートと共に餘程の努力を必要とする。よきパスなき所によきシュートなきことを忘れてはならない。

11. 防禦力と攻撃力とは相關聯して養成されるものであるが外國チームと對戦する場合フローティング・フオワードによいパスを送らすことは、敵に決定的なチャンスと與へると云ふことを忘れてはならない。従つて防禦に際してフオワードは注意を要する。

12. 強力なキーパーの養成が必要であるが、このためには體格を重視する必要がある、又よきシュートがなければ効果は少い。

13. 逆襲に對するターンの練習を必要とする。特にフオワードに於ては必要である。

14. フローティング・フオワードのマークは餘程のことがない限り、離れてはならない。

15. マークのチェンヂに對する判断力を養成しなければならない。

これを要約すれば我々の長所としてはスピードが唯一の武器であつたこと、又短所としてはパス、シュート、キーパー、ターンの技術が目立つて劣り。判断力の鈍さと敵に攻撃防禦に錯誤を犯してゐたことを指摘することが出来る。

以上の如き経験を基礎として、三年後の東京大會のため、現在如何に準備をなすべきかは大略掴むことが出来る。そのための練習としては種々の方法が考へられるのであるが、今回の第一次合宿は初めての顔合せであり又その期間が一週間なのでナショナルチームの目標を明かにすることを第一として、その實行方法即ち練習は第二とした。

練習方法はゲームを中心とし、これに基本練習を加へ、有効に所期の目標に達すべき練習の實行方法を呑み込むことを主として行つた。

基本練習の方法としては、これを先づ攻撃と防禦

とに分け、攻撃を速攻法と正攻法とに分け、これに對する防禦を地域法と對人法とに分けて行ひ、更にその攻撃法、防禦法に必要な基礎技術を部分的に行ふこととした。

以下今回行つた練習に就いて説明するが、これが練習方法の全部でないことは云ふ迄もないことで、ドリブル・パス、四人組パス、スタート、ターン、

基礎練習 泳ぎ

練習方法

普通クロールの練習を行ふもので、バタ足、ダツシュも必要であり、頭を上げて泳ぐことも必要である。

(注意事項)

(イ) 泳ぎは耐久力とスピードとを養成することを以つて目的とするが、時に日本チームの如くスピードを活かさんとするには、餘程の努力が必要であ

キープ、叩込み等の練習は省略し、泳ぎ等もウォーミングアップの程度に止めたがこれは練習に必要なと云ふことは決してないので、今回の合宿の都合に外ならないのである。

又練習方法を形式化することは、その目標が遠く結果となり易いことで、目標を常に忘れてはならないことを附言して置く。

つて、これは一朝にしてなし得るものではなく、他の技術と同時に行つたのでは充分なる練習は不可能であつて、常にこれを心掛けるようにし、特にシーズン初めやシーズンとシーズンとの餘暇等に力を注ぐべきである。

(ロ) ゲーム間近になつた際は普通ウォーミングアップとして行ひ精力を泳ぎの練習に奪はれなくても差支へないだけの準備が必要である。

基礎練習 ドリブル

練習方法

ドリブルの練習は二十五米或は三十米のダツシュと五十米以上を行ふ耐久力の二方法がある。

(注意事項)

(イ) スピードを活かさんとするに比例してドリブルの練習は必要である。

(ロ) ドリブルの練習の時に耐久力の方は非常に疲労を伴ふので耐久力の練習として泳ぎと同様に取扱ふべきである。

基礎練習 ドリブル・シュート

練習方法

ハーフライン近所の中央兩サイドの三方向より、ゴール前の種々のポジションにドリブルしてシュートする。

(注意事項)

(イ) スピードを利用せんとする攻撃にあつてはドリブルシュートが攻撃の根幹をなすもので特に速攻攻撃に於てはドリブルシュートが出来ないならば

威力は全然なくなるものであつて、今後三年我々はドリブルシュートの威力を計るためには非常なる努力を必要とする。

(ロ) ドリブルシュートのテクニクは種々あるが、最も注意すべきことはモーションを少くすることで敵にタツクルの餘裕を與へざることを主眼とする。先づ腰の所に敵がくついて來ても完全にシュートが出来なければならない。

基礎練習 ラウンド・パス

練習方法

圓形を作り餘り間隔を擴げないで、左右にボール

を廻してショートパスを行ふ。

(注意事項)

(イ) 身體を浮してキャッチパスすること。

(ロ) ボールは必ず空中にて取扱いモーションを小さくする。

(ハ) パスは身體を浮してキャッチするに都合の

よい高いパスを必要とする。

(ニ) 普通ウォーミングアップとして行ふ。

基礎練習

練習方法

二列横隊に平行して並び相手を名指してパスし、次第に距離を延して行く。

基礎練習

練習方法

ゴール前に一列に並び後方よりパスを受けてシュートする。

(注意事項)

(イ) シュートの基本練習であるから全ゆる種類

基礎練習

練習方法

少く共十米以上の距離より一列に竝んでシュートする。

(注意事項)

基礎練習

練習方法

二人の敵對者を竝べて、これに公平にボールを投げて奪つたものはパスし、奪はれたものはタックルする。

基礎練習

練習方法

(A) 鋭く出た者の頭の前へキーパーよりパスす

ロング・パス

(注意事項)

(イ) 遠距離にのみ投げるのが目的ではなく、正確を期することが必要である。

(ロ) 普通ウォーミングアップとして行ふ。

停止シュート

のシュートを練習する。

(ロ) 位置を變へて全ゆるポジションより行ふ。

(ハ) よきパスなき所によきシュートなしと云ふことを忘れずパスはシュートする者の最も都合のよい所へ正確にパスを送ることに努めなければならぬ。

ロング・シュート

(イ) シュートの練習と同時にロングパスの練習となる。ロング・パスの無味乾燥に代はる練習である。

(ロ) パックは特にこの練習を必要とする。

競合ひ

(注意事項)

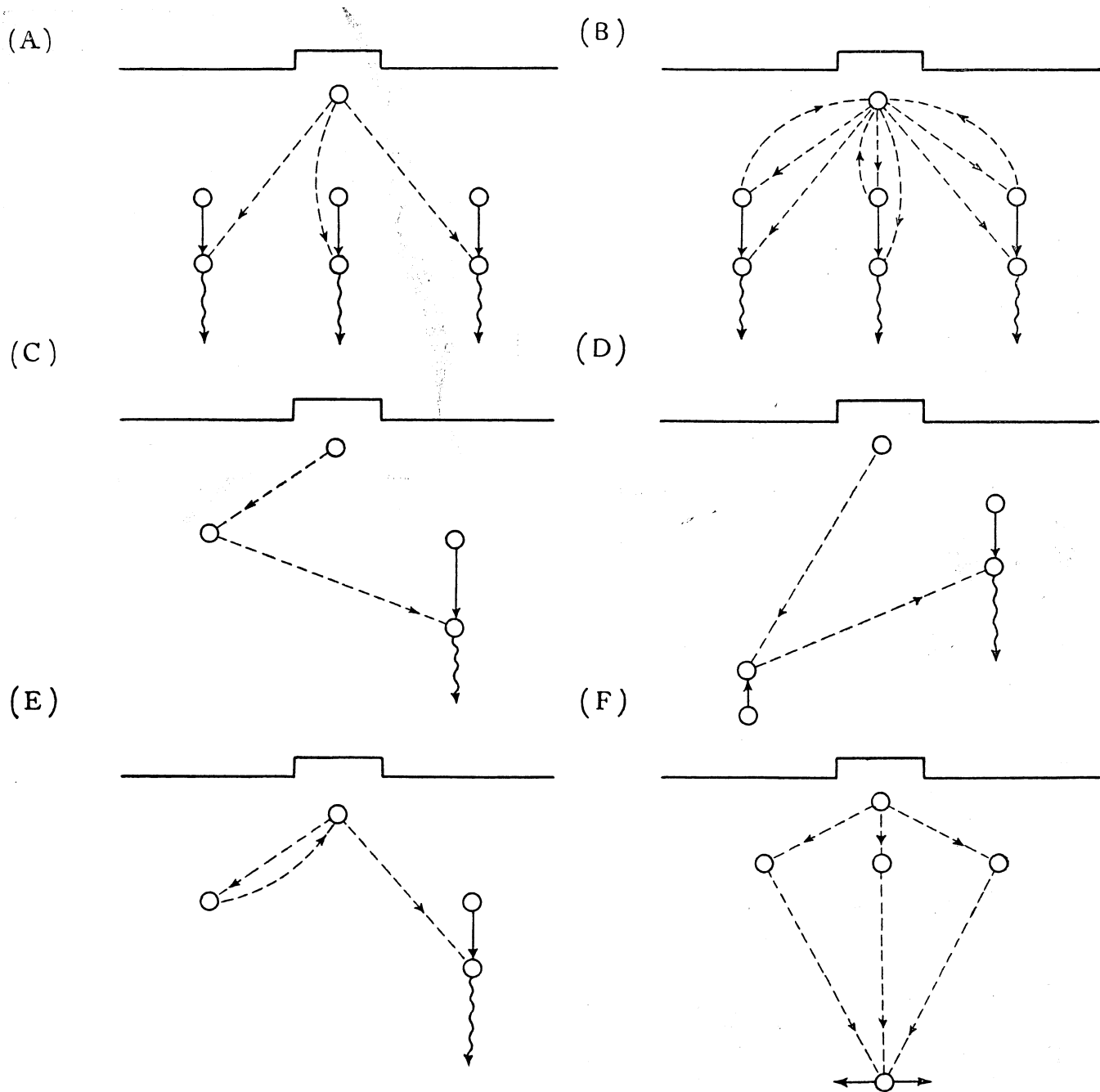
(イ) 競合ひはスタート、叩込み、パス、キープタックル等のテクニクを綜合した練習である。

(ロ) 放任して置くと悪性の反則を犯し勝ちになるから上から見るものは注意すべし。

キーパーと連絡

る。

(B) キーパーよりパスを受け、それを又キーパーに返へして鋭くスタートを起しリターンパスを受



ける。

(C) 二人を両サイドに位置せしめキーパーが一方の者へパスした時他方の者が鋭くスタートしパスを受ける。

(D) ハーフライン近くの者へキーパーよりパスを送り、後方よりスタートした者へパスする。

(E) 二人を両サイドに位置せしめキーパーは一方の者にパスし直にリターンパスを受けてスタートした他方の者へパスする。

(F) キーパーとボールを繰り返へしてパスし合ひながらPにパスする。Pは常に動いてゐてパスを受ける。

(注意事項)

(イ) キーパーのパスは適切正確を要す。

(ロ) パスを受ける者の出足は特に重大である。

(ハ) A, B, C, D, E, は速攻の練習として、熟練する必要がある。

(ニ) Fはロングパスを主とする。

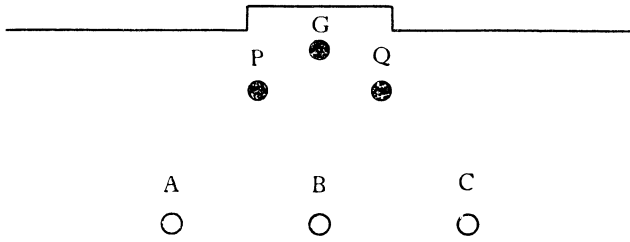
(ホ) キーパーはパスを受ける者の都合のいい場所を覚えてゐなければならぬ。又敵マークのポジション如何によつてパスは種々の變化を要する。

地域防禦練習

練習方法

A, B, C 三人の位置に應じて、P, Q はキーパーG と協力して防禦するに最適なポジションを占め、何れにてもシュートせしめ、これを防止する。

(注意事項)

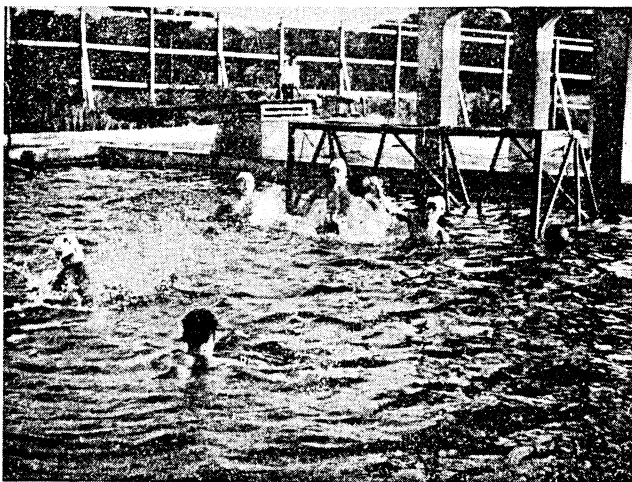


(イ) P, Q はキーパー G の指揮に従つてポジションにつくこと。

(ロ) P, Q はキーパーの邪魔にならぬ様に警戒しなくてはならないシュートに対するテクニクはキーパーが最も信頼するに足ることは云ふ迄もないことで、P, Q, は一部分を負担することで充分である。

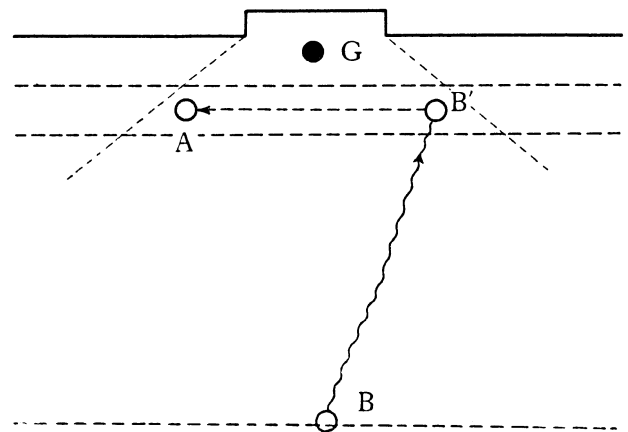


地域防禦練習 I を上から見た所でシュートをバツクが叩かんとする瞬間。



地域防禦練習 I でシュートした瞬間。

速攻練習 I



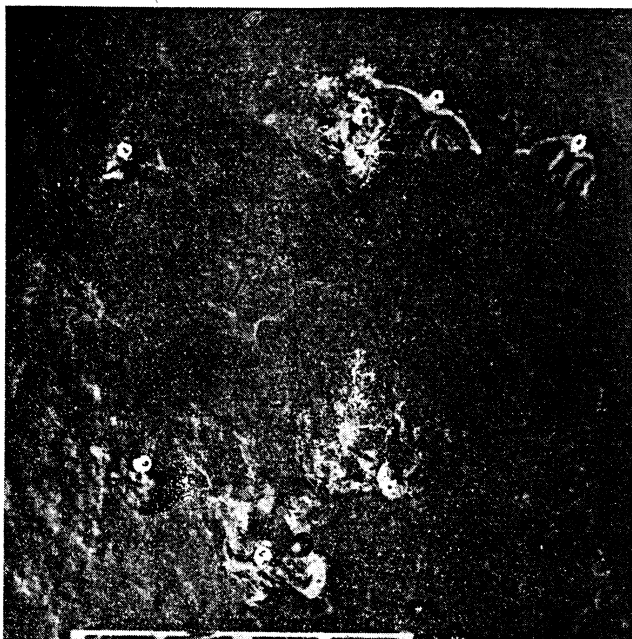
練習方法

フローティング・フオワード A を三米線でシュート可能な範囲内の一方のサイドに位置せしめ、ハーフライン附近より A のある逆サイドに向つて B をドリブルせしめ、キーパー G を牽制して A にパスを送り、A をしてシュートせしむ。

(注意事項)

(イ) B が G を牽制するためには B のドリブルシュートが G を威嚇することが先づ必要である。キーパーがドリブルシュートを警戒するならば B は B' の方向にドリブルすることによつてキーパーを惹きつけることが出来る。であるから B はシュート可能な範囲内で成る可くキーパーをサイドに惹きつける方向にドリブルすべきである。

(ロ) B' が A にパスを送るに際して G をして A にパスすることを豫想させないこと。そのためには

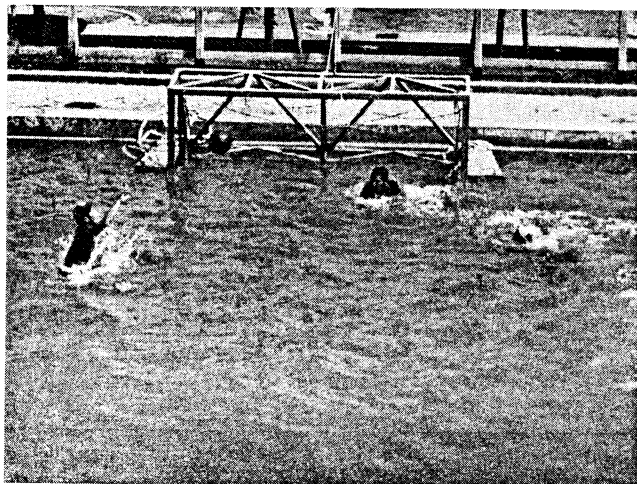


地域防禦練習 I を上から見た所。両サイド、バツクのポジションに注意。

Aを見ないで素早いモーションでなすことが必要。

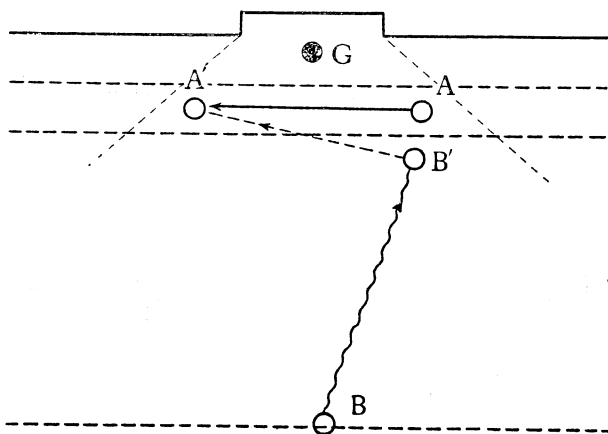
(ハ) Aへのパスはキーパーにポジションを整へる余裕を與へぬため A のモーションを最も小さくせしめるべきパスが必要で A が伸び上つてキャッチし得るループ・パスがよい。

(ニ) この練習法に於て A はその逆のポジションもマスターする必要があり、B は中央、及び両サイドよりドリブルすることが必要である。



速攻練習 I でフローティングにパスした瞬間。キーパーの惹きつけられた所とフローティングのキャッチする姿勢に注意。

速攻練習 II



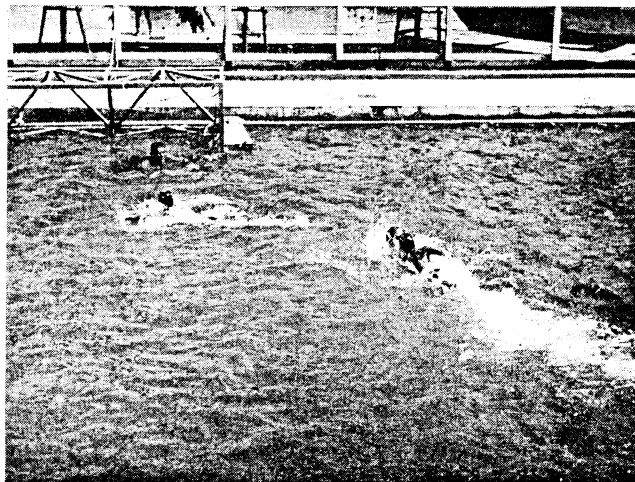
練習方法

フローティング・フオワード A を三米線上でシュート可能な範囲内の一のサイドに位置せしめ、ハーフライン附近より A に向つて B をドリブルせしめる。A は B が A の近く迄来た時ゴールラインに平行に逆サイドに向つて鋭く動き B' よりパスを受けてシュートする。

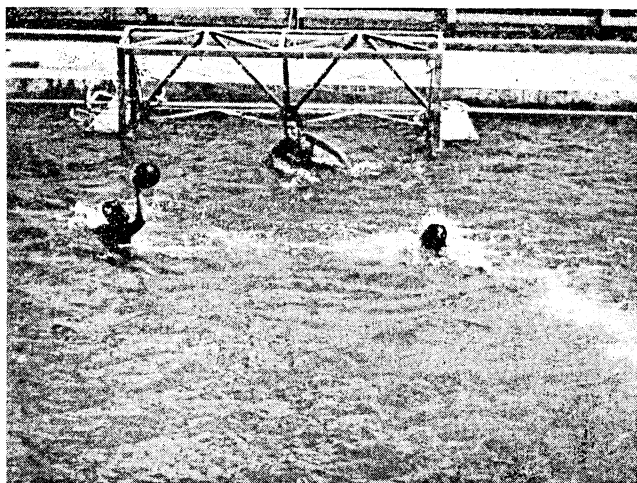
(注意事項)

(イ) 速攻練習 I の注意事項 (ロ)、(ハ)、(ニ)、は本練習に於ても同様。

(ロ) 本練習に於て最も問題となるのは A の動く動作と時機とである。その動く時機と動作とは敵の判断を錯亂せしめるに効果がなければならない。動く時機が早過ぎれば効果薄く、遅過ぎては返つて味方の動作を妨害する恐れがある。その動作は B の位置をよく判断して鋭く動かなければ効果なく又直ちにシュート出来る姿勢を作る必要がある。

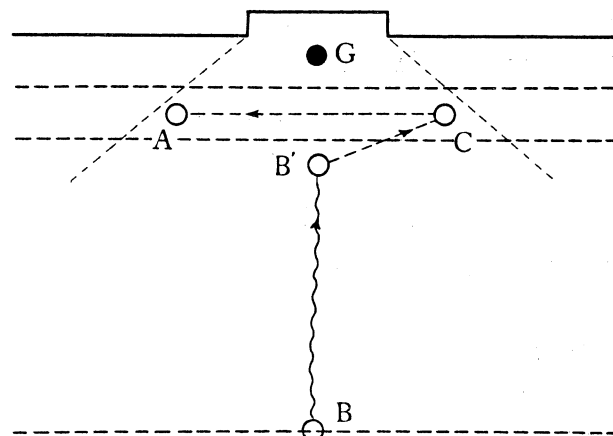


速攻練習 II でフローティングが鋭く動いて開いてゐる所。



速攻練習 II でフローティグが鋭く動いた後パスを受けてシュートする瞬間。

速攻練習 III



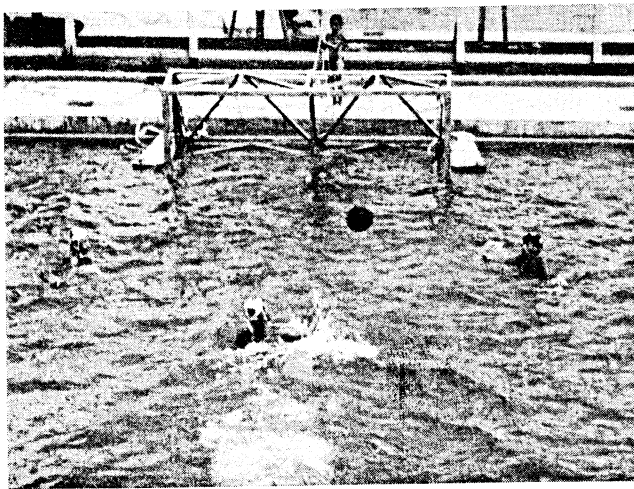
練習方法

三米線上のシュート可能な範囲内で出来るだけ両サイドに開いて A, C 二名を位置せしめ、ハーフ・ライン近所よりゴール中央に向つて B をドリブルせしめる。B が四米線近く行つた時 A 或は C にパスし、パスを受けた A 又は C は、C 又は A にパスしシュートせしめる。

(注意事項)

(イ) B, A, C 間のショート・パスは速攻練習 I の注意事項 (ハ) と同様。

(ロ) B の位置は A, C よりもゴールから遠距離のこと。



速攻練習 III でドリブルして出て来た者がパスした瞬間。

速攻練習 III

練習方法

速攻練習 I のフローティング・フオワード A にマークをつけて行ふ。

(注意事項)

(イ) 攻撃側は A, B 何れにてもシュートして差支へないが成可く B はマークを惹きつけて A にシュートせしむ。但しパスは二回以上は禁ず。

(ロ) マークは地域防禦をなすべきである。

速攻練習 V

練習方法

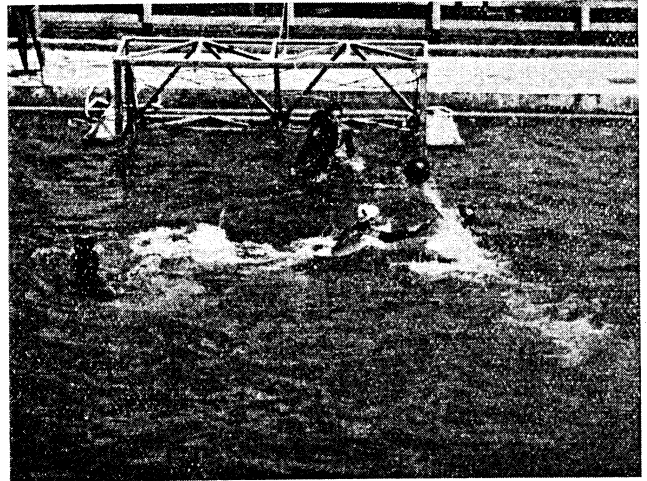
速攻練習 II のフローティング・フオワード A にマークをつけて行ふ。

(注意事項)

(イ) 速攻練習 II の注意事項 (イ) と同じ。

(ロ) A のマークは地域防禦かタックルかの判断

を養成すべし。



速攻練習 IV でフローティングのマークがアタックしその瞬間パスした所。

速攻練習 VI

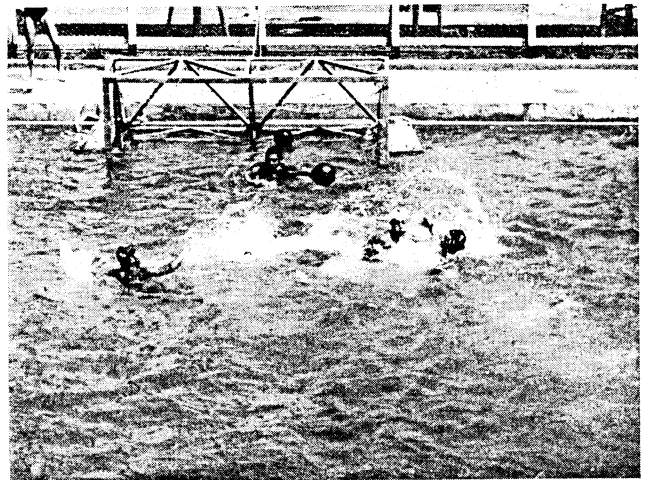
練習方法

速攻練習 III の A, C にマークをつけて行ふ。

(注意事項)

(イ) 攻撃側は A, B, C 何れがシュートしても差支へないがキーパーを何方かへ牽制する必要がある。但し三回以上のパスは禁ず。

(ロ) A, C のマークは地域防禦をなすべきである。

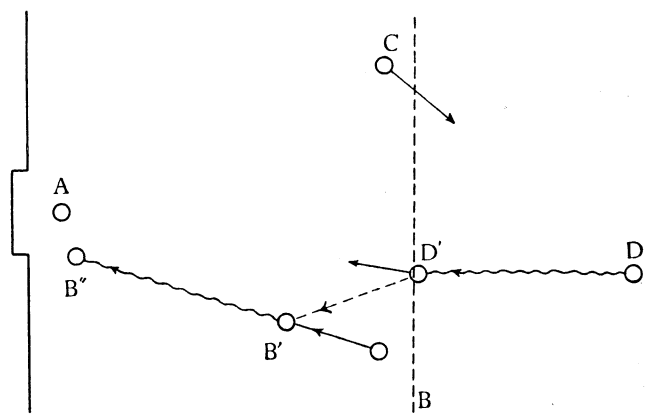


速攻練習 V でフローティングのマークがドリブルして来た者へアタックしフローティングは鋭く動いてマークを脱しパスを受けんとする瞬間。

速攻法 I

練習方法

フローティング・フオワード A をゴール前に B, C をハーフライン附近に D をハーフライン後方に



位置せしめ、DはB(又はC)寄りにゴール向けてドリブルし、B(又はC)はDが近付いて来た時スタートを起してダツシュし、Dよりのパスを受けてドリブルし、Aと連絡をとつてシュートする。CはDがゴール向けてダツシュ後、後退する。

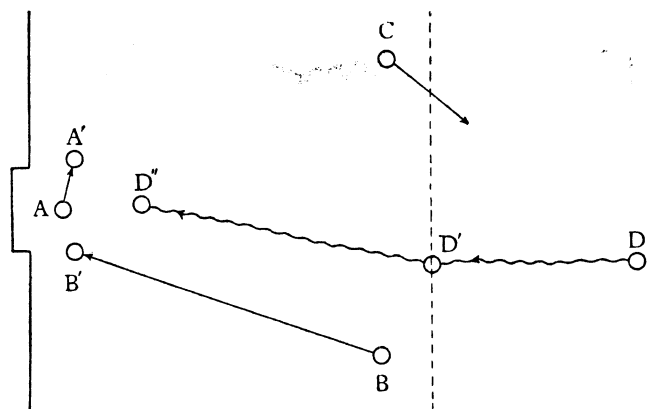
(注意事項)

(イ) D'がB'にパスするのは中継するのであつて、元來速攻に於てDがドリブルして、ノーマークで突進する場合はDがドリブルシュートをするのが根本をなすのであるが、それではDの負擔が重過ぎて得點可能性を失ふことが多いので、BのマークをDに惹きつけ得ればBが中継ぎして合理的に且つ効果的に行へる。この點を心掛けてBはスタートを起すべきである。

(ロ) B'とAとの連絡は速攻練習I,IIIによる。

(ハ) CはD'がB'に中継後ゴール向けてダツシュした後Dのマーク向けて後退する。それ迄はCのマークを牽制してマークが後退せんとすれば突込まんとする如く見せかける。

速攻法 II



練習方法

速攻法Iの如くA,B,C,Dを位置せしめDをしてドリブルせしめる。BはDが近付いてからスタ

ートを起しゴール向つてダツシュする。Dはその儘ゴール中央向つてドリブルし、AはBの來る逆サイドに開き、Dのパスを受けてA',B',D'の三人で連絡してシュートする。CはDの通過迄牽制しておいて後退する。

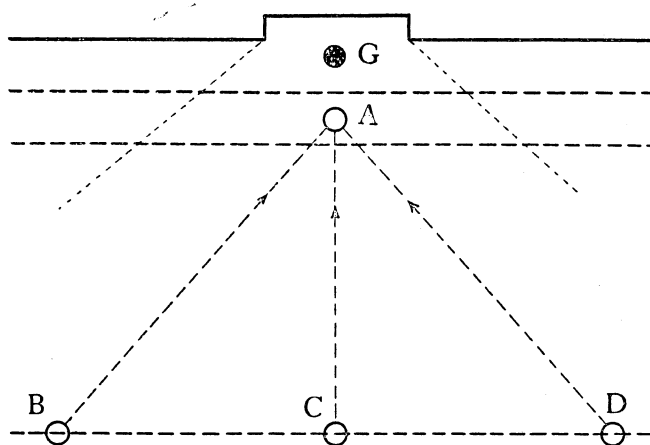
(注意事項)

(イ) これはBのマークがDに飛びかゝらず地域防禦をなさんとする場合で中継の出来ない場合である。

(ロ) A',B',D'との連絡は速攻練習IIIと同様である。

(ハ) 速攻法Iの注意事項(ハ)と同じ。

正攻練習 I



練習方法

フローティング・フオワードAをゴール前に位置せしめ、ハーフライン上より種々の角度よりAにパスし、Aも亦種々のポジションに位置をとり最も都合よきパスを受けてシュートする。

(注意事項)

(イ) Aはがつちりマークされてゐることを豫想して如何にタックルを避け、又耐へてシュートすべきかを研究し、又パスする者はそれに最も都合よきパスを送ることを練習する。

(ロ) Aは味方側を向いてゐるか、少く共横向きになつてゐることにより味方の動きを判断しなければならない。

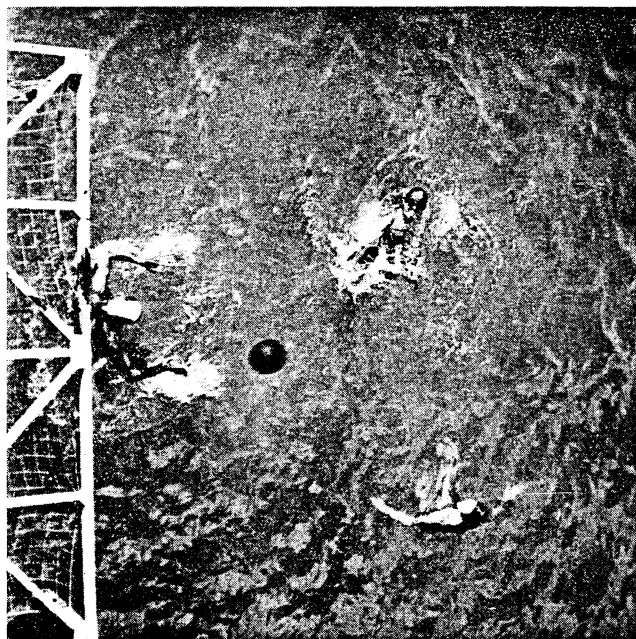
(ハ) Aは自分の位置とゴールとの關係が分ればゴールを見ないでも正確にシュートをなし得ることが必要で、又キーパーの動きをも察知してそれに應じたシュートをなさなければならぬ。

(ニ) B,C,Dはよきパスなくしてよきシュートなきことをば常に念頭に置く事。Aに最も都合よきパスはAの技術によつて一概には云はれないが大體伸び上つてキャッチ出来るパスがよい。それは

その儘キヤツチしてシュート出来るし、又リレーシュートも可能となり、更に好きな所に落して處置することも出来るからである。

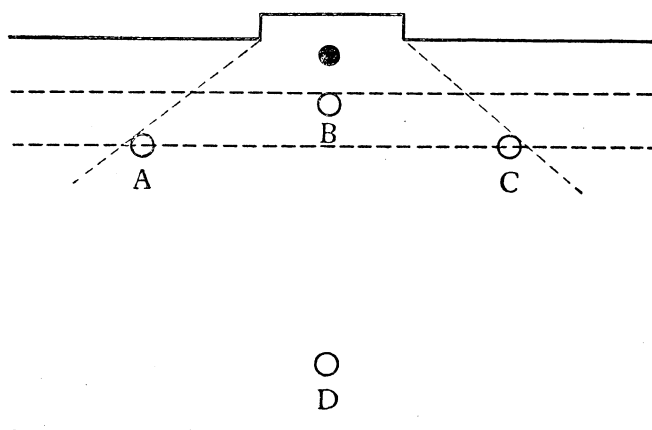


正攻練習Ⅰでフローティングがパスを受けた瞬間。ゴールを後にして身體をぐつと伸してキヤツチした所。



正攻練習Ⅱでシュートした所。

正攻練習Ⅱ



練習方法

二米線上でゴール中央前に B を位置せしめ、A、C を四米線上のシュート可能な範囲内で出来るだけ両サイドに開いて位置せしめ、D より A、B、C 何れかにパスし、A、B、C は鋭く動き乍らパスを交換してシュートする。

(注意事項)

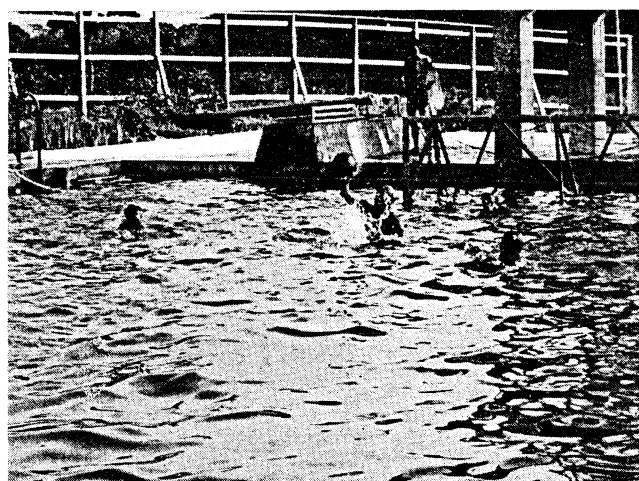
(イ) A、B、C は敵にマークされてゐることを豫想して鋭く動くことが必要である。又動く範囲が非常に狭少で前方に突込めば二米線を越へ勝ちになり横後方、に動けばシュートの可能性が少くなる。従つて鋭く動いて直ちにパスを受ける必要がある。

(ロ) A、B、C 間のショート・パスは最も適切、正確を要する。一寸の間隙を狙つてシュートするのであるからキヤツチとスローのモーションを極端に小さくする必要があり、そのためにはボールは空中で取扱はれることが要求される。而も姿勢は常にシュート出来得る如く浮き上つてゐなければならない。

(ハ) 此の練習の効果を擧げるためには水面上に落さないで空中で二回以上取扱はれた場合のみシュートをなし得ることにするがよい。

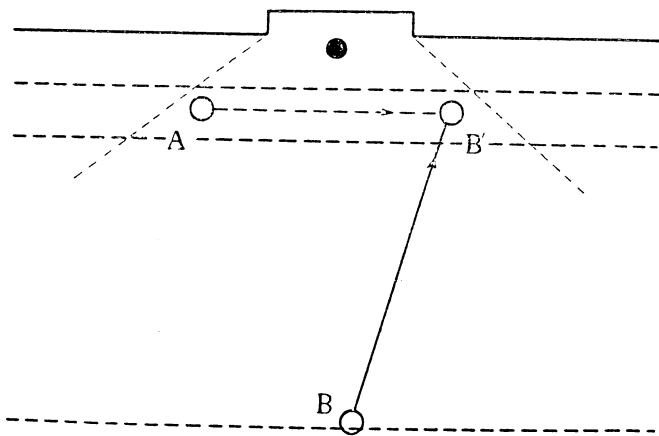


正攻練習Ⅱで後方よりパスした所。そのポジションに注意。



正攻練習Ⅱでパスした瞬間。両サイドがモーション起さんとしてゐる所に注意。

正攻練習 III



練習方法

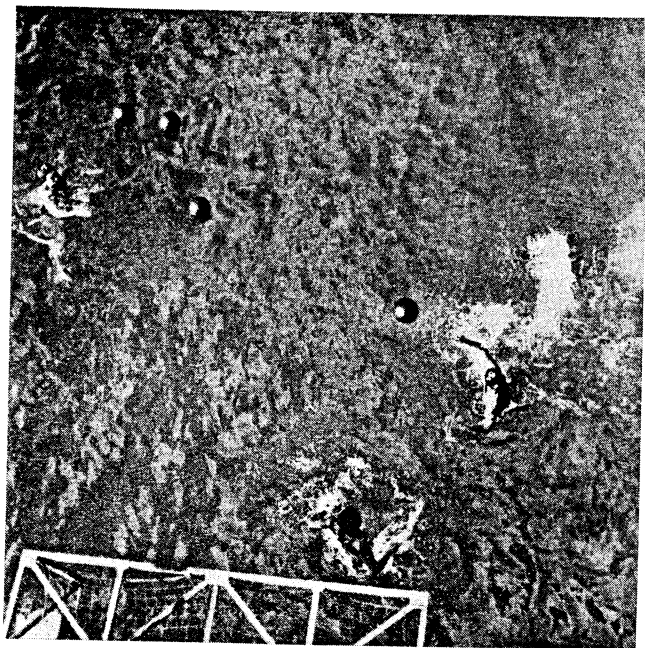
フローティング・フォワード A を三米線上のシュート可能な範囲内で一方のサイドに位置せしめ、ハーフライン附近より B を A のある逆サイドに向つてダツシュさせ、シュート可能な位置迄 B が来た時 A はパスして B' にシュートせしむ。

(注意事項)

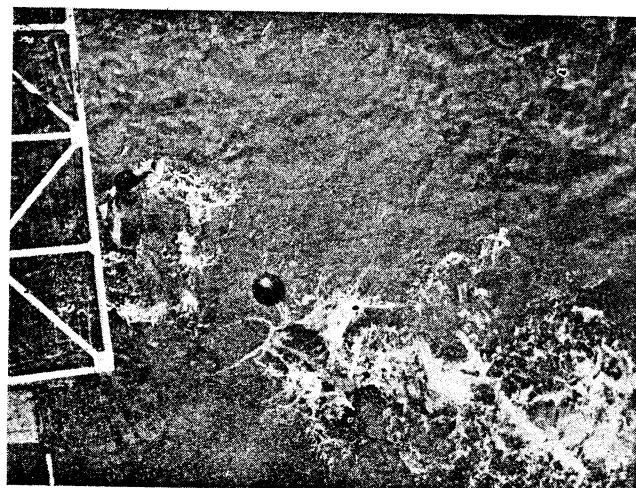
(イ) B' は空中でパスをキャッチしてその儘シュートすること。この前提として少しドリブルしてシュートせしめる場合は少し早目にパスをしなければならぬ。

(ロ) B はパスを受けるためにスピードをゆるめてはならない。敵マークは腰邊りについて來てゐることを豫想してやるべきである。

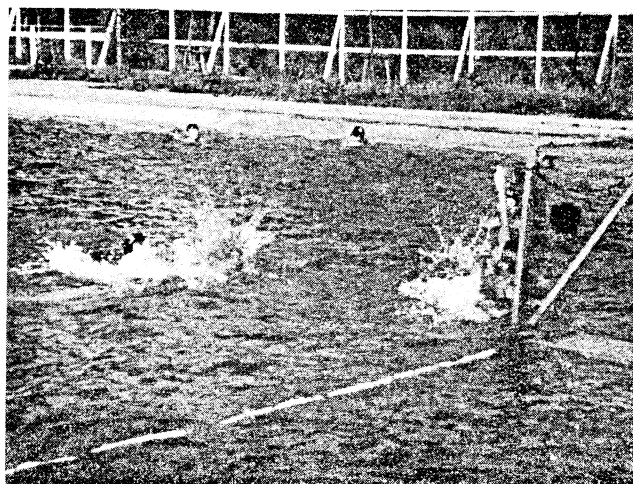
(ハ) シュートは空中でキャッチした場合が最も



正攻練習 III でダツシュして突込んだ者がパスを受けんとする所。パスする者の位置とキャッチに注意。



正攻練習 III でダツシュして來た者がパスを受けてシュートした瞬間。

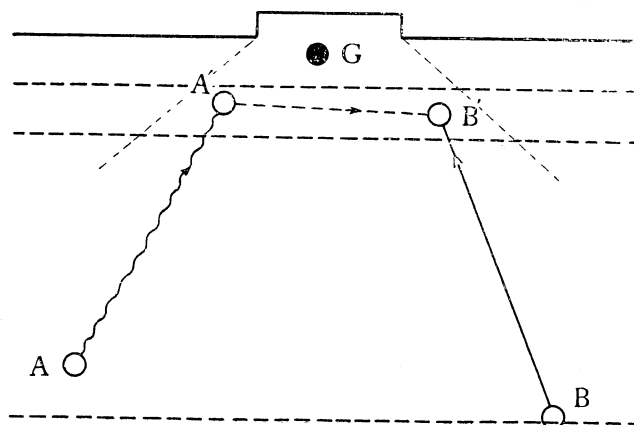


(ロ)の寫眞を横から寫した所。

モーションを小さくする故、それを目標とすべきであるが、そのためスピードが落ちたのでは全然効果は失はれてしまふ。

(ニ) この練習に於て A はその逆のポジションもマスターする必要があり、B は中央及び兩サイドよりドリブルすることが必要である。

正攻練習 III



練習方法

ハーフ・ライン線上の両サイドに A, B を位置せしめ、各々そのサイドのゴールポスト目懸けて一方はドリブルし、他方はダッシュし、シュート可能な位置に到達してドリブルして行つた者はダッシュして行つた者にパスしてシュートせしめる。

(注意事項)

(イ) ダッシュしてパスを受ける者は少しおくれでスタートすること。

(ロ) パスは正攻練習の注意事項(イ)と同様。

(ハ) スタートするに當つてその出足に注意すべきこと。

(ニ) サイドを變へて行ふことも必要である。



正攻練習Ⅳでドリブルして突込んだ者がダッシュして突込む味方にパスせんとする瞬間。
ダッシュする者のポジションとキーパーの惹きつけられてゐる所に注意。



正攻練習Ⅳでドリブルした者がダッシュして来た味方にパスした瞬間。

正攻練習Ⅴ

練習方法

正攻練習Ⅰのフローティング・フオワード A にマークをつけて行ふ。

(注意事項)

(イ) マークのタツクルが何うしても早目勝ちになるから注意を要す。

正攻練習Ⅵ

練習方法

正攻練習Ⅱの A, B, C にマークをつけて行ふ。
(注意事項)

(イ) マークは最初は軽くしてフオワードの練習を可能ならしめ次第に強く行ふこと。

正攻練習Ⅶ

練習方法

正攻練習Ⅲの B にマークをつけて行ふ。
(注意事項)

(イ) B のマークは最初は一艇身以上離れ次第に近接して腰の邊り迄にすること。

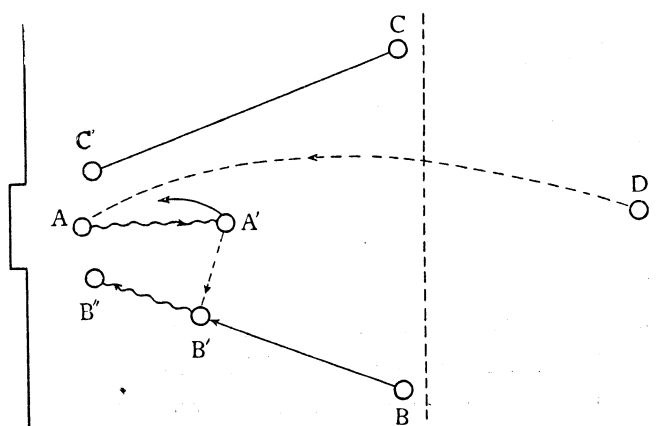
正攻練習Ⅷ

練習方法

正攻練習Ⅱの A, B にマークをつけて行ふ。
(注意事項)

(イ) 正攻練習の注意事項(イ)と同じ。

正攻法Ⅰ



練習方法

フローティング・フオワード A をゴール前に位置せしめ、フオワード B, C をハーフ・ライン附近に、又 D をハーフ・ライン後方に位置せしむ。

D が A にパスすると同時に B, C はゴールに向つてダツシュし、A はシュートしないでキープしつゝ後方に歸へり、B (又は C) と平行した際パスを送り、パスを受けた B (或は C) はその儘ゴールに向つてドリブルする。A はパスした後機会を見て又ゴールに向つてダツシュする。ドリブルしてゐる B (又は C) はキーパーを牽制してひきつけ C (又は B) 或は A にパスしてシュートせしむ。

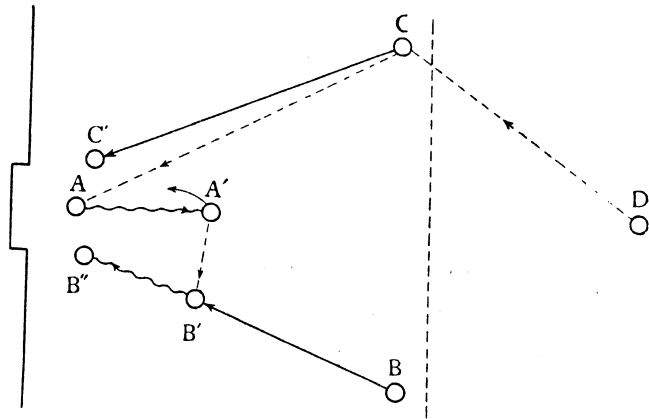
(注意事項)

(イ) D は A に対してシュートするに最も都合のよいパスを送ること。A はシュート出来ない時のことを假定してキープして B, C にパスするのであるが D は A をしてシュートせしめるパスをなすべきである。

(ロ) B, C のスタートは D が A にパスした際の各自マークに「吻つ」とした際即ち他方牽制を利用するものであつて、その瞬間を忘れてはならない。

(ハ) A は B, 又は C, にパスして後リターン、パスを受けるのであるからその心掛けが必要である。

正攻法 II



練習方法

正攻法 I と同様に A, B, C を位置せしめ、D は B 又は C にパスし、パスを受けた B 又は C は A にパスし、B, C はそのパス後ゴールに向つてダツシュする。A はシュートしないでキープして後退し、B 又は C にパスし正攻法 I と同様に行ふ。

(注意事項)

(イ) B 又は C の A に対するパスは A のシュートに最も都合のよいパスを送ることは正攻法 I の

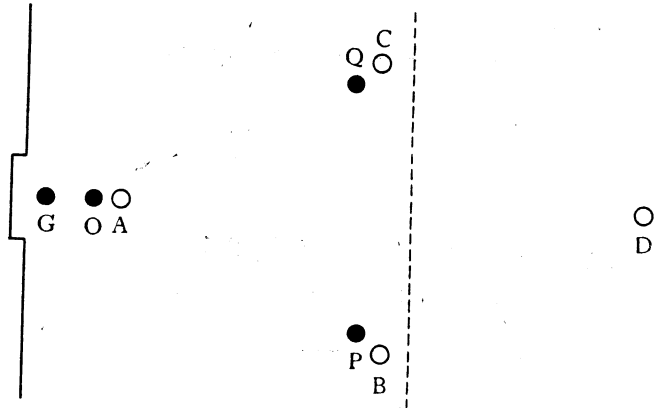
注意事項(イ)と同様。

(ロ) C が A にパスした際は B は他方牽制、C は、リターン、パスを受ける可能性があるため、それを考へて、そのスタートを研究すべきである。

(ハ) A がキープしてパスする相手は B よりパスを受けた場合は C, C より受けた場合は B にパスする方が可能性が多い。

(ニ) 正攻法 I の注意事項 (ハ) と同じ。

総合練習 I



練習方法

ゴール前にフローティング・フオワード A を、ハーフライン附近に B, C をハーフライン後方に D を位置せしめ、A, B, C のマークに P, Q, O をつけ、A, B, C, D を攻撃側とし、O, P, Q, G を防禦側とする。D はその位置を動かさずパスするのみとする。A, B, C は動いてチャンスを作り A, B, C, D 間に正確なパスを交換し乍ら機会を見てシュートする。G, O, P, Q は防禦のみであるが球を奪つた場合は直ちに攻撃に移り D にパスを送る。此の際 G は D にパスしてはならない。

(注意事項)

(イ) 攻撃は正攻法であり、防禦は對人法 (every man work) である。

(ロ) 攻撃の中心はフローティング・フオワードとなり、防禦の中心はキーパーとなつてリードする。

総合練習 II

練習方法

総合練習 I と同じ位置をとり、A, B, C, D を攻撃側として D がドリブルして攻撃を開始する。G, O, P, Q を防禦側とする。

(注意事項)

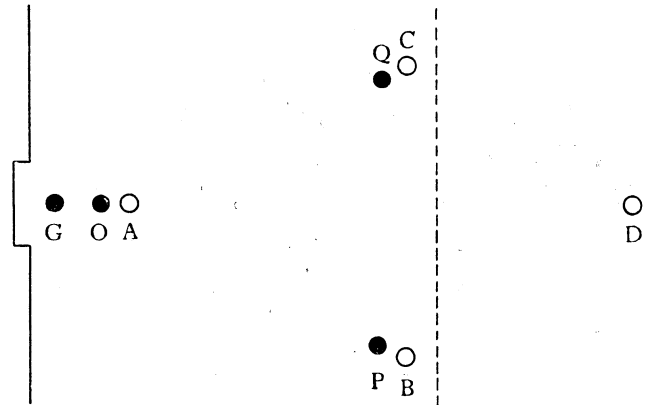
(イ) 攻撃は速攻法であり、防禦は地域法である。

(ロ) 速攻法は一人飛び出した者がノーマークで

ドリブルシュートするのが原則で、これを以て敵を牽制するに過ぎないことを忘れてはならない。従つてドリブルシュートが敵の恐威となることが絶対に必要である。

(ハ) 攻撃側はゴール前に固まることを避けなければならぬ。

(ニ) B, C 何れかが或程度迄マークを牽制して、D の離れたマークに向つて後退し攻撃が失敗した時の逆襲に備へなければならぬ。その実際方法として D のマークを数米離して追ひ掛けさせることが必要である。



水 球 記 録

水球第一回戦 (14日) 午後 2・10

茨木水泳團 $6 \begin{Bmatrix} 2 & 0 \\ 4 & 0 \end{Bmatrix} 0$ 静岡游泳協會

田所嘉宜	LF	黒川忠嘉
抱勝	CF	高橋三郎
奥田精一郎	RF	小林隆繁
平田稔	HB	森隆
島田益男	LB	佐藤正彦
庄田俊治	RB	永井典彦
西山良元	GK	日置喜一

審判員 中西 義二

準決勝 (15日) 午後 2・20

A 組

慶應義塾 A組 $3 \begin{Bmatrix} 3 & 0 \\ 0 & 2 \end{Bmatrix} 2$ 茨木水泳團

和田幸一	LF	田所嘉宜
松本司郎	CF	抱勝
齋藤巳智男	RF	奥田精一郎
大前寛	HB	平田稔
中村恭二	LB	島田益男
山内哲	RB	庄田俊治
高橋三郎	GK	西山良元

審判員 若山 瀧美

B 組

慶應義塾 B組 $0 \begin{Bmatrix} 0 & 5 \\ 0 & 3 \end{Bmatrix} 8$ 組稻泳會

奥野義一	LF	小野四郎
五百木貞三郎	CF	越川壽
横田繁三郎	RF	新田六炳
河原田篤	HB	河野一尾

千田静三郎	LB	能野雪夫
渡邊一郎	RB	武藤崇
小川道夫	GK	古莊次平

審判員 小出 靖彦

三位決定戦 (16日) 午後 4・15

慶應義塾 B組 $1 \begin{Bmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{Bmatrix} 1$ 茨木水泳團

引分ケ

奥野義一	LF	田所嘉宜
五百木貞三郎	CF	抱勝
横田繁三郎	RF	奥田精一郎
河原田篤	HB	平田稔
千田静三郎	LB	島田益男
渡邊一郎	RB	庄田俊治
小川道郎	GK	西山良元

審判員 笹島 彦次郎

決勝戦 (16日) 午後 5・00

稻泳會 $0 \begin{Bmatrix} 0 & 0 \\ 0 & 0 \\ 0 & 0 \\ 0 & 1 \end{Bmatrix} 1$ 慶應義塾 A組

小野四郎	LF	和田幸一
越川壽	CF	松本司郎
新聞六炳	RF	名取正也
河野一民	HB	大前寛
熊野雪夫	LB	石原正哲
武藤崇	RB	山内哲
古莊次平	GK	高橋三郎

審判員 三橋 達郎

日本水球代表軍練習日記

期 間 昭和十二年八月十八日—八月廿三日
 場 所 早大伏見プール (50米)
 選 手 古莊 次平。高橋 三郎。川 島 弘。
 新聞 六炳。和田 幸一。越川 壽。
 小野 四郎。松本 司郎。庄田 俊治。
 名取 正也。豊島 大六。奥田精一郎。
 山内 哲。武藤 崇。島田 益男。
 熊野 雪夫。河野 忠弘。石原 正。
 大前 寛。河原田 篤。山田 弘。
 鶴殿 欽爾。

八月十八日

晴、

午前十一時高田馬場驛集合、直ちに東伏見に向ふ、晝食に先立つて合宿練習に就て打合せを行ふ。昨年の伯林大會遠征によつて得た最も貴重な経験は水球競技に於ては最もチームワークが必要であると云ふことであつた、チームワーク即ち「人の和」と云ふ武器さへあれば難路の踏破も決して恐るゝに足らぬと信ずる。

その意味に於て今回の合宿はナショナルチームの初めての顔合はせであつて今後ナショナルチームの目標に邁進する第一歩となるのであるから「人の和」の基礎を固めることを第一とし、技術的には根本的な指示を與へることのみとて、之れに従つて各自研究努力し徐々に確實に目標に向ふこととする。

打合せに於ける決定事項

◇練習	午 前	9.30—10.30
	午 後	4.30— 6.00
◇規則	起 床	八時
	朝 食	八時—九時
	晝 食	十二時—一時
	夕 食	六時—七時
	門 限	十時半

午後より練習開始。

1. 泳 200米
2. ドリブル 50米三回
3. ラウンド・パス
- 休 憩
4. ドリブルシュート
5. 速攻練習 1
6. 速攻練習 2

A, B 二組に分けて A 組古莊、新聞、越川、小野、豊島、名取、松本、和田、奥田、庄田 B 組高

橋、武藤、河野、山内、石原、大前、島田、川島とす。

ナショナルチームとして最も強いチームを編成するためには各ポジションを最も有効に決定しなければならない。そのためには一應總べてのポジションに於ける練習を行ひ、又一同に各ポジションを理解せしめる目的で正式にポジションを決定する迄は同じ練習を行ふこととする。

先づ速攻法の基本練習より始める。

八月十九日

曇。

練 習(午前)

1. 泳 顔を上げて 100米
2. ラウンド・パス
3. 停止シュート
4. ドリブル・シュート
- 休 憩
5. 速攻練習 1
6. 速攻練習 2
7. 速攻練習 3

休 憩

8. 速攻に必要なキーパーとの連絡

練習の方法は大體分つて來た様だが、何んのための練習か分つてゐないようなテクニクを用ひることが往々ある。又ドリブル・シュートはモーション大きく、ラウンド・パスは身體が沈んでゐる。最も残念なのはスピードがないことで現在のスピードでは外國に比して決して優つてゐるとは云へない。今回の合宿ではスピードの養成は出來ないが、今後最も力をそぐべき所はスピードであると思ふ。

練 習(午後)

1. 泳 400米
2. ラウンド・パス
3. 停止シュート
4. ドリブル・シュート
- 休 憩
5. 速攻練習 1
6. 速攻練習 2
7. 速攻練習 2
8. 速攻練習 1

休 憩

9. 速攻練習 1, 2 を交へて行ふ。

10. 速攻練習 3
11. 速攻練習 1
12. 速攻練習 2

基礎練習は思ったより以上に出来るが総合的なものは未だ出来る筈はない。

八月廿日

晴。

練習(午前)

1. 泳 400米 後半 200米 顔を上げて行ふ。
2. ラウンド・パス
3. ロングパス
4. 停止シュート
- 休 憩
5. 正攻練習 2
6. 正攻練習 3
7. 正攻練習 2

正攻法の練習を行ふ。速攻法の練習よりもスムーズに行ふ、ロングパスは出鱈目と云つてよい程下手だ。

練習(午後)

1. 泳 100米
2. ラウンド・パス
3. ロングパス
4. 停止シュート
- 休 憩
5. 正攻練習 2
6. 正攻練習 3
7. 正攻練習 2
- 休 憩
8. 正攻練習 1
9. 正攻法 2

以上で正攻法の大體の練習は終つた。勿論速攻、正攻の練習とは云ふものゝその方法が分つた程度に過ぎない。

ライト・フオーワードがゐない。

八月廿一日

晴。

練習(午前)

1. 泳 400米
2. ラウンド・パス
3. ロング・パス
4. 停止シュート
5. ドリブル・シュート
- 休 憩
6. 速攻練習 1
7. 速攻練習 2
8. 速攻練習 3

9. 正攻練習 2
10. 正攻練習 3
11. 正攻練習 2

今迄の練習の總決算を行ふ。午後は練習試合をすることとする。

練習(午後)

メンバーを變へて三回行ふ。

寄せ集めの程度を出す個々バラバラとなりドリブル戦となつた。

八月廿二日

晴。

午後の練習はプールの水換へのため休み午前中は試合を行ふ。

練習(午前)

メンバーを變へて二回行ふ。

合宿開始以來キーパーを除いては全員同じ練習を行ひ又昨日の練習試合によつて大體各自のポジションを選定する資料も揃つたので決定してこれを発表する。

今後は定められたポジションを眞に活かすため努力しなければならない。全體を知ることが各自のポジションを活かすことであり、更に各自の技術の向上によつて種々の戦法も生れて來ることゝ思つて研究することを希望する。

G.K. 古莊。高橋。川島。

O.F. 和田。越川。

L.F. 新聞。小野。名取。奥田。

R.F. 松本。庄田。豊島。

B.W. 山内。武藤。島田。熊野。河野。

大前。石原。河原田。

以上が決定せるポジションである。

八月廿三日

曇後雨。

ポンプの故障のため大プールが使用出来ない。

ポジション発表後であるから各ポジションに就いての練習を行ふこととする。

練習(午前)

1. 泳 200米
2. ラウンド・パス
3. ロング・パス
- 休 憩
4. 正攻練習 1
5. 正攻練習 3
6. 正攻練習 2
7. 正攻練習 2
- } F.W.
8. ドリブル・シュート
9. ロング・シュート
10. キーパーと連絡
- } B.W.

パスが一般に下手だ。時にロング・パスはなつてゐない。午後の練習に先立つて今迄の練習に就いて説明する。

練習(午後)

雨。

1. ラウンド・パス
2. 正攻練習 1 (F.W.)
3. 正攻練習 3 (F.W.)
4. ドリブル・シュート (B.W.)
5. ロング・シュート (B.W.)
6. 正攻練習 2 (F.W.)
7. 正攻練習 2 (F.W.)
8. キーパーと連絡 (B.W.)
9. 地域防禦練習 1 (B.W.)

午後の練習は非常に氣持よく行つた。

八月廿四日

晴。

合宿最後の日であるから一通り練習を復習して午後最後に試合をすることにする。

練習(午前)

1. 泳 400米
2. ラウンド・パス
3. ドリブル・シュート
4. 速攻練習 1
フローティング F.W. (和田)
B.W. (越川)
5. 速攻練習 2
フローティング F.W. (越川)
B.W. (和田)
6. 速攻練習 3
フローティング F.W. (和田)
B.W. (越川)

休憩

7. 速攻練習 2
8. 速攻練習 1
9. キーパーと連絡 A, B, C, D, E.

練習(午後)

1. 泳 200米
2. ラウンド・パス
3. ロング・パス
4. 正攻練習 1 (F.W.)
5. 正攻練習 3 (F.W.)
6. ロング・シュート (B.W.)
7. キーパーと連絡 F. (B.W.)
8. 正攻練習 2 (F.W.)
9. 正攻練習 2 (F.W.)
10. 地域防禦練習 1 (B.W.)

11. 競合ひ

12. 試合

以上今回の合宿の練習を大體述べて來たが、練習は結局良い習慣をつけるに過ぎないもので、フォーメーションを作りこれを基礎的に総合的に練習するのも、そのフォーメーションが對戦する彼我の力働より割り出された可能性に於て行ばれるもので、彼我の力働を見誤れば無駄な練習を行ふかも知れない。それは兎も角として練習は、試合に於て正確な判断を下しその處置をなす如くしなければならぬ。判断と處置とが一致した時こそよき習慣がついたといふべきであらふ。判断の養成は試合による経験が最も尊く、處置に對する練習はフォーメーションを基礎的に総合的に行ふことが早道である。従つて練習は試合を中心として基本練習を行ふべきである。今回の合宿は只この縮圖を行つたと云ふことを此處に附言して置く。

◆ 河童の出征 ◆

村井清、松本隆重、島崎保正、板倉巖、鈴木重孝、安田來吉、大西正助、植田武夫、伏見國男、馬渡勇喜、小林榮三氏等河童のO. B. 連がぞくぞくと出征したが誰が見ても出征に一番適任若と思はれる松澤一鶴、野村憲夫、本井巧評議員之れに渡邊寛二郎、野田一雄、藤田明氏等未だ出征の恩恵に浴しないのは何うしたものかと皆不思議がつて居る。中でも小林榮さんの颯爽たる出征姿を兵隊能力のない田畑氏羨しきうに見て居ると榮さん日頃の仇とばかり「どうだ田畑おまえも兵隊に行きたいだらうどうだ」で流石の田畑氏ダー、此の校正中此のゴシップ作成者藤原豊氏出征とは何たる因縁ぞ。

◆ 禁煙とはこうしてするのだ！ ◆

禁酒でクサラせた田畑氏、禁煙すると宣言したまではよいが口角泡を飛ばしての熱辯中？ つい癖が出て火をつけたのを忽ちウルサ形に見つけられ、詰問された答が彼らしい。「俺はもう二週間禁煙して何時でも止められる自信が付いたから喫んで居るんだ」

クラス選手第二回銓衡決定発表

昭和12年8月5日現在

◇ 8月5日第二回銓衡を終え、理事会の決議を経て発表す。

◇ クラス選手銓衡規定抜萃。

競泳、飛込

1. 本聯盟及各加盟團體の主催若くは公認せる競技會或は單獨競泳にして、加盟團體より聯盟規約に従ひ聯盟本部に報告せられたる結果に就き其標準に従ひ銓衡するものとす。
但臺灣、滿洲に於ける公認競技會記録は未公認プールに於けるものも公認プールに於けるものと同様に取扱ふ。
飛込競技に於ては重要な競技會の成績により銓衡す
2. 銓衡及クラス資格剝奪は競泳、飛込競技競技委員會に於て行ひ、理事会の承認を経て発表す。
3. **クラス選手たる資格は特別の事情（例へばアマター規定違反、水泳界引退、記録の極度の低下）無き限り持續するものとす。**
4. **A. クラス選手は日本代表候補選手として日本水上競技聯盟主催の合同練習、合宿練習に参加する資格を有す但し B. C. クラス選手中よりも之を補充することあるべし。**
5. 各クラス選手にはクラス章を授與す。但クラス更新の場合は舊クラス章と引換に新クラス章を授與す。(紛失其他に依る再交附の場合は實費を徴收す。)
6. 競泳クラス標準時間は次の如し。

男子

種目	クラス		
	A	B	C
100米自由形	58.0	60.0	64.0
200米自由形	2:12.0	2:15.0	2:23.0
400米自由形	4:45.0	4:55.0	5:10.0
800米自由形	10:00.0	10:20.0	10:50.0
1500米自由形	19:15.0	19:40.0	20:30.0
100米背泳	1:08.0	1:10.0	1:15.0
200米平泳	2:43.0	2:48.0	2:58.0

女子

種目	クラス		
	A	B	C
100米自由形	1:10.0	1:17.0	1:25.0
400米自由形	5:45.0	6:10.0	6:50.0
100米背泳	1:20.0	1:30.0	1:40.0
200米平泳	3:05.0	3:20.0	3:35.0

短水路記録は長水路記録に換算す。但換算方法は折返し一回を増す毎に一秒を加算するものとす。

7. 飛込クラス標準は次の如し。(男女共通)

A クラス

國際試合に於て優秀なる成績をあげ得る程度の者。

B クラス

國際試合に出場し得る程度の者。

C クラス

國內試合に於て相當の成績をあげ得る者。

日本水球代表軍銓衡規定

1. 日本選手権水球競技大會に於ける成績を銓衡の對象と爲し人格、技術、體格の優秀なる者を別に定むる所の銓衡委員會に於て銓衡し、理事会の承認を経て発表す
2. 關東學生選手権水球リーグ戦、關西學生水球競技會に於ける成績を銓衡の參考資料とす。
選出人員は二十名とす。
3. チームの呼稱は日本水球代表軍とす。
4. 毎年日本選手権水球競技大會直後編成換へを爲すものとす。

(註) 強化方法、試合出場選手の選抜、チーム成員をシーズン中所屬母體に戻すや否や或其他チームの運用に關しては總て「コーチ」に一任す。

(註) 1. 第一回銓衡に於て決定せる選手は剝除せり、但し異なる種目に於ては●印を附し發表す 2. 二種目以上にクラス選手なる資格を有するものは上位のクラス種目を舉げ下位の種目は括弧を附し参考として記入す 3. 記録中括弧にて示すは短水路記録

● ● ● 競 泳 之 部 ● ● ●

◇7月1月第一回銓衡以後8月5日現在に至る報告により第二回銓衡を了へ、理事會の承認を経て發表す。

◇クラス選手銓衡規定による。

◇短水路記録は長水路記録に換算し、折返し一回を増す毎に一秒を加算するものとす。

◇○印は第一回銓衡發表の同人の記録に優れたるもの。

男子 100 米 自由形

クラス	氏名	所屬	時間 分 秒	場所	長サ	月 日	競技會名
C.	鶴岡 榮	(立大)	1:01.4	寶塚	50	7-11	立大同志社
C.	平野 亮	(日大)	1:01.8	大濠	50	8-3	福岡日米
C.	林田 義人	(平安俱)	1:02.3 (1.00.3)	京府三中	25	7-25	京都豫選
C.	井上 茂	(福岡)	1:02.4	大濠	50	8-3	福岡日米
C.	杉田 芳郎	(中京商)	1:02.5	清洲	50	7-25	名古屋豫選
C.	山下 欣一	(濱一中)	1:02.6	神宮	50	8-3	東部中等
C.	宮木 利彦	(台灣)	1:02.8	台北	50	5-17	台北對抗
C.	財間 忠治	(川崎造船)	1:04.0	神戸市	50	7-24	兵庫縣選手權

男子 200 米 自由形

C.	宮木 利彦	(台灣)	2:19.2	台北	50	7-15	台北對抗
C.	大塚 一止	(台灣)	2:20.0	台北	50	5-15	台北對抗
C.	淺野 輝明	(川崎造船)	2:22.5	神戸市	50	7-24	兵庫縣選手權

男子 400 米 自由形

C.	(大塚 一止)	(台灣)	4:59.1	臺北	50	5-16	臺北對抗
C.	本間 俊夫	(立大)	5:03.6	寶塚	50	7-11	立大同志社
C.	松山 正一	(中泉農)	5:06.2	神宮	50	7-31	東部中等(準決)
C.	(宮本 利彦)	(台灣)	5:06.6	臺北	50	5-46	臺北對抗
C.	渡邊 龍治	(沼商)	5:07.4	神宮	50	8-1	東部中等
C.	竹内 忠	(同志社)	5:07.6	寶塚	50	7-11	立大同志社
C.	北村 久壽雄	(三高)	5:07.8 (4:59.8)	東京帝大	25	7-30	全國高校

男子 800 米 自由形

C.	(松山 正一)	(中泉農)	10:31.8	神宮	50	8-1	東部中等
C.	(渡邊 龍治)	(沼商)	10:32.4	神宮	50	8-1	東部中等
C.	(大塚 一止)	(台灣)	10:41.0	臺北	50	5-15	臺北對抗

男子 200 米 平 泳

C.	柳澤榮三郎	(台灣)	2:53.0	台北	50	5-16	台北對抗
C.	大浦誠一郎	(立大)	2:54.4	寶塚	50	7-11	立大同志社
C.	錦織晉	(東京高校)	2:56.0 (2:52.0)	東京帝大	25	7-21	東部高校

男子 100 米 背 泳

C.	鷺谷光明	(宮城工)	1:13.2	神宮	50	7-31	東部中等
C.	山田實	(和歌高商)	1:14.4	神宮	50	7-20	全國高商
C.	山田鋼	(關西大)	1:14.6	築港	50	7-25	大阪豫選
C.	平賀孟	(立大)	1:15.0	寶塚	50	7-11	立大同志社

女子 100 米 自由形

B.	松井和子	(台灣)	1:16.7	台北	50	5-16	台北對抗
B.	小山道子	(台灣)	1:16.8	臺北	50	5-16	臺北對抗
C.	松村昶子	(山口女)	1:17.8	大濠	50	8-3	日米對抗
C.	古田ツネ	(中泉女)	1:18.0	大濠	50	8-3	日米對抗
C.	梅村米江	(椛山女)	1:18.1	清洲	50	7-24	名古屋豫選
C.	鈴木美代子	(淑德)	1:19.5	清洲	50	7-24	名古屋豫選
C.	立松京子	(椛山女)	1:20.4	清洲	50	7-24	名古屋豫選
C.	岩橋佐和子	(椛山女)	1:21.0	清洲	50	7-24	名古屋豫選
C.	谷口美代子	(二條女)	1:21.5 (1:19.5)	京府三中	25	7-25	京都豫選
C.	三村千鶴子	(淑德)	1:22.6	清洲	50	7-24	名古屋豫選
C.	山田映子	(京府一女)	1:22.7 (1:20.7)	京府三中	25	7-25	京都豫選
C.	秋山幸子	(久留米女)	1:25.0	大濠	50	8-3	日米對抗

女子 400 米 自由形

C.	(秋山幸子)	(久留米女)	6:11.0	大濠	50	8-3	日米對抗
C.	(松井和子)	(臺灣)	6:17.4	臺北	50	5-15	臺北對抗
C.	(小山道子)	(臺灣)	6:22.6	臺北	50	5-15	臺北對抗
C.	立松品子	(椛山女)	6:24.5	清洲	50	7-24	名古屋豫選
C.	岸田靜枝	(京府二女)	6:24.5 (6:16.5)	京府三中	25	7-24	京都選手權
C.	(古田ツネ)	(中泉女)	6:25.4	大濠	50	8-3	日米對抗
C.	田原宣子	(淑德)	6:33.2	清洲	50	7-24	名古屋豫選
C.	梶田宏子	(淑德)	6:35.1	清洲	50	7-24	名古屋豫選
C.	藤田あさ	(濱名灣)	6:45.2 (6:37.2)	濱松二中	25	7-25	日本選手權(豫)

女子 200 米 平 泳

B.	壺井宇乃子	(日體)	3:14.8	大濠	50	8-3	日米對抗
B.	山澤春枝	(台灣)	3:17.3	台北	50	5-16	台北對抗
C.	迫登志	(台灣)	3:24.3	台北	50	5-16	台北對抗
C.	後藤光子	(淑德)	3:25.3	清洲	50	7-24	名古屋豫選
C.	南里千瑳子	(神戶二女)	3:25.8	神戶市	50	7-24	兵庫縣選手權

C.	飯澤須賀子	(中泉女)	3:30.2 (3:26.2)	濱二中	25	7-25	日本選手権
C.	東トヨ	(京府一女)	3:30.3 (3:26.3)	京都三中	25	7-24	京都選手権
C.	渡邊スミ子	(筑紫女)	3:34.0	大濠	50	8-3	福岡日米

女子 100 米 背 泳

B.	伊藤さとし	(中泉女)	1:26.9	大濠	50	8-3	福岡日米
C.	屋久千松	(台湾)	1:30.2	台北	50	5-17	台北對抗
C.	金村那美子	(台湾)	1:32.0	台北	50	5-17	台北對抗
C.	宮井良子	(京府一女)	1:33.4 (1:31.4)	京府三中	25	7-24	京都選手権
C.	小田アイ子	(筑紫女)	1:35.0	大濠	50	8-3	福岡日米
C.	大橋ユカ	(二條女)	1:37.1 (1:35.1)	京府三中	25	7-24	京都選手権
C.	鷺尾弘子	(神戸二女)	1:38.8	神戸市	50	7-24	兵庫縣選手権

● ● ● 飛 込 之 部 ● ● ●

男 子

A.	柴原 恒雄(日 大)
B.	小柳 富男(早 大)
C.	伊藤 真吉(慶 大) 大高 俊一(日 大)
	加茂 正美(早 大) 北田 舜次(慶 大)
	杉原 雪夫(慶 大) 末次保男(フロッグ俱)
	瓶子 喜己(早 大) 毛利 元英(日 大)

山田謙次郎(早 大)

女 子

A.	大澤 政代(三省堂水)	大澤 禮子(美津濃水)
B.	横山 兼子(無)	
C.	田中 キヨ(無)	林 悦子(無)
	山東 初子(無)	

● ● ● 水 球 之 部 ● ● ●

日本水球代表軍編成は三年後の東京大會に對する強化を目的とする。然して日本水球界の現状からすれば、此の代表軍の使命は強化と共に代表軍を通じて一般競技者層に國際競技に對する指針を與へ技術の向上を計り以て全競技者をして東京大會への準備をなさしめる必要がある。そこに毎年代表軍の再編成を行ふ必要性が認められるものである。

今こゝに日本水球代表軍第一次合宿に於ける練習方法及び日誌を提出するも以上の如き趣旨によるものである。

早 稻 田 大 學

新聞 六柄	越川 壽
小野 四郎	河野 忠弘
熊野 雪夫	武藤 崇

川島 弘 豊島 大六
古莊 次平

慶應義塾大學

高橋 三郎 大前 寛
山内 哲 松本 司郎
石原 正 和田 幸一
名取 正也 河原田 篤

茨木水泳團

島田 益男 庄田 俊治
奥田精一郎

コ ー チ

若山 瀧美
マ ネ デ ヤ ー
山田 弘 鶴殿 欣爾

選手強化合同練習

結 果 報 告

◆東京大會に備へて、選手強化策の手始めとし、男女中等學校選手を中心とし、濱松、廣島、福岡に於て N. S. R. の負擔に於て第一回の合同練習を行つた。集まつた選手は其地方に於ける B. C. クラス級の者
 コーチは特別に N. S. R. より派遣された。
 從來の歴史が示す如く、東京大會への希待は現在の中等學校程度の選手達の活躍に待たねばならない、此の
 意味に於て明十三年度に於てはより廣範圍に渡る夏季冬季を通じての合同練習が計畫されてゐる。◆

靜 岡

總 務 牧野 敏一
 指導者 川合 嘉助
 竹林 隆二

内田 久雄(濱一中) 若林富士男(富士中)
 竹下 清佐(中 農) 加藤 久男(袋 商)
 此の外に静岡縣體育主事並學校水泳部長の推薦と選手
 の熱烈なる希望により關川(靜商)野澤(靜商)一條(庵中)の三名
 參加練習を許可す。又横田、(濱一中)土屋(沼中)の二名は選
 拔はしたが都合により參加せず。

合宿練習の諸準備

合宿練習擔當の前記三名は縣下大會終了と同時に同日夕方直ちに歸濱同市廣澤町の合宿所の諸準備に取りかゝる。

合宿所は、六疊七間、八疊四間、四疊一間を有する富士見館と稱する元の下宿屋にて、生徒勉強室事務室、先輩指導者合宿室等を割合に裕に取る事を得、宿所部屋割りには極めて好都合に行きしも本合宿所は暫く空家になつてゐた爲め、電氣ガス、水道の引込みを新にし、毎日の炊事は今一つ別館を借り受け、コックを頼みて行ふべく餘儀なくされたので、合宿第一日の午前十一時迄は仲々の繁忙を極めたが參會者の援助により十時半には諸準備全く成り、後述の如く全員緊張裡に豫定通り開會式を舉行後直ちに練習に取りかゝる事が出来た。

1. 合宿並練習場所

合宿所 = 濱松市廣澤町濱高工西富士見館(プール迄約三丁)

練習所 = 濱松第一中學校公認五〇米プール(巾一五米)

2. 合宿期間

自八月廿一日 (十日間)
 至八月卅一日

3. 毎日の時間配當

静岡縣下中等學校選抜選手合宿練習は、牧野敏一總務、川合嘉助、竹林隆二兩名を指導者として八月廿一日より十日間濱松第一中學校新設プールに於て練習を開始する事になつた。以下甚だ簡單ではあるが選手選抜の事由並に練習狀況を記し報告に代へんとす。

◇選手選抜の事由並選手名

東海中學校水泳大會、東部中等學校水泳大會、静岡縣下中等學校水泳大會、以上三大會に於ける選手の記録を參考とし、尙縣下大會參觀の爲め來られた聯盟本部員田畑政治、齋藤巍洋兩氏の御意見等も承り牧野、川合、竹林の三名協議の上左記廿一名を選抜し八月二十日縣下大會終了と同時に氏名を發表し合宿選手の決定をなす。

選抜選手氏名左の如し

自 由 形

伊 藤 猛(見 中)	高 須 博(濱二中)
渡 邊 龍治(沼 商)	荒 井 通雄(掛 中)
大 石 昌二(掛 中)	神 谷 五郎作(掛 中)
禰 津 三郎(靜 中)	高 木 英雄(靜 中)
伊 藤 憲利(袋 商)	齋 藤 重衛(中 農)
松 山 正一(中 農)	園 盛 保(濱一中)
山 下 欣一(濱一中)	新 村 繁夫(濱一中)

背 泳

伊 藤 隆(濱 農)	岡 田 憲一(沼 商)
大 杉 信孝(中 農)	

平 泳

午前之部

六時 起床、プールにて皇居遙拜、體操

七時三十分 } 讀書
八時三十分 }

九時 } 練習 { 練習前後には選手順番に指導者
十一時 } となり體操を行ふ

正午 晝食

午後之部

一 時 } 午睡 (一時間三十分)
二時三十分 }

三時 } 練習 (午前に同じ)
五時 }

五時三十分 入浴

六 時 夕食

七 時 } 讀書 (一時間三十分)
八時三十分 }

九 時 就寢

右配當時間通り實行せしも練習時のみは選手の熱心に動かされ時間に延長を來せる事多し。

合宿練習總評

練習開始に當り、先づ選手の泳ぎを熟視するに一般に足首堅く柔軟なるスナツプ効かず、各種目共最後のスナツプに重點を置かずして徒らに無意味なるビートイングをのみ行ひ、肝心の足による推進力乏しく、殊に體の浮きに對しては、その殆んどがビートイングでなくして無理に水中にて藻掻く程度にしか動かしてゐない者多く、根本的に足首の柔軟を基礎としなくてはならないと考へ、初期練習は、入水前後の體操及足首、手首の柔軟運動に重點を置き、游泳を全然禁じ、第一日より第三日に至るまで所謂バタ足のみの練習を行ふ。(或はプールの側壁につかまり或は腕を使用せず足のみによる推進) その結果第一日にして早くもそのスナツプに於て多少の會得者現はれ、聊か意を強ふす。第二日、第三日徐々に其の效果現はれ始め三日目の終り頃には、どうやら身體の推進力と浮きに各人共多少の自信を得て來た様に認めた。然しながら各人共其のフォーム(足のみの)に對して徹底的に力を入れて大きく頑張り得ると云ふ程度には至らず、只其の要領のみを會得した程度であつた。第五日目頃より一部の者に對しては漸次腕の動かし方に就て練習を始む。然し最も苦心したのは手と足の調子であつて、折角その要領を會得した足も手に移ると同時に足を忘れて我流となり、足にのみ注意を促すと腕を忘るといふ状態になつた。然しこれは足のスナツプの効果であつて、體の浮と推進力の強きにより、腕にて水が搔けない結果である……と云ふ事は今更申上げる迄もない事であるが、然しかくして引續き練習の結果六日目頃から漸次兩者の調子を知り始めて、どうやら泳ぎ得る

やうになつた。だが未だ此の會得した調子でもつて張り切つて泳ぎ得る者は極く少數であつた。今回の合宿練習中には或は参考記録位ひは取りたいと思つて居つたが此の状態ではその實現は期せられないのではないかと聊か心細い感じさへも抱かれた。然し乍ら選手一同の熱心と努力は驚く程で、想像以上に各人がお互ひに競争的に研究、工夫、會得に専心した。その結果此の合宿練習中参考記録を取るまでに到達し得るや否やの懸念は今や全く去り、九日目頃には充分なるレコードは望まれない迄も、フリーは四〇〇米位バツク、ブレストは二〇〇米位まではどうやら繼げる事が出來指導者としての参考と初期の計畫に合致するを得、當時の喜びは選手もさることながら、當事者としても努力の効果空しからざりしを目のあたり見て、一同大いに喜んだ次第である。以下當時の日誌を開き簡單ではあるが、その概況を記す。

日 誌

第一日 (八月二十一日)

開會式 午後一時

- 一、遙拜
- 二、(イ)總務この會の趣旨目的を話す。
(ロ)指導者 合宿中に於ける注意をなす。
- 三、來賓祝辭 (濱名灣游泳協會名譽會長)
- 四、閉會

備考 來賓として静岡縣體育協會主事、濱名灣游泳協會幹事、濱松第一中學校長他中等學校水泳部長二名參列す。

練習 (午後二時三十分) 開始

體操 伊藤三郎、新井茂雄、兒島泰彦三氏指導す

足の練習 (基礎練習) 足首の關節の大切なる所以を良く説明し置き、伊藤、新井、兒島、の三選手の實際を良く見せ、その良き所を指摘し質問等を求めてこれに答へ、質疑應答後其の實際を水中にて練習せしむ (この練習は足首並に足の甲の使ひ方を専らにし脚全體の練習をせず)

備考 背泳は兒島氏歸郷日程の都合ありし爲めスタート、ターニング等の練習もなす。

第二日 (八月二十二日)

練習 足の練習 (前日同様)

常に要點を良く説明し選手をして自覺せしむる様に努む、午後の練習には足首の關節や、軽く動き幾分水壓の状態も見受けられたり。

視察者、田畑政治、濱名灣游泳協會幹部三名
補助指導員 伊藤三郎、新井茂雄

第三日（八月二十三日）

練習（足の基礎練習）各種目とも足首關節を相當良く使ふ様になりたれば足の開きを次第に擴げ膝關節の使用法に進む。

午後の練習には側壁より手を放ちて足のみにて泳ぐ練習（巾一五米を往復す）をなせしに選手は始めて泳ぐ事を許されたのと今迄の練習が如何に有効に實際泳ぎの足に表れるかの興味を強く感じ喜び張り切つて練習せり。

視察者 濱名灣游泳協會幹部二名並静岡縣體育主事。

補助指導員 伊藤三郎

第四日（八月二十四日）

練習（足の基礎練習）前日同様なるも足のみにて泳ぐ練習を多くす。

午後に至り美しいスナツプにて滑るもの増加せり。

此處にて各選手交替にて足のみ獨泳をせしめ各選手にこれを見せ批評矯正せしめたるに相當適切なる批評を下すもの多し故に脚の使ひ方動かし方には相當な認識を持ちたるものと喜ぶ又選手はこの練習この研究にて我れこそ理想的足にならんと熱烈なる競争心と努力に一段の活氣を増したり。

視察者 濱名灣游泳協會幹部二名並中、小學校水泳指導者四名

第五日（八月二十五日）

練習（足の基礎練習）前日同様

一部分は手の練習も行はず。

午後練習を休み辨天島に遊ぶ。

第六日（八月二十六日）

練習（足の基礎練習）前日同様なるも足を減じ手の練習に入る手足の調子を合すのには相當困難を感じたりこれ今迄の泳ぎ方が手足の調和とれて居らざりし爲なり。

午後に至り略々調和を取るに至りしも安心出來ず選手中に手にて餘り水を搔げざる者多く質問續出せり之れ今迄の足と異り足のみにて泳がんとする傾向なれば、今迄の如きストロークにては足の力強き爲め勢ひ前進の速度を増したればストローク弱く爲めに水を搔げざるなり。

肩の動きも軽く相當進歩せしを見受けられたり選手は自己の軽い滑りを認識せる爲め益々熱心の度を増し練習時間も知りつゝ延長すべく餘儀なくさる併し未だ固定せしホームに非ざれば一五米を折り返し三〇米を限度としてこれを繰り返したり。

視察者 濱名灣游泳協會幹部二名

第七日（八月二十七日）

練習 足首關節練習 約五分

五分休憩この時、練習の要點惡癖の矯正をなす。

膝、關節の練習 約五分

五分休憩前に同じ

脚全體の練習 約十分（第一回）

五分休憩 前に同じ

脚全體の練習 約二十分（第二回）

十分休憩前に同じ

足のみにて泳ぐ 一五米 二回

同 三〇米（三回一五米を折り返す）

五分休憩 前に同じ

手足を使ひて泳ぐ 一五米 十回

五分休憩 前に同じ

同 三〇米 五回

五分休憩前に同じ

同 六〇米 二回

同 一五米 五回

選手は相當疲勞せるも興味ある練習なれば元氣良し。

視察者 濱名灣游泳協會幹部二名

第八日（八月二十八日）

練習 前日同様なるも足のみの練習を減じ手足の練習を増加す 五〇米の長水路にて五〇米二回行ひたり。

視察者 濱名灣游泳協會幹部二名

補助指導員 宮崎康二

第九日（八月二十九日）

練習 前日に同様なるも足のみの練習を減じ手足の練習を増加せり。

午後は五〇米の長水路にてホームの固定せるものは四〇〇米固定せざる者は二〇〇米又は一〇〇米を泳がしめ、終りに背泳は五〇米自由形は四〇〇米二〇〇米一〇〇米とホームの固定に應じて参考記録を取りたるに選手は相當疲勞せしも背泳五〇米三六秒臺、一〇〇米一分一七秒臺、平泳一〇〇米一分二三秒臺、自由形四〇〇米、五分一三秒より一七秒八秒臺にて泳ぎ得るもの相當多かりき。

視察者 濱名灣游泳協會幹部三名

補助指導員 宮崎康二

第十日（八月三十日）

この日記録會を行ふ豫定なりしも前日の練習に於てホームの崩れる恐れあれば中止し餘り頑張らせずに参考記録を取りたり。

一〇〇米背泳一分一五秒臺、平泳一〇〇米一分

二二秒、自由形二〇〇米二分二五秒臺にて泳ぐもの相當ありたり。期間短くして記録會の出來ざりしは遺憾なりしも相當立派なる泳ぎとなりたるを認む。

正午閉會式。

一、遙拜

二、總務指導員の訓話

三、來賓の祝辭

濱名灣游泳協會名譽會長

静岡縣體育協會主事 濱松第一中學校長

四、日本水上競技聯盟萬歲三唱 閉會
補助指導員 宮崎康二

備考 1. 尙合宿練習中濱名灣游泳協會幹部諸賢、濱松一中校長・同校教諭櫻井氏等の御來會御後援に對し厚く御禮申上げる次第である
2. 終りに選抜選手一同に對し、静岡市錦町一條藥局店主より營養素肝油ボンボンを多量に御惠贈に預り效力偉大なりしを認め之亦厚く感謝する次第である。(牧野敏一記)

廣 島

經費決算報告

聯盟ヨリ 165 圓支給

種別	金額 円 銭	備 考
食 費	132.00	24 人分 (合宿選手 20 人 監督・コーチ男女各 1 人) 1 人分 1 日 1 圓 10 錢 5 日 間分男子都合宿所家賃ハ 素人下宿ニ付キ不要、男 女トモ當下宿ニテ食事ヲ トル。
夜 具	5.00	女子部(空家ヲ借リタ爲)
家 賃	4.00	女子部(同)
電 氣 代	2.10	女子部(同)
家 賃	2.00	男子合宿所狭キ爲、隣家 二階ヲ借リル
プール代	19.90	プールハ普通ナレバ 20 圓 ノトコロ、經費不足ノタ メ、殘餘ヲモツテ之ニ充 ツ
計	165.00	

上ノ通り違ヒ無之候

右御報告申上候

廣島縣體育協會水上競技

會計責任者 平川 裕智

*倉本 武男	背	同	5	166.8	57.4
栗 信夫	自	同	5	168.3	56.0
*金栴 晴海	自	同	4	164.5	48.0
渡邊 孝士	自	同	3	156.1	49.5
中光 文夫	背	同	2	156.2	45.0
*山下 諭	自	同	2	162.5	51.0
*張間 正光	自	二中	5	170.8	55.6
*谷口五郎 <small>(Cクラスニ入ルベキモ)</small>	背	同	4	169.0	54.8
*澤井 湛 <small>(同)</small>	平	同	4	167.0	53.4
*山中 愛夫	背	同	3	163.5	52.5
*秋 永 修	自	同	2	157.8	42.0
船倉 賢一	自	修中	5	—	—
桑原 美憲		同	5	—	—
*田原 輝雄	背	同	4	166.0	50.0
*野崎賢次郎	平	同	4	162.0	50.4
大野木 弐		同	3	—	—
*川手 一彦	平	同	3	164.0	52.8
富樫 忠夫	自	同	2	—	—
*宮田 正次	自	三次中	4	165.0	57.0
*中東 義雄	自	松本商	3	166.8	61.0

(男女共)主任、吉瀬智雄

コーチング } 男子主任 横山安太
スタフ } 早川 忠雄(廣二中監督)
平川 裕智

(指導)…聯盟側ヨリ、兒島、寺田兩氏

參加選手一覽表 (*ハ合宿者)

男 子 之 部

姓 名	種目	所屬校	學年	身長	體重
*谷村秀治 <small>(Cクラスニ入ルベキ選手)</small>	自	一中	5	175.5	58.9
*古川富喜男	平	同	5	164.9	54.2

女 子 之 部

(*ハ合宿者)(其ノ他土肥ハ自費)

姓 名	種目	所屬校	學年	身長	體重
*梶岡 廣江	平	土肥	補	156.5	41.2
*榎 マサノ	平	同	補	149.7	45.2
*畝川 澄江	背	同	補	156.8	49.4

*天野 貴子	自	同	3	158.5	46.4
*三鬼百合子	自	同	3	158.1	50.2
魚井智慧子	自	同	4	154.4	50.6
保手濱政子	背	同	1	143.8	38.0
曾田 昌子	背	市女	4	159.9	50.8
尾曾越 恭	自	同	4	157.1	50.2
田尻 泰子	平	同	4	152.2	45.2
山名 壽子	平	同	3	152.4	41.8
水谷 康子	自	同	3	155.8	44.6
井久田孝子	背	同	2	153.2	49.8
山崎 淳子	平	同	2	153.4	41.8
小林 恵子	平	縣女	5	152.5	45.2
田上 静子	平	同	4	152.3	49.8
辻 愛	平	同	4	152.5	44.2
永井 房江	自	同	3	152.4	44.4
森田 光子	背	同	3	152.5	50.6
清水満智子	自	同	2	158.6	46.8
深田 政子	自	同	2	148.9	40.0
梶川田鶴子	平	土肥	1	—	—
岩本 茂子	背	同	1	—	—
吉田ミチ子	自	同	1	—	—
島田ノブエ	自	同	1	—	—

(主任) 鎌田壽夫 (土肥監督)
高橋雅紀 (市女監督)
片岡 整 (縣女監督)

合宿練習日程表
男子之部

月日	午 前	午 後	備 考
8.26	11時集合	練習開始	體重計量、大會ヲ目標トシナイ
27	練習	同 左	通常練習 } 本日ヨリ兒島氏指導ニ依ル水泳體操
28	休	休後、練習	女子大會ノタメ休ム
29	大會	齋藤氏講話練習	缺點 矯正
30	休	練習(輕ク)	フォームヲ主トシテ
31	練習	解散	

女子之部

月日	午 前	午 後	備 考
8.26	11時集合	練習開始	體重計、量大會ニ備ヘル爲ノ練習
27	練習	同 左	同 上
28	大會	大會	齋藤氏來廣
29	休	齋藤氏講話練習	缺點矯正、男子大會ノタメ休
30	練習	練習(輕ク)	
31	練習	解散	

日 記

八月二十六日 晴 (水溫氣溫共=絶好)

男子之部

晝前までには二中プールへ練習参加選手全部集合 (内修道中學の船倉等四名の者は都合に依り歸校) 何れも張切つた氣持で、この意義ある練習に、何物かを得やうと意氣込む。

今までの練習が各校まちまちに行はれてゐた關係上、今日は全體の氣持を纏めること及び二中プールに馴れさせ氣持をやつた。

練習終了後身體、體重等の測定をなす。

夜は横山コーチより合宿に就いて種々の注意あり九時には一齊に床に就く。

女子之部

男子と同様集合 (内市女の尾曾越は體の都合上参加遅る) 一應合宿所に集まり、種々注意の後、直ちにプールに水泳着姿で現はれ、練習にかゝる。

然しながら、先日の福岡に於ける大會まで多くの大會に出場し過ぎた氣味がある爲、特に優勝選手は疲勞の色濃く其の上、この三校の選手達は一緒に練習する機会が多かつた爲男子の様に、張切つた氣分も見られなかつた。

又練習プランも男子のそれと異り、目的が二十八日の大會にある爲、ピーティングを200位泳いだに過ぎなかつた。

水に乗る練習、ピーティングの練習終了後身長、體重測定をなし、揃つて合宿所に引上げ、市女、縣女軍は各自家路へ、土肥高女のみ、鎌田氏監督のもとに自分等だけの合宿の様な氣持で第一夜を迎ふ。

八月二十七日 時 (水氣溫共コンディション良好)

男子之部

殆んど元氣で朝早くから目を覺まし、練習時間を待つ。午前は十時半より開始。

兒島氏より水泳體操を習ふ。今までに體操を大してやつてゐない學校、又、體の固い者は苦しうであつた。

練習は昨日に引續き、程度は低かつた。

(感想) ピーティングは一般に力を入れ過ぎ、固く且つ小さい感があり、個人に就いても缺點は全國中等大會以來段々悪くなる傾向があり、目立つ者もあつたが齋藤氏の御注意に依り、氏の來廣を待つことになつてゐるので、フォームに就いては全然指導せず、唯、それが大きくなならない様、練習法に注意

す。
 午後は三時より開始
 一兩日に大會を控へてゐるが、普通の練習にかゝる。

水泳練習

	スプリント	ロング	ビーテ イング	ダツシュ
背	200	400	400	50×1 25×2
短	200	400	400	50×1 25×2
長	200	600	400	50×2 25×1
平	200	400	400	50×2 25×1

選手一同、やらうと云ふ意氣はありありと見受けられるが、體が思ふ様にならず、持て餘す態。

スプリントに於ける参考タイム（選手には知らさない）

	最 高	最 低
背 200	谷 口 2:43.8	中 光 3:04.8
自 200	粟 2:26.6	秋 永 2:41.9
平 200	澤 井 2:59.8	古川、川手 3:04.0

これを見ても、夏以來の疲れが充分、直つてゐないことを解せられる。

この日より、兒島、寺田兩コーチも選手に加はつて練習合宿選手、特に背泳陣の足の強いのに兒島氏も驚く。

女子之部

八時より練習の爲、市縣女の生徒はそれまでに用意して來ねばならないのだから、相當苦しいことゝ思ふ。

午前 八時開始

體操は土肥高女の畝川、梶岡、榎の諸嬢の指導のもとに行ふ。

水泳練習

	ウオー ミング アップ	スプリント (ピツクアップ)	ビーテ イング	クーリン グ ダウ ン
短	250	50	100	50
長	250	200	200	50
平	250	50×2	100	50
背	250	50	100	50

疲勞の色未だの感あり。中食の休憩所に於ても、完全にのめされた様に長くなつて寝てゐる者が殆んどで元氣さうに女のくせとして、はしやく者も居ない。

午後は一時過ぎより開始

水泳練習

	ウオー ミング アップ	スプリント (ピツクアップ)	ビーテ イング	クーリン グ ダウ ン
短	250	50	200	50

長	250	100	200	50
平	250	100	200	50
背	250	50	100	50

體がだれてゐる上に、暑い日に當てられ、へばつてゐる様子だつた。いよいよ大會も明日に迫つたが總ての者が、はち切れる元氣で臨むと云ふことにならなかつたことは遺憾であるが、これも合同練習の爲、歩調を整へる都合上、已むを得なかつたことであらう。明日の大會には各ベストを盡さんことを申合はせ、別れる。

八月二十八日 晴（水氣温共コンディション良好）

男子之部

女子の山陽選手權大會の爲、午前中二時間位、見物、中食時にビーテイングを主として、軽い練習をなし、大會終了後、齋藤氏を迎へて練習にかゝる。

水泳練習

	スプリント	ロング	ビーテ イング	クーリン グ ダウ ン
短	100	400	200	—
長	100	400	200	—
背	100	400	200	—
平	100	400	200	—

齋藤氏を迎へて、氣分だけでも相當張切つた様で次に掲げたタイムによつても明らかに解る。

自 100	粟 1:05.8	宮田 1:07.2	
	渡邊 1:06.0	中東 1:07.4	
	張間 1:06.8	谷村 1:07.8	
	金樹 1:07.0		
背 100 (兒島)	1:11.6	平 100 (寺田)	1:20.8
	谷口 1:14.7		澤井 1:21.7
	倉本 1:17.8		古川 1:23.5
	山中 1:20.2		川手 1:24.4
	田原 1:22.1		
	中光 1:25.3		

(感想) 自由形では、飛びぬけて強い者も居ず、又物にならぬと云ふ程度でもなく、全體が、接近した状態にある。これは過去の大會を見ても、毎回の様に優勝者が變つてゐるのでも判る。この中からたとへ一人たりとも大選手が出てくれればと祈る。

背泳の谷口あたりは、やうやく平素の調子に歸りかけた様子である。然し、フォームの點から見るとやゝ無理が出来たやうにも思ふ。平泳陣では澤井は先づ平調、古川が脚を段々悪くしてゐる傾向にあるらしく、本人も心配してゐる様である。

夜の合宿所は實にのんびりしたもので、世間話に花を咲かせる者があると思へば、レコードをかけて靜かに藝術の世界に引き入れられ、晝間の疲れを忘

れて、全體の融和もとれた中に就寝の時を待つてゐる。

女子之部

大會とは云へ、前日まで共に、練習し、共に騒いだ仲なので、生徒同志は誠になごやかなもので、唯各校の先生連中のみ盛んに秘策を練り、氣をもんで居られるのも珍風景であつた、

當日の各自の最高記録は次の通り

50 米自由形	100 米自由形
天野 34.8	天野 1:18.2
尾曾越 37.4 (試合前體の調子悪)	三鬼 1:21.2 (疲勞特に大)
魚井 37.2	魚井 1:25.6
永井 37.8 (最近低調)	
400 米自由形	100 米平泳 (何れも低調)
三鬼 6:17.0	梶岡 1:40.2 (夏以來疲勞)
深田 6:52.2	小林 1:40.0
永井 6:52.6	山名 1:41.0
50 米背泳	榎 1:42.4
曾田 41.4	田尻 1:46.0
畝川 43.6	梶川 1:47.0
保手濱 44.0	200 米平泳
岩本 45.0	山名 3:30.6
井久田 46.8	小林 3:32.4
100 米背泳	梶岡 3:34.0
曾田 1:32.8	辻 3:43.0
畝川 1:35.0	田尻 3:45.4
岩本 1:39.0	榎 3:34.2 (失格)
保手濱 1:39.8	200 米リレー
井久田 1:45.4	土肥チーム 2:28.0
300 米メドレー・リレー	市女チーム 2:35.4
土肥チーム 4:35.4	縣女チーム 2:39.2
市女チーム 4:39.2	
縣女チーム 5:14.0	

各種目に互り、一等記録は平泳を除き相當なものであつた。(この三校の他岡山縣の苦津高女、津山高女來る) 最初に書いて置いた様に、「もつと選手に元氣があつたならば」と思つた。

この大會に於て、廣島縣三校が三位までを獨占したことに依り、中國以西では完全に最強と云へやう。

次に目指すものは、全國制覇であらう。

八月二十九日 晴 (コンディション良好)

男子之部

縣下選手權大會出場

當日の記録は次の通り (途中時間も参考に計時するも省略す)

100 米自由形	栗 1:08.0
張間正光 1:07.8	
200 米自由形	栗 2:29.8
渡邊 2:36.2	谷村 2:30.2
	張間 2:32.4
400 米自由形	谷村 5:26.2
山下 5:37.6	渡邊 5:26.2
	金柵 5:38.8
1500 米自由形	山下 22:19.8
	秋永 23:01.6
100 米平泳	(寺田) 1:21.0
	澤井 1:21.6
	古川 1:25.2
200 米平泳	(幸田) 2:55.8
	澤井 3:00.2
	古川 3:03.8
100 米背泳	(兒島) 1:10.4
	谷口 1:17.4
	倉本 1:20.0
	山中 1:24.2
200 米背泳	(兒島) 2:34.0
	谷口 2:41.2
	倉本 2:52.2
	山中 2:58.2
200 米リレー	合宿選手總てが一チームに出場してゐないので略す。
800 米リレー	谷村、渡邊、金柵、栗 10:18.2

以上の記録を見ても充分うなづけることであるが前日の女子大會以上に、學校と云ふ意識がない爲、唯、個人の競争となり、其の上誰が勝つてもと云ふ感じで終始したこと、練習がこの大會を全然無視してあつた關係上、好記録は最初より望むものでなかつた。

唯 200 米背泳に於て、兒島君が連日指導の疲勞にも拘らず、2分30秒0の日本記録を出されたことはこのプールで最初のもので (國際記録) あり。特に廣島出身の人であるだけに一同、喜びを共にした。

午後は四時過ぎより、約一時間に互り、齋藤氏の講話を聞き、實地指導を受けた。

講話内容の大意は次の通り

1. 練習方法につき、種々細部に互る説明
2. 水泳體操の要領、效果に就いて
3. 泳ぎに就いて

實地指導の大意は

泳ぎ………矯正指導、注意

ターン

ビーティング

スタート及スタートダッシュ

の要領に就いて

以上、誠に得難いものを受け、コーチングスタッフ選手一同感謝し、希望に燃えた。

(感想) 午後の練習に於て、齋藤氏の言に依れば「試合が済んだ、其の日、練習することは、なかなか困難であるに拘らず、然も、コーチの言ふ通り、スラスラと動いてゐるのは感心だね」

このことに就いて、後に齋藤氏からも一寸お話はあつたが、選手達が、不服も云はないで、云ふ通りに動けば、動く程、我々、コーチの位置に立つ者はそれだけ、彼等の體の状態を考へ、選手自身の氣持になつて、練習法を初めとして、種々、總ての方面に考へねばならぬことがありはしないかと思ふ。

女子之部

午前中は前日の男子同様、大會の見學、

午後二時より、齋藤氏の講話及び實地指導を受く。

(内容は男子に殆んど同じ)

唯ここに記すことは、プールを横に使用して、各技術の練習をすると共に、一時に多くの者が練習出来ることを學んだことは、参考となること大であつた。

八月三十日 雨一時晴 (コンディション悪)

男子之部

午前中は齋藤氏の御注意に依り、休養、

午後は三時半より泳ぎを主として、筋肉の作用等懇切なる指導、講話あり。

全員、御注意を守り、今後邁進する覺悟である。

女子之部

午前九時半開始。

實地に練習をなし、齋藤氏より、御指導を受ける。

一人一人について注意をして戴いたので、各校コーチの方も感謝して居られた。午後は一時より二時半頃まで練習午前に引續き、フォームを中心としての練習。終了後、高橋市女教諭代表として感謝の挨拶あり、四時三十二分發の汽車にて歸京の齋藤氏を送つて、驛に出た。女軍は皆、驛まで見送り、感謝の意を表すると共に、將來の御援助をも願ひしてお別れした。

八月三十一日 晴 (コンディション不良)

昨日の雨の爲濁りかけてゐた水は一時に色がつき

コースラインも見えない状態となり、急に照りつけられたので、一同、「最後の頑張る」と覺悟してゐたのも、氣をそがれた感があつた。

合宿の最終日と云ふので、参考タイムを先づとる。何れも大したことはなかつた。

然し、フォームの點から見ると、各自注意されたことに氣を付けて泳ぐので、今よりは良くなつた様だ。

各種目とも

スプリントより初め平素の通りの練習を終へた。

女子之部

午前八時半より開始

男子同様参考タイムをとる。

然し、これも、連日の張切つた氣持を體の爲持ちこたへることが出来ず、何れも不良であつた。

練習

	スプリント	バタ足	ダッシュ	クーリン ダウン
短	100	200	25×3	100
長	400	200	50×1.25×2	100
平	100	200	25×3	100
背	100	200	25×3	100

(感想) 本日の練習を見ると、各選手共、福岡遠征直後よりは少々元氣に見えたが、まだまだの感大である。各校とも相當の休養を與へてやつてもらいたい。

コーチャー、各校先生の感想……。

先づ誰もが口を揃へて話されることは、「有益であつた」の言葉である。次いで「今後も持續してもらへば」である。

實際今までの練習を考へて見ると一般に、細部に互る注意が足りなかつたことを痛感する。この細部(ターン、ビーティングの要領、スタートの方法、要領)のことが如何に大きな役目をなすかと云ふことも、今更ながらうなづけた様な氣がする。

今後は練習プランを確立することよりかゝり、齋藤氏を初め兒島、寺田兩君の注意を守り、水泳廣島の名を辱めない様、進んでは、よりよき選手、より多くの選手を中央に送り出して、今度の合宿練習を無事さして戴いた、日本水上競技聯盟、又、齋藤氏其他各位に、御禮の御言葉にかへたいと思ふ。

誠に有意義に終了さしてたいことにつき、これに關係した者總て、感謝致してゐます。

(誠に不體裁に、解りにくい日記をお送りすること遅れたことを深くお詫び致します)

平川 智裕記

福 岡

合宿費決算報告

金 249 圓 50 錢也
 内譯 宿料 199 圓 50 錢
 車代通信費宿茶代プール入場料
 30 圓 50 錢
 其他雜費 10 圓 50 錢
 右ノ通 = 御座候也
 昭和 12 年 9 月 18 日

福岡水泳協會 田中 幸生

八月二十二日の西日本各縣對抗男女水上競技大會の結果を觀てメンバーヲ發表す。

男子選手の方は豫め各縣に依頼方は頼んであつたがやはり八月末の試合とか合宿の責任とか試験とかの都合で縣外は一名も参加出來なく福岡縣のみの選手となつて甚だ残念であつた。女子の方は當方で發表した者が全部参加してくれることになつて氣をよくした。

來年度からは時期をよく考慮するの必要を感じた。合宿所は男女近くて監督間の連絡は樂であつた。

プールは最初男女一緒にやる上から大濠プールの豫定であつたが一般入場者が入るので非常に不便を感じ筑紫高女プールに変更した。

練習は鍛鍊期の仕方及試合前の調子の持つて行き方等を齋藤氏より指導あり體操を熱心に行つた。

練習は午前午後二回非常に張切つてやつた。

男子部レコード會は正式にされなかつたが女子の方は一十九日に全國女子中等學校豫選に番外或はそれに出場してレコード會をした。

氣温 22 度 水温 27 度半 於大濠プール

400 米自由形	吉 元	6:36.8
	眞	6:56.6
	秋 山	6:14.6
100 米自由形	松 村	1:17.4
100 米背泳	小 田	1:29.6
	井 手	1:36.4
	重 富	不參
200 米平泳	村 尾	2:16.6
	平 石	3:27.5
	渡 邊	3:36.4

右の通りで大部分は本年度のベストを出してくれ

た。かくして八月卅日の午前中で無事終了解散した。

次に参加メンバー左の如し。

女子部監督 田中 幸生
 男子部監督 下村 雲平
 井上 茂

男選手	天野	(製 鐵)	長距離
	瀬戸島		同
	伊藤		同
	檜崎彌之助	(修 献館)	短距離
	原	(明善中)	背泳
	山崎	(鞍手中)	平泳
女選手	村尾 充子	(長 將)	同
	平石富美子	(同)	同
	渡邊スミ子	(筑 紫)	同
	小田アイ子	(同)	背泳
	井手 道子	(同)	同
	重富	(山 口)	同
	吉元貴美子	(長 崎)	長距離
	眞 克	(同)	同
	秋山 幸子	(久留米)	同
	松村 昶子	(山 口)	短距離

日 記

八月二十三日

來る東京オリムピックに備えて第二軍強化のため合宿練習が行はれた。パリーのオリムピック當時ならした齋藤巍洋氏のコーチのもとに一週間いよいよ第一日の合宿は始められた。

午後五時大濠プールへ

昨日のあの息詰る様な戦は何處に、

滿々と湛えられたプールの水

張り切つた私共の胸はいよいよ高鳴をおぼえた。

準備運動をして元氣一ぱいで水の中に飛込んだ。

百米、スタートダツシュ。

夕やみに暮れんとす大濠プールをあとに青柳の中を歸途につく、願はくば此の合宿をして、私共の有意義なる生活としたい。

八月二十四日

合宿第二日目七時半起床。

遙かに玄海の波よせる海岸を散歩した長く白く横たはる防波止左手の西公園右手には飛行場沖の方は未だ朝もやに包まれてゐた。

午前中は大濠プール午、後からは筑紫高女のプールで久留米の秋山さんも今日からみらつしやつた。

夜は皆んなでトランプ等をして面白く過した。

八月二十五日

だんだん疲れが出て出たのか七時の起床にやつと間に合つた。午前中の練習は二〇〇スタートビイティング一〇〇米、

十一時ボンボン蒸氣船にゆられる事凡そ五十分で志賀島へ中食をすまして一休み。

島の子等はみるからにたくましく日やけして水の中をもぐりもりを持つて魚をついてゐる。やがて暮近くなると釣に出る。

父を送るのであらう、その妻とその子が渚に出て來た。

夜の海に點々として浮かぶ漁火はこれ等の人々であらふ。いかにものんびりした氣持にひたつて、志賀の島をさつた。

夜は齋藤先生からマツサーヂをしていただいた。

お蔭で肩のこりがよくなつた様だ。明日も元氣を出して練習をついけやう。

八月二十三日

今朝はみんな早起きだつた。

午前二〇〇米、スタート、ビイティング、ターン、午後はこれに二十五米ダツシュと一〇〇米があつた。

もうほとんど夕日は落ちて西の空はあかね色にさしてゐた七時半頃宿についた。

今夜は田中先生がいらつしやらない。

私たちもおそくまで懐かしい友に久々便りを書いた。

八月二十七日

午前八〇〇、午後二〇〇、四〇〇、ビイティング今日は長いのばかりだつた。夕食を最後として今晚齋藤先生は廣島へいらつしやつた食後、いろいろのお話で名残は盡きず。

暗くなつた町の中を驛へと急いだ。さすが別れともなれば、何となく心淋しい、わづか五日間ではあつたけれども先生は御親切に色々と指導下さいました。又とこんな絶好のチャンスはないだらうに。

先生は「皆元氣で、又神宮で逢はう」とおつしやつた。

汽車は東へ東へと進んで行く。

先生の御健康と御幸福を祈る。

八月二十八日

午前の練習を休み午後五時から大濠プールへ明日のレースコースを泳いでビイティング今日は齋藤先生のお顔が見えぬ。

先生のあのこやかな御顔と、そしてあの水際だつた美しいフォームとが浮んで來た。

早くやすまないと明日はレコード會だから。

八月二十九日

合宿最後の日福岡縣下の大會に番外として出場す案外皆んなよいタイムが出て嬉しく思つた。

いよいよ合宿も明朝解散となる。

同じ屋根の下で共に寝起きた事一週間。一週間なれどそれは楽しい思出の一週間であつた。

この合宿をして意義あらしめるには今後の私共の練習を如何にしたらよいかと云ふ車にあると思ふ。

大濠のプールよ、筑紫のプールよ。

此處でつちかはれた水の勇士を願はくば神宮に否來る東京オリムピツプに必ず送つてくれよ。

(村尾充子記)

(註 男子日誌提出なし)

◆ マルマゲ高女 ◆

神宮大會三日目、女子中等百米豫選 E 組アナウンスの時通告員 須藤菊代さん、舌が縛れて丸龜高女を〇〇高女さてはマルマゲ高女と通告、觀衆ドツと哄笑さては須藤さん思はず洩した言葉ぢやないかと、口さがない惡童役員連ウルサイウルサイ。

◆ 空襲は恐しいですぞ！ ◆

前略 事變突發以來憲兵隊付英語通譯として、活動してゐます。

今日から愈々第一線に進出する事になりました、勿論生還を期せず、潔よくスポーツマンらしく死んで來ます、皆様に一々御別れを述べられませんが貴兄より吳々も宜敷く、空襲は恐しいですぞ。左様なら

松澤一鶴様

坂倉巖

◆ 波よけ水沫に歸す ◆

神宮プールの御自慢の波よけを見て、評議員様賞讃して「こりや巧い事を考へたね、水沫がかゝらないで良いよ。」と折角苦心の波よけも評議員殿にかゝつては水の泡。

全國師範學校選手權

水上競技大會について

井 坂 行 男

日本水上競技聯盟の後援の下に、東京文理大水泳部主催の全國師範學校選手權水上競技大會が本年誕生する事となり、その第一回の大會を昭和十二年八月二十二日に開催した、その趣旨や大會の模様などを述べて色々と御援助下さつた飯田氏野田氏始め聯盟の方々には御禮の心を表すと同時に、廣く水上日本の大きな未來の建設の爲の微意に對して大方諸賢の御批正を仰ぎたいと思ひ、かくは拙文を綴る次第である。

水上日本の今日あるは全く日本に於ける水泳のレベルが上昇して來た事によるのであつて、強い日本の選手はその最も上部の代表者であると言はれてゐる。全く日本を代表する選手だけがとび抜けてゐるのでは無く、常にその後には直ちに續いてゐる力強い豫備軍を持つてゐる事が水上日本の何よりの強みでなくてはならない。この、常に第一線の戰士を養成し補充する水上日本の總豫備軍は如何にして充實されるであらうか。かう考へると先づ第一に國民——特に若き次の時代を背負ふ國民に自然我々の眼は向けられるであらう。初等教育の普及によつて日本全國にあまねく教育が徹底された様に、水泳も亦この初等教育の層に徹底する事によつて始めて全国的に普及されるであらう。「國民皆泳」も先づこの層をねらはねばならない。それが「國民皆泳」の實行方策の一つの道である。もつと具體的に以上の事を言ふならば、「國民皆泳」は先づ小學校に於て實現されねばならないと云ふのである。そしてこの事はやがて水上日本の王座の永久確保の地盤を作る事になるであらう。

我々は決して小學校に水泳を普及する事を以て唯一の念願とするものではない。それは更に次の中等學校或はそれ以上の學校にと進展して行くべきであり、又一方に於て所謂「學生選手」のみでなく一般の國民層へと廣く及んで行かねばならない。しかしその基礎は結局小學校にあると言はれるであらう。

以上の道は水上日本の王座の確保と云ふ華かな標語から見れば誠にじみであり迂遠に見える。しかし

我々はあくまでも國民一般のレベルの上に日本の力が示される事を信じその基礎工事の一つを行はんとするものである。

此處まで言へば、何故師範學校の水泳大會に着眼したかはすぐ了解される。即ち要はその小國民の指導者——良き指導者を作る事にあるのである。從來の中等學校の例を考へて見ても、目ざましく擡頭して來た學校には殆んどすべて必ず熱心な先生が背後にあつて導いて來た。又コーチの普及發達が日本の水泳を此處まで向上させたのである所よりしても、小國民を通しての次の時代——の更に長き將來の水泳の發展は必ずやその指導者の力を俟たねばならないであらう。その指導者は現在の師範學校の生徒であらねばならない。師範大會の趣旨はこの師範の生徒に對して、水泳の正しき理解と體驗を得て貰ふ機會を作るにあるといふ事が出來やう。もし競技會と指導者の資格との關係を追求される方があれば論を他日に譲らねばならない。

我々は競泳のみを以て直ちに水泳の力と速斷するものには無いが、競泳も亦、否競泳こそは格別にその力を代表するものと言はれるであらう。然るに、從來師範學校は一般中等學校に比して著しくその發達が遅れてゐる觀がある。その理由は兎もあれ（この理由の考察も我々の大切な課題の一つなのだが）事實は確にそうである。我々はその發達を考へねばならなくなつた。現在の師範の力は確に他の中等學校に比肩し得ない。競技會も中等學校一般と一緒では無理の様な氣がする。そして特に師範學校には「指導」と言ふ全く独自の使命が負はされてゐる。その爲にも他の中等學校と何等かの區別が考へられねばならない。又實際上から見ても、中等學校が多く生徒を有するのに對し師範は近時の學級減で生徒數を著しく減少させられてゐる。それに比較的他の色々の運動が盛で選手の数も全く缺乏してゐる。そして中等學校の競技會に對する師範生徒の出場資格は僅に本科一部に限られてゐるのである。之等の事情に鑑みて、本大會の競技者資格は廣く師範の含む全部、即ち一部、二部、専攻科（朝鮮臺灣は普通

科、尋常科、演習科、講習科、研究科)の全部を包含する事に定めた。之は師範のみの競技會といふ立場からも亦許容される事であらう。かくして師範のみの會を開く事によつて、あまねく全國の師範に参加して貰はうと思ふのである。競技種目も亦現狀に適する様に聯盟の方の御意見によつて、五十、百、二百、四百、各自由形百背二百平、二百リレー三百メドレーとした。競技場も將來は神宮プールを使はねばならぬ様に發展させたいが兎に角持ち合せの文理大のプール(廿五米)を使ふ事に決めた。

師範大會の計畫は前々から企てゝはみたのであるが本年度に於ける第一回の大會の計畫が愈々實行に移されたのは四月に入つてからであつた。始まつて見ると仲々うまく行かず、萬事手遅れの感があつた。趣意書を發送し、参加の案内状を出して反響の案内大きかつたのは驚き且喜びもした。京城、鹿児島、山口、等多くの學校から熱烈なる賛意の便りを得、益々良き大會の開催を心に誓つた。しかし又一方師範學校の水泳の實狀を明かにされて参加出来ない旨の返書も來た。それを分類して見ると、水泳部が無いもの、遠征の費用が無いもの、本年度の豫算がとつてないもの、力が貧弱だから行けぬと云ふもの、選手派遣の内規によつて行けぬと云ふもの(例へば縣下で優勝した部のみ派遣し得るなど)等となる。しかし何れもが賛意を表して色々具体的な指示をして來た事は嬉しかつた。賛意を表したのものの中には「來るべきオリムピックには是非我々の仲間からも一人の選手を」とか或は「中等學校が東西對抗をやつた様に東京と廣島とで東西二分して豫選を行ひ、その結果決勝を」とか遠大な計畫を示して呉れたのもあつた。

色々と勧誘の結果、本年参加し得る學校は、埼玉、東京、新潟、京城、青森、福島、天王寺、の七校となつた。(實際の競技は新潟の不参により六校となつたが)之で愈々大會開催となつた。競技會の様子は別に記録が出る筈だから記さないが、二百米平泳の天王寺師範の三木の二分五八秒八以外は特に之と云つて注目すべき記録は無い。しかし我々は誕生期にある今、第一回の競技會を以て師範の實力を速断する事を控へねばならない。あと何年かして名實共に全國師範大會となつた時に始めてその實力を問ふ事が出来るであらう。

かくして第一回の大會は終つた。その結果は七四點を以て遠來の京城師範が第二位の京都師範(五二點)を引きはなして優勝し、水上聯盟寄贈の燦然たる大優勝盃は名譽主事野田氏の手により直接に京城

師範の主將の手に渡され、第一回に先づ朝鮮海峽を渡つて行く事となつたのである。

本年の競技會は誠に一つの試みであつた。我々は之を基として十分研究し先づ参加出来る學校に悉く参加して貰ひ次第に全國に手を延ばして行かねばならない。それが爲には來年の豫算をとつて貰ふ事も手近な一つの目的となる。更に大きく將來には、各學校に全部水泳部が設けられ、プールが作られ、やがては正課の一ともなる念願も抱くそこまで行かなくとも今年集つた材料から判断してこの大會が次第に廣まつて行く見込は十分立つのであるから我々は更に努力する事によつて一層の普及徹底を計り、延ひては「國民皆泳」の大モットー實現の礎石を置く一助にもならん事を深く心に期するものである。

◆ 藤原氏の出征雑話 ◆

賣るための雑誌なら話は分るが賣れないでもよいと超然と構えて居るだけ原稿がほとんど無い機關雜誌なるが故か知らないが「水泳」には彼大分苦しめられて居たらしい。所が氏は今度の倍號が出來上る前廿三日突如應召され其の惱が宙に舞つて居る次第である。平生彼は人のゴシップは良く書いたが自分の事は人情の常として書かなかつたらしい。所が彼は至つてそれに富んだ男であるのだから好機至れりところゝに發表する。彼と彼の良き相棒であるN氏との間の彼の母校のサンマーハウスに於けるカヌー上の野趣も自然人としての彼の面白い一面があり筆者もすつかり御兩人の一条まとはざる姿に僻易したのであるが、廿三日の出征當日十一時の發車時間に對して十時三〇分を過ぎても驛に姿を表はさぬ彼に大分見送りの人々は面喰つた様だつたが平生を知る人々は別に驚かなかつた事でも計り知る事が出來よう。十分前に現はれた彼が例のテレた様な口調で挨拶したのも微笑しく其の介添人としてのN氏の脱線振りも又愉快な存在だつた。N氏の感激の結果列車から降りるのを忘れたか、又列車上にある事を知らない程愉快になつて居たのか知らないがN氏の話によると沼津までしか行かなかつた由ですから心配された方々は御安心! N氏にして彼、彼にしてN氏、實に愉快極まるコンビであると言へよう。

廿七日の今日佐賀より電報あり「ケイラジュウゴヲマモレ」と。最後に藤原二等兵に對してかく言ひたい。「學校教練の成績が悪いものでも戦争となると實に眞面目である、どんな平地でも必ず擁護物を見出し之れによるから」と彼には此の言は適切ではないかも知れないが。

(編輯委員)

米國選手歡迎地方大會記錄

大阪日米對抗水上競技大會

主催 大阪水泳協會

日時 八月二日
 氣溫 33°
 水溫 26°
 場所 甲子園プール

女子 200 米リレー

- | | | | |
|----|--------|------|-------|
| 1. | 2:32.4 | 有柴天中 | } 第二組 |
| 2. | | | |
| 3. | | | |
| | | | } 第三組 |
| | | | } 第一組 |

男子 100 米自由形

- | | | | |
|----|--------|------|---------|
| 1. | 1:02.7 | 串田正夫 | 關學 |
| 2. | | 杉田芳郎 | 中京商 |
| 3. | | 木下喜一 | 大阪ナショナル |
| 4. | | 重山 | 加治木中 |

男子 400 米自由形

- | | | | |
|----|--------|-----|------|
| 1. | 5:03.6 | 岩田務 | 岐阜商 |
| 2. | | 宮本武 | 多度津中 |
| 3. | | 宇田 | 高知商 |

女子 400 米自由形

- | | | | |
|----|--------|------|-------|
| 1. | 6:21.2 | 宅間美恵 | 羽衣高女 |
| 2. | | 田中廣子 | 夕陽丘高女 |
| 3. | | 宮崎和子 | 市岡高女 |

男子 200 米自由形

- | | | | |
|----|--------|------|------|
| 1. | 2:18.4 | メデイカ | 米國 |
| 3. | 2:20.8 | 杉田芳郎 | 中京商 |
| 3. | 2:21.4 | 宮本茂 | 多度津中 |

男子 200 米平泳

- | | | | |
|----|--------|------|------|
| 1. | 2:50.8 | ヒギンス | 米國 |
| 2. | 2:56.6 | 田畑 | 京都二商 |
| 3. | 2:57.6 | 苗村 | 大阪高校 |

男子 200 米背泳

- | | | | |
|----|--------|-----------------|------|
| 1. | 2:30.6 | (日本國際新記録) キーフアー | 米國 |
| 2. | 2:42.8 | 谷口 | 廣島二中 |
| 3. | 2:43.2 | 妙中安造 | 伊都中 |

女子 200 米平泳

- | | | | |
|----|--------|------|--------|
| 1. | 3:19.6 | 南 | 兵庫二女 |
| 2. | | 中山絹子 | 徳島高女 |
| 3. | | 林 | 夕陽ヶ丘高女 |

女子 100 米背泳

- | | | | |
|----|--------|----------------|------|
| 1. | 1:23.4 | (日本國際新記録) ロールズ | 米國 |
| 2. | 1:37.4 | 山根 | 四條畷女 |
| 3. | 1:38.8 | 鷺尾 | 兵庫二女 |

男子 200 米リレー

- | | | | |
|----|--------|------|-------|
| 1. | 1:51.8 | 大井健司 | } 第一組 |
| | | 財尾善一 | |
| | | 木下善一 | |
| 2. | | | } 第二組 |
| 3. | | | } 第三組 |

男子 100 米平泳

- | | | | |
|----|--------|------|-----|
| 1. | 1:18.0 | ヒギンス | 米國 |
| 2. | 1:20.4 | 小川 | 須賀中 |
| 3. | 1:21.6 | 畑田 | 京二商 |

女子 100 米自由形

- | | | | |
|----|--------|------|--------|
| 1. | 1:11.4 | ロールズ | 米國 |
| 2. | 1:18:0 | 宅間美恵 | 羽衣高女 |
| 3. | 1:20.6 | 田中廣子 | 夕陽ヶ丘高女 |

男子 1500 米自由形

- | | | | |
|----|---------|------|-----|
| 1. | 20:20.2 | メデイカ | 米國 |
| 2. | 20:24.6 | 岩田務 | 岐阜商 |
| 3. | 21:16.2 | 宇田 | 高知商 |

男子 100 米背泳

- | | | | |
|----|--------|-------|------|
| 1. | 1:07.6 | キーフアー | 米國 |
| 2. | 1:15.0 | 妙中要造 | 伊都中 |
| 3. | 1:15.4 | 河野 | 加治木中 |

福岡日米水上競技大會

主催 福岡水泳協會
福岡日々新聞社

期日 八月三日
氣温 27.5°
水温 24.5°
場所 大濠水泳場(50米)公認

男子 200 米自由形

1.	2:15.4	メ デ イ カ	米 國
2.	2:17.2	杉 浦 重 雄	早 大
3.	2:22.2	佐々木 猛	日 大
4.	2:24.4	栗 原 徹	日 大
5.		天 野 富 勝	八幡製鐵
6.		淵 上 純 治	八幡製鐵

女子 50 米背泳

1.	40.0	伊 藤 さ と し	中 泉 女
2.	44.6	小 田 ア イ 子	筑 紫 女
3.	45.4	井 手 道 子	筑 紫 女
4.	48.4	新 埜 好 惠	筑 紫 女
5.		丸 山 ト シ 子	久 留 米 女
6.		福 谷 信 子	久 留 米 女

男子 100 米背泳

1.	1:07.2	キ ー フ ア ー	米 國
2.	1:09.8	吉 田 喜 一	早 大
3.	1:14.0	谷 口 利 弘	日 大
4.	1:20.0	長 崎 壽 夫	八幡製鐵
5.		伊 藤 史 夫	八幡製鐵
6.		井 上 博 夫	八 女 中

女子 100 米自由形

1.	1:11.2	ロ ー ル ズ	米 國
2.	1:17.8	松 村 昶 子	山 口 女
3.	1:18.0	古 田 つ ね 子	中 泉 女
4.	1:20.2	秋 山 幸 子	久 留 米 女
5.		秋 山 知 子	久 留 米 女
6.		山 口 サ ツ ミ	久 留 米 女
7.		佐々木 キクヨ	久 留 米 女

男子 100 米自由形

1.	1:01.6	佐々木 猛	日 大
2.	1:01.8	平 野 亮	日 大
3.	1:02.4	井 上 茂	福 岡 縣
4.	1:06.2	樽 崎 彌 之 助	修 猷 館 中

5.		武 内 至	八幡製鐵
6.		宮 崎 清	久 留 米 商

女子 200 米平泳

1.	3:14.8	壺 井 宇 乃 子	日 本 體 專
2.	3:34.0	渡 邊 ス ミ 子	筑 紫 女
3.	3:39.2	榊 原 住 代	久 留 米 女
4.	3:43.0	原 田 國 子	筑 紫 女
5.		葉 室 初 代	筑 紫 女

男子 100 米平泳

1.	1:14.4	葉 室 鐵 夫	日 大
2.	1:17.0	ヒ ギ ン ス	米 國
3.	1:22.2	葉 室 貞 男	日 大
4.	1:24.4	山 崎 知 三	鞍 手 中
5.		河 野 隆 三	福 岡 商
6.		白 川 龜 雄	八幡製鐵
7.		村 上 敬 一 郎	能 商

女子 100 米背泳

1.	1:25.8	ロ ー ル ズ	米 國
2.	1:25.8	伊 藤 サ ト シ	中 泉 女
3.	1:35.0	小 田 ア イ 子	筑 紫 女
4.	1:41.2	井 手 道 子	筑 紫 女
5.		丸 山 ト シ 子	久 留 米 女
6.		新 埜 好 惠	筑 紫 女
7.		福 谷 信 子	久 留 米 女

男子 200 米背泳

1.	2:30.4	キ ー フ ア ー	米 國
2.	2:31.0	吉 田 喜 一	早 大
3.	2:49.2	谷 口 利 弘	日 大
4.	3: 6.4	藤 瀬 東 文	福 中

女子 400 米自由形

1.	6:11.0	秋 山 幸 子	久 留 米 女
2.	6:25.4	古 田 ツ ネ	中 泉 女
3.	7:30.8	森 原 淳 子	筑 紫 女
4.	7:41.4	田 中 サ ツ キ	久 留 米 女

男子 500 米自由形

1. 6:24.8 メ デ イ カ 米 國
2. 6:27.2 杉 浦 重 雄 早 大
3. 6:34.2 天 野 富 勝 製 鐵
4. 6:44.0 栗 原 徹 日 大
5. 木 村 成 夫 日 大
6. 佐 藏 辰 夫 明 善
7. 村 上 昇 熊 商

女子 100 米平泳

1. 1:31.8 壺 井 宇 乃 子 日本體專
2. 1:40.4 渡 邊 ス ミ 子 筑 紫 女
3. 1:41.2 栗 原 國 子 筑 紫 女

4. 1:43.0 榊 原 住 代 久留米女
5. 葉 室 初 代 筑 紫 女
6. 吉 村 睦 枝 筑 紫 女

男子 200 米平泳

1. 2:44.8 葉 室 鐵 夫 日 大
2. 2:53.2 ヒ ギ ン ス 米 國
3. 3:02.8 葉 室 貞 男 日 大
4. 3:06.8 山 崎 知 三 鞍 手 中
5. 河 野 隆 三 福 商
6. 須 藤 直 製 鐵
7. 村 上 敬 一 郎 能 商

廣 島 日 米 水 上 競 技 大 會

主 催 廣 島 縣 體 育 協 會

期 日 八 月 五 日
 氣 溫 3 5°
 水 溫 2 4°
 場 所 廣 島 市 縣 立 二 中 プ ー ル

女子 100 米背泳

1. 1:22.8 ロ ー ル ズ 米 國
2. 1:30.2 會 田 昌 子 廣 島 市 女
3. 1:36.6 畝 川 澄 江 土 肥 高 女

2. 1:38.6 山 名 壽 子 廣 島 市 女
3. 1:43.0 榎 マ サ ノ 土 肥 高 女

男子 100 米平泳

1. 1:16.4 ヒ ギ ン ス 米 國
2. 1:22.0 高 橋 英 美 關 學
3. 1:22.6 佐 伯 武 雄 高 松 高 商

男子 200 米平泳

1. 2:55.6 ヒ ギ ン ス 米 國
2. 3:03.0 佐 伯 武 雄 高 松 高 商
3. 3:09.6 熊 野 泰 己 廣 島 高 校

男子 200 米背泳

1. 2:32.0 キ ー フ ア ー 米 國
2. 2:52.2 倉 本 武 夫 廣 島 一 中
3. 熊 野 隆 次 山 口 高 商

男子 100 米背泳

1. 1:10.4 キ ー フ ア ー 米 國
2. 1:18.2 米 本 靜 夫 廣 島 青 年
3. 1:21.0 倉 本 武 男 廣 島 一 中

男子 200 米自由形

1. 2:23.0 メ デ イ カ 米 國
2. 2:25.0 長 谷 川 卯 佐 美 高 松 高 商
3. 2:32.8 柚 木 勉 長 崎 高 商

女子 100 米自由形

1. 1:12.0 ロ ー ル ズ 米 國
2. 1:19.2 天 野 貴 子 土 肥 高 女
3. 1:20.4 三 鬼 百 合 子 土 肥 高 女

女子 100 米平泳

1. 1:35.2 梶 岡 廣 江 土 肥 高 女

男子 400 米自由形

1. 5:01.0 メ デ イ カ 米 國
2. 5:37.0 船 倉 賢 一 修 道 中
3. 5:38.0 山 上 諭 廣 島 一 中

京都日米水上競技大會

主催 京都水上競技聯盟

期 日 八 月 六 日

場 所 京都第二商業學校プール(50米)公認

女子 400 米リレー

1.	5:41.4	谷口美代子	A組
		辻村喜代子	
		赤月かめ子	
		林悦子	B組
2.	5:50.4	山田映子	
		岸田静枝	
		唐畑恒子	C組
		浅井佐紀子	
3.	5:58.7	林敏子	
		泉百合子	
		宮井良子	
		小西真知子	

3.	1:39.0	山下ヨシエ	京二條女
4.		澤村宜子	京府二女

女子 50 米背泳

1.	38.0	ロールズ	米 國
2.	41.2	泉百合子	京府二女
3.	41.3	宮井良子	京府一女

男子 200 米背泳

1.	2:34.7	キューファー	米 國
2.	2:39.0	鷺谷光明	宮城工業
3.	2:57.5	石 田	同志社
4.		吉村修吉	立命館

男子中等學校 800 米リレー

1.	10:41.1	今田重忠	京都一中
		澤野明三	
		加藤醇三	
		松本一	京都三中
2.	10:56.3	藤本正一	
		關和芳三	
		廣瀬道三	
		阿座上新吾	

女子 300 米メドレーリレー

1.	4:22.1	宮井良子	A組
		壺井宇乃子	
		谷口美代子	
2.	4:22.4	泉百合子	B組
		東トヨ	
		ロールズ	

男子 200 米自由形

1.	2:17.7	メデイカ	米 國
2.	2:18.5	片岡寅次郎	稻泳會
3.	2:24.5	宮本	多度津中
4.		壺田重三	稻泳會
5.		山下欣一	濱松一中
6.		坂上清太郎	稻泳會

男子 100 米背泳

1.	1:10.5	キューファー	米 國
2.	1:19.3	石 田	同志社
3.	1:23.7	加藤醇三	京都一中

男子 100 米平泳

1.	1:18.0	ヒギンス	米 國
2.	1:11.9	林田義人	大阪市役所
3.	1:28.8	栗田博	京都一中

男子 200 米平泳

1.	2:52.5	ヒギンス	米 國
2.	2:59.4	田畑三郎	京都二商
3.	3:04.4	田中季雄	弦泳會
4.		栗田博	京都一中

男子 800 米自由形

1.	10:54.3	メデイカ	米 國
2.	11:47.0	渡邊龍治	沼津商業
3.	11:54.3	阿座上新吾	京都三中
4.		松山正一	

女子 100 米平泳

1.	1:30.6	壺井宇乃子	日本女子體專
2.	1:37.8	東トヨ	府立第一女

名古屋日米水上競技大會

主催 名古屋體育協會

期 日 八月七日
 氣 温 29°
 水 温 26.5
 場 所 振甫水泳場 (50 米公認水泳場)

國際競技會の事として流石に觀衆は 2500 名を集めたが、生憎インターミドルと重なつて、地方一流選手の出場無く加ふるに米國選手も各地轉戦後として疲勞して好記録出でず競泳としての興味は薄らいだが飛込ではルート及ロールズ嬢の美技あつて大會に華を添へた。

男子 200 米自由形

1. 2:28.1 中村岩太郎 日 大
2. 2:33.2 夫馬友春 岐 藥
3. 2:33.6 齋藤洋 東 邦

男子 400 米自由形

1. 5:10.6 メデイカ 米 國
- 7: 5:14.1 栗原徹 日 大
3. 5:21.2 中林文二 豊 二 中

男子 200 米平泳

1. 2:51.0 ヒギンス 米 國
2. 3:02.7 栗本巖 岐 藥
3. 3:04.2 葉室貞夫 日 大

男子 100 米自由形

1. 1:04.1 伊藤進 愛 水
2. 1:05.0 中村岩太郎 日 大
3. 1:08.8 忠内知加志 東 邦

男子 100 米背泳

1. 1:08.5 キーフアー 米 國
2. 1:15.8 大宮敏男 岐 藥
3. 1:17.2 宮田大鳳 岐 藥

男子 100 米平泳

1. 1:17.0 ヒギンス 米 國
2. 1:22.9 淺井幸三 名 高 工
3. 1:24.3 栗本巖 岐 藥

男子 200 米背泳

1. 2:38.0 キーフアー 米 國
2. 2:49.8 大宮敏男 岐 藥
3. 2:51.8 服部義治 津 島 中

男子 800 米自由形

1. 10:43.2 メデイカ 米 國
2. 11:01.4 栗原徹 日 大
3. 11:11.8 太田光雄 中 京

男子 300 米メドレーリレー

1. 3:37.0 キーフアー } 米 國
ヒギンス }
メデイカ }
2. 3:49.0 立葉中 } 日 大
石室村 }
3. 3:48.4 宮栗本 } 岐 藥
栗夫馬 }

女子 200 米平泳

1. 3:24.2 後藤光子 淑 德
2. 3:36.3 鈴木登美子 淑 德
3. 3:40.4 宮坂のぶ 梶 山

女子 100 米自由形

1. 1:11.4 ロールズ 米 國
2. 1:16.5 梅村米江 梶 山
3. 1:20.2 木村繁子 梶 山

女子 100 米背泳

1. 1:27.0 ロールズ 米 國
2. 1:29.4 北島静子 梶 山
3. 1:30.5 山本うた 淑 德

女子 400 米リレー

1. 5:15.5 立梅岩木梶 } 梶 山
松村橋村 }
2. 梶田村 } 淑 德
鐘木 }
3. 鈴井西芦 } 縣 一
木上本原 }

濱名灣日米水上競技大會

主催 濱名灣游泳協會

期 日 八月十八日
 氣 温 28°
 水 温 27°
 場 所 濱松第一中學水泳場 (50米公認水泳場)

此の日午後に至りてや、雨の心配ありしも幸にして降雨無し。選手は全日本選手権大會直後の事として多少疲勞の色ありしも當日出場選手の大部分は郷土出身の爲め應援團の意氣物凄へ精神的にも張り切りたるレースを行ひたり。スタンドはプール三方に急造され當地としては未曾有の大會なれば郷土選手の活躍と米國選手の力泳を見んものと、開會四、五時間前より觀衆は押寄せの盛況を呈したり。又當日は當地方名士の來賓多く集りたるも世界に於ける我が郷土の水泳位置を眞に理解する者割合に少く、爲めに本協會員は水泳の普及と競泳認識を深める爲めあらゆる方面より之が解説を試み大いに成果を挙げたり。競技記録としては200米背泳にキープアーの世界新記録と吉田選手の日本新記録の樹立あり、女子としてはロールズ嬢の力泳を目のあたり見るを得一般觀衆の蒙を開く事甚甚、レース時間は2時間半とは云へ當日の收穫は實に大なるものありたりと云ふべし。

男子 400 米リレー

- | | | | |
|----|--------|---------------|-------------------|
| 1. | 4:25.0 | 伊 藤 藤 須 柳 博 肇 | 欣 重 雄 |
| 2. | 4:26.0 | 杉 浦 重 雄 | 牧 野 崎 井 康 茂 藏 二 雄 |

男子 200 米平泳

- | | | | |
|----|--------|---------|-----|
| 1. | 2:49.8 | 小 池 禮 三 | 慶 大 |
| 2. | 2:53.8 | ヒ ギ ン ス | 米 國 |
| 3. | 2:55.8 | 伊 藤 三 郎 | 明 大 |

男子 100 米自由形

- | | | | |
|----|--------|---------|-----|
| 1. | 0:59.0 | 新 井 茂 雄 | 立 大 |
| 2. | 1:03.0 | 山 下 欣 一 | 濱 中 |
| 3. | 1:05.2 | 伊 藤 猛 | 見 中 |

男子 100 米背泳

- | | | | |
|----|--------|-----------|-----|
| 1. | 2:29.4 | キ ー フ ア ー | 米 國 |
| 2. | 2:31.8 | 吉 田 喜 一 | 早 大 |

- | | | | |
|----|--------|---------|-----|
| 3. | 2:41.0 | 兒 島 泰 彦 | 慶 大 |
|----|--------|---------|-----|

男子 400 米自由形

- | | | | |
|----|--------|---------|-----|
| 1. | 5:08.6 | 松 山 正 一 | 中 農 |
| 2. | 5:16.6 | 荒 井 通 雄 | 掛 中 |
| 3. | 5:21.4 | 伊 藤 憲 利 | 袋 商 |

男子 400 米自由形

- | | | | |
|----|--------|---------|-----|
| 1. | 5:04.6 | メ デ イ カ | 米 國 |
| 2. | 5:05.0 | 杉 浦 重 雄 | 早 大 |
| 3. | 5:06.0 | 牧 野 正 藏 | 早 大 |

男子 200 米リレー

- | | | |
|----|--------|---------------------------------------------------------|
| 1. | 2:02.2 | 黑 柳 肇 博 衛 藤 須 藤 重 猛 |
| 2. | 2:02.4 | 松 山 仁 平 横 田 英 憲 伊 堀 文 一 藤 田 繁 正 新 通 松 荒 野 鈴 木 輝 夫 一 雄 雄 |
| 3. | 3:03.0 | 新 村 繁 夫 松 山 井 木 通 輝 一 雄 雄 |

男子 300 米メドレーリレー

- | | | | |
|----|--------|-----------------------------|-----|
| 1. | 3:21.4 | 兒 島 泰 彦 小 池 禮 三 新 井 茂 雄 | 米 國 |
| 2. | 3:28.6 | キ ー フ ア ー ー ス カ キ ヒ メ ギ デ イ | |
| 3. | 3:38.4 | 吉 田 喜 一 伊 藤 浦 重 三 郎 杉 浦 重 雄 | |

女子 100 米自由形

- | | | | |
|----|--------|-----------|---------|
| 1. | 1:15.0 | ロ ー ル ズ | 米 國 |
| 2. | 1:16.8 | 古 田 つ ね 子 | 中 泉 高 女 |
| 3. | 1:22.2 | 福 島 ふ さ | 島 田 高 女 |

女子 100 米平泳

- | | | | |
|----|--------|-----------|---------|
| 1. | 1:31.2 | ロ ー ル ズ | 米 國 |
| 2. | 1:40.0 | 飯 澤 須 賀 子 | 中 泉 高 女 |
| 3. | 1:44.8 | 山 野 壽 | 島 田 高 女 |

外國關係日誌

“今夏米國選手招聘に關する米國 A. A. U. との交渉の次第”

清 水 康 男

日本の水泳界に於て現在比較的弱いと言はれて居る背泳四〇〇米自由形及び未だ幾分アメリカ等に較べると遅れてゐると見られる飛込等の各種目の著名選手を昭和十二年の日本選手権大會に招待して見ようと言ふ案は昨年ベルリンオリンピックからの歸途船上で話がある程度迄具體化されたのであつたが歸國後の色々の事から一時其の話も全く途絶へた形で正直の所、安部チャンが満洲へ行つてしまつてから外國關係委員として唯一人残されてしまつた私は、どうせ呼ぶなら早く交渉を始めればいいのにと、昨年も冬過ぎとなると段々夏までに時間が無くなつて行く事が心細くなつて行つたのであつた。

しかし二月六日の理事會で愈々此の交渉を始める事になつて電報を打つやら手紙を出すやら六ヶ月間やたらに忙しく立働いたが、其の間の交渉の次第を日誌から拾つて見よう。

二 月 六 日

本日の理事會で漸く此の夏米國の選手を少數呼ぶ事になつた。夏迄にはもう五ヶ月しかない。間に合ふかどうか少し心配である。慣れた安部チャンが居てさへ呉れたら簡単なのだがこんな事をまだやつた事のない自分には心細さの至りである。

今夏の招聘は結局キーファーに来て貰ひたい事にある。だがキーファーには彼を育て上げたと言ふレークショア、アスレティック、クラブのブラウニング監督がついてゐる。去年もキーファーに付いてベルリンに行つて居たし昭和十年にはやはりキーファーや同クラブのハイランド等と北歐に遠征をした人だ。恐らく彼にマネジャーとして来て貰はぬ限りキーファーは來まい。

之が吾々の腹だつた。そして次の様な電報を打つた。

ブラウニング氏へ、

「今夏八月中旬の日本選手権大會へキーファーを招聘したし、若し當人承諾せば同時にメデイカ、ヒギンス、ロールズ、及びルートの四氏を加へ貴殿にマネジャーとして來朝を乞ふ。條件は一九三五年度日米對抗の場合と同じ。委細文、返頼む」

米國A. A. U. 名譽主事ダニエル、フェリス氏へ、
「今夏八月中旬東京にて舉行の日本選手権大會へブラウニングをマネジャーとして、キーファー、メデイカ、ヒギンス、ロールズ、及びルートを招聘したし。條件は一九三五年度日米對抗の場合と同じ。御助力を乞ふ」

右電文中のロールズは去年ベルリンで女子飛板飛込で二等となり同時に競泳に出ては一〇〇の自由形で六着其の他背泳でもブレストでも何でも御座れの非常に重寶な、本年まだ數へ年十八位の少女であり一方ルートと言ふのは同じく去年のオリンピックで高飛込が二等の選手だ。兩方ベルリンで會つてゐるはずだがダイビングは暇がなくて餘り見に行かなかつたので顔は思ひ出せない。

聯盟の事務所で右の二つの電報を書き更に家に歸つてフェリス氏、ブラウニング氏、及びキーファーへ手紙を書いた。ブラウニング氏の名が誰に聞いても判らないので往生したがえいままよと Mr. Brauninger, o/cLakeshor Athletic Club. としてしまつた。後は向ふからの返事を待つてからの事だ。四、五日立つたら電報が來るだらう。

二 月 八 日

今日米國 A. A. U. のフェリスから返電が來た。
「貴下の御招待は來る廿八日の理事會にて相談す。マネジャーの指命は當協會に一任されたし」
なほ少し遅れてブラウニングからも來た。
「キーファーと私宛の御招待御受す。ルートの代りにグリーンを又シヤペロンとして妻を同伴したし」

と言ふのである。グリーンは申す迄もなくレークショア A. C. のダイヴァー即ちブラウニングの手持駒である。それは判るが奥さんをシヤペロンとして連れて來たいと言ふのは少々心臓の強い話だ。大體何の爲にシヤペロンなんか連れて來なければならぬのかも判らない。之は斷然斷る事とした。

二 月 十 一 日

相談の結果今日は左の二本の相當長文の電報を打

つた。

ブラウニング宛

「御返信を謝す。フェリスからも返電あり、マネジャーの指命は A. A. U. に一任す可き由、當方はグリーンよりもルート我希望す。ブラウニング夫人をシャペロンとして招く事は經費の関係上困難なり。萬事フェリスと御相談を乞ふ」

フェリス宛

「キーファーを送る事を條件にマネジャーの指命は貴下に一任す。ブラウニングより返電あり。ルートの代りにグリーンを、又ブラウニング夫人をシャペロンとして同道したき由、當方としてはルートを望み又經費の関係上シャペロンは呼べぬブラウニングにもその旨傳へた」

グリーンと言ふ選手は昨年のオリンピックでは飛板飛込第三位技術上はルートに見劣りはしないのであるが昨年ベルリンで聞いた話は彼はどうもチームの他のメンバーと気が合はなくて色々の問題もあつたらしいので原さん等の心配から斷然ルートを主張する事になつたのである。

二月十二日

前三回の米選手遠征は皆例のキツパス氏が引率して來たのであり、キツパス氏と N. S. R. の関係は非常に深いものである。それなのにキーファー欲しさに直接ブラウニングと連絡をしてキツパス氏の方へ黙つて居るのも失禮であらうと言ふので先日大連から歸られた安部チャンが今日次の様な電報をキツパス宛に打つて呉れた。馴れてゐる安部チャンが來て呉れたので正直な所救はれた氣持だ。社用で餘り長く東京にも居られず又大變御忙しいとの事だが出來る丈手傳つて戴かう。

キツパス宛

「一九三七年日本選手權大會へキーファー、ヒギンス、ロールス、メデイカ、ルートを招聘すキーファーの関係上ブラウニングをマネジャーに指命せしもフェリスの依頼によりマネジャー指命は A. A. U. に一任せり」

遂に二月の聲と共に自分の學年試験が始まつてしまつた。昨年相當缺席してゐるので凄いな泥繩の爲氣にかゝり乍らも N. S. R. には三月下旬迄つと御無沙汰をしてしまつた。幸ひ安部チャンが歸つて居て下さつたし又此の間向ふからは音沙汰もなかつたので別に事務の停滯もなく済んだ様である。こつちが向ふ鉢巻きでフーフー言つてゐた間に安部チャンのして下さつた通信のコツピーがファイルされてあ

つたからそれを此處にのせる。

三月三日

ダニエル、フェリス宛

拜啓、

本年度日本水上選手權大會に貴國選手を招聘の件に就き今迄御手紙も差上げませんでした事を御詫び申し上げ同時に先日の貴殿よりの御返電並びに當方より御打ち致しました電文を爰に記して御確かめ致し度いと存じます。

貴殿二月七日發

「御招聘の件に就き來る廿八日の理事会にて考慮す。マネジャーの指命は當協會に一任され度し」

當聯盟二月十一日發

「マネジャーの指命はキーファーを送る限り貴殿に一任す。ブラウニングより返電あり、ルートの代りにグリーンを。又シャペロンとしてブラウニング夫人を同伴し度き旨、當方としてはルートを望み、又經費の関係上シャペロンは斷り度し。ブラウニングにもその旨打電せり」

右電文の如く吾々はマネジャーの指命に關しましては全く貴下に一任致します、當日本水上競技聯盟が最初の御招待の電報を御打ち致しました時、小生は丁度滿洲の方に行つて居たのでありますが當聯盟は是非共キーファーの來朝を切望致して居ります關係上、ブラウニング氏にマネジャーとして來て戴いても異存なき旨御打電致したのではありませんが、かゝる問題は全く貴協會の内的問題でありますので小生と致しましては當方から直接ブラウニング氏に打電致しました事を遺憾に思つて居る次第です。

本日當地の新聞は貴下の遠征選手決定の旨報導致して居りますが猶ほ詳細判明せず當方と致しましては貴下の一刻も御早き御返答を御待ち致して居る次第です。今夏は太平洋航路も非常に混んで居るらしく船室の豫約も急を要して居りますから何卒御早き御確答を戴き度いと存じます。

では何時も乍らの御盡力を感謝しつゝ筆を擱きます。 一九三七年三月三日

日本水上競技聯盟 安部輝太郎

米國體育協會主事

ダニエル、フェリス殿

何時も乍ら感心する鮮やかな安部チャンの通信ではある。一行の無駄もなくポイントに觸れつゝ然かも米國人向きに、堅つ苦しくない文章だ。煙草を口

にくはへた儘機關銃の様な早さでタイプライターを
ひつぱたいて居る安部チャンの姿が目に見え。

次のブラウニング宛は

拜啓、

より早く連絡を御取りし得なかつた事を御許し下
さい。

今夏日本水上競技選手権大會にキープアー君始め
少數の貴國選手諸君を御招待申し上げ度き件に關し
貴下よりの御返電並びに其の後こちらで御打ち致
しました電文を爰に記して見ます。

貴下二月七日發

「キープアー及び小生への御招待喜んで御受け
すただしルートの代りにグリーンを又妻をシャ
ペロンとして同伴致し度し」

當方二月十一日發

「御返電謝す。フェリスより電報あり、マネジ
ャー任命は A. A. U. に一任す可しとの事、當
方としてはグリーンよりルートを望む、ブラウ
ニング夫人の件は經費の關係上困難、他事一
切フェリスと御相談乞ふ」

當方の御招待を直ちに御受け下さいまして有難
う御座いました。吾々と致しましてはフェリス
氏からの正式の回答を待つて居る次第です。ど
うか一切 A. A. U. と連絡を御取りになる様御
願ひ致します。 草々

一九三七年三月三日

日本水上競技聯盟 安部輝太郎

スタンリー、ブラウニング殿

同時に安部チャンはキツパス氏にも左の如く通信
してこの間の事情を明らかにして置いて呉れた。

拜啓

其の後全く御無沙汰を致して居りますが御變りも
ありませんか。

滿洲に居りますはづの私からかゝる手紙を受取ら
れてさぞ御驚きの事と存じますが實は先日社用
にて歸京致し、清水が目下學校の試験で目を白黒さ
せて居りますので、先日（二月十一日）電報を御
打ちしたり又今日も筆を取る次第です。丁度聯盟
の方に手が足りなくて困つて居りました所へ幸福
にも歸つて來たのですが最近仕事は忙しく残念
乍ら又直ぐ滿洲の方へ舞ひ戻らねばならず此の夏
も競技會に出て來られるかどうか判らない有様で
す。

さて去る二月十一日に御打ち致しました電文をこ
ゝに又記して御確かめ致します。

當方二月十一日發信

「一九三七年日本水上競技選手権大會にキープ

アー、メデイカ、ヒギンス、ロールス、ルート
を招聘致す計畫にて、キープアーの關係上ブラ
ウニングにマネジャーを依頼せしめ、フェリ
スよりの返電によりマネジャーの指令は A. A.
U. に一任せり」

なほ本日小生がフェリス氏及びブラウニング氏
に書きました手紙の寫を同封致しますからそれを
御覽の上事情を御汲み取り下さい。

若し A. A. U. が貴下をマネジャーに指命しまし
たら勿論御承知の如く吾々一同喜んで御迎へ致し
ます。又當方がブラウニング氏にマネジャーを
依頼したと言ふ事が貴下の側に不都合を生じなかつた事を祈つて止みません。事實フェリス氏宛に本日出しました手紙にも書きました如く、當方と致しましては直接ブラウニング氏へ打電せぬ方が良かつたのであります。田畑氏に聞きました所當聯盟がどうしてもキープアーを送つて貰ひ度かつたが爲の取越し苦勞であつたとの事です。

右の事情をどうか御了解下さいませ。

此の夏若し日本で御目に掛かれませんでしたら
はるか滿洲の奥地より貴殿の御健康と御成功とを祈
つて居ります。 草々

一九三七年三月三日

安部輝太郎

ロバート、キツパス殿

以上三通の手紙を出して戴いたので自分としては
後どんなに樂をするか知れない。お忙しい中にこの
勞を取つて下さつた安部チャンに改めて心の中でお
禮を言つて見た。

三月四日

自分はブラウニングと言ふ人とは昨年伯林で會
つては居るのであらうが、顔を覚えても居らぬし
又口をきいた記憶も無い。であるから個人として彼
に對する何等の感情も存しない譯だが最近の紙上で
紐育發電として「日本水上競技聯盟は未だブラウ
ニング氏にマネジャーを依頼する意向」——等と言
ふ何處から出たか判らないニュースが乗つたり、フ
ェリスから來た電報に臭ふ様に A. A. U. が何とな
くブラウニングを敬遠してゐる空氣が感じられる
事や、ブラウニング御本人は早速引受けて色々自
分の希望等を述べて來る所を見ると、何だかこの裏
にブラウニングがどうしてもキープアーと共に日
本訪問を實現し度ひが爲に何か運動を起して居り、
又 A. A. U. は A. A. U. で意見が對立してマネジ
ャー問題にからまつて此の交渉がはかどらないので

は無いかと云ふ氣がしてならない。之は自分丈の考へではなく田畑さん始め皆もさう感じて居るらしい。こう言ふ所へ持つて来て今日は又市俄古の領事館の林馨氏から次の様な便りが着いた。

拜啓、

本日當地レークショア、アスレテイツク、クラブのスタンリー、ブラウニングと面會致しました所「ブ」より今夏米國選手のコーチとして渡日する様にとの貴協會よりの御招待を喜んで御受けする旨、御差支無之くばルートの代りに目下全米ロウボード選手権を有するグリーンを連行致度旨及び女子選手の爲シャペロンを随伴せしめ度旨等の希望を貴協會宛至急傳達方依頼せられましたが「ブ」は彼のウラルター・ラウファー、ドン・ホーン、アート・ハイランド等を育て上げたコーチにして私もその一員たる當地レークショア、アスレテイツク、クラブの水軍（目下全米水泳選手権を保有す）の名監督であります。「ブ」の希望たるシャペロンの件に關してはブラウニング夫人を同伴せしめ同夫人をしてその任に當らしむるも一策かと存じます

右「ブ」の希望御傳達迄、 早々敬具

昭和十二年二月三日

在市俄古領事代理 林 馨

日本水上競技聯盟御中

此の手紙を見て吾々の前述の氣持は増々長じた。マネジャー問題の様な細かい事が向ふの内部のゴタゴタから選手來朝がオヂヤンになつたりしては飛んだアブハチだから又あわて、フエリス宛に電報と手紙を出した。

電文、

「本日の新聞は當方がまだブラウニングをマネジャーとして望んで居る旨傳ふるも此の前の電報の如く、當方としてはマネジャーは誰にても可なり。誰が任命するならばキツパスでも誰でも結構」

手紙、

拜啓、本日當地の新聞に依りますと紐育發電として A. A. U. は當方が未だブラウニング氏にマネジャーとして來朝を希望してゐる如く御考への様ですが、當方は貴下の此の前の電報を受け取りましてからは、直ちに御返電致しましたが如く、毛頭左様な事は考へて居らず全く貴下にお任せしてあるものでその旨本日御打電致しましたから御了解下さいませ。敬具

「あーあーブラウニングに最初直接に電報を出したが爲に偉らい事になつた」之が目下の心境であ

る。つまらない事から飛んでもない障が出て來るものだ。

四月十三日

此の一月頃から濠洲に遠征してゐたおなじみのメデイカが米國への歸途船の乗換へ期間を利用して一寸と日本に立寄ると言ふ事は濠洲に居る清川君を通じて連絡してゐたが今日メデイカのマネジャーとして一緒に歩いてゐるケーデー氏（昨年伯林オリンピック米國ダイビングチーム總監）から電報が入つた。ミスプリントなのだらうが何だか餘りはつきりしない文で、おまけにその宛名が、

「東京丸ノ内ビルディング、K. 安部」丈だ。良く屈いたものだと感心した。恐らく電文の「メデイカ」と言ふ字を見て局の方で氣をきかせて聯盟に屈けて呉れたものだらう。

「メデイカ神戸、上海五月一日着、ケーデー」
こう言ふ電報だ。「神戸へ上海から五月一日に着く」のか或ひは「五月一日上海丸で神戸へ着く」と云ふのかはつきりしない。

四月十五日

自分が一寸と事務所に現はれなかつたので今日藤原豊さんが郵船の加茂丸のメデイカ宛に、油と肉を全部取り去つて骨丈の様な簡にして要を得た？電報を打つて下さつた、（失禮！）

同電文、

「フネ名神戸ツク日、横濱タツ日、フネ名、豫定知ラセ」

けだし傑作である。

四月十七日

ケーデーから返電が來た。今度の宛名は「東京、日本水泳協會」となつて居るのだが今度は局の方が SWIM. ASSOCIATION. の“SWIM”を“SIAM”と間違へたらしく「シヤム協會殿」に配達してしまつたので附箋が着いてこつちに廻つて來た。

同電文、

「メデイカ上海丸にて四月卅日神戸着。平安丸にて横濱五月六日發、御地スケジュールは安部氏に一任」

と來た。丁度一週間滞在する譯だ。此の間甲子園と帝大で二回のエキシジョンを行ふ豫定との事、彼としては之が三回目の來朝となる譯だ。

四月十八日

フェリスから始めて手紙が来た。こつちから一月六日に交渉を始めて居るのに今迄電報が一本来た切りだつたのだ。こつちは間に合ふか合はないかと気が気でないのに人事だと思つて随分呑氣なものだ。之こそ「待望」と言ふ字を使ひ度い程の手紙だ。然し左の文中に見られる如くこゝに又一つの難關が現はれた。

拜啓、

貴殿の三月三日及び四日發の御書翰並びにブラウニング及びキツパス宛書翰の寫し確かに入手致しました。

日本水上競技聯盟が米チームを招聘されるに臨んでブラウニングと直接連絡を取られた事を遺憾に思ひます。勿論之は貴聯盟役員諸氏の切にキープアを望まれる事から出た事とは了解致しませんが、現在キープアはテキサス大學學生であり最早ブラウニングより直接の干涉は受けて居ないので。然しまだブラウニングに致ししても彼がマネジャーとして同道せざる限りキープアにも此の遠征を断はらせる丈の力がある事は認めなければなりません。

當方に於きましても貴聯盟御希望の選手を御送り出来るかどうかと言ふ確實な御答へは決定致し次第打電致します。

メデイカは御存知の如く目下濠洲旅行の途にあるのでありますが、之が相當長期にわたる旅行でありますので此の夏再び遠征軍に加へられるや否や疑問です。

そちらの選手権大會の確定的の日付けを至急御知らせ願へれば幸と存じます。全米男子戶外選手権大會の日程は未だ決定しては居りませんが、女子選手権大會は九月三、四、五、六の四日間にわたつて行はれる豫定であります故若しロールズを送ると致しましたら是非その日迄にはサンフランシスコに歸つて居て貰はねばならぬと言ふ事を御承知願ひ度いのです。

又米國アマター規定の定むる所に依りまして、未婚の女子選手の旅行はシヤペロンと同道せねばならない事になつて居りますのでロールズ嬢のシヤペロンに對する経費一切を御負擔願へぬ以上。彼女をチームに加へる譯には参りません。

取急ぎ右御知らせ迄。 草々

米國體育協會主事 ダニエル、フェリス

一九三七年三月廿五日

日本水上競技聯盟盟

さあ厄介な事になつた。

「未婚の女子選手の旅行にはシヤペロンの同道を要す」と言ふルールは安部チャンも自分も誰も知らなかつた事である。自分の考へとしては恐らく昨年のオリムピックのジャーレット・ホルムス夫人の問題以後新しく設けられたものではないかと思ふ。今度メデイカが來たら早速聞いて見よう。

四月十九日

田畑さん、野田さんと相談の上早速次の電報をフェリスに打つた。

「日本選手権大會は八月十四、十五、十六日の三日間と決定、往復の船の日程次の如し。平安丸にてシヤトル七月廿三日出帆、八月六日横濱着。歸航、龍田丸八月廿日横濱出帆、サンフランシスコ九月二日着。シヤペロン経費當方にて負擔す」

ロールズにも是非來て貰ひ度いので仕方なくシヤペロンを呼ぶ事になる。シヤペロンを呼ぶ位ならもう一人泳ぎ手を呼んだ方がこつちとしてはどれ程有意義か判らないのだが、ロールズは何でも御座れの萬能選手どうせ二人分位やつて貰ふんだからプラスマイナスが合ふだらうと大笑ひ。九月二日にサンフランシスコに上陸して翌三日に選手権大會に出場なくてはならないロールズも可愛想だがどうも船の關係上之も止むを得ない。どつち道アメリカ人はさう言ふ事は割合に氣にしない方だからいゝだらうとこつちで一人で決めて掛る。



今日は又 A. A. U. から當方先刻御承知の凡そ意味のない電報が入つた。

「濠洲旅行のメデイカ日本經由五月歸國す」と言ふのだ。わざわざ高い電報料を拂つてこんな事を知らせて呉れなくともいいものを。

五月三日

四月の卅日に上海から神戸に着いたメデイカが今朝八時に東京驛に着くと言ふので田畑さんと松澤さん等の御出馬を願つてまだ覺め切らない目をこすつて時間やつとに東京驛にかけつけた。時間通りに這入つて來た列車の二等車を幾ら探しても居ないので心配をして居ると向ふから吾々を見付けて一番終りの方の箱から聞き覚えのある聲で呼び掛けられた。大將は一等で來たのである。今回は小人数なので豪遊だ。フレッド・ケーデーをマネジャーとして二人だと言ふ事だつたがどうしても其の人の顔が思ひ出せずに居たのだが會つて見て「あゝこれか」と直ぐ氣がついた。それ程特徴のある人なのだ。大きな出張つた然もはげた額、太く濃い眉と迫つた眼、オ

五月四日

デコと共に顔の面積の大部分を占める巨大な鼻、その下に、先を細く丸めてピンと油で固めた黒い付け物の様な髻、一度見たらめつたに忘れられる顔じやない。それ程漫畫的要素に富んだ顔だ。彼なら確かに覺へてゐる。伯林のプールでいつも大聲でダイヴァーをどなつてゐた男だ。メデイカの彌次喜多旅行の伴侶としては誠に相應しい存在だ。そして紹介されて間もなくケイデー氏はその外見の如く朗らかな如何にもアメリカ人的な人である事を直感した。當のメデイカ先生はまだ昨年會つたばかりだが相變らずだつた。三度目の日本ですつかりもう日本ずれてゐる彼だ。昨夜遅かつたので眠くて堪らないとこぼし乍ら田畑さんと一緒に眞直ぐ帝國ホテルに這入り四人で朝食を共にし乍ら東京のスケジュールの話や今度の米チーム招聘に關する交渉の次第等を話し合つた。

田畑さんが歸つてからは彼等の部屋で色々話をして居たが二人共睡眠不足で眠いと言つて寝てしまひ自分も何時の間にかソファに座つたまゝ一緒に寝込んでしまつて居た。

晝食を済ませて銀座へ散歩に行く。始めてで物珍らしげなケイデー氏と古巣に歸つた様な顔をして觀る物觀る物に説明を加へるメデイカ、通る人通る人が「あ、メデイカだ」とさゝやいては過ぎる。ケデー氏今更乍らメデイカの名が如何に廣く日本で知られてゐるかを知つて驚きそして曰く、「誰も俺の名は知らないらしいな」と。

夕方、五時から帝大のプールに行く。顔なじみの立教の連中が丁度居てメデイカ盛んに愛嬌たつぶり舊交を温めてゐる。一時間程泳ぎ又ケデー氏は日本のダイヴァー連を熱心に見て齋藤さんの御案内で日日新聞の座談會に出る可く東京會館に直行、ケデー氏は慶應の北田を盛んに將來ある選手だと讃えて居た。入水がきれいとの事、メデイカは「旅の疲れでとても動けない。まるでピアノでも背負つて泳いでゐる見たいだつた」とこぼして居た。

鵜藤俊平君も出席した東京會館の座談會も済むとさすがに二人共ぐつたりしてゐたがホテルに歸つて遅く迄又色々語り合つた。今度の旅行の色々な寫眞などを出して説明をして呉れたが濠洲では大分虐待されて來たらしい。「遠征で日本程いい所はない。水泳の設備はいいし、競技會の進行振りは世界一だし、人々は親切だし……」と言つてゐた彼の言葉には御世辭的な響きは餘り認められなかつた。細かい話は更めて明日する事にして遅くホテルを引上げた。

今日はケーデー氏を東京見物に案内する約束であつたので十時半頃ホテルを訪ねメデイカと三人で圓タクに乗つて神宮外苑、内苑、上野公園、靖國神社、宮城、丸ノ内、日本橋から隅田川の方を廻つて午後お茶に目白の拙家に來て貰つた。珍らしがりやのケーデー氏到る所で感嘆の聲を擧げて居た。

一たんホテルに歸つて東大のプールに着いたのが五時半ひどい調子だと言ひ乍らも又四〇〇では鵜藤石原田の追込みをあつさり離して王座を守つた。かうなると彼の強さは精神力にあるとしか言へない。レースの前にも彼が言つて居たが彼は最後の五〇米迄リードをしてゐる相手にくつついてさへ居られれば絶対に負ける心配はしないと信じて居る。

レースが済んで着換へ等をしてゐる間に九時十五分前になつてしまつた。今夜は九時から第二放送で放送する約束で J. O. A. K. の自動車が氣が氣でなささうに待つてゐた。それに飛び乗る様にして放送局に着いたのが九時二分前、直ちに狭い放送室に入れられてメデイカが十五分間、松澤さんも同じく十五分間しやべつたのであつた。

放送が済んでホテルに歸つてから今年の二月から始めたフェリス及びブラウニングとの交渉の次第を細かに話して色々意見を聞いて見た。彼の推察に依つてもやはりこの裏にはブラウニングの暗躍があつて話が巧く進まないのではなからうかと言ふ。現在アメリカの A. A. U. では會長が代り、今度就任した會長と言ふのが水泳に關する限りは凡そ無智識な人であり、又フェリスと言ふ有給主事も主事で陸上畑の人間で水泳の智識も少く、水泳の部門の事務には何時も冷淡な人であるとの事。所が米國の水泳會に於て大きな勢力を持つキツパス氏と今度の新會長との間の折り合ひが餘り巧く行つて居らず又ブラウニングとしても自分で育て上げたキーファーをむざむざ人の手に委ねて外國に遠征させるのは快としないので、A. A. U. がブラウニングをマネジャーとして送り度くないにも拘はらず百方手を盡してマネジャーとなる可く動いてゐるのではないかと言ふ。

ブラウニングと言ふ人はかう言ふとひどく悪く聞えるが、人間としては悪い人では決してないと言ふ事だ。又水泳のコーチとしての腕も相當あるが唯レークショア、アスレティック、クラブと言ふ一つの娛樂機關のプロフェッショナルの水泳のコーチであるが故にチームのマネジメントその他の點から言へば大分キツパス氏に劣ると言ふのがメデイカの

個人的の意見の様であつた。

又更に一つ、今迄長い間にわたつて米國の水泳界に於て一九三二年のロサンゼルスオリンピックを始めアメリカの水泳のチームが編成されると何時もキツパス氏がチーフコーチに推されて來たのであるが事實上キツパス氏は自分自身では今迄唯一人としてナショナル、チャンピオンを育て上げた事はない。他のコーチの連中が苦心をして育て上げた著名選手をかき集めてその頭に立つてこそ今迄名を得て來たのだと云ふ事でキツパス氏はかゝる他のコーチ連中から最近大分白い眼を以て見られてゐる傾向が幾分あるとの事だ。

以上のような内的の事情を聞くに及んで成る程と思つた。そして今迄受け取つた電報や手紙を照し合はせて見てその裏面の動きが判る様な氣がした。

又遅く迄色々こんな事を話し合ひ最後に良くこちら側の腹を説明して理解して貰ひ彼が米國に着き次第 A. A. U. やその他の関係者と連絡を取つて貰つて何とか吾々の案を圓滑に實現出来る様骨を折つて貰ふ事にした。

然しこゝにも一つ残念な事はメデイカ自身は多分今度はチームに加はつては來られないであらうと言ふ事である。彼はこの一月に大學を卒業をして今度シャトルに歸り次第ある百貨店に就職する事になつてゐるので、一度就職をしてしまつたら練習も出來ないし、又二ヶ月半と云ふ遠征期間は職を犠牲にせぬ限り到底取れないから、自分としてはこの儘日本に残つて日本の選手と一緒に合宿をさせて貰つて選手權に出たい位だが、右の様な事情で難かしいのではないかと言つてゐた。

好漢メデイカが來れないとすれば實に惜しい事である。恐らくもう四〇〇で仇を取る事は出來ない事になるであらう。「何とかそんな事情を吹き飛ばせて仇を打たれに來いよ」「それぢや日本で職を探して呉れ、新聞で水泳の記事位なら書けるぜ。それに俺はもう殆ど日本人の様にこつちの生活に馴れてゐる。疊にも寝られるし米もサシミもミソ汁も吸へるんだから月百圓位月給貰へる口があるんだつたら船の切符を早速キャンセルして残るぜ、本當に」

こんな冗談を交して今日は別れた。

五月五日

今日は五月のお節句、メデイカとケーデーにお節句の意味を説明するのに苦心をした。鯉登りを珍らしがつて盛にスナツプする。

メデイカは友人が横濱のニューグランドに來て居ると言つて朝から一人で電車に乗つて出掛けてしま

ひケーデー氏だけ淋しく取り残されてしまつたので田畑さんに御頼みして郊外ドライブを試みた。

先づ新宿から中野の方へ抜けて大宮公園のつゞじを見せ、それから多摩墓地を廻つて、多摩川原に出で、二子から澁谷に抜けて歸つて來た。塵がひどくて氣の毒だつたが楽しんで呉れたらしい。途中牛のひつばつてゐるオワイ車を見付けて車をわざわざ止めて寫眞を取りに行つたのは良かつたが臭ひには相當驚いたらしい。車に乗つて曰く、

「牛車とあの臭ひは歴史の本でしか見られないものだと思つてゐたよ」

四時半頃ホテルに歸つた。今夜は六時から聯盟のメデイカ歓迎兼歡送の會があると言ふのにメデイカはまだ歸つて居ない。心配してゐると五時半頃フーフー言つて歸つて來た。横濱からの歸り京濱線の中で寝てしまつて上野迄乗り越し圓タクで

「テイコクホテル、ゴデユツセーン」
と言つて歸つて來たとの事。

幾ら三度目の日本と言つても一人で横濱へ行くのは相當の度胸だが歸りの電車の中で寝て乗り過してしまつたと言ふに到つては一同あきれてしまつた。

六時から日本橋の井上と言ふ肉屋でスキ焼の會をやり聯盟の方からも役員大勢又遊佐、小池始めこつちの選手諸君を列席して賑やかな歡談裡に九時過ぎ散會した。東京オリムピックの話等も出て久し振りで顔なじみの皆と會つてメデイカも大はしやぎであつた。

五月六日

お晝を松澤さんに天ぶらを御馳走になり三時の出帆だと言ふので一時過ぎに新橋發で横濱に向ふ。

船に着いて見ると積荷の関係で出帆が五時迄延びたと言ふ。其の中ケーデー氏が唯一足しか持つてゐなかつた黒靴を去る三日東京に着いた日にホテルの地下室の靴屋に直しに出した儘忘れて來たのを思ひ出し船中一等で歸るには夕飯の食堂で禮装せねばならず是非黒靴が要ると言ふので辨天通り見物旁々伊勢崎町迄戻つて靴を買ひに行つた。

出帆の延期を知つて御忙しい中をわざわざ來て下さつた松澤さんと白山さん御夫婦とが歸られてからはする事もなく又デツキは混んで居たのでキャビンに入つて又例のフェリスとの交渉の話をも念の爲に繰返へし又今迄向ふから受けとつた書類並びにこつちから出した電報や手紙の寫し等も皆参考の爲に見せて向ふに着いたら盡力して呉れる様もう一度頼んで置いた。

船の出る迄は随分長くて退屈したが、いざ出帆と

なると又あの出帆見送りの淋しい氣持に襲はれた。横濱に来る度に味はふ感傷だが人を見送つて一人で歸つて来る氣持は餘り良いものではない。

既に港の空も黄昏に暮れて行く視野の中に、遠ざかつて行く平安丸の甲板に何時迄も立つてゐるメデイカとケーデー氏の振るハンケチが目には滲み込む様に長い間はつきりと見えて居た。或ひは之がメデイカと會つた最後の瞬間となるかも知れないのだ。

五月十二日

三月に受け切れなかつた試験を二三残して置いたのが始まつた爲メデイカを見送つてからずつと聯盟の事務所の方へも御無沙汰して居たら今日電話があつて次の様な電報がフェリスから這入つたと知らせて來た。

「キーフアー、ヒギンス、ルート、ロールズ、日本選手權大會への御招聘を受く」

之でどれ位正直の所安心したか判らない。まあ之で目鼻がついた事だけは確かである。だがメデイカの事に觸れて居ない事はもつともしてはまだマネジャー及びシャペロンの名は何とも言つて來ぬ所を見るとまだもめて居るのではあるまいか。

然しかうなつた以上はもうこつちのものだ。恐らくは結局ブラウニングが押し通してやつて來るのではあるまいか。どうもそんな氣がする。

今日はやつとの事で大分重荷を卸した様な氣がした。

六月十五日

丁度一ヶ月間向ふからは音沙汰が無かつたが今日はフェリスから次の様な電報が入つた。又一つ厄介な事を言つて來たのである。

「シアトル航路船は船中プール無きを以て選手一同サンフランシスコ七月十四日出帆の龍田丸に變更する事を望む」

シアトル航路は北の方を通るので年中涼しく従つて船中にプールの設備がない事位こつちでは前から知つて居たのであるが今夏は船がどうにも混んで居てどうしてもこつちの思ふ時期にホノルル経由の船に七人分もの船室は取れなかつたので止むを得ず七月廿三日にシアトルを出帆する北方航路の平安丸にキャビンを豫約したのである。

プールがないから何とかホノルル経由のプールを持つてゐる船に變へる事は出来ないかとは始めの計畫を五月に話した時にメデイカが言つてゐた事だつたので吾々も一度郵船の方に當つて見て斷はられたのであつた。こんな事情であつたので今日早速フェ

リス宛に次の様な電報を打ち同時にその説明の手紙を出して置いた。

電文、

「龍田は満員、船を變へる事は不可能。チーム全員又は一部が歸りの船を九月九日横濱出帆、同廿一日シアトル着の平安に延ばして選手權大會後地方轉戦する事可能なりや」

大阪、名古屋、京都、松本、廣島、福岡等の各加盟團體からの招待の希望があつたのでチームの滞在期間を延ばさうと言ふ考へから聞き合はせたのである。

又飛行便でフェリス宛に次の様な手紙を出した。

拜啓、

其の後引續き色々御世話に與つてゐます事を深く感謝致します。本日そちらから、船を變更なされ度き旨の電報入手致しましたが、之は先日メデイカから同じ意見をもらされました時に説明致して置きました様に今夏のホノルル経由の太平洋航路は先年の暮から既に船室の豫約が全部締切になつて居ります様な有様で一名や二名ならとも角七八人にもなりませんと當方としましては最早如何とも致し難いのです。

吾々と致しましても勿論プールの點は知らなかつたのでは無かつたのですが何分右の様な事情で仕方なくシアトル航路の平安丸を選んだのでありますから貴殿よりどうかその旨宜しき様選手の諸氏に御説明願ひ度いと思ひます。

メデイカが先日こちらに立寄りました際に小生は今回の御招待の件に就きまして詳らかに説明致し又當方の眞意も傳へ同君にも是非又一行に加はつて來て呉れる様に直接頼んでは置いたのですが當時同君は歸國後の就職等の關係上何とも確答し得なかつた様子でありましたが其の後未だ何等同君より便りに接せず當方一同同君の來朝可能なるや否やを非常に心配して居る次第です。又マネジャー及びシャペロンとして來て戴く方々の名もまだ判りませんので、當方の準備の關係上決定され次第一刻も早く御通告願ひ度いと存じます。

又本日御打ち致しました電報で申し上げましたが如く、大阪、名古屋、京都、廣島、福岡、松本其の他の地方の水泳協會より貴國チームを夫々の町々に御招待申し上げ度き旨の通知に接しましたので地方水泳界の刺戟の爲に一九三四・五兩年度のチームが行ひました様なエキシジョン程度の競技會を此の折に是非共實現致し度く歸りの船を一船延ばして東京の日本選手權大會終了後廻つて戴けたら甚だ幸ひに存する次第です。勿論かゝる

地方的招待は其の地方々々に於ける日本水上競技聯盟の加盟團體である水泳協會の主催に依るものであり、又その望む所も一九三四年にメデイカ、ヴァンデウエー、ハイランド各選手の一行が行ひましたと同じく非常に樂なものである事は保證致します。

ロサンゼルス女子選手權大會等の都合上全選手に残つて戴く事は無理でありませうがその一部丈だけでもその目的の爲に残つて戴けましたら甚だ幸と存じます。

電報では九月九日横濱出帆、同廿三日シアトル着の平安丸を御知らせ致しましたが都合により次の九月十五日横濱出帆同二十八日ホノルル經由にてサンフランシスコに着く淺間丸に致しても當方と致しましては差支へは御座いません。

なほ全日本飛込競技選手權大會の飛込種目をルート、ロールズ及びマネジャーとして來られる方に御送り致し度いのですが何分當方ではまだマネジャーの名が判りませんので爰に同飛込種目表を三通同封致しますから貴殿より夫々へ御廻し下さいませ御願ひ申し上げます。

ではどうか以後の交渉も宜しく御取計らひ下さいませ様、貴殿の御勞力に感謝致しつゝ、草々

一九三七年六月十五日

日本水上競技聯盟 清水 康男

ダニエル、フェリス殿

此の手紙では向ふの事務怠慢を相當、暗に突つ込んだつもりだ。之だけ言つてやれば幾らスロモー氏のフェリスでも近くマネジャーの名位知らせて寄越すだらう。マネジャーの名が判らないと自分としてもどうしてチームと連絡を取つていいのかさつぱり判らない。こんな困る事はないのだ。

六月廿三日

今日の理事会で田畑氏から龍田丸のキャビンが取れたと言ふ事を伺つたので早速その旨又フェリスに打電した。又龍田は七月廿八日に横濱に着き、八月十四日の選手權大會迄二週間あるのであるから地方轉戦も大會前にして、大會終了後八月廿日に横濱を出帆する同じ龍田で歸へしてはどうかと云ふ事になつた。大會前に地方を廻らせるのは一寸可哀想だが一船後は九月九日になるのだから遅過ぎてどうも仕方がないのである。

同電文、フェリス宛

「スケジュール決定す。サンフランシスコ七月十四日出帆、同廿八日横濱着の龍田丸に船室取れた歸りは横濱八月廿日出帆の龍田なり」

龍田は事實上超満員だつたのださうだが幾人か豫約者の中で取消しがあつたのと郵船會社の好意で無理にスペースを取つて呉れたとの事だ。之なら向ふも満足だらう。

六月廿四日

晝、事務所で野田さんに會ひ米チームの滞在中の日程表を相談の上決定して詳しく次の様にフェリスに知らせた。

拜啓、

昨日次の様な電報を御打ち致しました。

「スケジュール決定す、龍田丸に船室取れた。

サンフランシスコ七月十四日出帆。同廿八日横濱着。歸航は八月廿日横濱出帆の同船」

先日貴殿から船を變更されたき旨の御通知に接し到底不可能と言はれて居りましたのですが其の後も引續き運動を續けて居りました所、幸運にも數人の豫約者が豫約の取消しを致しましたのと日本郵船會社の厚意により急に一行の船室を取る事が出来ましたので早速、メデイカも一行に加はつて來られる事を計算に入れて七名分の船室を豫約致した次第です。(メデイカ君が來られないのでしたら一名分直ぐ取消せる様になつて居ります)

かくして、はつきりした往復の日取りは電文にあります如く七月十四日サンフランシスコ出帆、同廿八日横濱着。歸りは八月廿日横濱出帆の同じく龍田丸で九月二日にサンフランシスコに着く事になりました。

さて先日選手權大會後の地方轉戦に就いて御相談申し上げましたが、龍田丸は前の豫定の平安丸より一週間程早く當地に着きますので、地方の轉戦も大會前に済ませる計畫を樹てました。同封にて貴殿及びマネジャーとして來られる方へ夫々一通の當方にて決めました日程表を御送り致しますからどうか御考慮下さいませ様。勿論此の計畫はチームの讚意を豫め得なければならぬものですから確定的な物ではない事は御含み願ひます。又此の日程表で御覽になりますと如何にも日が重んで居て苦しい様に思はれるかも存じませんが爰に私の申しますエキビジョンとは、地方には一流の選手も居りませんし、唯大會前に練習の氣持で又觀光をも兼ねて地方の非常に熱心なる水泳界に貴國の選手諸氏の泳ぎを見せる程度の物であり、又日本は御存じの如く小さな島國ですから町から町への旅行も短く乗物に依つて疲勞すると云ふ様な事もないと思ひます。

私共も昨年伯林のオリムピック終了後の歐洲轉戦

では相當に苦しい經驗をなめて居りますので轉戦の如何に疲勞するものかは知つて居り、貴國の選手諸氏にはそんな苦しい目に御會はせする事はない様萬全を期する覺悟です。

右の様な次第でありますからどうか貴殿よりチームの諸君へ良く事情を御説明願ひ度いと存じます。

ではどうか呉々も宜しく御取計らひ下さいます様。
敬具

一九三七年六月十四日

日本水上競技聯盟 清水 康男
ダニエル、フェリス殿

一九三七年度米國水泳軍日本滞在中の日程

七月廿八日。

横濱着、直ちに帝國ホテルへ。

廿九日。

東京にて練習。

卅日。

ロールズ、ルート及びシヤペロンの三名、新宿驛午後十時四十五分發松本へ。

他は東京にて練習。

卅一日。

ダイビング、グループ午前六時卅一分松本着
午後松本にてエキシビジョン。上高地帝國ホテルにて一泊。

東京組は練習。

八月一日。

ダイビング、グループ松本發大阪へ

競泳グループは東京午前九時發。大阪午後五時着。全チーム甲子園ホテルにて一泊。

二日。

午後五時より甲子園新プールにて競技會。

ルートを除く一行十一時廿七分大阪驛發福岡へ
ルートのみ東京へ。

三日。

午前十一時卅三分福岡着。午後競技會。

福岡にて一泊。

四日。

午前十時四十五分福岡發。午後四時四分宮島着一泊。

五日。

午後廣島にて競技會。午後十一時五十六分廣島發。車中一泊京都へ。

六日。

午前七時二十九分京都着。午後京都二商プールにて競技會。都ホテル一泊。

七日。

午前九時卅五分京都發。午前十一時五十分名古屋着。午後六時より同市振甫プールにて競技會。

名古屋萬平ホテル一泊。

八日。

午前九時五十分名古屋發。午後三時廿五分東京着。

九、十、十一、十二、十三日の五日間は神宮プールにて練習。

十四日、十五日、十六日。全日本水上選手権大會、

十七日。

東京にて休養。

十八日。

東京發濱松へ。午後濱松にて競技會。

十九日。

日本水上競技聯盟のサヨナラ、パーティー。

廿日。

午後三時龍田丸にて横濱出帆。

以上

こんな忙しい地方轉戦なんかいやぢやと言はれたら堪らないので口を酢つぱくして樂だから、疲れはしないからと頼み込んだが、正直の所之は相當忙しい日程表だ。幾らアメリカ人は旅行を氣にしないからと言つても日本の狭い汽車と暑さではきつと相當痛められるであらう。

七月一日

後向ふの連中が桑港から立つ迄に丁度二週間しかないと言ふのに未だマネジャー、シヤペロンの名もメデイカは來られるのかどうかも言つて來ない。フェリスの泰然自若たる落付き振りはどうだらう。然しそんな事を感心して居られる場合ではない。こつちは内心はらはらして居るのだ。餘り何も言つて來ず又こつちで電報を幾ら打つても仕方がない事だから一つ思ひ切つて紐育迄電話を掛けてやらうと思ひつたのはつい此の間だつたが丁度二三日前の新聞で七月の一日から國際電話を値下げして紐育東京間一通話金九十五圓也と言ふ記事を見たので斷然決行と決めた、電報は一語普通報で二圓五十錢もする。だから一寸と打つてやる丈でも直ぐ百圓は越す。おまけに返事は聞かれないのだから電話の方が三分間御互にしやべれて即座に返事を聞かれるし幾ら安いか判らない田畑さんと相談の上今日晝過ぎ早速やつて見た。所が日本の今日は米國の昨日との事、子午線とか天體方面とあまり親しみのない自分には實に

不思議な事だ。こつちの正午はあちらの昨日の午後十時の譯、A. A. U. の事務所にその時分フェリスが居る譯がないから自宅を探して貰つたら返事がないとの事。電話料滞納かなと餘計な心配をしてゐると電話局の方で紐育の電話局と連絡してフェリスはミルウラーキーの全米陸上選手権大會に行つてゐる事が判明。今日は駄目だから明朝六時（米國の午後三時）に掛けたらいかゞですと親切に教へて呉れたので、「朝の六時かあ！」と言ふ田畑さんの嘆聲を聞きつゝさういふ事にした。紐育東京間の電話がわづか二分間で繋がるものだから偉い事だ。明日は朝六時迄に事務所に來なければならぬ。

七月二日

中學校時代遠足以來の早起き。四時に起きて聯盟にかけ付けたら田畑さん始め松本君ももう來て居てあくびをして居た。

丁度六時に局から知らせがあつて受話器にしがみついてゐたが當のフェリス御本人がどうしても見付からないらしく時計はどんどん七時、八時、九時と廻り、「やつとお出になりました」と言ふ交換嬢の聲を聞いたのが實に九時半であつた。

此の相手が紐育だとは思へない位はつきり聞へる。東京市内の通話と餘り違はない位だ。然しこつちが今日話してゐるのに向ふは昨日聞いて居るのだと思ふとどうも少しシヤクに障る。「あー一分間卅圓だ」と思ひ乍らレースの前の様な氣持ちで丁度三分間で次の事を聞き出した。

一、マネジャーはブラウニング氏、豫想通りの事になつた。キツパスではなくて一寸と残念である。

一、シャペロンはマイアミ、ビーチ水泳協會のクーリング夫人。どんな人だらう。どつちにしろこのシャペロンと言ふのは厄介もんだ。

一、メデイカは日本側の切なる希望があれば派遣するとの事。濠洲の遠征期間が長かつたので問題だつたのださうだが、來る事にして貰つた。

一、大會前の地方轉戦は賛成。

一、日本到着迄の費用はフェリス宛に送る事。

一、條件（一九三五年度の時と同じ）の通知。

之で萬事目出度し目出度しである。電話を切つた時は脇の下が汗でぬれてゐた。暑さの爲ではない事は明らかだ。それにしてもフェリスと云ふ男は實際呑氣なものだ。シャペロンやマネジャーなんか大分前から決つてゐたと言ふ。唯知らせして呉れ無かつた丈けだ。全く電話をして良かつたと思ふ。

七月三日

早速フェリスから

「選手の自宅より桑港迄の往復費その他の雜費として一千四百六十弗すぐ送れ」

と言ふ電報が入つた。さすがの彼も之れだけは呑氣にして居られなかつたらしい。大橋さんに頼んで直ぐ正金で電報爲替を送つて貰ひ、次の電報を打つ。

「壹千四百六十弗送つた。紐育横濱正金銀行支店にて受取られ度し」

七月四日

ブラウニングが愈々マネジャーと判つた。早速彼宛にスケジュールや條件等を書き送らねばならない。今日直ぐ投函すればホノルルで入手するだらう。さう思つて直ぐタイプライターに向つた。

拜啓。

昨日フェリス氏に電話で連絡して貴殿がマネジャーとして來て下さる事が始めて判ります迄は何誰がマネジャーとして御出でになるか判らず今迄直接貴殿と連絡を御取りし得なかつた事を残念に思ひます。私は當然もつと早くから貴殿と連絡を御取りせねばならなかつたのでありますが右の様な事情で不可能でありましたので此處にこの手紙がホノルルで貴殿の手に入る事を祈りつゝ取急ぎ筆を執る次第です。

一昨日迄は正直の所當方の今回の招聘が實現するや否やにさへ多大なる不安を持つて居つたのですがフェリス氏の確答を得て此處にブラウニング氏、クーリング夫人、ロールズ嬢、メデイカ、キーファー、ヒギンス、ルートの各選手より成る御一行に對する吾々の心からの歓迎の心持ちを御披露致します。

貴殿がフェリス氏よりどの程度迄今回の旅行に就きましての細目を御聞きになりましたかは存じませんが總てをはつきり致します爲に再び同封にて日本御滞在中のこちらのスケジュール並びに細かい會計上の條件を御送り致します。

地方轉戦の件に就きましてはフェリス氏に御書き致しました如く、一見大層忙しげな計畫に見える事と思ひますが當方の申しますエキシビジョンとは單に觀光を兼ねた練習程度の事に過ぎませぬ又地方には一流選手も居りません事とて決して左程御心配になる様な事ではありませぬ。かゝる地方のエキシビジョンは地方の水泳界の人々が貴國の一流選手の泳法に接する事を切望して止まない爲に計畫致しましたので若し此のスケジュール通りに廻つて戴けましたら熱心に又良心的な精進を續けて居ります地方水泳界を刺戟する事大なる事を

信じます。フェリス氏も既に承諾の意をもらして下さいました事でもあり是非御一行にもさうお願い致したいと存じます。

又フェリス氏に御通知致しました通り今回の會計上の条件も一九三五年度の日米對抗水上競技大會の折と同じでありますからどうか左様同封の条件を御覽の上御了承下さいます様。

では當方一同一刻も早く御一行の御元氣な姿を御拜する事を鶴首して御待ちしますと同時に平穩なる御航海を御祈り致して居ります。

どうか選手諸君に宜しく御傳へ下さいます様。

敬 具

一九三七年七月四日

日本水上競技聯盟 清水 康男
スタンリー、ブラウニング様

同封一九三七年度米國水泳軍費用の件
下記の金額は當方にて負擔す。

一、各選手自宅より桑港迄の往復旅費（寢臺券を含む）

二、旅券下附費。

三、米國旅行中の食費其の他雜費に充つ可き日當り各一人五弗宛。

四、桑港横濱間日本郵船會社二等賃銀七名分。

五、日本滞在中の滞在費、旅費、

六、船中及び日本滞在中一人日當り日本金五圓。

但し之を以て各自の心付、洗濯代其の他雜費に充つ可き物なり。（以上）

右の様な手紙に先日フェリスに送つたスケジュールのコツピーを一部同封して上海——香港——マニラ經由の飛行便でホノルル日本郵船會社支店氣付けで投函した。途中飛行機の事故が起らぬ限りやつと間に合ふだらうとの事だ。

之でやつとすつかり重荷が下りた譯だ。後は連中の着くのを待つ丈である。

第一回東京横濱對抗女子水上競技大會

市 口 房 子

期日 昭和十二年九月二日

時間 午後五時

場所 横濱市中區元町プール

水溫 二六度、氣溫 二八度

東京横濱對抗女子水上競技大會は女子水泳界發展の爲め又一つには關西の女子選手に比して餘り振は無い關東女子選手の技倆を向上さす機會を一回でも多く與へる念願から關東水泳協會の方々や横濱水泳協會の方々のお骨折で今回開催させていただきました。選手は東京も横濱も各十五名づゝで全日本選手權大會の成績や女子中等學校關東豫選の結果に依つて選抜したものです。（東京ではメンバー交換をしてしまつてから山田八重子嬢病氣に付き不出場の爲め大會当日は選手數十四名でした）

此の大會の様になごやかな雰圍氣の中で對抗競技をした事はございませんでした。東京と横濱では始終合同練習が一緒でいつも互に助け合つてコーチをしたり、されたりしてゐる選手ばかりなので自然と

さう云ふ氣分になるのでありませう。だが然し一度スタート臺に立てば氣を引締めて戦ふ爲め皆はりきつた接戦のレースが多く、自己のベストレコードを出してゐる者もかなりありました。

對抗レースの採點法は選手の技倆向上が主眼ですから俗に得點かせぎと云ふだれた氣分を一掃するため六着までの採點法を取らずに一着三點、二着二點三着一點に致しました。リレーは三點と〇點と云ふわけです。

次に競技狀況をお知らせ致します。

二〇〇米自由形

2 コース 三浦 ハナ（横濱）

3 コース 小 高 鈴（東京）

4 コース 須藤 光代（横濱）

5 コース 飯島トミ子（東京）

6 コース ルイズ・ステ（横濱）
イルウエル

7 コース 光永 和子（東京）

先づ最初に行はれました本レースは前記のコース

順に依つてスタートが切られました。これは豫想通り三浦嬢と飯島嬢の戦ひで三浦嬢は初めからトツプを切つて居りましたがラストスパート良く老巧な三浦嬢がタイム二分五五秒〇の好記録で一着になりました。此の記録は三浦嬢自身のベストレコードであります。

- 一着 三浦 ハナ (横濱) 二分五五秒〇
- 二着 飯島トミ子 (東京) 三分〇二秒二
- 三着 ルイズ・ステ (横濱)
イルウエル
- 東京 2 點 横濱 4 點

五〇米背泳

- 2 コース 吉田 文代 (東京)
- 3 コース 佐々木信子 (横濱)
- 4 コース 廣瀬ヒデ子 (東京)
- 5 コース 佐々木和子 (横濱)
- 6 コース 藤森 清江 (東京)
- 7 コース 河村 静子 (横濱)

距離が短かい爲め初めから皆スピードを出して終りまで大差なく殆んど平行に進んで行くので審判泣かせのレースでした。

此の競技では廣瀬嬢が一着になるものと思つて居りましたのにあせつた爲めか、自分の調子が出ず第三位になりました。

ゴールインした時には一着二着三着分ち難く四着まではタッチの差でありました。佐々木嬢と吉田嬢は同着同タイムでありましたけれど横濱の佐々木和子嬢が四三秒四の記録で一着になりました。

- 一着 佐々木和子 (横濱) 四三秒四
- 二着 吉田 文代 (東京) 四三秒四
- 三着 廣瀬ヒデ子 (東京) 四三秒六
- 東京 3 點 横濱 3 點

一〇〇米平泳

- 2 コース 平野 文子 (横濱)
- 3 コース 壺井宇乃子 (東京)
- 4 コース 吉田 壽子 (横濱)
- 5 コース 原 日出子 (東京)
- 6 コース 土屋 政代 (横濱)
- 7 コース 野中喜美子 (東京)

皆元氣にはりきつて泳ぎ壺井、原、吉田、野中嬢の順序で五〇米ターンをして其の儘各一米位の差でゴールインしましたが野中、土屋、平野嬢は少し遅れました。

一着、二着、三着は當然な順位でありましたが入選外の新人選手がタイムは遅かつたけれど一生懸命泳いで今一息と云ふ所を示して呉れました事が頼母しく感じました。

此のレースの結果やうやく平泳に強い東京が五點得點して二點勝越してゐた横濱を逆に二點リード致しました。

- 一着 壺井宇乃子 (東京) 一分三三秒四
- 二着 原 日出子 (東京) 一分三七秒六
- 三着 吉田 壽子 (横濱) 一分三九秒二
- 東京 5 點 横濱 1 點

一〇〇米自由形

- 2 コース 小高 鈴 (東京)
- 3 コース 増山 ちせ (横濱)
- 4 コース 飯島トミ子 (東京)
- 5 コース 石丸 フミ (横濱)
- 6 コース 山田 道子 (東京)
- 7 コース 佐々木信子 (横濱)

飯島嬢は豫想通り最初からトツプになり、終りまで良く頑張つて一着になりました。二着には山田嬢が入り、三着には五〇米ターンの時に五位に居た増山嬢が俄然頑張りラストパート良く入選致しました。

山田嬢増山嬢はまだ練習次第で現役として充分使へる選手であります今後の練習を期待致します。飯島嬢が好記録を以つて優勝致しました事は此の冬期の熱心な練習の賜物であり、一分一七秒八は飯島嬢自身のベストレコードであります。

- 一着 飯島トミ子 (東京) 一分一七秒八
- 二着 山田 道子 (東京) 一分二四秒八
- 三着 増山 ちせ (横濱) 一分二五秒〇
- 東京 5 點 横濱 1 點

一〇〇米背泳

- 2 コース 近藤 貞 (横濱)
- 3 コース 藤森 清江 (東京)
- 4 コース 佐々木和子 (横濱)
- 5 コース 吉田 文代 (東京)
- 6 コース ルイズ・ステ (横濱)
イルウエル
- 7 コース 廣瀬ヒデ子 (東京)

廣瀬嬢五〇米の時にあせつて失敗した爲めか、今度は落付き自分の調子で泳いだ爲め、確實な良い泳ぎをして、一分三七秒八で一着になりました。續いて吉田嬢佐々木嬢が二位三位に入りました。吉田嬢佐々木嬢は練習次第でこれから益々良くなる選手であると思ひます。背泳選手の手薄な關東には新人選手の活躍が欲しいものであります。

- 一着 廣瀬ヒデ子 (東京) 一分三七秒八
- 二着 吉田 文代 (東京) 一分三八秒二
- 三着 佐々木和子 (横濱) 一分三八秒八
- 東京 5 點 横濱 1 點

二〇〇米平泳

- 2 コース 壺井宇乃子 (東京)
- 3 コース 平野 文子 (横濱)
- 4 コース 原 日出子 (東京)
- 5 コース 吉田 壽子 (横濱)
- 6 コース 野中喜美子 (東京)
- 7 コース 土屋 政子 (横濱)

一〇〇米の時と同じメンバー、着順も同じで、やはり壺井嬢が初めから頑張つてトップを切り、それより二米位遅れて原、吉田、野中、土屋、平野嬢の順でありましたが其の儘の順序でゴールインしました。一〇〇米と違つて二〇〇米になると選手と選手との差が多く、壺井嬢と原嬢の差は一〇米近くであり、又原嬢、吉田嬢の差は四、五米位でありました。此の優勝者の豫想は初めからはつきりしてゐた壺井宇乃子嬢が三分二一秒二で一着になりました。

- 一着 壺井宇乃子 (東京) 三分二一秒二
- 二着 原 日出子 (東京) 三分二六秒二
- 三着 吉田 壽子 (横濱) 三分二八秒六
- 東京 5 點 横濱 1 點

四〇〇米自由形

- 2 コース 三浦 ハナ (横濱)
- 3 コース 光永 和子 (東京)
- 4 コース 矢田 巴 (横濱)
- 5 コース 小澤ハツ子 (東京)
- 6 コース 須藤 光代 (横濱)

2 コースの三浦嬢初めより斷然他を押へ二〇〇米には既に6 コースの須藤嬢を二〇米も引き離してみました。短距離と違つて四〇〇米是一位二位の差がひどうございました。二位以下の方に奮起をお願い致します。東京は短距離選手には恵まれてゐましたがけれど四〇〇米に出場する選手が少なく、其上選手が一人足りないので全得然點しないと思つてゐました。それを三着に光永嬢が食ひ込んだので一點得點する事が出来ました。優勝者は横濱の三浦嬢でタイムは六分二九秒二でありました。

短距離は練習しやすく競技も簡単に出来る爲め選手が多くございますけれども中長距離(四〇〇米)になると一寸選手の数が少くなります。もつと四〇〇米に出場する選手を養成したいものであります。

- 一着 三浦 ハナ (横濱) 六分二九秒二
- 二着 須藤 光代 (横濱) 六分五二秒六
- 三着 光永 和子 (東京) 六分五四秒八
- 東京 1 點 横濱 5 點

二〇〇米リレー

- 4 コース 東京チーム (山田、光永、内海、飯島)
 - 6 コース 横濱チーム (増山、河村、須藤、三浦)
- 此のリレーは五〇米に有望な選手が多い東京に、

有利である様に思はれて居りましたが、横濱もさるものメンバーには兵が揃つて居りますので、最後まで豫斷を許さぬ好試合でありました。

先づ初めは山田、増山、兩嬢の競合ひで山田嬢ツーストローク増山嬢をリードし第二番目の引繼ぎで光永嬢、河村嬢が飛び込み、光永嬢少し遅かつたので河村嬢に少しリードされ第三番目に内海嬢須藤嬢が泳ぎ内海嬢の元氣な泳ぎに依つて東京は横濱を少し離しラストに横濱の三浦嬢と東京の飯島嬢の戦ひになり三浦嬢良く頑張つて差を縮めた様に思はれましたが、短距離の得意な飯島嬢もラストが良く利いたので遂に追つく事が出来ずに僅かの差で東京に優勝を譲つてしまひました。

- 一着 東京チーム (山田、光永、内海、飯島)
- 二分二四秒二

東京 3 點 横濱 0 點

總計に於て東京二九點獲得し、横濱一六點との差一三點にて優勝致しました。

得 點 表

東京	種 目	横濱	採 點 法
2	200 米 自由形	4	一 着 三 點
3	50 米 背 泳	3	二 着 二 點
5	100 米 平 泳	1	三 着 一 點
5	100 米 自由形	1	リレー
5	100 米 背 泳	1	
5	200 米 平 泳	1	
1	400 米 自由形	5	優 勝 三 點
3	200 米 リレー	0	
29	合 計	16	

高飛込と飛板飛込は別々にする筈でしたけれ共時間の都合又プールの都合に依り一緒に致しました。

先に飛板飛込から致しました。選手は鎌倉悦子嬢、田中キヨ子嬢の二人で模範飛込としてやりましたので對抗競技の中には入つて居りません。

飛板飛込の方には混合飛込も入つて仲々面白い綺麗なものでした。高飛込はフォームも立派なもので全部で十數種目飛びましたけれど全體を通じて大變良い出来でした。

終りに望み男子水泳界に比べて沈滞してゐる女子水泳界の爲め又オリンピック大會も近づいてゐる折柄もう一奮發して練習を熱心にしどの競技會にも數多く出場し強くなる様新人選手にお願い致します。そして申込みをした以上なるべく棄權をしない事を充分に心に留めて置いて下さい。新人選手は競技會に出場すれば出場する度にタイムが良くなるものです。此の氣持でいつも競技會に臨んで下さる様重ねてお願い申します。

第十一回國際オリンピック日本代表水上軍

報 告 書 (1)

◆從來オリンピック報告書は、一冊に纏めて發行してゐたものであるが、報告の集まりが意外に悪く、二、三の重要な報告書の提出すら未だ見ざるものあり、終に最後の手段として、理事會の決議を経て、數回に亘り機關雜誌上に於て、分割發表するの止むなきに至つた。

ベルリンより歸朝以來、N. S. R. は直ちに東京大會への準備に忙殺され報告者も編輯者も寧日に暇なき有様であり、この點諸兄の御了承を乞ふ次第である

本報告書は第一編 報告會・第二編 競泳・第三編 水球・第四編 飛込・第五編 雜録・よりなるものである◆

第 一 編 報 告 會

昭和十一年十月十三日
於日本青年會館

開 會 の 辭

飯 田 光 太 郎

只今から第十一回國際オリンピック日本代表水上チームの報告會を開會致しますに當りまして我が水上チームに対する感謝と將來に対する希望を述べまして開會の言葉と致します。

我が男子水上チームは男子競泳の世界再制覇を成し遂げまして五ヶ月に亘る遠征を無事に終つて、見事なる成績と貴重なる經驗を持つて、今日帝都に凱旋致しました。女子のチームは先日凱旋致しましたが、是も我國女子競技者として未曾有のオリンピック優勝者を出し、又其外に從來にない良好なる成績を擧げて歸つて參りました。是は總て選手諸君の努力奮勵と、役員諸君の熟練せる指導、精勵に依るものでありまして、感謝に堪へない次第であります。

四年後の東京大會までに、更に一層強大であり又完備した水上チームを作る必要がありまして、其の準備を凱旋の今日から始めなくてはなりません。今回派遣されました役員、選手諸君は、其の得た所を活用致しまして、次回に対する準備に直ちに取掛られんことを切望致します。

我が水上チームは、大會に出場しました者も、又出場しませぬ者も、共に協力一致しまして練習し、競技して居るのでありますから、勝つも敗くるも、共にチーム全員の責任であります。それでありまして、全員がそれぞれ報告をしななければならないのであります。時間に制限がありますので、残念ながら一部分を割愛することになりました。是は何れ報告書として皆様に御目に掛けることになつて居りますから、それを御覽願ひたいと存じます。

之を以て開會の言葉を終りまして直ちに報告に移ります。

末弘團長が倫敦へ残りまして、チームと一緒に歸ることが出来ませんでしたので、末弘團長の代りに御挨拶申し上げます。末弘さんからの話と致しましては、今度のベルリンのオリンピック競技大會に於きましては、日本選手は兎に角やつと優勝したのであるから、今後直ちに次の準備に取掛つて、東京大會に於ては更に立派な成績を得なければならぬ。それは今此凱旋した吾々選手の双肩に掛つて居るので、

選手は直ちに次の準備に取掛れと云ふやうな話でありました。最近又、是は松澤君の所へ來て居る報告に依りますと、末弘會長が、ドイツのナチス——何と申しますか、社會主義農民黨と申しますか——あそこの一國一黨の黨の大會がありました。是は今月の七日から十二日頃まででありまして、十日か十一日か一日を、餘り間が長いので、各参加したお客さんを休ませる日があるのださうであります。其時にヒットラーが各國のお客を招待したさうです。併しそれも非常に忙しいので、皆さんには唯々通り一遍の握手をただけだけれども、末弘さんに對しては、初め末弘さんにも皆と同じやうな通り一遍の握手をしたが、其の後で、是が日本の水上チームの代表者であると云ふことを聞いて、非常に親しげに寄つて來て肩を叩いて、日本の水上チームのやつたこと、又其態度は非常に立派なものだと口を極めて褒めたさうです。而も随分長い時間を費して日本チームの爲にヒットラーが非常な讃辭を呈したと云ふことを、チームのメンバーによく話して呉れと云ふやうな手紙が來て居ります。まあ兎に角、次の東京大會の爲にも今後十分の準備が必要だらうと思ひます。實は今度私は日本チームの總務主事として参りましたので、水泳チームには直接に關係を持つて居なかつたのであります。それで、私は五分間ばかり

水泳チームの側面觀と云ふやうな事をお話して見たい。實際の競技に關しては松澤君、齋藤君等からお話があるから、私は外から見た今度のオリンピック水上競技と云ふものにつて、其見た儘を話したいと思ひます。今度の大會に就ては、初めから割合に誰よりも飯田さんが一番強氣であつたが、私は今度のオリンピック大會に對しては、どう云ふものか此一年位前から非常に弱氣だつたのです。どうも今度は危ないと云ふ氣が非常に強かつたのであります。それは日本の豫選會が濟んで、出發した後で

も非常に其感じを消すことが出来なかつたのです。向ふでオリンピックの競技の一週間か二週間位前になつて、非常に日本選手の調子が好いと云ふことを聞いて、あゝ、こいつは又ロサンゼルス當時の勝利が出来るか云ふやうな感じがしましたけれども、何だか一抹の不安と云ふやうなものは去らなかつたのです。それで私は **戦前の豫想**と云ふやうなことを考へて見ますと、結局初つ端の一〇〇米自由形で勝てば、まあこいつは大體勝負と云ふ點では勝つたと見て宜しい。四〇〇米で勝てば是はもう關ヶ原の一戦に勝つたやうなもので、ロサンゼルス程度の壓倒的な勝利が出来たらうと云ふ風に見て居たのです。と云ふことは、其反對のことを申しますと、一〇〇米に敗けると可なり苦戦をしなくちやならぬのぢやないか。さうして四〇〇米自由形に敗けたならば、こいつは悪くすると潰滅してしまふ。それを踏止まるには非常な努力を必要とするだらうと云ふやうな觀方だつたのです。それで、さう云ふ風にならないことを希望して、私は戦前の豫想として、一〇〇米に勝てば大體優勝するだらう、四〇〇に勝てば壓倒的な勝利を得るだらうと云ふやうに人には話して居たのです。所がやつて見ますと、競技の細かいことは松澤君から御話がありませうけれども、大體の競技をずつと通して概觀的に一瞥して見ました感じと致しまして、本當にこいつは敗けたと思つたのは清川君の一〇〇米背泳だけで、之にしたつて、まあ向ふのキーフアーと云ふ者が非常に若い選手ですから、僕はやはりこいつは競技にはあがるだらうと云ふことを見越して、練習中に出してゐた一分七秒四か五と云ふ程度のものならば、一寸折返しを縮尻つたり或はスタートを縮尻つたりすれば、清川君に十分チャンスがあると思つたのです。所が、清川君が練習の時よりも競技の時の方が調子が悪かつたと云ふこともありますけれども、それを別にしても、キーフアーがあれば、五秒臺のタイムを出して泳いで居るのでありますから、是はもう力の違ひと云ふ外仕方がないと思ひますけれども、後のものは敗くべくして敗けたものではなくして、結局一人相撲で日本が敗けたと云ふ感が深かつたのです。

一〇〇米自由形などを考へて見てやはり日本の遊佐君とか、新井、田口と云ふやうな錚々たるスプリンターに對して對抗し得る者は誰が考へてもフイツ

クだけで、フィックが調子が好ければ此四人の間で非常な勝負になるだらう。さうして其結果は五十六秒臺のレコードで勝つだらうと云ふやうなことを考へて居りました。所が豫選をやつて見ましても、豫選の前からもフィックはてんで問題にならないだらうと云ふやうな話もありますし、又事實、私も練習は一遍か二遍しか見ませぬでしたけれども、それでも、此フィックと云ふ者は、まともに、勝たうと云ふやうな練習をして居るのでなしに、唯來ただけだと云ふやうな有様ですから、こいつは日本人だけの三人の中の争ひだらう。唯外にチックとかフィッシャーと云ふ者が居るけれども、こいつは此前のオリンピックの時のブレストのジータス——今度のブレストでは二着になつたが——あの時のジータスは可なり強かつたのですけれども、一寸優勝圏内には遠かつた。さう云ふ、あの時分のジータス位の強さを、今丁度歐羅巴の短距離のスウィマーが持つて居るのだらうと云ふ風に考へて居つたのです。所がやつて見ますと豫選も準決勝も、兎に角も

日本人のスタート と云ふものは、身體一つ位遅れて居りまして、而も百米位の間にそれを抜き返してはつきり勝つて居るのですから、是はもうてんで問題にならぬだらうと思つて見て居たのです。で、決勝の時も、何國が勝つかと云ふことよりも、日本の三人の内の誰が勝つかと云ふやうな氣持で、ラヂオの直ぐ下で末弘さんと二人で見て居たのですけれども、どうも上から見て居ると、今まで四年間のオリンピックのナンバー・ワンと言はれる遊佐君と、一番若くて衆望を擔つて期待されて居ると云ふ立場にある新井君が非常にあがつて居る。僕と新井君、遊佐君との間には可なりの距離があるのですけれども、明かにあがつて居つて、何だか、もう何も見えないと云ふやうな恰好であつて、田口君一人が非常に泰然として居りますから、こいつは田口君が勝つかなと思つて末弘さんと二人で上から見て居たのです。所がやつて見ると案外チックが勝つてしまつたのです。此爲に全部が敗けてしまつたと云ふことになると、こんな呑氣なことも言つて居られない譯ですけども——斯う全體を見て勝つた後で考へて見れば、遊佐とか新井とか田口と云ふやうな者は、

勝たなければならぬし敗れば恥 と云ふ勝負で片つ方のチック等にして見れば敗けて當りまへ、勝つて名譽と云ふ、まるで下手な碁打みたいな條件ですから、チックなどには氣持の上に大いに裕とがあつたと思ひます。こつちの選手は餘りに固くなつて敗けたんでせう。隨つて、スタートが遅いとかコースがブラインドであつたと云ふやうなことも勿

論大きな理由であつたでせうしオリンピックの直前丁度日本選手が最好調のレコードを出してからオリンピックまでの約一週間位の間が非常に寒くて、私は殆ど村から出ませぬでしたけれども、私達村に居つて食堂に行くにも寒い位で水泳選手は相當寒いだらうと言ひながら飯を食べて居りました位ですから、其間など、選手自身もコーチも、豫定した本來の練習も思ふやうに出来なかつたと云ふやうなこともあるでせうけれども、兎に角一番大きな原因と云ふのは、其氣持の上の問題だつたと思ふのです。

八〇〇米リレー はこいつはもう勝つべきゲームで、誰かがフライングしたとか、こぐら返りでもしなければ勝つだらうと思つて居たけれども、是は其通りになりました。

四〇〇米自由形 と云ふやつは、是は此前、ロサンゼルス大會の前の年に日米對抗をやつたことがありましたが其時にギルフラが勝ち、其次に昭和九年にメヂカ、ハイランド、ヴェンデ・ウエーの三人の米國選手を呼びまして、其時にメヂカに、餘り感服しないタイムで敗けて居るのです。それからロサンゼルス大會で敗けて、次に去年の第二回日米對抗で敗けたと云ふやうな都合で四回續けて敗けて居りますから、私は、こいつはもう日米對抗で四〇〇に敗けた時に、是でもうすつかり厄を落したから今度は勝つだらうと云ふやうな積りで見て居たのです。所がやはりあゝして泳いで見ますと、日本選手の、例へば鶴藤なんかあの時のやつて居る所を見ると、丁度メヂカを、頑張れ頑張れと言つてついて應援して行く。——丁度あの前半の速さと云ふものがメヂカを應援する程度だつたので、あれではどうも最後に行つてメヂカの方が幾らもう諦めやう諦めやうと思つても諦められぬやうな好い調子に日本選手が持つて行つてやつたので、結局最後に

筋肉の強いメヂカが勝つた ので決して全般を通じて見て、體力的の相違でメヂカが勝つたのであると云ふ様には私は考へませぬ。結局は最後の十米か二十米と云ふ間の勝負は、恐らくメヂカの筋肉の強さとこつちの選手の力の強さの差はあつたでせうけれ共、全般を通して見れば結局、鶴藤君とか牧野君とかが、もつと初めから飛出して、四〇〇の中の初めの二〇〇で勝負を決めてしまへば、もうメヂカは諦めて必ず敗けた勝負だと思ひます。此點でも恐らく牧野君なんかは千軍萬馬で、泳ぎに關しては、普通の世の中のことに譬へて言つて見れば五十歳六十歳位の人にも當るやうなもので、事泳ぎに關しては大抵のことは知り盡して居るのでから、初めに出なければ敗ける位のこと、誰がそんなことを言はな

くても牧野君自身には分つて居たのでせうけれども結局やはり、一〇〇米で負け、又後のブレストが、相手は非常に強いと云ふ評判を聞いたりすると、何だか是で勝つて置かないと後の日本の勝負が危ない、まるで日米對抗の關ヶ原の戦のやり返しと云ふやうな恰好になつてしまつて、恐らく前へ飛び出さう、飛び出さうと云ふ氣持はあつたのでせうけれども、若しや飛出して此處で敗ければ、後は殆ど取返しがつかぬと云ふ氣持の上の壓迫が強過ぎてあゝ云ふ結果になつたのであらうと思ひます。それは決して知らなくてあゝ云ふ結果になつたのだとは私は思はないのです。私はまだチームの人の話は聞いて居りませぬけれども、外から見て根上君とか牧野君とか云ふやうな人は大きなレースに馴れて居るのでから、それが分らぬ譯はないのだけれども、結局

一〇〇米で敗けた重壓 が四〇〇に掛けられて、鵜藤君の調子は好いのでせうけれど、やはり若さと云ふことがあるから、何とかして二人で行かう、——自分達が悪くても鵜藤君が勝つたらうと云ふやうなことでもなかつたでせうけれども、兎に角さう云ふ所からも重壓があつたのであらうと思ひます。さう云ふことから考へて見まして、今度の敗けた種目と云ふものは、力が無くて敗けたとか、競技的の常識とかテクニクとか云ふものが日本選手の方が向ふより悪くて敗けたと云ふことではない。一〇〇のスタートなんかと云ふことは別にして、決して向ふの方が泳ぎが巧くて日本が敗けたと云ふことは、外から見て居れば可なり岡目八目で、中の人よりも物事を悪く解釋すると云ふことがあるでせうけれども、僕等は全然外から見て居てもさう云ふ感じが起きなくて、結局一〇〇では固くなり過ぎ、それに一〇〇では却つて強敵のフイツクを失つた爲め、目的の對象をなくしてしまつて、勝つのは日本人きりになつてしまつたと云ふことから、どうしても自分が勝たなければならぬと云ふやうに緊張をし過ぎて思はぬ失敗をして、其失敗の重壓が四〇〇まで行つて非常に苦戦した。こいつは結局氣持の上から押されたのであつて、泳ぎの優劣ではないと云ふ風に、横から見て居つてさう云ふ感じがしました。

二〇〇米平泳 なんかも、是はやはり初めから非常にアメリカが強いと云ふやうなことを言つて居りましたが、日本には小池君、葉室君が居るから大したことはないと云ふやうな氣持もあつたのですけれども、まあアメリカの豫選會の成績が可なり良かつたので、チームの人達もコーチの連中なんかも心配したでせうけれども、あの一戦でははつきりオーソドックスのブレスト・ストロークがバタフライに勝つ

たと云ふことは言はれて居ります。唯驚いたのはジャータスが非常に強かつたと云ふことで、是は此前のオリンピックでも相當強かつたのです。併し優勝を狙ふ程の強さではなかつたのですけれども、あゝして見ると、ヨーロッパ大陸が産んだブレストのメヂカと云ふやうな感じを持つ程度の強さの人だと云ふやうに他所から見て感じました。

一五〇〇米自由形 では、こいつは初めから御承知のやうに寺田君が勝つたのですけれども、私は概括的に色々な種目の競技を見て、結局私は泳ぎの眞理と云ふものは、昔相撲の常陸山が、一押し二押し三押し、押しに手なしと云ふことを言つたさうです。さうしてそれが常陸山があれだけの偉い弟子を養成した唯一の言葉だと云ふのですけれども、今後の日本の水泳は一も飛出し二も飛出し、飛出し以外に手がないと云ふことが日本の泳ぎの眞理ぢやないかと云ふやうな感じを、横から見て居て持つ所深かつたのです。さう云ふやうな工合で、私が外から見て居ても、力の上では敗けないけれども、兎に角實戦には可なり敗けて居りますしタイトルとしては勝つて居るけれどもどうもはつきり勝つたと云ふ氣持になれぬと云ふ位に脅されたことを考へて見ますと、此際を期して、今後の日本の水泳の指導者達も選手も一緒になつて、もう一遍はつきり出直して、技術的にも再検討し、氣持の上の鍛錬もし直すやうにしなければ、今度の東京の大會もやはり心配だと云ふことも言へます。それで、世間ではロサンゼルスの大會は結局あれは運が好くて勝つたと言ふ。それ以外にはなかつた。こいつは總てが運が好かつた。さうして今度も亦運を引當て、ロサンゼルス大會みたいに簡単に勝つたりしますと、オリンピックは殆ど我が物だと云ふやうな氣になつたでせうけれども、今度の競技會で、一生懸命にやるのは日本だけでなくて方々でもやつて居るのだからオリンピックに勝つと云ふことはむづかしいのだ。身體に一つ故障があつても駄目だし、何處かに一つの缺陷があれば、世界の強豪の中に這入つて一等を取ると云ふことが如何にむづかしいかと云ふことを泌々選手自身も感じただらうと思ひます。さう云ふ意味で今度の大會に於て、男子競泳に付ては優勝して居りながら、而もあれだけの苦戦をしたと云ふことは、此前のロサンゼルス大會よりも、

今後の日本水泳に関しては非常に良い経験 になつたと云ふことを感じました。他所から見て居て、こいつは敗けたら飛んだことになるだらうと思つて見て居りましたけれども、勝つた時には、却つて苦戦をしたことは非常に今後の爲に良かつたと云ふやう

な感じを持つたのです。以上のような事が大體私の今度のオリンピック水上競技に關しての側面觀ですけれども、もう一つ感じた事は、此前のロサンゼルス大會と今度のベルリン大會と云ふものは、チームとしては同じやうなことを同じやうにやつたのだらうと思ひますけれどもやはり此前は田舎者の押しの強さと云つたやうな強さがあつて、チーム全體に燃えるやうな意氣があつたのが、やはり今度は少し文明人のやうになつて、泳ぎの世界に於ての所謂世間が分り過ぎて、さう云ふ昔のロサンゼルスの時みたいなの、

燃えるやうな力強い意志と云ふものが缺けて居たと云ふ點が、外から見ると目に着かざるを得なかつたと思ひます。さう云ふ點で、今後は又やつぱりロサンゼルスの時みたいに茲に出直して、あゝ云ふ風な燃えるやうな氣持に選手も役員も一致してなり切らないと仲々オリンピックと云ふやうな大競技になりますと、色々な精神的な打撃が大きくて、體力的には負けて居ないにも拘らず、精神的な打撃で敗けると云ふやうなことは今後も隨分あるだらうと思ひます。もう一つ、は是は初めに話す筈でありましたけれども忘れましてので、報告とは違ふことですが茲で申しますと、

今度の競技規程で、オリンピックで變つたこと

は、スタートが今まで「用意、ドン」の「用意」でモーションをつけてピストルで飛出した。それが今度はピストル・ショットまで如何なる場合でもモーションをつけてはいかぬと云ふことに決まつたこと、ブレスト・ストロークでバタフライが許されたことゝ云ふ位の程度で、大して規則的には變化はなかつたと思ひます。さうして又新聞に出て居るやうな、一年交替に日米對抗をやると云ふやうな約束も恐らくしてないだらうと思ひます。私は聞いて居りませぬが是もしてないと思ひますから、來年行くと云ふこともちつとも、はつきりと決まつて居る譯ではないのであります。さうして私は、是も全然素人觀、サイド觀として今問題になつて居る。

バタフライとオーソドックスのブレスト・ストロークはどうだと云ふ問題は、色々問題がありませうけれども、此間も私は松澤君と話したのですけれども、私はブレスト・ストロークに於けるバタフライと云ふものは駄目だと考へるのです。と云ふ意味は、是は非常に大きな日本の研究問題で、斯う云ふ點は松澤君、點藤君などの研究する所ですけれども、あれを見て居ると、あのバタフライには大衆性と云ふものがないと思ひます。どうしてクロールが是れ程盛んになつたかと言へば、私達の頃には、泳ぎと言へば、バタ足で三十米をやるのも非常に苦痛で、

五十米泳ぎ切ると云ふ者などは一人もなかつたのですけれ共、此頃の選手に聞いて見ると、一番樂な泳ぎは殆どバタ足だと云ふことです。で、ブレスト・ストロークの方ですが、蛙泳ぎと云ふことは非常に樂だから、誰でも泳げる泳ぎだと思ふのですだから海岸に行つても、水の中で遊んで泳いで居る者は必ずブレスト・ストロークで——ブレスト・ストロークと言ひましても平泳ぎでありますけれども、其平泳ぎでなければクロール、クロールでなければ平泳ぎで、ブレスト・ストロークをバタフライでやらうと云ふやうな者はそれはやる者も居るでせうけれども、海岸の遊びに一時間も二時間もバタフライをやると云ふ者は恐らくさう澤山には出て來ないだらうと思ひます。だからブレスト・ストロークに於けるバタフライはさう盛んにならぬだらうと思ひます。日本の水泳が強いと云ふことは、決して一人や二人が強いと云ふことでなくして、澤山の人が泳いで居て、其中から自然に淘汰されて、最も適した最も良い者が出て來るので、日本のクロールと云ふものが非常にクロール其ものとして經驗が淺いに拘らずあれだけ強くなつたのであつて、此バタフライなんと云ふものをやるならば、恐らく二百米にも非常な體力で泳がなくちやならぬと思ふのです。さう云ふ、非常な體力の要るもので、割合に大衆性を持たない此のバタフライをやる者が出るかどうかと云ふことは私は疑問だらうと思ひます。併し今度のオリンピックを見ても、此のバタフライと云ふものは、今後の將來性と云ふものに對しては面白くないものだらうと思ふ。尙ほもう一つバタフライと云ふものは非常に調子の出來不出來が多過ぎると思ふ。此の方は恐らく其コンディションに依つて良かつたり悪かつたりする。調子が好いと非常に良いレコードを出して見たり、調子が悪いと又大いに悪かつたりすることが多いと思ひます。斯う云ふやうな感じを起して居りました。大體競泳の方の側面觀はそんなもので、

飛込競技はオリンピック村の中が忙がしくて見に行けませぬでしたが、此オリンピックの競技の直前に練習會がありました。是は私見て、實に巧くて驚いたのです。ヨーロッパの連中とは全然遜色がないと云ふだけでなく、アメリカの三人の間の中の少くとも一人よりは巧いと思つて見て居りました。結局まあ、其結果はあゝ云ふ風になりましたけれども、是は私は近い將來に非常に有望なことになるのぢやないかと云ふ氣がします。是は八年間待たなくても次の四年の間、過去の四年間のやうに一生懸命にやつたならば、こいつはアメリカと本當の意味の對抗の勝負が出來て審判員の採點の仕方でも勝ち負けが

引繰り返ると云ふやうな程度になるのぢやないかと云ふやうに感じて見て居りました。此ダイビングが巧くなつたことに就ては、全然ダイビングを見たことがないと云ふ人も、總ての人が是は感心して見て居りました。

女子競技 に関しては、是は人見嬢が居ない限り、日本の女の人が競技に勝つなんと云ふことは夢想だもしなかつたと云ふことが日本の運動競技界の定評だつた。さうしてオリンピックだけでなく、國際競技に女は出るなと云ふ意見も非常に強かつたと云ふのは、人見さんみたいに、殆ど男みみたいな女の人が出来て来ない限り勝てない國際競技ならば女は出なくても宜いぢやないか。若し體力を向上させる必要から言へば國內で運動をすることは必要だらうけれども、外國まで行つて、男みみたいな女でなければ勝てないやうな競技會に出て行く必要はないと云ふやうな意見が相當ありまして、私は此前は反對しましたけれども、今度オリンピックへ行く直前には尤もだと思つたのです。それ程無理をして、男のやうな女でなければ勝てないやうな國際競技に、日本の優しい女の人をやる必要はないと云ふ氣がしましたけれども、今度の競技會を見て、さう云ふ考へを全然覆へしました。前畑さんみみたいな、兎に角日本人の誰が見ても女らしい女の人がオリンピックで一等になつて居るのですか、ら此前畑さん位の女ならば體力の上から言つても、日本で幾らも出来ると思ふの

です。それならば日本が可なり一生懸命にやつて女の競技を盛んにしても宜いと云ふやうな感じを持つて歸りました。又小島さんの四〇〇の六等も、是も非常に大したことです。茲で漸く女の人の競技と云ふものも一つの芽が出たと云ふことになりますから、今後の女の競技と云ふことも一飛躍を遂げるだらうと思ひます。

水球 は、さう言つては悪いけれども、やはり今度も全く見學の域を脱しなかつたと思ひます。尤も歸りにも非常に方々で試合をしたのでオリンピックの當時とは非常に技術が違つて來たさうですが、初め是は、どうも行き得るのだと云ふ感じよりも、行かせなくては悪いし、行くやうにするのが又水上聯盟の責任であると云ふやうなことの方が多かつたのではないかと云ふ考へをして居ります。

概括して 結局今度の大會は、男として、非常に苦戦に苦戦を重ねてやつと勝つたと云ふことが、次の大會の爲には非常に良い藥であつたし、又良い藥にしなければ今度の遠征は無意味であつたと云ふ感じが致します。女の競技及びダイビングは、今後更に大飛躍を遂げるチャンスがあると云ふこと。水球は、是は強くならなうと云ふ見透しがあれば別ですけども、是もオリンピックに出る以上、どうしても次のオリンピックまでには強くしなければならぬし、是が水球の今後の責任だと云ふ風に感じます大變長い間失禮しました。(拍手)

男子競泳ヘッドコーチ 松澤一鶴

歸つて参りましてから、まだ聊かぼんやりして居る形でありまして、何を申上げようか、はつきり心も定まらぬと云つたやうな調子でございます。何れ今度得ました結果に付ては十分検討を重ねて、皆さん方にしつかりした御報告をしたいと思ひます。私達男子競泳チームが

オリンピックに對する實際の準備 を始めましたのは、是は昨年の日米大會頃からと考へて宜しいと思ひますが、あの日米大會の終りました直後の私自身のひ感想と致しましては、オリンピックに於て、あの苦しかつた日米大會レースをもう一遍ベルリンで再現するのだと云ふことを考へて居りました。アメリカの強さ、底力と云ふものをさう云ふ風に感じて居りました。さうして此アメリカに對して吾々は冬の合宿、春の合宿と二回も合宿して準備致しました。さうして可なり苦しい練習を致した積りであります。さうして吾々はベルリンへ旅行する爲に非常に早く

出發しなければならぬので、日本に於ける練習期間と云ふものを持ちませぬ爲、にベルリンに行つてから練習を十分したい意味で、可なり長い期間向ふで練習出来るやうに、普通の本部隊よりは一足お先に出て参つたやうな譯でございますが、斯うして向ふへ参つてから、吾々が、日本の春先の

練習不足をベルリンの地で補はう と云ふ計畫、之を吾々も豫て考へて居りましたやうに實行致しました、競泳のことにつきましては、私及び齋藤巍洋君が之に當りまして、尙ほ泳いで居るだけで足りない部分は直接體操などを補助に用ひてやらう、此方 Y. M. C. A. 面はの柳田君に擔當して貰ひました。斯うして可なり短時日の間に吾々の不足分を補はうと云ふやうな氣持で練習致しましたことは、選手自體の緊張心と相俟つて、吾々が考へて居るよりは遙かに早く回復を致しました。

早く回復した と申しますか、自分等の考へて居

りました好い調子と云ふものが意外に早く出たと其を當時喜んで居りました。さうして其頃ニュースに依つて齎されましたアメリカの最終豫選會等の成績と比較して見ますと日米對抗當時に於て考へて居りました所よりは遙かに良い成績で此ベルリンオリンピック大會も終始出来るのではなからうかと云つた様なことで、吾々は一層勇氣百倍して毎日の練習に精進した譯でございます。所が實際レースになつて見ますと云ふと、やはりアメリカ軍の底力と云ふものは、向ふの地で豫選會を開いた時の如きものでなくて、実際には素晴らしい力を示しました。先程田畑君からお話のありましたやうな、——勿論もう皆さんの方が其全般的の戦績に就ては、或は私等よりは一層よく御存じではないかと思ひますが、あゝ云つたやうな結果になりました。後から考へて見ますと、昨年日米對抗當時に於て考へて居りましたと全く同じやうな——其當時に於て感じたと同様の**苦しい戦**をしなければなりません。其間に於きまして、選手諸君が最後迄ねばりにねばつて苦しいレースを切抜けたと云ふことに付ては、私等も、實に思出しても何とも言へない程感慨に堪へない次第でございますが、斯うしたレースを得ました

私は齋藤巍洋であります。私の御報告申し上げべき全部は只今松澤君並に田畑君から總て話されましたから、私から特別に御報告申上げるやうなことはありません。唯々私はベルリンに参りまして、五十日間のオリンピック前の練習と、大會に依つて得まし

水球コーチとして一言所感を述べて御報告に代へたいと思ひます。吾々は西歐遠くベルリンの地に、闘はん哉の血に燃えて出發致しまして四ヶ月、向ふへ到着しまして約一ヶ月の間、吾々は如何にしてチーム・コンディションの最高潮の状態を大會の競技に持つて行くかと云ふことに付て非常に苦心したのであります。よく考へて見ますと、吾々のチームはロサンゼルス以來今回で二回目の遠征でありまして其際に、キャプテンである阪上君が唯一外人と試合した経験があるだけで、其外の人には外人の試合を見たこともなければ、無論試合をやつたこともないと云ふ状態でありましたので、是は向ふへ行つて練

結果、私達はどう云ふ感じで参りましたか、先程田畑君の報告中にも屢々ございましたやうに、吾々は勿論、之を機會に、吾々の今度のオリンピック大會で得て來た所を基に、日本の水泳をもう一遍建直す意氣でやりまして、さうして尙且つ此次の日本の大會に於ても仲々全勝とか完勝とか云つたやうなことを夢見てはならないのであつて、今度の大會の経験及び得て來た感じから申しますならば、此東京の土地に於て

又アメリカとの接戦を繰返す覺悟でなければならぬと云ふことを感じて居るのであります。どの種目にどう云ふ缺陷がありますかは四年間の歳月が色々に之を變へるでございますうけれ共、併し吾々の實に愉快な敵であり相手である所のアメリカ軍の力と云ふものは、他の歐羅巴軍などを問題にするまでもなく非常な素晴らしいものであらうことが豫期されるのでありまして、此苦しいさうして又愉快なる戦ひの爲に、吾々は今日只今より準備しなければならぬと云ふ感じ及び其他の方面からの結論であると云ふことを申上げて、簡單ながら私の報告に代へたいと思ひます。有難うございました。(拍手)

男子競泳コーチ 齋藤巍洋

た苦しい経験に依つて、私達に教へて貰ひました其體驗に基いて今後の水泳界に大いに努力致しまして皆様御期待に副ふやうな日本の水泳界を建設致したいと云ふ、唯々其決心を申述べまして私の報告に代へる次第であります。終り。(拍手)

水球コーチ 松本隆重

習ゲームを澤山やつた方が非常に効果が現はれると思ひまして、選手諸君には少々無理な要求でありましたが、一週間に約二回位の豫定に向ふのチームと色々試合をやりまして。戦前の試合の結果は既に新聞で皆様御承知のことと思ひますから省きます。さう云ふ経験をしまして

愈々大會に臨みました所、是も甚だ残念でございますが實力を發揮し得なくて敗れたのでございます。一番残念に思ひますことは、吾々が、歐洲の地でも相當警戒されて居りましたチェコスロヴァキアとの第一回戦の試合をロストしたことが非常に選手に感銘を與へ、此次からは第一回戦には必ず勝たな

くちやいけないと云ふことを痛感したのでございます。それから佛蘭西の試合、獨逸の試合とやりましたが、先程申しましたやうに實力を出し得ないで惨敗を喫したのでございます。負惜しみを言ひたくはありませんが、抽籤方法でもう少し何とかなつて居れば皆様の期待に反かないやうな成績を得たと思ひますが、今更そんなことを言つても始まりませぬから大會に於ける感想はそれまでとして、次に私共が水上聯盟の非常な好意に依つて、大會後に

歐洲各地を轉戦 致しまして、何處へ参りまして、日本と水球の御相手は出來ますと云ふやうな調子で、何處を見ても弱いと云ふチームはありませぬでした。それで吾々は十幾つかの試合を重ねまして非常に得る所があつたのでございます。今日本へ歸りまして戦ひの跡を顧みますと、コーチである私の不明を皆様の前に御詫びすると共に、一番缺けて居た點は

チーム・ワークが足りなかつた と云ふことに盡きるだらうと思ひます。私は先づ今後良い選手を作る前に良いコーチを作る必要が十分あるだらうと思ひます。將來に對する希望と致しましては、ロサン

ゼルスの際は本當の見學程度に過ぎなかつた。——今度も、先程の田畑さんの言を藉りますれば見學程度に過ぎないと云ふやうなことを言はれましたが、今度は非常に收穫を得て歸つて來た積りでございます日本が水球に非常に恵まれて居ないと云ふことは環境に支配される所が非常に多いと思ひます。井の中の蛙で、自分の所ばかりで試合をやつて居たのでは、競泳のやうにタイムに現はれる所を以て其の強さの分るのは宜いですが、水球ではそれが判りませぬから、出來るならばオリンピックの前の年、又は今度のやうな東京で開かれる場合には、優勝チームであるハンガリーのチームを一ヶ月位前に呼んで戴いて練習試合を重ね又コーチを受ければ非常な進歩をするのではないかと思ひます。それからクラブのチームが発生することを此際望む者であります。併し十二回の東京のオリンピックに對するものとしては恐らくクラブ・チームは発生せず、

鞏固なる學生チーム を以て之に充てなければならぬと思ひます。今後大いに奮勵努力して男子競泳と同じ様な好成績を得る事を皆様の前に御誓ひ致します。之を以て報告に代へる次第であります。(拍手)

飛 込 コ ー チ 原 秀 夫

私は飛込のコーチ原秀夫であります。此度び私共の飛込チームが、やはり競泳と同じやうに、飛込でもどうしても日の丸を揚げようと云ふことを決心しまして遙々海を渡つてベルリンに参りまして、全力を盡して、五人の選手と私と六人が一つになつて出來るだけ戦つたのでありますが、やはり皆様既に御承知のやうに

四等二つ、六等三つ、八番目三つ と云ふやうな譯で、御期待に副ひ得なかつたことを茲にお詫び申し上げます。此點洵に残念に思つて居るのですが、併しながら今度やつて來ましたことに就て、別に私共選手監督共に後悔は致して居りませぬ。と云ふのは甚だ微力ではあつたのですが、選手の連中がコーチの私の言ふことを非常によく聞いて呉れまして、非常に困窮缺乏の場合が多かつたのですが、之に打勝つてよく闘つて呉れたのですから、此點、選手の奮闘に就て、私から、或は水上聯盟のどなたからも恐らく何にも言ふことがなかつた筈だと云ふことがコーチとしての私の心境でありますし、それから恐らく選手の連中も、あれが

自分達の全力 であつて、あれ以上どうにも仕様がなかつたのだと云ふ事が、今の選手の連中の心境

ではないかと思つて居ります。競技の結果に付ては新聞或はラヂオなどで十分御承知のことゝ思ひますから、別に之に就て改めて此處で申上げることもないと思ひます。私共が東京を離れましたのはオリンピックの本隊と一緒にありまして、それから向ふで八月十日から約六日間競技がありまして、終つてからやはり他の競泳チームと一緒に各國を廻つて歸つて参りました譯で此點に就ても、何れ役員の方から色々詳しい報告があると思ひますから、私から改めて申上げることもないと思ひます。唯々私共が今度ベルリンに参りまして、相當努力して試合をやつたのですが、其結果は不幸にして敗れた。

其の敗れた原因 と云ふのは、色々細かく言ひますと技術的な、或は色々な内的なことがあります。其中で今でも一番私の頭の中に残つて居る強い感じの一つを申上げて私の報告に代へようと思ひます。と言ふのは私共今までも多少は考へて居たのですが、飛込と云ふものが、何か非常に、日本人で言ひますと、小さい——と言ひますか細かく身體の動く、前へ廻つたり後へ廻つたり色々して飛込むやうな、非常に個人的な技術のやうに思つて居たのでありまして、是は恐らく皆様も一寸そんなことを考へて居

たのではないかと思ひますが、吾々もさう云ふことを強く意識して向ふへ行つたのですが、やはり米國或は獨逸外十ヶ國以上の國々の中に這入つて日本チームとして行きますと、此の、一寸個人的競技に見えるやうな飛込競技が、やはり

實際は團體的の競技 であつて、一つの國に幾ら飛込の巧い選手が一人二人居ても、結局大勢の他の國の選手に押されて、其結果が、その非常に巧い飛込選手の飛ぶ實際の價値程の點が採れないで、逆にそれよりもずつと劣るやうな外國の大勢居る選手の點の方が寧ろ率が良く出て來ると云ふやうなことをはつきりと意識しまして、此點に於て、今度の敗因の相當大きな要因として、今度の私共のチームが非常にチーム・メンバーが不足だつたと云ふことが非常に大きな原因だと思ひます。それと關聯しまして、私が神戸へ上陸しますと同時に直ぐ大阪朝日の新聞記者の方が私の所へ來まして、飛込の

審判員の採點 が實に意外な事が多かつたと云ふ話だけでもどうだらうかと云ふやうな話を聞かされまして、此點に付ても、やはり今申上げたやうに、結局實際各國の審判員の人、隨分私共が考へて不可解と思ふこともあつたのですが、其審判員が左右された最も大きな原因と云ふのは、實際に其審判員の人が飛込に就て不明だと云ふことよりも、飛込の試合が始まる前に十人餘りの米國の選手或はそれ以上の獨逸の選手が入り交つて飛んで居る中に、やはり日本の選手が出来るだけ一緒にかたまつて、十分デモンストレーションをやる積りで練習したのですけれども、結局數に於て約半分ですから、日の丸の旗の日本選手が飛降りるよりも、他の、星條旗の選手の方がどうしても多いので、そんなことから、又もう一つは、アメリカと云ふのは非常に昔から飛込に就ては優秀な國でありまして、是が審判員の頭に非常に強く浸込んで居る。是はまあ皆さんも恐ら

く御存じのことだと思ひますが、それから尙ほ獨逸は、地元であります關係上、其觀衆の大部分が獨逸人であります。やはりオリムピック競技があゝ云ふ風に國際競技であります以上、自分の國の選手が飛込みますと、例へばそれが良くても悪くても、猛烈なる聲援を與へますから、餘程氣持がしつかりして居ない限り、普通の審判員であつたらそれに左右されると思ひますがさう云ふ風な意味で、結局私共の努力したことが、實際の事實もさうであつたかも知れませぬが、日本の飛込も相當に飛べるやうになつたと云ふやうな其結果が、只今申上げたやうに四等が二つ、それ以外に六等が幾つかと云ふことになつたのだと思ひます。

今度のベルリンの競技 はロサンゼルスの時と違つて、ロサンゼルス時はどつちかと云ふと技術的なことで斯う飛んだら巧く行く、或は斯う云ふ風にすれば宜いと云ふやうな技術に於て多くを學び得たと思ひますが、今度の私共は、それよりも寧ろ今申上げたチーム・メンバーの不足と云ふこと、それから實際飛込みと云ふものは、板を離れて空中にクルクル飛躍廻轉して水に這入つて行くそれだけでなくそれ以前に、飛込臺の梯子段を上つて行く頃から、實際に較べて見るとアメリカ人は非常に巧くて日本人は其點ギョチないのであります、さう云ふやうな、他の點で非常に得る所が多かつたと思ひます。是等の得たる教訓を土台にしまして、必ず今度の東京のオリムピックと云ふものは、どう云ふやうな角度からどう云ふ風に見ても、吾々飛込チームに取つて最もチャンスのある時と思ひますから、此四年間に出来るだけの努力をしまして、必ず此飛込チームでも日の丸を揚げると云ふことを一つ飛越えて優勝旗まで漕ぎ付けたいと思ひます。之を以て私の報告に代へたいと思ひます。(拍手)

女子競泳コーチ 白山廣子

今茲に私達日本水上チームの本隊である所の男子水上チームの役員及水球、競泳、ダイビングの選手の皆様方の元氣な御姿を御迎して、本當に、心から御祝申し上げます。私達女子水上チームは去る三日、やはり今日のやうに雨降りでしたが、朝野の皆様方の熱心なる御迎を受けて歸つて参りました。さうして茲に再び私共が日本水上聯盟の御招待を受けて皆様方の前に御挨拶申上げる機會をお與へ戴きま

したことを水上チームの留守陣の役員の皆様方に厚く御禮申し上げます。私共女子水上チームの十二名が此處に出席致しまして一々御挨拶を申上げると宜しいのでございますが、丁度解散致しました後で遠くへ御歸りになつた方もございます爲に御挨拶が出来ないことは残念に存じます。幸ひ此處に、私共女子水泳チームの爲め、否日本の爲に非常な殊勳を立て下さいました前畑ヒデ子さんの御出席を得、又女

子水泳チームの爲に、皆様の期待なすつていらつしたより以上の立派な成績を擧げて、日本女性の爲に堂々氣焔を吐いて下さいました小島カズエさん、及び飛込競技に畫期的の成績を収めて下さいました大澤姉妹の御出席を得ましたことを非常に喜ぶ者でございます。

私達女子チームは 七月三日にベルリンへ到着致しましたのでございますが、それから十日ばかりの間は、水に馴れること、泳ぎ過ぎないやうにコンディションを取返すことに努めて参りました。それで十日をすぎましてから後に愈々スピードの猛練習に移りまして、其時には或は男子の方から松澤コーチを無理にも引出して私達女子チームの専用に致しまして、技術的の御注意や色々の御指導を受けたのでございます。其間には日本の氣分を懐しんで皆さんが日本の着物を着たり或は日本食を戴いたりして休養の一日を取つたこともあります。こちらへ歸つて参りますと、其時撮された寫眞などを見られて、みんな女の子は振袖を着てあんなにしておけばかり踊つて居たのだらうなどと方々で言はれて困りましたのですが、あれは唯々一日だけの休養の日を、日本の氣分を楽しみたい爲に着物を着たのですが、それを新聞記者の要求に依つて寫眞を撮し、其の撮した寫眞があちらこちらの新聞などに出たのでございまして、色々言はれて洵に恐縮致して居ります。さうして私共が其休養を取りまして、二十二日でありましたが、

レコード會を開いて、御承知の様な立派な成績を擧げたのでございます。さうして之を以て私達競技に當つたのでございますが、經驗ある選手以外の、若い古田さん、松村さん、竹村さん斯う云つた選手の方々が、どうしても日本の女性としまして、何處か遠慮勝ち——と云ふ言葉は當らないかも知れませぬが、試合度胸がないと云ふことが私達には迎も残念なことでありまして、練習時以上の成績を収めることが出来なかつたのでございます。けれども私達は茲に

三つの要素を収めれば必ず世界の女子に伍して立派な成績を擧げ得ると信ずることが出来たのでございます。それは一つは、此競泳をなさる女子選手の方が、今いらつしやる前畑さん或ひは小島さん、守岡さんなどのやうに、相當の年月を選手

生活の爲にお過ごし下さいますこと、且つ一度競技に出て、それを失敗しても自分を見捨てゝしまはないやうに、自分を何處までも引上げて行つて下さる決心をして戴きたいと云ふこと、それからもう一つは私達水泳に關係して居る者の努力でございます。是は此夏幸ひ水上聯盟の方々の御盡力に依りまして女子中等學校競泳大會と云ふものが出来ましたので其の方で非常に立派な成績を得まして私達は嬉しく思つたのでございます。もう一つは、是は皆様方に御願して、もう少し日本の女子の運動に、正しいスポーツ的理解を持つて戴きたい。家庭でも、或は一般社會の方々も、美しいスポーツウーマン的な女子の運動に對する理解を持つて戴きたいと思ひます。是だけを私達は望みます。此三つを揃へたならば必ず此次の日本で開かれるオリンピック大會では堂々たる立派な成績を擧げることが出来ると信じます。最後に私達はデュツセルドルフに招かれて競技を致しましたが、其時に例のゲネンガーが、前畑さんに對して此時を期して必ずオリンピックの復讐をするのだ、復讐出来る自信があると云ふやうなことを聲明して新聞などに出したのであります。御承知の通りに一〇〇米背泳、二〇〇米平泳、一〇〇米クロール、の四〇〇米メドレーリレーを致しまして二〇〇のブレスト・ストロークに前畑さんはバックを引繼いで出て下さつた。其時の背泳は憎生バックの選手が出なかつたのでございまして、守岡さんにお願ひして無理に出て戴いたのです。それで、やはりバックは遅れて這入つて参りまして、前畑さんは一艇身も後れて引繼いたのですけれども、二〇〇米の間に遂にゲネンガーを完全に抜いて勝つて下さいました。此時には私は

オリンピック以上に感激して其前畑さんの御努力に感謝したのでございます。之を以てゲネンガーを完全に抑へたと云ふ氣持を私達に持たしめ、オリンピックの優勝よりも一層嬉しいものにしたのでございます。それから私達はもう一つデュツセルドルフの脇の町で競技を致しました。それ以外に他へは轉戦することなく、八月三十日の乗船の日までの時間を利用致しましてロンドン、パリー見學の時間を頂いたことを感謝致して居ります。

洵に簡単でございますが、御報告申上ります。(拍手)

男子競泳主將 清 川 正 二

男子競泳チームを代表しまして御挨拶申上げま

す。其前に先づ、私達が今度ベルリンに参りました

間、ずつと終始變らず非常な御聲援を戴いたことを選手一同に代りまして厚く御禮申上げます。此ことに付きましては私達は向ふに居ります間、非常な刺戟と、又或時には大きな慰安を與へて戴きました。私達は日本を出ましてから、外國に居ります間に、私達の生活様式の變ることを心配し、又私共のフアイティング、スピリットとコンディションの變ることを心配しまして、日本食及び日本料理一式の物を用意して行つたと同じやうに、或意味に於て、私達に、心の糧として非常に私達の今回の成績に對して大きな役割を果して戴いたと云ふことを厚く御禮申上げて置きます。

それから次に私達の今回の成績に付てありますけれども、先程役員の諸氏から既に御報告がありましたから今更私達言ふことはありませぬけれども、唯々

選手一同の氣持 としましては、國を出ましてから全レースが終りますまで、絶えず私達の全力を盡して備へ、さうして全力を盡して戦つて参りましたと云ふことだけを私は茲に皆に代つて御報告申上げます。併し私達の出しました成績結果、を見てみま

すと、私達としても非常に満足すべき結果を得なかつたことを自ら認めまして、一同大いに反省して居る次第であります。で、其のことに關しては、私達の今度の旅行は非常に變化がありまして、恐らく私は、今まで數回も外國にも遠征させて戴きましたけれども、今度の旅行程、私達、少くとも競泳の選手に取つて變化があり、又教へられる所の多かつた遠征はなかつたと思ひます。それだけに私達は今度の遠征を通じて、非常に得る所が多かつたと思つて居ります。で、今回の成績としては、非常に皆さんの御期待に副ふことも出来なかつたと思ひますけれども、此次の東京大會には、此今度得た多くの経験を基にしまして、今度こそ愈々、世間によく言ふ

三度目の最も大切な勝負 でありますから、今度こそは、運も何もない實力で勝つたと云ふ様な成績を、今度の尊い経験を基礎にして確保するやうに、先程松澤さん達も言はれましたけれども、明日からでも準備し、此次の爲に備へるやうに、私達としましては既に歸りの船中で其準備の第一歩を踏出して來たと皆さんに御報告して私の責を塞ぎたいと思ひます。

(拍手)

水 球 主 將 阪 上 安 太 郎

水球選手を代表しまして御挨拶申上げます。私、今此處に立ちまするに、かなりの勇氣を以て臨んだ次第でございます。と申しますのは、此のやうな目出度い凱旋の席上で、敗けた話をするなどと云ふことは、自分自身非常に不甲斐なく感じますし、又多少苦痛であるからであります。先程競泳の方の方々から、競泳は如何にして勝つたかと云ふ目出度い御話がございました。私は今我が日本の

水球は如何に大敗したか と云ふ事をお話ししなければならぬのでございます。勿論勝つたり敗れたりすることは、勝つことそれ自身がそんなに價值のあることでなくして、勝つ爲めの努力が非常に尊いのだと云ふやうなことは私、百も承知して居りますが、敗けて歸つて参りますと、やはり勝たなければいけないと云ふ事を泌々悟らされるのであります。競泳の方々はベストを盡して勝たれました。私共水球はベストを盡して敗れたのであります。今更何の言譯もございませぬし、又後悔もない筈でございますが、併し後になつて考へて見ますと、あゝもすれば宜かつた、斯うもすれば宜かつたと云ふやうなことが色々ございます。それ等のことを皆様の前に御話すれば非常に長い時間にもなりますし、私は選手

と同じ氣持を茲に述べるのでございますが、何も言はずに此次の大會まで沈黙をしながら一つ大いに精進したい、こんな風に考へて居るのでございます。大會の色々な本當の有様は、今松本コーチからお話がありましたので私から再び繰返す必要もないだらうと思ひます。唯皆様聞いて戴きたいことは、皆様は新聞やラジオを通じてオリムピック大會を御覽になつたのであります。所が新聞やラジオのオリムピック大會は勝つただけの大會でありまして、敗れた大會は新聞やラジオにはないのでございます。所が日本が敗れた此水球も、決してそれは、微少な試合ではなくして、オリムピック大會に於ける非常に堂々たる試合だつたのであります。其點認識して戴きたいと思ひます。色々なことを學んで参りました。さうしてアメリカの大會、今度の大會も

非常に良い教訓 になりました。今までは何でも彼でも取入れようとした擴張時代でございましたが、今日から此次の大會に備へて集中主義を執つて行きたいと思ひます。吾々はベストを盡して敗れて参りました。後は皆様の御批評と御批判に御任せ致します。

(拍手)

男子飛込主將 柴 原 恒 雄

簡単に感想を申し上げまして御報告に代へたいと思ひます。

吾々飛込チームはベルリン到着以來約一ヶ月間、競泳チームと同じく、試合に十分間に合ふやう、原コーチの下に全力を盡して練習致して参りました。試合が近づくに連れまして、各國ともどんどん集まつて参りまして吾々の目標と致して居りましたアメリカチームが大會二十日前に到着致しました。吾々が**アメリカチーム**に就て聊か驚きました點は、其選手の人數もさうであります、選手よりも、其選手の専屬とも言ふべきコーチが五人参つて居りました。是には聊か驚かされました。流石に飛込王國だけありまして實に豪勢なものであります。試合の結果、首位のアメリカチームに學ばなければならないと云つた點は、結局フォームと云ふよりも空中に飛

出すまでの助走及び試合に臨む時の氣持と云つた所でありまして、此點アメリカの、特に男子の選手に非常に立派なのが見受けられました。それ以外に、ドイツの選手は、大會中は自分の國でありましたので非常に觀衆に人氣がありましたが、是も吾々に取りましては大したことはないやうに感ぜられました。其他英國、伊太利、濠洲等相當集まりましたが何れも目新しいものはなかつたやうに思はれます。要するに吾々は今後、

東京大會を控へまして、先程申し上げましたやうに、アメリカチームに學ぶべき點を十分にこなして参つたならば東京大會には必ず立派な成績を擧げることが出来ることを確信致して居ります。

甚だ簡単でございますが、一寸御報告申し上げます。(拍手)

女子競泳主將 前 畑 ヒ デ 子

私達女子水上チームは一致團結、ベストを盡して元氣で歸つて参りましたことを御報告申し上げます。

私のことに付きましては皆様方もラヂオ、新聞等に依つて私よりも詳しいことゝ存じますが、試合前の突き詰めた氣持を少しばかり御話申し上げたいと思ひます。

八月の八日、九日の豫選、準決勝には幸にパスすることが出来まして、十一日が決勝、其前の十日の日が一日休みになつて居まして、十日の日にはうんと靜養して十一日のレースに全力を盡さうと思つて居りましたけれども、やはり十日の日に、あれや是やと色々なことを思出して來て、靜養の一日も何だか苦しい状態でございます。

愈々十一日のレースになつた時には第七コースに強敵のゲネンガーさんがはたに見えましたものですから心強く、最後まで其人について泳いで、最後の五十でうんと頑張らうと決心してスタート台に立ち

ました。最後の五十米までは水の中で泳いで居るゲネンガーさんの手が見えましたけれども、それ以後はもう無我夢中で、ゴールに這入つた時に、自分がゴールに這入つて隣のゲネンガーさんを見た時にはゲネンガーさんもゴールに這入つて居ります。第一コースのゾエーレンゼンさんも着いて居りました。だから誰が一着だつたか自分には分りませぬでしたけれども、水の中でゲネンガーさんと握手して自分のコースに歸つて來た時に大勢の寫眞班が私の所へ來たので、其時に初めて自分が優勝したと云ふことが分つたのでございます。それも偏へに皆様方の御指導と御後援に依るものと、深く深く感謝致して居ります。

今後も我が女子水上チームの爲め御指導と御後援を偏へに御願ひ申上げて、以上御報告を申し上げます。(拍手)

女子飛込主將 大 澤 政 代

出發よりの皆様の熱誠なる激勵の御言葉に對しま

して、私共は其の萬分の一をも報ぜんものと心に念

じつゝ試合に臨みました。その結果はもう皆様よく御存じですから私、今此處で何も申し上げませぬ。唯々御期待に副ふ程の成績でなかつたことを非常に残念

念に思つて居ります。併し選手一同一生懸命、力の限り戦つて後得ました成績でございます。一寸御挨拶申し上げます。(拍手)

田 口 正 治

田口正治です。一〇〇米レースに於ては十分の御期待に副ふことが出来ませぬで、敗けました。残念です。唯々それだけです。さうしてこの敗惨の士に今後の御鞭撻を御願ひするだけです。さうして尚ほ

残された幾らかのスポーツマン生活に於きまして、日本水泳界の向上の爲に、あらゆる萬難を排して努力を惜しまず練習に専心致しますことを茲に宣誓させて戴きます。(拍手)

新 井 茂 雄

私は一〇〇米と八〇〇米リレーをやりました新井茂雄でございます。一〇〇米は皆様の御期待に副はなくて實に残念であります。併し三人とも一致團結して、勝つ積りでやつたことは事實です。(笑聲)唯僕達修養が足りない爲めかあんな結果になつてしま

つて、今になつて考へることは、是からもう少し修養して、今度の東京大會には必ず劈頭の一〇〇米に一生懸命にやつて勝つ積りで居ります。どうか皆様の御後援をお願いして私の報告に代へる次第であります。(拍手)

杉 浦 重 雄

私は八〇〇米リレーに出た杉浦でございます。幸にして勝つことが出来ました、是も偏へに祖國よりの皆様の御聲援と先輩諸賢の御指導の御蔭と深く感

謝して居ります。あの君ヶ代を聞いた感激を忘れずに今後の東京オリンピック大會にも大いに頑張らうと思つて居ります。終り。(拍手)

牧 野 正 藏

皆様の御期待に副ふことの出来なかつた四〇〇米を泳いだ牧野正藏であります。(笑聲)併し僕は四〇〇米を一生懸命泳いだ積りです。相手のメデカは實に強いのです。練習中は餘り良いレコードで泳いで居なかつたのですが、レースになるとどう云ふ譯だ

か自然に強くなつて(笑聲)到頭敗けてしまひました。併し此の次のオリンピック或は日米大會にはきつと仇を取つて見せる積りです。どうも有難うございました。笑聲。(拍手)

根 上 博

私は根上博であります。一昨年も昨年も四〇〇米は米國に敗れまして、日本の四〇〇米を泳ぐ選手はもう再び現はれないのかと云ふやうなことを世間か

ら言はれたものでありますが、今年こそ必ず勝つてやらうと云ふやうな決心を持つて向ふへ参りました。向ふへ参りましてから鶴藤君や牧野君が非常に

好調でありまして、自分は四〇〇米に加はらなくても宜いような有様でありましたが、幸にして監督諸氏の御言葉もありまして、この四〇〇米を泳ぐことになりました。戦の前の豫想では、必ず三人の中で誰かが勝つと云ふやうな豫想で吾々も試合に臨む決心で居りましたのですが、一番最初の一〇〇米を敗れました時、私も見て居りましたが、丁度其傍に居りました松澤監督、がいつも優しい顔でいらつしやるのが非常に悲壯な顔をされましたので、吾々の手に依つて必ず全軍の士氣を擧げて再び水上の制覇を

したいと云ふやうな決心を持ちました。さうして試合に出る前に、牧野君並に鶴藤君と、必ず勝たうぢやないか、さうして日本に於ても四〇〇の選手があると云ふことを示さうぢやないかと言つて試合に出たのでありますが、不幸にして——と言ひますか、全力を盡したにも拘らずあのやうな惨敗を見たのであります。併しあの體驗に依つて、又此の機會には吾々が必ず勝つと云ふ自信を得ましたから、之を皆さんに御報告申上げまして私の感想に代へる次第であります。(拍手)

鶴 藤 俊 平

僕は鶴藤俊平であります。一五〇〇、四〇〇米に出、皆さんの御期待に副ふことが出来ず洵に残念

に思つて居ります。來年の四〇〇はきつと勝ちます。(笑聲、拍手)

石 原 田 愿

石原田愿であります。六月十一日に皆さんの熱誠なる御聲援を後にしてベルリンに立ちまして、シベリヤ鐵道で皆と同様に苦しみ、オリムピツク村に於ても皆と同じやうに苦しみ、同じ練習方法でやつて

行きました私達ですから、感想は私も前仰しやつた皆さんと同じであります。やつぱり皆さんと同様に全力を盡して敗れました。何も悔ひて居る所はございませぬ。(笑聲、拍手)

寺 田 登

一五〇〇米に出た寺田であります。私は夢中で泳ぎました幸ひに皆さんの御期待に副ふことが出来た

ことは先輩の御指導と皆さんの御後援の賜と感謝して居ります。有難うございました。(拍手)

吉 田 喜 一

僕は吉田です。皆様の熱誠なる御後援に副ふことが出来ませぬで洵に残念であります。此度の東京大

會には必ず復讐して見せます。(拍手)

兒 島 泰 彦

僕は背泳の兒島泰彦です。六月の下旬に盛大に御見送りを得て意氣揚々と征途に就いたのであります

けれども、征途の途中門司あたりから一寸風邪を引いて、是は大したことはないと思つたのですけれど

も、それがシベリヤの埃と乾燥した空気の爲に遂に扁桃腺が腫れて來まして、其爲めにベルリンでも十日位練習を休み、其後コンディションの回復を大いに焦つたものですから、焦る爲にフォームがちつとも整はず、遂に皆様の絶大なる御期待に副ふことが

出来なかつたことは甚だ残念でございます。此場で深く深くお詫び致します。私、幸ひ若うございますし、色々體驗を得て参りましたから、今後は一生懸命皆様の御期待に副ふやうに頑張らうと思つて居ります。終り。(拍手)

小 池 禮 三

小池禮三でございます。此度び私達はベルリンに行きまして、幸ひにも葉室君の健闘に依りまして三度び勝利を得ることが出来ました。初めは自分が勝ちたいと思つて居りましたがけれども敗けて残念でした。併し葉室君が勝つて呉れたので、まあ日本人として非常に喜びました。ジータスの存在ですけど

も、あれには唯々意外に思つたばかりです。ヒギンスのバタフライもブレストとして許された以上は、是から研究して、永久にブレストの首位を日本に置かなければならないと思ひます。是からも微力ながら日本のブレストの爲に盡したいと思ひます。
(拍手)

葉 室 鐵 夫

私は葉室鐵夫でございます。出發以來の皆様の非常な御聲援に對して厚く御禮を申し上げます。さうして吾々が力を協せて三度び平泳の覇權を握つたことに對して、此點に付きまして皆さんの非常な御聲援を感謝致して居ります。今後も吾々はベルリンで

得ました貴重なる經驗をもちまして、此四年後の東京大會に對して只今から努力し研究して行きたいと思つて居ります。
之をもちまして御挨拶に代へます。(拍手)

伊 藤 三 郎

平泳を泳いだ伊藤三郎でございます。向ふへ着いて陸上の三段跳びが勝つた時に傳統の恐ろしさと云ふものを知りました。私達は鶴田さんがアムステルダム及びロサンゼルスに二回に覇權を握られたことを深く銘記しまして、今度も必ず勝たなければならぬと云ふ信念を以てやりました。丁度幸ひ葉室君

小池君の健闘に依りまして、又三度び王座を守り得たことを大變喜ぶものであります。さうして今度の東京の大會に於ても必ずや此傳統を守るべき新人が出ることを確信するものであります。さうして私も平泳を泳いだ一員として微力ながら一生懸命努力する積りであります。終り (拍手)

小 柳 富 男

小柳です。試合に臨んでは唯々全力を盡して闘つたのです。原監督の絶大なるコーチに依り頑張りました。併し力及ばなかつたので敗けてしまひまし

た。試合に對しては何も言ふことはありません。今後、此大會で得た經驗を以て東京大會に奮闘を續けます。(拍手)

小 島 カ ズ エ

皆様方の御期待に副ふことの出来なかつた私は、此席上で報告すると云ふことは非常に心苦しく思つて居ります。唯々私は皆様方の御聲援に少しなりと

も御答へする積りで四百のレースでは無我夢中に泳ぎました。此苦い経験を基礎として来る東京オリンピック大會に備へたいと思ひます。(拍手)

大 澤 禮 子

皆様方の御期待に副ふことが出来ませぬ、日の丸を揚げ得ませぬで、第四位になりました高飛込の大澤でございます競技に出ました時は唯もう夢中で、

全力を盡して致しました。来るべき東京大會には微力ながらも盡したいと思つて居ります。(拍手)

女子水上選手と飯田氏の感想問答録

昭和十一年十月三日

於 植 木 屋 旅 館

飛 込 選 手

一、飛込の審判に対する批評

飯田 先づキャプテンから——。飛込の感想みたいなものを書いたことは書いたんでせう？ それ以外の、ことでアナウンスすることや何か、極く簡単に宜いのですがね。大澤政代さん……

大澤 (政代)……(笑顔で無言)……

飯田 では香野さんから——。行く前に身體が悪かつたんでせう？ シベリヤ鐵道で行つて、食べ物なんか大丈夫だつたですか。

香野 はあ。

飯田 はあだけでなく、何とか言つて呉れなくちゃ……(一同笑ひ)

飯田 みんなと同じ物をたべて別段變りなかつたですか。

香野 はあ。

飯田 耳はどうしたのですか。

香野 風邪を引いて熱が出たので咽喉を濕布する爲めエキホスで……

飯田 エキホスで？

香野 はあ、エキホスで濕布したら、それがね、耳の方へ来て中耳炎に……

飯田 化膿したんですか、耳が悪いと餘程調子が違ひますか。

香野 練習してなかつたのです、熱が出たものだから……

飯田 どうです、禮子さん。大分四等で憤慨して居つたやうだつたけれども……

大澤(禮子) いゝえ、あれは新聞が悪いのです、私は一度もあんなことを言つたことがないのに——。だから東京へ歸つて来るのが嫌で嫌で仕様がなかつたんです。迎も大きいことを言つたやうに書かれて……

飯田 獨逸のコエーラーが三等になつたでせう？

やはりヂヤツヂの點の付け方が大分變ぢやなかつたのですか。

大澤(禮子) 迎も變なんです。コエーラーと私達と組が違ひます。二十三人を十一人と十二人と分けまして、私と香野さんが最初の組に這入つて、強さうなのが私の組には全然居なかつたのです。獨逸のアニコップと云ふ、一番強いだらうと言つて警戒して居た其人が居た位のもです。だから、反つて弱いぢやないかと思つて居たら反對でした。後の組にポイントンとコエーラーとまつちやん(政代さんのこと)と、それから二等になつた、ダンね、あれが居たのです。後になつて考へたら、ヂャツヂが見物に依つて迎も支配されて居るのです……

飯田 馬術のヂャツヂなんかも非常にひどいさうです。

大澤(禮子) ポイントンの後なんか、柳田先生の撮つた寫眞で見ると分りますけれど、完全に膝を曲げて居るのです。飛板の時、時間に遅れて來るホイッスルが鳴らないのにパイクを飛んだんで、ヂャツヂが零點出したんです。今のは違ふと言つて秀さん(原秀夫氏のこと)が迎も頑張つたんですけれどもやはり駄目だつたんです。ゲストリング、一等になつたあの人の、ホイッスルが鳴らないのに飛んで、秀さんだけ零點、他の人はちやんと八點出して居るんです……

飯田 秀さん、ヂャツヂやつたんですか。

大澤(禮子) やつたんです。一人でやつて頑張つて下さるのだけでも駄目なんです。みんな審判が、お客さんなんかワワー騒ぐと獨逸には笥棒に宜いんです……

飯田 昔から、一般にワーツとやれば宜いのですね飛んだ後——°

大澤(政代) 朝早うございましたから、それに在留邦人が少なうございましたから、やはりさう云ふやうなものも關係したのではないかと思ひます。

大澤(禮子) 終ひにはサクラを使つて、男子の方に……

飯田 手を叩かしたんですか。

大澤(禮子) モーターボートの連中なんか、下手くそでも何でもワワー騒いだんです。さうしたら迎もいんです。

飯田 アムステルダムの時もさうやつたんです、皆揃つて——、さうすると點が一點位づゝ良くなる……

大澤(禮子) アメリカの連中は口笛を吹いて足を踏鳴らして、それはもう汚ない位です。ルートが二回宙返りでこんなに平に落ちた——。あれを秀さんは四點、他の人は八點出したんです。さうしたらお客様は怒つてしまつてヒューヒュー口笛を鳴らすやら試合なんか出來ない位に非常に騒いだんです。女子

の飛板なんか試合になつて出るのが厭になつてしまつたんです。そんな試合に出るのが……

飯田 まあ、何と言ふか、田舎のお祭なんかの感じですね……

大澤(政代) オリムピックと言ふから、どんなに素晴らしい思出になる競技かと思つて居たのに、全然反對なのでがっかり致しました。……

飯田 豫めさう云ふものだと云ふ氣持で行けば宜いのです……

大澤(政代) やはり生眞面目に考へますから……

飯田 飛込の人には話さなかつたけれども、泳ぎの人には Y. W. でさう云ふやうなことを話したんですがね——何か今後のあれに就て考へたことはありませぬか。

二、練習方法

大澤(政代) やつぱり若い選手を澤山養成しなくちやいけないと思ひましたですね。技術は別と致しまして、やはりさう云ふことも迎も競技全體として關係して來ると思ふこともございますし、それから今までの日本の練習方法がいけないのぢやないかと思ひます。

飯田 いけないと言ふと？

大澤(政代) ガムシヤラにやると云ふことでもね……

飯田 練習の量の問題はどうです？

大澤(政代) 練習は、私達は向ふへ参りまして、アメリカの選手の練習なんかを見て考へて居るのですけれども、ずつと少なかつたんです。今まではどんどん斯う澤山やらせられて居りましたから一寸不安だつたんですけれども……

飯田 減らしたんで？

大澤(政代) はあ。時間が少なくなりますから致方ないのでせうけれども……

飯田 あその體育大學の方のプールは飛込は出來ないのですか。

大澤(政代) 室内に迎も素晴らしいのがありまして、十米も附いて居りまして、そこでやつて居りましたが、やはり室内と室外とは全然氣分が違ひますから……

三、外國選手に對する批判

飯田 ゲストリングはどうなんです、餘程巧いんですか。

大澤(政代) 私、ロールズの飛込の方が却つて、良いと思ひました。年若と云ふことが關係したと思ひます。それから又アメリカはコーチが一人々々附い

て、それが成功したんぢやないかと思ひます。兎に角若いと云ふことが絶対に良いらしいことですね。
飯田。でも、ポイントンが勝つて居るぢやないですか。

大澤(禮子) あれは名前ですね、ポイントンと云ふ名前です……

飯田 ポイントンも引退すると言つて居りますね、アメリカで——。其後釜を狙つたらどうですか。

大澤(禮子) ダンさんの方が餘程素直ですね。

香野 やはりポイントンさんは確實なんですね。

大澤(政代) ポイントンさんは要領が宜いんです。今度の飛込は、上の方がよくつても、入水が悪いとずつと點が悪いんです。ノー・スプラッシュ……で入らないと點がぐつと減ります。

飯田 それからギリツセンと云ふのはどうでした？

大澤(政代) あの人の飛込は、米國の三人の中では下手でしたけれども、私達と同じやうでございました。危なげな飛込をして居りました。

飯田 アメリカではゲストリングが良かったのですね。

大澤(政代) はあ、ダンさんより良かったのです。——ダンさんは練習を眞面目にやつていらつしやいました。ポイントンとゲストリングは練習時間でもダラダラ致しましてねえ、何にもして居りませぬ。

四、ベルリンにて得たるもの

飯田 香野さん、何か感じたことはありませんか。關西での練習と東京へ來ての練習と餘程違ひはしないですか。

香野 そんなに違ひませぬ。私はこつちに居つた時は、それ専門に、時間が長く、何回もやりますけれども、あつちではそんなに時間がありませぬから、少なく……。

飯田 飛込の其要點なんか違ひませぬか、狙ひ所と云ふやうな所が……。

香野 それはコーチコーチに依つてやはり違ひますけれども……。

飯田 ひどく違ふ所で、氣の附いたやうなことはないですか。——外國のと比較して、違つて居るやうな點なんか何かはないですか。

香野 外國のと比較して、やはり日本の方が眞面目過ぎますわ。

飯田 競技會はさうですけども……。

香野 いゝえ、飛込が——。私は日本の飛込は、すつかり上へ上つて、前へ出て行くのに、本當の採點の十點の標準を目標として居りますけれども、外國のは唯だフォームと入水と、殆ど、落し飛びで、見

て居たら、何か下手のやうに感じますけれども、それでも宜いのださうです……。

飯田 踏切りの弱いのが宜いさうですね。此前のミーミーみたいなものでも——。それではどうも有難う。

競 泳 選 手

五、小島嬢との問答

飯田 みんな、書いて居るのは書いて居るのでせう、白山さんからさう言つて——。

小島 はあ。

飯田 それ以外のことを一つ話して一何か感想を一四百はいつ頃からタイムが良くなつて來たのです？

小島 いつも練習の時は四分五十秒位でやつて居つたのです……。

飯田 何處で、伯林で？

小島 はあ、伯林の練習の時に。初めから出ない積りで居つたんですけれども、一寸一遍泳いだ方が宜いと言つて——練習と一緒に守岡さんについて行つた方が宜いと言つて練習に行つて居りました。

飯田 決勝の時の記録は幾らでしたかね。

小島 四分四十三秒一です。

飯田 手がよく搔けるやうになつたのですか。

小島 はあ、手が一寸……。

飯田 手が浅く行つたやつが下へグツと搔けるやうになつたのでせう？

小島 はあ。けれど今度は足がうまく行かなくなりました。

飯田 手のキヤツチが深くなれば速くなるだらうと思つてゐたんです、今まで足でばかり押して居たから——。手の方に力が入つて進めば足の方が遊ぶ様になります。悪いのぢやないのです。それで又今度は足へ力を入れるやうにして行けばもつと進んで來るのです。段々と互ひ違ひに進歩して來るのです。——一〇〇米はどうです。十秒切れませぬか。

小島 (微笑) 十秒……。

飯田 まだ一〇〇の時分には初めて、四〇〇の時分に本當の調子、本當の泳ぎが分つて來た、さうぢやないのですか？

小島 そんなこともありませぬ。矢張り調子の關係です。四〇〇は軽い氣持で出たので平氣で泳げたのが一番宜かつたのです。神宮ではビクビクして居つたけれども……。

飯田 何處、神宮で？

小島 はあ、——(笑)——向ふへ行くと、もうくそ

落付に落付いてしまひますので……。

飯田 殊に四〇〇は責任が無いやうな氣がして居るから……。

小島 はあ、どうせ落ちることが分つて居りますから……。

飯田 最後によく、あれですね、よくあんたも出たし、向ふもよく落つこつたですね、二人が——。誰でしたつね、ワクネルとフレデリクセン。ワグネルは一〇〇では若いのに相當行つた。あれは諦めちやつたんですか、向ふのは——。

小島 そんなことはないやうでございます。

飯田 豫選では相當のタイムを出して居るでせう？

小島 はあ。

六、松村嬢との問答

飯田 松村さん、初めて行つた感じはどうでした？

松村 (微笑) さあ……

飯田 どの位だつたんです、一〇〇の練習が——

松村 ベスト・タイムは一分十四秒二位……

飯田 十四秒二？ それぢやベスト・レコードですね。

松村 はあ。

飯田 何かシベリヤを汽車でずつと行つて餘程調子が違つたですか。

松村 そんな譯でもなかつたですね……

飯田 泳がないで居て泳ぐからやはり少し變でせうね。船よりは工合が悪いでせうね。

小島 さうですね。

飯田 幾日位で回復しました？

小島 十日間位で……

飯田 歐羅巴の選手の泳ぎ方、クロールは餘程違ひますか、こつちのと——

小島 やはり手を伸ばして入れるのが目立ちます。

飯田 バツクはどうです？ センフやマステンブロエクのバツクを見て

小島 マステンブロエクのはちつとも見えなかつたのです。

飯田 松村さんは見た？

松村 バツクは私も見ませんでした。

飯田 前畑さんのブレストのお終ひは危なかつたのですか。

小島 はあ、初めから接戦だつたのです。殊にラストの二十から相手が出て来て……

飯田 映畫なんかで見ると、さうあれでも危険のやうにも感ぜられないのだけれども、唯々ハラハラして見て居たのですか。

小島 はあ、ラストの二十の邊からエライ出て来た

から心配したんです。

松村 前畑さんもやはり出て来たので宜かつた、どうなるかしらんと思つて、もう……

飯田 ゴエレンゼンと云ふ子供が居りますね、あれはどうですか。

小島 あの人迎も軽い泳ぎをして居ります。

飯田 足を大きく擴げるのですか。

小島 はあ、とてもスマートな泳ぎ方をして居りません。

飯田 あゝ云ふのを日本でも拵へなくちや駄目ですね。

小島 はあ。

飯田 何か松村さん感じたことはないですか、今後どうしようと云ふやうな——

松村 ………(微笑)

飯田 やはりもつと練習するのせう？

松村 はあ、一生懸命勉強します。

飯田 日本の女のフリー・スタイルは練習の数が足りないのぢやないですか、そんなことはありませぬか。

小島 いゝえ、そんなことはありませぬ。

飯田 いゝえ、向ふへ行つて向ふの練習は宜いけれども、日本に於ての練習は……

小島 さうですね……

飯田 松村さん、どうです……

松村 でも、向ふの人は、ねえ(小島嬢を顧みて)そんなに……

飯田 いや、普段練習して居る時の練習の程度とさう違ひませぬか——向ふの練習なんか見たのですか——獨逸のアレントはどうなんです？

小島 三着になつた人、其の人の泳ぎ方一遍も私……練習は時間がキチンキチンになつて居まして練習が済めば直ぐ歸るでせう。獨逸の人と一緒にならないのです。試合も、自分が競技に出る時は、試合が済んだら直ぐ歸つてしまふのですから……先生がよう各國の女子のタイムなんか調べて下さつたのです。あれが役に立つたんです。四〇〇の時なんか見當がついて——。

飯田 リレーは今度日本ではどの位にならなくちやいけないと思ひますか。

小島 やはり十秒は切らないと……

飯田 平均十秒を切る？

小島 はあ、十秒を切らないと……

飯田 それぢや豫選をパスし難いぢやないですか、八、九秒臺が多いのですものね。

小島 はあ、八、九秒がザラです。……

飯田 だから平均六、七……七、八秒と云ふ所へ行か

なければいけないですね。

小島 はあ。

飯田 まあ一つ松村さん、今度はそこまで行くんだね。

松村 ………(微笑)………

飯田 それではどうも有難う。

七、守岡嬢との問答

飯田 守岡さん、一つ何か感じたことを………

守岡 どんなことでせう、先生から仰しやつて下さらないと………

飯田 ロサンゼルスと伯林とどう？ 感じが違つたのですか。

守岡 ロサンゼルスの方が、何やらピリツと来たやうな競技らしい競技でした。もうこちらが馴れたのかも知れませぬが………

飯田 伯林の方がダランがなかつたと云ふのですか。

守岡 ダランがないと言ふより、餘り氣が張りませんでした。それより神宮のプールの方が氣が張つて………

飯田 神宮プールの方が氣が張る………？

守岡 はあ、役員だつて物々しいし………

(一同笑ひ)

飯田 守岡さんはリレーと四〇〇だつたのですか。

守岡 はあ。

飯田 リレーは何分位だつたのですか。

守岡 みんなですか。

飯田 君のやつ………。

守岡 十四秒………(と、考へる)

飯田 十四秒幾らだつたのですか。

守岡 幾らかはつきりしないのです。おばちゃん(白山監督のこと)も松澤さんも………

守岡 四〇〇は四分四十八秒です。四十秒臺は初めてです。日本記録は五十三秒です………

飯田 何處に主點を置いて泳いだのですか。足を強くしたか、手を強くしたか。

守岡 そんなことちつとも考へて居なかつたです。

飯田 どつちか右か左の肩が落ちるのでしたね。あれは直つたのですか。

守岡 はあ。でも、時々疲れて來ると出て來ます。大分直して載きました。

飯田 古田さんどうでした初めて行つて——

古田 練習の時に指が開いて、絆創膏で指を

飯田 さうしたら手へ引掛つたでせう？

古田 泳ぎにくかつたです。

飯田 あなたは手が長いでせう割合に——、だから指を開けて泳いで丁度いゝ加減なんぢやないかな。向ふへ行つて十秒切るかと思つて期待して居たんだけど………調子が悪かつたのですか。

古田 どうだつたか分らないのです。

飯田 レースの前に泳ぎを變へたなんと云ふことを聞いたが………。

守岡 松澤先生に言はれました。

飯田 どう云ふ風に變へたのです、みんな變へましたか？

守岡 大抵の人變へました。

飯田 いつ頃です。

守岡 試合の始まる三日程前ねえ………。(古田嬢を顧みて)

古田 八月五日頃です。

飯田 どう云ふ風に變へましたか？

守岡 色々、私のは今まで大分伸びて浮きを取つて居ると言つて居りましたね。餘り其儘長い間さう搔いてないで、直ぐに引上げて、唯キャッチするだけのピッチを上げるやうにして——、さうすると短かいのは良くて長いのは續きませんでした。

飯田 古田さんのはどうでしたか？

古田 中心がないと云つて………。

飯田 何處に？

守岡 腰に——女の方は全體に腰の中心がないと云つて………

飯田 何か、それを變へなければもつと早かつたらうとか云つて誰かが静岡の新聞に話した人が居るんだつて………。

守岡 でも結局は試合の時には自分のあれになつてしまひますけれどもね………。

飯田 豫選の時に十秒切るなんて云つて居つたんぢやないの？

古田 小島さんです………。

飯田 いや、君が切ると云つて、誰かが言つて來た。それで楽しみに待つて居た、さうしたら呑氣に泳いで居るんだもの………。

(一同笑ひ)

飯田 少しはピッチが上つて來ましたか？

古田 それも松澤先生に直されたのです。ねえ。(守岡嬢を顧みて)

飯田 雄大な泳ぎをして居たんでせう？

守岡 やはり私達も頭を叩かれました………

飯田 古田さんのは斯うやつて(恰好をし乍ら)大きく手を振廻すから——向ふの選手の泳ぎを見て、一〇〇を十秒以内に日本選手が這入る可能性がありますか。

守岡 はあ、リレーなんて苦しかつたわ。
飯田 スタートはどうでした？
守岡 スタートは、初めは、やゝこしい言葉で——言葉がやはり違ひますね。
飯田 アウフシュタイゲン、フェルテツヒですか。
守岡 アハトウクでした。初めはそれがアツハに聞えたんです。
古田 役員席が何處にあるのか分りませんで……
守岡 此處から此處位が役員席。其處に板を敷いてそれが役員席……
守岡 臺に上つたらもう直ぐ用意して居るのです…
飯田 餘程調子が初め違つたでせう？
守岡 初め心配して居たのですけれども、上つたら何でもなかつた……
古田 後になつて、日本に敬意を表しますなんてね……
飯田 初め向ふのスタートの練習なんかしなかつたの？
守岡 いゝえ、ありませぬでした、松澤先生がやつて下さいました。
飯田 外に何か感想はありませぬか。
守岡 氣候が違ふこと。朝、晩の變りが激しいのです。冷えたかと思ふと、暑かつたり、夕立があつて雷が鳴るし、そんな所は日本と同じやうでした…
飯田 そんなのは伯林では珍しいのですよ……
守岡 物凄い雷が鳴つたんです。神宮の豫選よりもつと酷いのが——。試合の時はそんなこともなかつたけれども——。練習のプールは二十度ギリギリでした。小池さんなんか、親の遺言に反くなんと云つて飛込んで居りました。

(一同笑ひ)

飯田 それでは練習は辛かつたですね。
守岡 オリムピック・プールは割と温ためてありました。
飯田 電氣で温ためて居るから——。それではどうも有難うございました。

八、壺井嬢との問答

飯田 先づ壺井さんから——。何か平泳ぎの練習で感じたことがありますか。練習からレースに掛けて……
壺井 どう感じたかといふのでせうか。
飯田 詰り自分の泳ぎ方とタイムとの關係なんか——。餘り泳ぎ方を變へなかつたのでせう、向ふへ行つて——。
壺井 はあ。

飯田 こちらと同じやうに？
壺井 今までよりも一番澤山練習したと思ひました、長さよりも——。長さですともつと澤山したことがございますけれども、一生懸命にやる度数が多いのは一番澤山だと思ひました。
飯田 向ふの平泳とこつちの平泳と違ひますか、外國の選手の泳ぎ方は——。
壺井 よく似たのも、それからあの、違ふのもございます。
飯田 ゲネンゲルのは大分違ふやうに感じなかつたですか。
壺井 前畑さんと同じやうに、一緒に泳いでいらしつて、前畑さんのはカチカチとして居て、ゲネンゲルさんのは斯う、柔かい——と言ふよりも、樂さうと云ふのか何か……
飯田 ピッチが緩いでせう、ゲネンゲルのは——。
壺井 はあ。
飯田 雄大な泳ぎ方をして居たのぢやないですか。
壺井 雄大——と云ふのですか何ですか、どう云つたら宜いか分りませぬけれども……
飯田 それから、ゾエレンゼンと云ふのは泳ぎはどうでしたか。
壺井 ゴエーレンゼン、綺麗な、中村芳江さんと云ふ方、あの方とよく似て居ると思ひました。足は別に澤山開くやうでもないですけれども、手の方を餘り廣く搔かないで、小さくまとめて居ました。背中が圓いやうになつて……
壺井 ホエルツナーさんは顔を上げる時に、大きく顎を横に廻しながら上げるのが目立ちました。(恰好をして)斯うして上げるのが……
飯田 ホエルツナーとゲネンゲルとは泳ぎ方が違ひますか。
壺井 ゲネンゲルさんのは目立たないやうです。ホエルツナーさんのは……大きい——と云ふより……どう云つたら宜いでせうか……ピッチはやはりホエルツナーさんの方が早いです。背からしてホエルツナーさんがずつと大きいのです。ホエルツナーさんは短い距離がとても速いのです。最初ゲネンゲルさんとホエルツナーさんと一緒に練習して居たのださうです、同じプールでね。其時に最初ホエルツナーさんだけが、うんと速くつて、ゲネンゲルさんはちつとも存在が分らなかつたのです。後から考へて見るとそれがゲネンゲルさんでした。ホエルツナーさんの方が速いので先づ、有名になつたのださうです。
飯田 竹村さんどうです、どんなことを感じたです？

守岡 それならあると思ひますね。

飯田 アルゼンチンのキヤムベルと云ふのはどんな選手ですか。

守岡 年取つて居ります、顔でも相当年取つて居るやうに見えますね、三十二だと言つて居りました。

古田 だけど綺麗な人……………。

飯田 キャンベルと云ふのが？

古田 はあ。

飯田 マステンプロエクが勝つて、あのオウデンが駄目になつてしまつたですね。あれは何か原因があつたのですか。

守岡 そんなことはちつとも知りませぬでしたけれど、何だかシャアシャアして平氣で居るやうでした……………。

飯田 マステンプロエクは勝つて泣いて居る……………。

飯田 獨逸の水泳の雑誌です、マステンプロエク（蘭）が勝つて連れられて、歸りに眼を押へて居る。勝つて泣いて居るのかなんて書いてありましたがね。——オウデン（蘭）はそんなにシャアシャアして居つたのですか。

守岡 ロサンゼルス時には可愛らしかつたですが。其積りで行つたら、さうしたらツンツンして居るのです。負けても平氣でシャアシャアして……………。

飯田 バックに就ての感想はどうです？ 女子のバック……………。

古田 日本のは全く早かつたやうに思ひました。

守岡 初めは二十五秒の日本記録を破る人さへあつたら相当行けると思ひました。一等は十九秒で……………。

飯田 センフ（蘭）だね——。豫選では十六秒六でせう。

守岡 はあ——どうして日本のバックは遅いのか知らんと思つて……………。

飯田 日本のバックは身體の良い人が練習すれば宜いのぢやないですか。菱木さんなんか練習をうんとやつたら相当行けると思ひますね。

古田 守岡さんなんか……………。

飯田 やつたね、歸りに——。デュツセルドルフのメドレーリレーで泳ぎましたね、あの時は同着だつたのですか。

古田 メドレーリレーはセーム・タイムで勝ちました。

飯田 あの時は前畑がゲネンゲルを大分抜いたでせう？

守岡 いゝえ、私の背泳が少し後れたのを繼いで結局ゲネンゲルを一寸抜いてしまひました。ゲネンゲルが復讐すると云つてゐましたが、二〇〇米平泳の對戦はやめて一〇〇背泳二〇〇平泳一〇〇クロール

のメドレーリレーにしたのですが、結局却つて又前畑さんに抜かれることになつた……………。

飯田 倫敦だの巴里はどうでした？

守岡 倫敦はお城ばかり見物しました。

飯田 競技會には出なかつたの？

守岡 はあ、倫敦では出ませぬでした。

飯田 男の連中は競技會をやつたんでせう？

守岡 はあ、私等と入れ違ひに……………。

飯田 巴里も見物ですか。

守岡 巴里では何とか云ふホテルのプール開きに行きました。さうしたらお食事しながら見て居る所で泳ぐのです。みんな、お食事をしながら見て居るのです……………それで憤慨して、止めようとまで言つたんですけども、それだと仲に立つた大使さんが困るからと云ふので、其手前泳いだんです……………。

飯田 獨逸なんかでも、泳ぎの俱樂部と云ふと、ビールなど飲みながら見て居る。そこで競技會をやつて居る……………。

守岡 そんなことをしたことがないから、俄然憤慨してしまつて——。其時ゴツダールが来て居りました……………。

飯田 泳いで居たのですか？

守岡 泳ぎませぬ、もう奥さんになつて……………。何回もスキーで怪我して……………。

飯田 古田さん、一〇〇はどの邊まで行くと考へますか。あなたの身體は大きいのだから、もつと行きさうだ。是からですね。

古田 自分のベストを盡さうと思つて居ります……………。

飯田 今後の東京大會に對しての古田さんの抱負だね、どうです、十秒は切れるでせう、もう樂に——

古田 さあ……………(微笑)

飯田 手の方がへたばりますか。

古田 足の方……………。

飯田 手も、絆創膏を貼らなければへたばらないですか。

(一同笑ひ)

飯田 歐羅巴の選手の練習を見て何か感じたことがありますか。

守岡 練習と云つて、私は殆ど見ずでした。それでもう日中は日がカンカン照りますし、疲れたりして自分の所へ直ぐ歸りました。時間がキッチンキッチンと順々に決められて居りまして、今日は二時から三時まで、明日は三時から四時まで、それが全部半分分けになつて、レースが済むと直ぐ歸りました。

飯田 ロサンゼルスの時みたいに。あの時には樂だつたでせう。今度は參加國が多いから、ウヨウヨ来て、うるさいレースがあつた？

飯田 カステインと云ふのが居たでせう？

壺井 ハイ。

飯田 それから瑞典のイスベリ。別段特徴はなかつたですか。

壺井 もう試合が済んで上つて来るともう直ぐ歸るでせう。さして前畑さんの時には前畑さんばかり見て居る間に終つてしまつたんです。

飯田 成程………(一同笑ひ)………ぢあ有難うございました。

九、前畑嬢との問答

飯田 今度は一體。初めの内は調子が悪かつたのですか。

前畑 はあ。調子を元へ戻すまでに二十五日掛つたのです。一週間位したら宜いだらうと自分で思つたのですけれども、幾ら泳いでも調子が出て来なくて悲しくつて、みんな調子が出て居るのに、自分一人だけ泳げないので、どうしたら宜いかと思つて心配しましたわ。

飯田 何處が悪かつたのです？

前畑 何處も悪いことないのです。

飯田 短かい所はタイムが出るのですか。

前畑 短かい所が駄目だつたのです。

飯田 結局足が悪かつたのですね。去年足を傷めた所は何ともなかつたのですか。

前畑 はあ、何ともありませんでした。

飯田 豫選で三分一秒九のオナムピア新記録を出しましたね、あの時の調子はどんなでした？

前畑 あの時も、最初眼をつぶつて泳ぐ癖ですからずうつと眼をつぶつて泳いで、最後に一五〇の折返しでワツと云ふから眼を開けて見ると、誰も泳いで居りませぬで、自分一人泳いで居るのです。びつくりしましたが、さうしたらタイムを出して居つたのです。

飯田 決勝の時は初めあがつちやつたんですか。

前畑 はたにゲネンゲルが居たし、もう最初から其人について見て泳がうと思つて居たのです。飛込んで五十米位は相手の搔いて居るのを見たでせう。それから自分でどんなにして居るか分らなかつたのです。

飯田 最後にはゲネンゲルが追つて来たのは分つたのですか。

前畑 分らないのです、何にも——。

飯田 映畫で見ると、知つて居て悠々泳いで居るやうに見えるけれども………。

前畑 何にも分らないのです。——タッチした時も

こつちにゲネンゲルもタッチして居る、ゾエレンゼンもタッチしてゐるので、一か二かなあと思つたのですけれども、其内に寫眞班が来たもんですから一と云ふことが判つたのです。

飯田 やはり樂に泳いだ時の方が一番調子が良かつた譯ですね。

前畑 はあ。決勝に出る前に、豫選のやうに泳げば宜いのだからと言はれて、さう云ふやうに泳がうと思つて居つたのですが、強い人がはたに居ると氣があがつて………。

飯田 準決勝の時は三秒幾らかになつて居るが落としたんですか。

前畑 落とさなかつたのです、一生懸命………。

飯田 其位の所を往復して居るのですね。僕は三分切るかと思つて待つて居たのです。

前畑 はあ、御免下さい………こつちを出て行く時は調子が良かつたしするから、二十五のプールだつたら切れると思つたし、調子良かつたらレースにも切れると思つたのです。それにロサンゼルスで優勝したデニス(濠)さんのコーチがオリンピックに来て居て、デニスさんは足の關節を悪くして出られないから今度はあるに優勝して貰ふと云ふので——デニスさんの代りにも優勝して呉れぬといかぬと言つて、それでタイムを計つて、調子が一寸出て来て三分二秒七位………。

飯田 二秒六でせう………。

前畑 其時に来て呉れて、今度はオリンピックのゲームにはきつと三分切れる、五十八秒になると、さう言うて呉れたのですけれども………。

飯田 獨乙のブレストの練習とこつちのと何か違つて居る點がありますか。

前畑 どうですか——ブレストの人皆良い體格で、よく肥えて居るのです。ウォルシュレーガーさんにしろ、ゲネンゲルさんにしろ。——ホエルツナーさんは背が高くつて一寸デニスさんのやうなタイプですけれども、あの人よりももう少し肥えて居ります。

飯田 エンゲルマンと云ふのは見なかつた？

前畑 エンゲルマンは知らないのです。

飯田 泳ぎ方少し違ふでせう、日本のと——。

前畑 はあ、泳ぎ方違ひます。

飯田 ゲネンゲルなんか、殊に手を前で、直ぐキヤッチして變なことをして居りますね。それに尻がポカンポカンと出て居る………。

前畑 はあ、さうです。

飯田 あれが巧く泳がれたら危ないなあ………。

(笑)

竹村 皆随分大きいなあと……。前畑さんでも、向ふへ行くと、とても小さいのですもの。私なんかとても小さくて……

飯田 小さくつたつて、寺田だつて鶴藤だつてそんなに大きくないけれども速いのだから、そんなに身體には関係は無いでせう——向ふで一〇〇が何秒位になつたの？

竹村 一分十三秒六です。

飯田 それはあなたのベスト・レコードですね。それは何か泳ぎ方が變つたのですか！

竹村 伸しを取らずに、手を中へ突込むやうにかへました。

飯田 松澤さんに變へられた？

竹村 皆さんが……。

飯田 さうしたら速くなつたのですか。

竹村 ………(唯微笑)……。

飯田 足の練習やつたんですか。

竹村 えい。

飯田 向ふの選手は餘りピーティングをやつて居なかつたですか。

竹村 餘り見受けませぬでした。

飯田 日本のマッサージの方法、體操が、獨逸で珍らしいと云つて眞似して居るやうですね。どうなの？

壺井 私達、行つてプールへ入ります直ぐ前に補助運動をやつて居つたのです。さうしたら寫眞班がそこら中へやつて來たのです。

飯田 獨逸の選手もお終ひにはやり出したんぢやないのですか。

壺井 存じませぬでした。

飯田 向ふの寫眞で見ると、獨逸の選手が日本式のマッサージをやつて居るとか、日本の練習方法を眞似して居るとか、そんなのが出て居る。氣が付かなかつたですか。

壺井 自分達の時は分りませぬでしたけれども、男子の方がずつと並んで體操なんかなずつていらつしやる……。

竹村 何處へ試合に行つても、皆體操して呉れと云つて、ズラツと並んで皆體操して……。

飯田 何處で？

竹村 デュツセルドルフで——。

壺井 デュツセルドルフから直ぐ倫敦へ行きました。

飯田 試合をやつたのはデュツセルドルフだけですか。

壺井 それからあの、巴里で何とか云ふホテルのプール開きに……。

竹村 歸りにシンガポールと香港……。

飯田 壺井さんの方は、其體操の方の専門だけれども、向ふへ行つて何か特別に感じたことはありませんか。

壺井 ハイ、日本よりうんと獨逸が進んで居ると思ひました。

飯田 女子の體操が？

壺井 何かにつけて……。

飯田 水泳に關してはどうです。準備運動とか泳ぎ方とか云ふもので……。アメリカの連中は準備運動なんかやらないのですか。

壺井 私達、ちつとも見受けませぬでした。

飯田 今度の東京のオリムピックの時に、まあゾエレンゼンか、あれが一番若いので強さうですね。それに拮抗するやうな日本選手を持つて行くのにはどうしたら宜いかと云ふやうなことは考へないのですか。丁度其時分にはあなたは指導者になつて居る譯でせう？ 出來ないことはないでせうね。

壺井 ハイ、もう今でも小さい方について研究して居り、練習次第で出來ると思ひます。

飯田 丁抹のゾエレンゼンの話聞きましたか。

壺井 あ、お友達になりました。

飯田 いつ頃から泳ぎ始めたんです？

壺井 それは聞かなかつたのですけれども……。

飯田 向ふで有名になつたのは今年になつてからですね——どうして名を揚げることになつたのか……。

竹村 手眞似で話をする友達なんですもの……。

飯田 ハハア、手眞似でね……。

(一同笑ひ)

壺井 お便りあげると云ふので、所を書いて來たの——。とても良い人……。

飯田 ホエルツナーにゾエレンゼン——。それから和蘭のワールブルグと云ふのは、泳ぎを見たのですか。

壺井 思ひませぬ。

飯田 獨逸のウォルシュレーガー、あれは準決勝で落つこつたんですか。

壺井 どうでしたらう……。 (考へて) お出になつたやうに……。

飯田 ウォルシュレーガーと云ふのは割合にしつかりして居たんぢやないですか。

壺井 デュツセルドルフでね、あの方は肉屋さんを自分で開いて、さうして其合間々々に練習なすつたんですつて。ホエルツナーさんともよく話をしました、ゲネンゲルさんは無口か何かで、割合に餘り御話しなさらなかつたのです。和蘭の其の方、どうしても思ひませぬ。

前畑 練習の時なんか、ホエルツナーさんなんかとは一緒に練習したのですが、ゲネンゲルさんとはやらなかつたのです。やつて見ると五十米を三十七八秒で泳ぐ、調子好かつたら三十五秒位出るので。丁度来た時にタイム取つたら三十七秒幾らだと言ふので、是はあかんと思つてがっかりしたのです。だが二百だつたら調子も落ちるだらうと思つて……

飯田 短距離の方は強いですよ。

前畑 はあ、強いです。ですから、最初からズンズン出して行くのです。だから自分のペースで泳がうと思つても皆が出て行くから……

飯田 丁抹の子供、ゾエレンゼン、それと他に目星しいのは誰ですか。

前畑 今の所ゾエレンゼンさんだけと思つて居りませぬ。

飯田 ワールブルクと云ふのは、前のブラウウエルスと云ふ人ぢやないですか、和蘭の——

前畑 えい、さうです。ロサンゼルス（英）さんと言つて、プレストやつた人、あの人フリー・スタイルになつたのです。

飯田 マージョリー・ヒントンですか？

前畑 はあ。

飯田 和蘭のプレストはさう恐れることはないですか。

前畑 和蘭はさう恐れはしないですけども、獨乙にまだ強い人があるだらうと思ふのです。

飯田 獨乙は今の三人とエンゲルマンと、其四人位ですね。それとマツトヘス、プファウそれは少し落ちますね。ゾエレンゼンですね今度のは優勝候補は、

前畑 丁抹にもう一人、クリステンゼンと云ふのがゐましたあの人ゾエレンゼンのやうな泳ぎ方でしたが年上でした。

飯田 向ふのフラウエンハイムと云ふ泊つて居た所、あれはどんな感じでした？ 其處での生活は……

前畑 フラウエンハイムが二つあつてクライネ（小）の方に宿つてゐました。其處での生活はとても良かったです。

飯田 食べ物は男子の方と違ふのですか。

前畑 男子の方とは全然違ふのです。私達、御飯だけは戴くのですけれども、他のものは全部洋食になつて居ります。

飯田 どうですか、身體の工合は。

前畑 何ともなかつたのです。試合の前に日本食にするかと言つて、陸上なんかは試合前になると日本食ばかりで、日本料理屋から取つてゐましたが、そんなことをすると食堂の人達は氣を悪くするからと

云ふので水泳の方は今まで通り洋食にして居たのですが、けれども何ともなかつたのです。

飯田 向ふで空氣が乾燥して居て咽喉が痛くなつたと云ふやうなことはなかつたのですか。

前畑 はあ、そんなことはなかつたです。

飯田 天野君と一緒にプールなんかに行つたのですか。

前畑 はあ。いつも……。

飯田 何か今度のオリンピックに就て感じたことはありませぬか——もう止めるんだつて今度は、……商賣變へをする……。

前畑 ………（微笑）……。

飯田 オリンピックで優勝した感想を一つ話して下さい。

前畑 ………（微笑、無言）……。

飯田 此次の——前畑さんが止めるとして後を拵へるとすると、前畑さんはゾエレンゼンの年にはどの位のタイムでした？

前畑 私ですか……。

飯田 あれは十三と言ふが、十五でせうね日本の年にすれば——。

前畑 あの年だつたら三分十九秒位です。

飯田 一寸違ひますね。

前畑 ゾエレンゼンさんは三分六秒幾ら……。

飯田 だが、其十九秒時代には泳ぎ方も別段大してコーチを受けたんぢやなく野放しの様なものでせう。

前畑 はあ、何にもなしで……。

飯田 十九秒と云ふのは、大阪の健母會に出た時の記録ですか。

前畑 さうです。

飯田 食べ物で、何か斯う云ふ物が欲しいとか云ふやうなことはなかつたのですか。洋食だけで十分でしたか。

前畑 はあ、食べ物なんか、別に何も欲しくなつたです。

飯田 それではどうも有難うございました。

◆ 椅子はこはれるもの ◆

神宮大會の時役員席の椅子があつちこつちバリバリといくつもこはれた。

音がする度に猜疑の眼が肥つた御仁に向けられるのは理の當然。さるにしてもこの眼の集中射撃を受けた松澤氏、悲壯な聲をはりあげて『こはれる度にこうこんな眼を向けられちやたまつたもんぢやない』と

體重〇〇〇貫の松澤氏が一つもこはさなかつたことは保證するが、實際此處の椅子はこはされるため作られたものらしい。

濱名灣橫斷遠泳大會報告書

- 一、期日 昭和十二年九月十二日
- 一、距離 { 自佐久米
至館山寺 } 四軒、但當日は西南風と潮流
の関係にて直線コースを取る事不可能
なりし爲め三角形の二邊を迂回せる感
あり。従つて全長七軒以上ならん。

- 一、所要期間 四時間十分
- 一、参加者 二百四十一名
- 一、全泳者 二百二十一名。

當日の行事大要

- 一、一同集合
- 二、一同敬禮
- 三、皇太神宮並宮城遙拜
- 四、主催者挨拶
- 五、主管者挨拶
- 六、遠泳に關する注意
- 七、入水準備としての體操
- 八、入水正午

遠 泳 状 況

昨二百二十日の暴風雨は名残なくおさまり此の日
天氣快晴なりしも午後に至り西南風益々強く遠泳コ
ースの大半は高さ7.80糎平均の風波にて救助和船
十五日の中二日迄も艀を折られし事により當日の遠
泳が如何に難コースなりしかを知る事を得ん。

参加者の大部分は地元の濱一中、濱二中、濱商、
濱農蠶、興誠商業、中農等の在學生より成りしも東
濱名、伊佐見小學生十餘名、青年團員十八名に加ふ
るに日本耐泳記録保持者井筒雄之助君は新潟より又
名古屋方面より五名の申込みありたるは異彩を放ち
たり。

正午佐久米を出發せる一行は四團體に分れ各團四
列縦隊を作り十五隻の救助船と二隻の監視船に護ら
れて午後三時近く早くも館山寺山後方を通過し、内
浦を半週して愈々後五十分位にしてゴールに達せん
とする頃より逆風は次第に強く、ともすれば流され
んとする程の難行をつゞけたる爲め此處にて十二名
の落伍者を出したるは遺憾なりしも二百二十一名は
遂に全コースを泳ぎ切つて午後四時十分、目的地な
る東海航空研究所前に上陸せり。

閉 會 式

- 一、主管者挨拶

- 二、主催者講評
- 三、賞状授與
- 四、兩陛下萬歲三唱
- 五、N. S. R. 萬歲三唱
- 六、閉 會

備 考

- 一、内浦に入つてより落伍者の多かりし理由は
1. 内浦の水溫外海に比して非常に低かりしこ
と
 2. 空腹になりたる者數名ありしこと
 3. 最後のコースが西南の逆風なりしこと
等によるならん。
- 二、1. 尙申込人員二百九十二名の多きに達せしも
前夜(十一日夜)豊橋にて汽車の衝突あり、
上り下り共汽車の遅延メチャメチャにて豫
定時刻迄に集合場所に到着し得ざりし者あ
りしこと。
2. 今一つは前日の暴風雨と當日の強風に恐れ
を抱きたる者(特に一般青年に多し)あり
しこと。
3. 各團共四列縦隊にせるは波高くして監視に
不便なるため、特に前後の距離を短縮し一
團とせるなり。(平生は三列縦隊が可なら
ん)

會 計 報 告

一、船 賃	76.00
一、水 泳 帽	17.15
一、印 刷 費	23.40
一、通 信 費	6.40
一、交 通 費	15.60
一、人 件 費	7.00
一、衛 生 費	5.80
一、會 合 費	4.50
一、役員食事	37.20
一、N. S. R. 印	1.50
一、氷 砂 糖	5.00
一、役員宿泊費	11.80
一、選手茶代	3.70
計	215.05

本年度水泳指導者講習會概況

渡 邊 延

本聯盟主催に依る第八回水泳指導者講習會は本年度は特に文部省後援を明示し、國民皆泳の大旗の下に、七月一日より十日間神田一つ橋に新設の文部省國民體育館プールに於て開催せり。

講習會も回を重ねること八回、既往の經驗に徴し限られたる時間と手不足の役員を以て出來得る限りの効果を擧ぐるに努め概ね所期の目的を達成したり。唯研究生十數名を除き、正規講習員僅かに91名なりしは些か物足らず感ぜらるゝ所なり。

講習期間は好晴に恵まれ練習其他日程は完全に實施せられたり。

講習日程

日	曜	午前	午後(一時ヨリ五時)	午後(六時ヨリ八時)
1	木		開會式(末弘) 扇平泳(本田 佐々木原) 伸身(本田)	水泳史及標準泳法(飯田)
2	金	自由練習	扇平泳(本田 佐々木原) 話(本田)	指導者心得及波と流れに就て(本田)
3	土	自由練習	潜水飛込(佐々木原) 立泳(白山河野) 浮身(河野)	プールの話(飯田)
4	日	帝大プール見學	平泳(磯野馬渡) 背泳(猿橋來)	
5	月	自由練習	クロール(野田) 初心者教授法(佐々木)	競泳法(松澤)
6	火	自由練習	競泳技術(松澤) クロール(野田)	水泳豫備運動(金子 柳田)
7	水	自由練習	水球競技(笹若山) 飛込競技(鳥水 崎谷)	水泳醫事(岡本)
8	木	自由練習	飛込競技(鳥水 崎谷) 水球競技(笹若山 古)	體育ノ眞諦(栗本)
9	金	自由練習	救助法(森)	座談會
10			閉會式(石本)	

備考 { 飛込競技及水球競技は神宮プールにて行ふ。
夜間の講義は共立女子職業學校講堂にて行ふ。
水泳豫備運動及座談會は神田美土代町 Y.M.C.A. にて行ふ。
自由練習は主として助手各位之を指導したり。

開會式に於て末弘會長は「我國水泳發達の由來と今後の努力」につき説述せられ、又閉會式に於て石本普及委員長は「指導者としての心得」を主とし「普及事業につきての希望」を述べらる。

座談會に於ては河野講習會主任司會者となり、

- (1) 一同會食(役員13名 講習員52名)
- (2) 泳法、及諸競技技術の参考映畫會
- (3) 受講者の感想
- (4) 次回改むべき事項の研究

講習員の意見の主なるものを上ぐれば次の如し。

- (イ) 地方よりの參會者と在京者の時間割區分
- (ロ) 命令出張の形式を取り易き様講習會要領頒布上の注意希望
- (ハ) 夜間講義は非常の過勞につき可成手加減を加へられたし。

講師 (敬稱略す)

末弘嚴太郎	石本巳四雄
飯田光太郎	栗本 義彦
本田 存	松澤 一鶴
白山源三郎	原 正一
河野 司	佐々木 救
野田 一雄	金子 魁一
柳田 亨	岡本 勁一
森 秀臣	笹島彦次郎
島崎 保正	若山 瀧美
馬渡 勇喜	磯野 百男
根來 幸成	猿橋 清
水谷 泰夫	

助手 (敬稱略す)

木村 耕三	小出 義彦
河野日出雄	富田 國雄
後藤 眞吉	新穂 榮藏
横尾 清吾	小木曾 宏
吉田 勝平	藤 森 福
西本 秀雄	其他各校選手若干名

實務委員 (敬稱略す)

河野 司	渡邊 延
木村 耕三	小木曾 宏
藤 森 福	

講習員 (修了者78名不完了講習生) 及研究生を略す

- | | |
|------------|------------|
| 野村 正(東京) | 増本 聰善(東京) |
| 遠藤 宗光(東京) | 大野 薫平(東京) |
| 山内 鐵次(東京) | 山田 貞雄(東京) |
| 前田 重義(鳥取) | 坂根 武敏(東京) |
| 柿崎長一郎(東京) | 吉田 千里(東京) |
| 三宅 與一(東京) | 神谷又一郎(東京) |
| 枳殻 恒男(横須賀) | 石塚他家二(横須賀) |
| 藤井 虎男(横須賀) | 齋藤鐵太郎(横須賀) |
| 熊澤 公平(横須賀) | 中津川 丞(横須賀) |
| 岡田 賢治(横須賀) | 戸野 正(滋賀) |
| 樋口 芳雄(八王子) | 津田 弘明(江田島) |
| 成瀬 義(東京) | 稻津 千秋(東京) |
| 内山清太郎(東京) | 齋木 坦(東京) |
| 佐野 又雄(東京) | 大石 端(東京) |
| 出口 榮作(富山) | 岩淵 德行(東京) |
| 池邊 穰(東京) | 後藤 秋生(東京) |
| 木林 勝男(東京) | 油井 晴源(東京) |
| 高木 正孝(東京) | 竹本 保夫(鳥取) |
| 淵上 政夫(東京) | 田村 倬(東京) |
| 沼野 繁之(東京) | 飯塚 積(東京) |
| 井川 武彦(東京) | 伊藤富美子(東京) |
| 宮崎 正(東京) | 大膳亮 淑(東京) |
| 鈴木美佐子(東京) | 増田 勇(東京) |
| 中村 胖(東京) | 島崎 祐二(東京) |
| 小野寺善吉(東京) | 松崎 忠典(東京) |
| 野口 雄巖(東京) | 時尾 守(東京) |
| 別府 太郎(東京) | 野上 大也(東京) |
| 佐山 弘子(東京) | 山本 春治(東京) |
| 堀江 正樹(東京) | 石川 俊介(東京) |
| 飯島藤十郎(東京) | 木村 正一(東京) |
| 横川 末吉(大分) | 星野 七郎(東京) |
| 田頭 亨(東京) | 中村 美輝(東京) |
| 下田 幸胤(東京) | 久米井亮三(東京) |
| 星 文雄(東京) | 鈴木 正敏(東京) |
| 志水 市郎(東京) | 佐々木健治(東京) |
| 齋藤 茂生(東京) | 木下西之助(東京) |
| 下津 武雄(東京) | 安達 誠(東京) |
| 尾佐 卓朗(東京) | 秋山 裕(東京) |
| 森島保太郎(東京) | 日高 兵次(東京) |

本年度水泳指導者資格検定試験

水泳指導者資格検定規則、第六項(科目)

- 1 潜水二十五米、
 - 2 クロール百米、
- {男一分三十秒以内
女二分以内

- 3 背泳、五十米、 {男一分以内
女一分二十秒以内
 - 4 平泳、百米、 {男二分以内
女二分四十秒以内
 - 5 拔手、
 - 6 立泳、
 - 7 飛込、
 - 8 伸(技術判定)、
 - 9 浮身、
 - 10 五百米以上泳ぎ得ること、
 - 11 救助法、
- 同 規則第十四項(検定委員)

- (主)石本巳四雄 飯田光太郎
 本田 存 岡本 勁一
 松澤 一鶴 原 正一
 白山源三郎 佐々木 救
 森 秀臣 吉本 祐一
 島崎 保正 小林 三次
 水谷 泰夫 中村 豊
 岡田 辰雄 野田 一雄
 齋藤武五郎 笹島彦次郎
 河野 司

水泳指導者資格検定試験日程

日	曜	午 前	午 後
10	土		伸 クロール
11	日	背泳 潜水 飛込 立泳	平泳 救助法
12	月	水球 救助法 標準泳法 飛込競技 水泳醫事 競技概説 指導者心得	合格者発表

10、11日は技術試験にして、12日は筆記並に口頭試問を行へり。場所國民體育館プール及共立女子職業學校)

合格者(検定申込男61女3にして、内本年度講習會員は男54女1下記42名合格せり。

- | | |
|------------|------------|
| 大野 薫平(八王子) | 山田 貞雄(東京) |
| 三宅 與一(東京) | 枳殻 恒男(横須賀) |
| 藤井 虎男(横須賀) | 齋藤鐵太郎(横須賀) |
| 熊澤 公平(横須賀) | 中津川 丞(横須賀) |
| 岡田 賢治(横須賀) | 稻津 千秋(東京) |
| 佐野 又雄(東京) | 大石 端(東京) |
| 出口 榮作(富山) | 岩淵 德行(東京) |
| 池邊 穰(東京) | 沼野 繁之(東京) |
| 飯塚 積(東京) | 井川 武彦(東京) |
| 伊藤富美子(東京) | 大膳亮 淑(東京) |
| 増田 勇(東京) | 中村 胖(東京) |
| 松崎 忠典(東京) | 野口 巖雄(東京) |
| 時尾 守(東京) | 別府 太郎(東京) |

野上 大也(東京)	木村 正一(東京)
田頭 亨(東京)	星 文雄(東京)
安達 誠(東京)	秋山 裕(東京)
森島安太郎(東京)	中田 晴雄(神奈川)
海老澤勝世(東京)	及川 長幸(東京)
兼信 雅子(東京)	長岡 淑子(東京)
河野日出雄(東京)	富田 國雄(東京)
水島保次郎(東京)	岡本 良作(東京)

備考 { 猶ほ本年より合格證は檢定終了直後授與さ
るゝも資格證を向ふ一ヶ年以内に請求せざ
る時はその效力を失ふことゝし夫々正規の
手續方法を公示し急速實行を促せり。

水泳指導者協會創立

本聯盟水泳指導者資格檢定試験に合格の指導者、並に推薦により資格を與へられたる指導者を以て本會を組織し、我國水泳の普及發達に寄與せんとするものにして、有資格者には漏れなく加入を求め將來有意義なる會務の達成を期する次第なり。

水泳指導者協會規約

1. 本會ハ日本水上競技聯盟ノ水泳指導者資格ヲ有スルモノヲ以テ組織シ、相互ノ親善ト水泳ノ普及向上ヲ計ルヲ目的トス。
2. 本會々員ヲ次ノ通り定ム、
正會員 一ヶ年金參圓ヲ納付スルモノ、
特別會員 聯盟役員及ビ功勞者ヲ推薦シ、會費ヲ徵集セズ。
3. 本會ニ左ノ役員ヲ置ク。
幹事長 日本水上競技聯盟指導員季員長。
庶務幹事 通信並ニ研究事項ノ取纏ニ任ズ。
(幹事長指命)
會計幹事 會費ノ徵集及必要ナル支出ニ任ジ、
年度報告ヲナスモノトス。(幹事長指命)
4. 正會員ニ配布スル冊子
(イ) 聯盟發行「水泳」誌、
(ロ) 該年度「水泳年鑑」
5. 會員章 (定價 50 錢)
白地ニ水色ノ聯盟「マーク」
銀色指導ノ二字。
6. 毎年七月定期總會ヲ開キ、必要議題ニツキ協議ス。

☆ 編輯後記 ☆

非常時——編輯主任の藤原氏の應召に會ひ御覽の通りの文字の羅列に過ぎない雑誌を作り上げて申譯ないと思ひますが御容赦を乞ふ。オリンピック報告書は續いて四、五回に分けて發表する積り(久野)

聯盟日誌

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 7月 6日 | 學聯實行委員會 聯盟事務所 |
| 7日 | 常務理事會 聯盟事務所 |
| 14日 | オリンピック準備委員會 聯盟事務所 |
| 16日 | 飛込競技委員會 聯盟事務所 |
| 19日 | 小學校委員會 聯盟事務所 |
| 20日 | 女子部委員會 聯盟事務所 |
| 21日 | 常務理事會 聯盟事務所
競泳池公認委員會 聯盟事務所 |
| 28日 | 理事會兼米國選手歡迎會 於中央亭 |
| 31日 | 東部中等學校水上大會 |
| 8月 1日 | 同 |
| 4日 | 常務理事會 聯盟事務所 |
| 8日 | 關東水上競技大會 |
| 11日 | 理事會 聯盟事務所 |
| 12日 | オリンピック準備委員會 |
| 13日 | 競泳池公認委員會 聯盟事務所 |
| 14日 | 日本選手權水上競技大會 |
| 14日 | オリンピック準備委員會 |
| 15日 | 日本選手權 第二日 |
| 16日 | 日本選手權 第三日 |
| 19日 | 米國選手歡迎會 |
| 20日 | 飛込競技委員會 聯盟事務所 |
| 23日 | オリンピック準備委員會 聯盟事務所 |
| 24日 | 文部省教育映畫相談會 聯盟事務所 |
| 25日 | 理事會 聯盟事務所 |
| 9月 1日 | 常務理事會 聯盟事務所 |
| 2日 | 小學校大會プロ編成 聯盟事務所 |
| 3日 | 小學校大會プロ編成 聯盟事務所
日學聯飛込委員會 聯盟事務所 |
| 6日 | 關東學聯メンバー交換 朝日新聞 |
| 8日 | オリンピック準備委員會 聯盟事務所 |
| 9日 | 記録委員會聯盟事務所 |
| 10日 | 關東學生水上選手權大會 |
| 11日 | 同上 |
| 12日 | 同上 |
| 16日 | 常務理事會 聯盟事務所 |
| 17日 | 日本學生水上選手權大會 |
| 18日 | 同上 |
| 19日 | 同上 |
| 22日 | 常務理事會 聯盟事務所 |
| 23日 | 神宮體育大會水上競技會 |
| 24日 | 同上 |
| 25日 | 同上 |
| 26日 | 同上 |
| 27日 | 學聯水球委員會 聯盟事務所 |